

第9期介護保険事業計画等策定に係るアンケート調査 結果報告書

**令和5年3月
八幡市**

目 次

1 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の設計	1
(3) 回収状況	1
(4) 調査結果の表示方法	1
2 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 家族や生活状況について	4
(3) からだを動かすことについて	11
(4) 食べることについて	23
(5) 毎日の生活について	29
(6) 地域での活動について	39
(7) たすけあいについて	52
(8) 健康について	60
(9) 認知症にかかる相談窓口の把握について	66
(10) 今後の介護・高齢者施策などについて	67
(11) リスク分析	75
3 在宅介護実態調査結果	91
(1) 回答者について	91
(2) 必要な介護やサービスの利用などについて	97
(3) 主な介護者について《介護者への質問》	117
(4) 主な介護者の就労について《介護者への質問》	122
4 介護支援専門員調査結果	127
(1) 回答者の属性	127
(2) 支援・サービスについて	134
(3) 在宅医療・介護連携について	142
(4) ケアプランの作成やケアマネジメントについて	146
(5) 高齢者虐待について	155
(6) 介護支援専門員業務について	156
(7) 地域包括支援センター・行政への要望	158
5 介護人材実態調査結果	160
(1) 介護サービス等の提供状況について	160
(2) 介護人材の雇用について	161
(3) 人材の確保・育成について	167
6 資料（調査票）	177
(1) 介護予防・日常生活圏域二エズ調査	177
(2) 在宅介護実態調査	184
(3) 介護支援専門員調査	190
(4) 介護人材実態調査	200

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和6年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とするために、介護予防・日常生活圏域二ーズ調査、在宅介護実態調査、介護支援専門員調査、介護人材実態調査を実施した。

(2) 調査の設計

	介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象	令和4年12月1日現在で要介護1～5の認定を受けていない方から無作為抽出	在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方
調査方法	郵送配布・郵送回収	訪問聞き取り調査及び、 郵送配布—郵送回収
送付数	3,000 件	訪問調査：546 件 郵送調査：400 件
調査期間	令和4年12月～令和5年1月	令和4年11月～令和5年3月

	介護支援専門員調査	介護人材実態調査
調査対象	市内の居宅介護支援事業所等の介護支援専門員の方	市内の法人運営者
調査方法	郵送配布、郵送または Web 回収	メール配布、メールまたは Web 回収
送付数	50 件	26 件
調査期間	令和4年12月～令和5年1月	令和4年12月～令和5年3月

(3) 回収状況

	送付数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	3,000 件	1,924 件	64.1%
在宅介護実態調査	946 件	603 件	63.7%
介護支援専門員調査	50 件	40 件	80.0%
介護人材実態調査	26 件	16 件	61.5%

(4) 調査結果の表示方法

- 設問ごとの集計母数は表、グラフ中に（n = ○○）と表記。
- 集計結果の百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

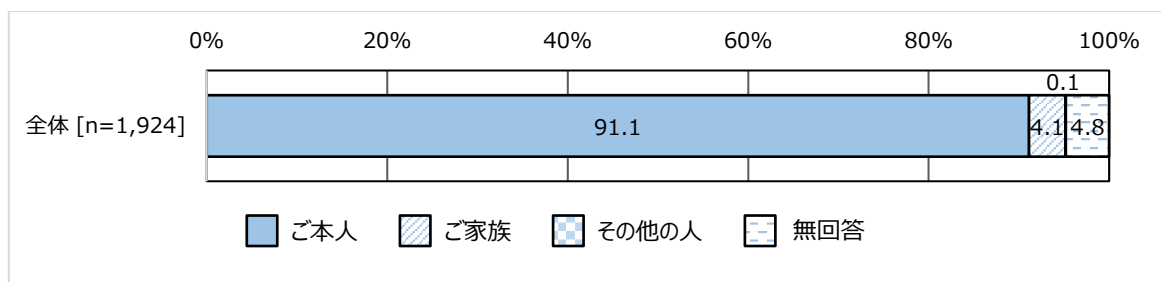
2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

(1) 回答者の属性

① アンケート記入者

アンケート記入者は、「ご本人」が 91.1%、「ご家族」が 4.1%、「その他の人」が 0.1%となっている。

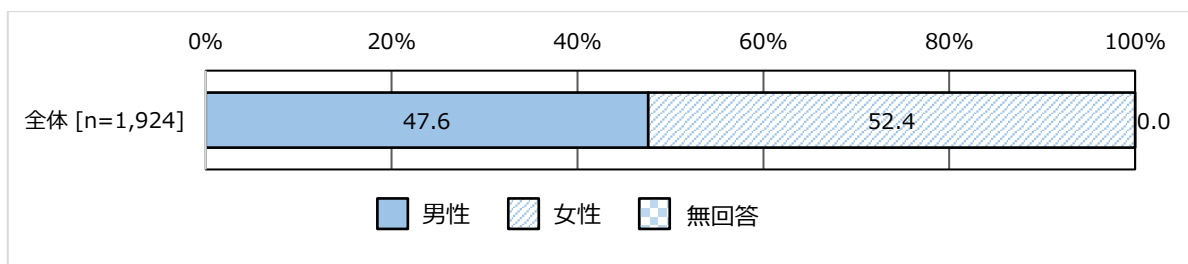
図表 1 アンケート記入者



② 性別

性別は、「女性」が 52.4%、「男性」が 47.6%となっている。

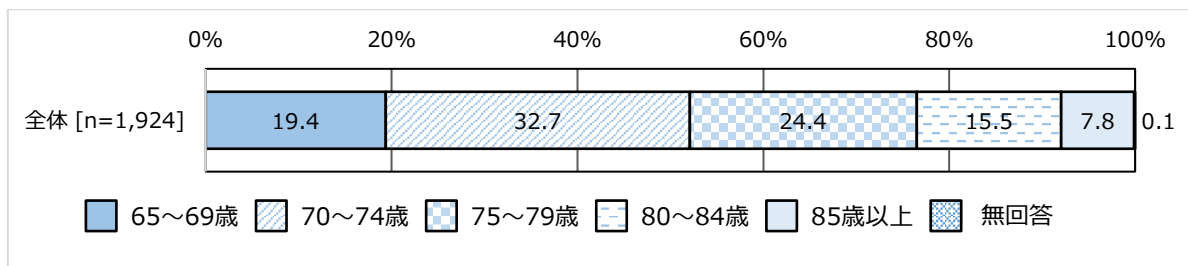
図表 2 性別



③ 年齢

年齢は、「70～74 歳」が 32.7%、「75～79 歳」が 24.4%、「65～69 歳」が 19.4%、「80～84 歳」が 15.5%、「85 歳以上」が 7.8%となっている。

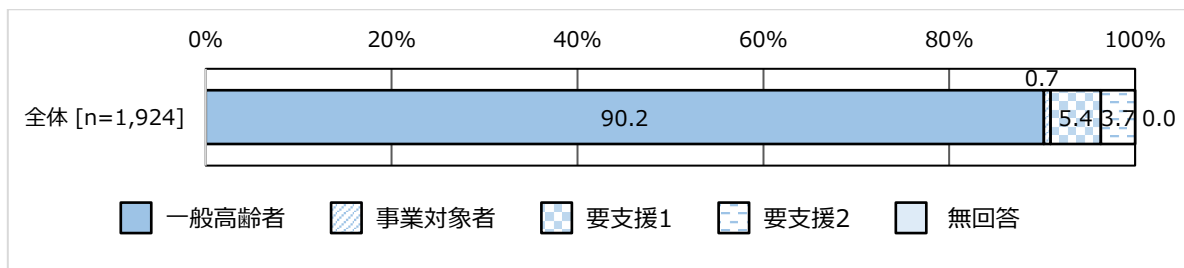
図表 3 年齢



④認定状況

認定状況は、「一般高齢者」が90.2%、「要支援1」が5.4%、「要支援2」が3.7%、「事業対象者」が0.7%となっている。

図表 4 認定状況



「要支援1」は80歳以上、「要支援2」は85歳以上で1割を超える。「要支援1」は「85歳以上」が2割となる。

図表 5 認定状況(年代別)

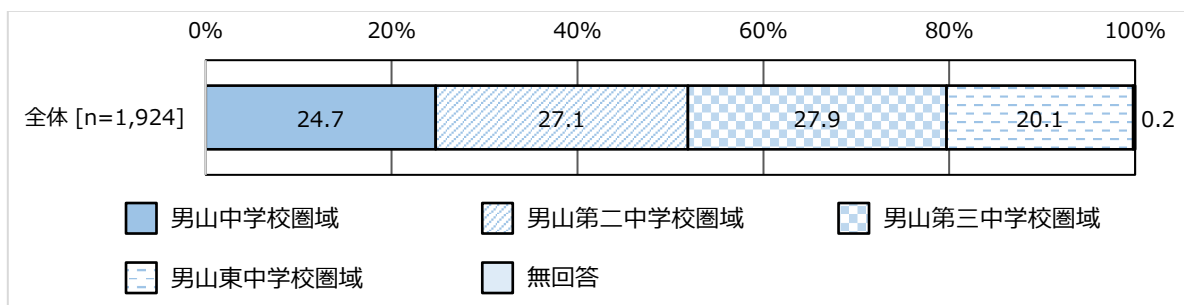
(%)

	合計(n=)	一般高齢者	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答
全体	1,924	90.2	0.7	5.4	3.7	0.0
65～69歳	373	98.9	0.0	0.8	0.3	0.0
70～74歳	629	95.5	0.5	2.4	1.6	0.0
75～79歳	470	91.3	1.1	3.8	3.8	0.0
80～84歳	299	78.6	0.7	12.7	8.0	0.0
85歳以上	151	65.6	2.6	19.9	11.9	0.0

⑤日常生活圏域

日常生活圏域は、「男山第三中学校圏域」が27.9%、「男山第二中学校圏域」が27.1%、「男山中学校圏域」が24.7%、「男山東中学校圏域」が20.1%となっている。

図表 6 日常生活圏域

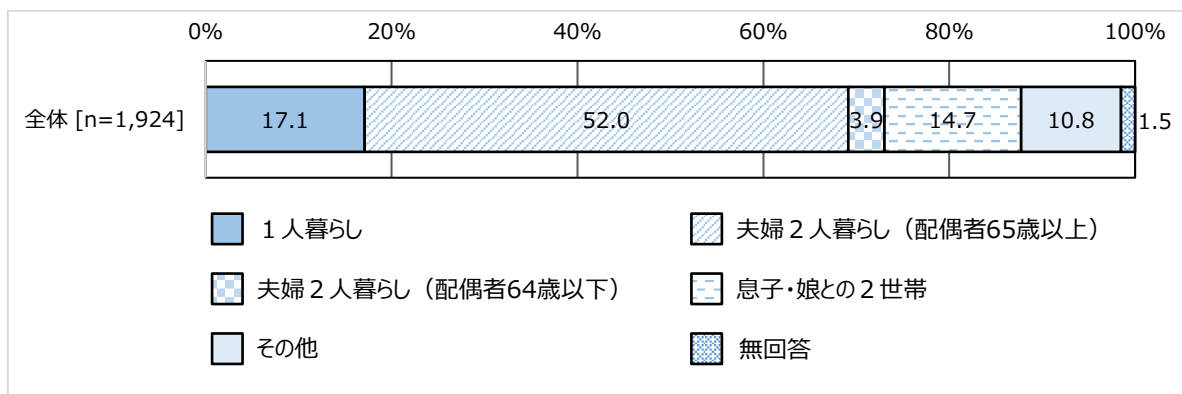


(2) 家族や生活状況について

①家族構成

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が52.0%、「1人暮らし」が17.1%、「息子・娘との2世帯」が14.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.9%となっている。

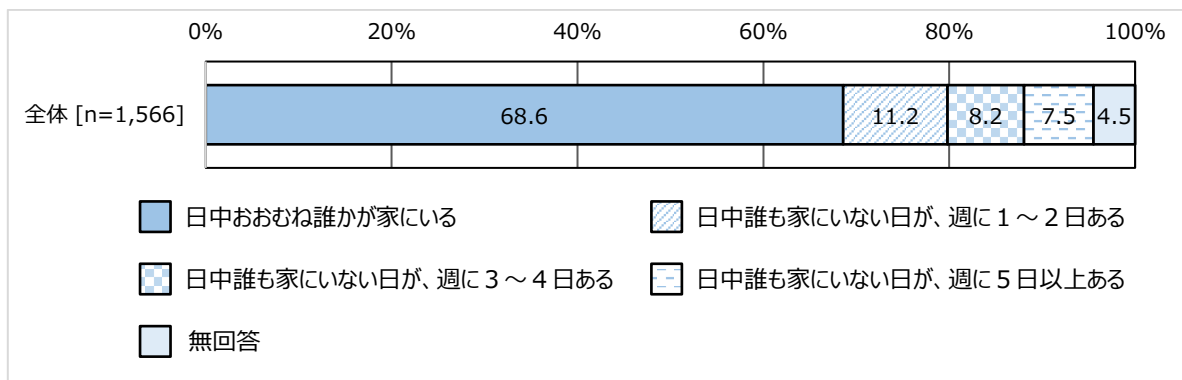
図表 7 家族構成



②家族が家にいない日

家族と同居している人に、家族が家にいない日がどのくらいあるかを聞いたところ、「日中おおむね誰かが家にいる」が68.6%、「日中誰も家にいない日が、週に1～2日ある」が11.2%、「日中誰も家にいない日が、週に3～4日ある」が8.2%、「日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある」が7.5%となっている。

図表 8 家族が家にいない日



認定状況別にみると、「事業対象者」に「日中誰も家にいない日が、週に1～2日ある」「日中誰も家にいない日が、週に3～4日ある」がともに27.3%となる。「要支援2」で「日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある」が17.0%と、認定状況別のなかで、家に誰もいない日にちの多い状況が最も高くなる。

図表 9 家族が家にいない日（認定状況別）

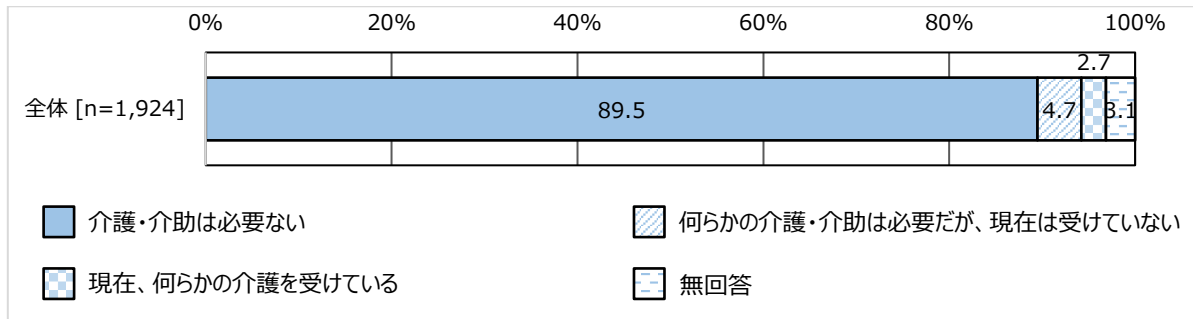
(%)

	合計(n=)	日中おおむね誰かが家にいる	日中誰も家にいない日が、週に1～2日ある	日中誰も家にいない日が、週に3～4日ある	日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある	無回答
全体	1,566	68.6	11.2	8.2	7.5	4.5
一般高齢者	1,444	68.1	11.4	8.4	7.3	4.7
事業対象者	11	45.5	27.3	27.3	0.0	0.0
要支援1	64	79.7	9.4	4.7	4.7	1.6
要支援2	47	72.3	4.3	4.3	17.0	2.1

③介護・介助の必要性

介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が 89.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 4.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が 2.7%となっている。

図表 10 介護・介助の必要性



年代が上がるにつれ介護・介助の必要性が少しずつ高くなっている傾向がある。85 歳以上では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」が約 1 割になっている。

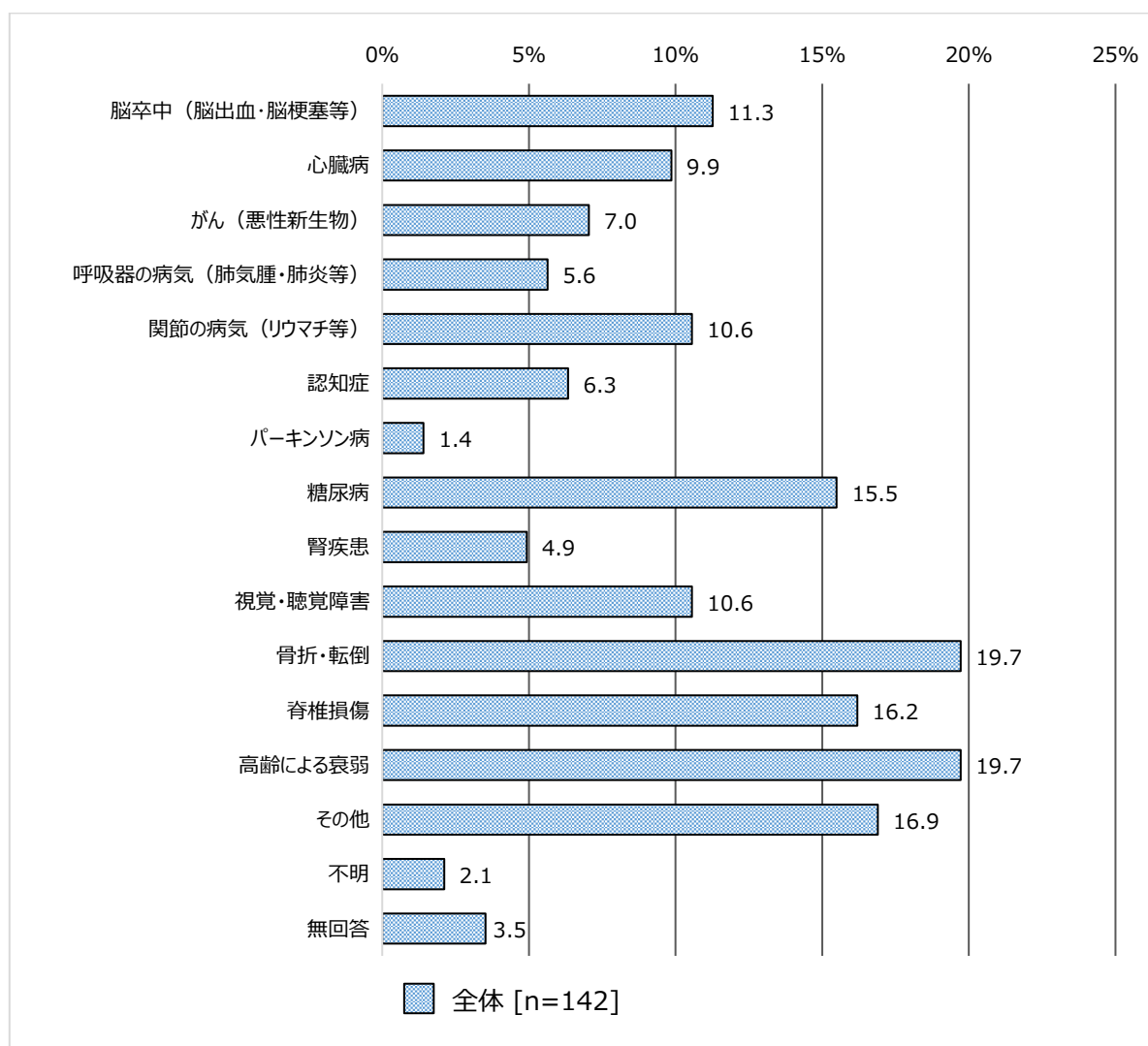
図表 11 介護・介助の必要性(年代別)

	合計(n=)	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	1,924	89.5	4.7	2.7	3.1
65～69 歳	373	97.1	1.6	0.5	0.8
70～74 歳	629	93.6	2.5	1.4	2.4
75～79 歳	470	89.1	5.7	2.6	2.6
80～84 歳	299	82.9	7.7	3.7	5.7
85 歳以上	151	68.2	11.9	11.3	8.6

④介護・介助が必要になった原因

介護・介助の必要性について、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に、介護・介助が必要になった原因を聞いたところ、「骨折・転倒」が19.7%、「高齢による衰弱」が19.7%、「脊椎損傷」が16.2%、「糖尿病」が15.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が11.3%、「関節の病気（リウマチ等）」が10.6%、「視覚・聴覚障害」が10.6%、「心臓病」が9.9%、「がん（悪性新生物）」が7.0%、「認知症」が6.3%、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」が5.6%、「腎疾患」が4.9%、「パーキンソン病」が1.4%となっている。

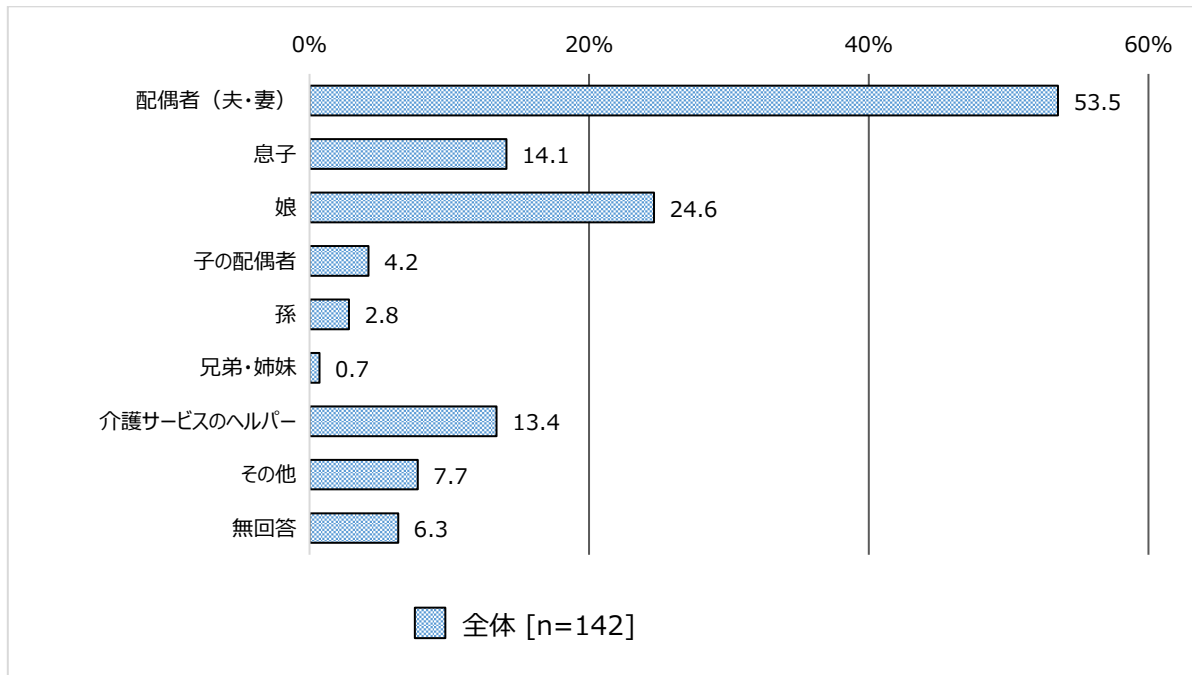
図表 12 介護・介助が必要になった原因〔複数回答〕



⑤主な介護・介助者

介護・介助の必要性について、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に、主な介護・介助者を聞いたところ、「配偶者（夫・妻）」が 53.5%と最も高く、次いで「娘」24.6%、「息子」14.1%、「介護サービスのヘルパー」13.4%、「子の配偶者」4.2%、「孫」2.8%、「兄弟・姉妹」0.7%となっている。

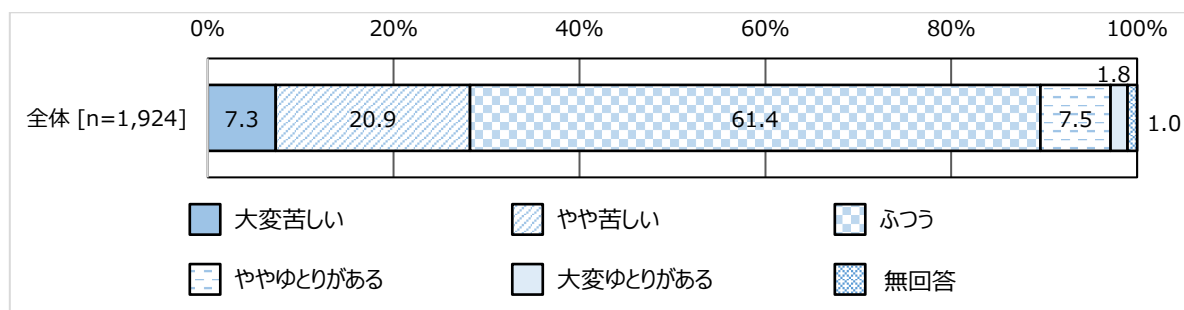
図表 13 主な介護・介助者〔複数回答〕



⑥現在の暮らしの経済的状況

現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が61.4%と突出して最も高く、そのほかでは「やや苦しい」が20.9%、「ややゆとりがある」が7.5%、「大変苦しい」が7.3%、「大変ゆとりがある」が1.8%となる。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせると28.2%と3割近くを占める。

図表 14 現在の暮らしの経済的状況



サンプル数が少ないが、「事業対象者」は「やや苦しい」が5割となる。また「要支援2」は「やや苦しい」が、「一般高齢者」や「要支援1」より少し高くなる。

図表 15 現在の暮らしの経済的状況(認定状況別)

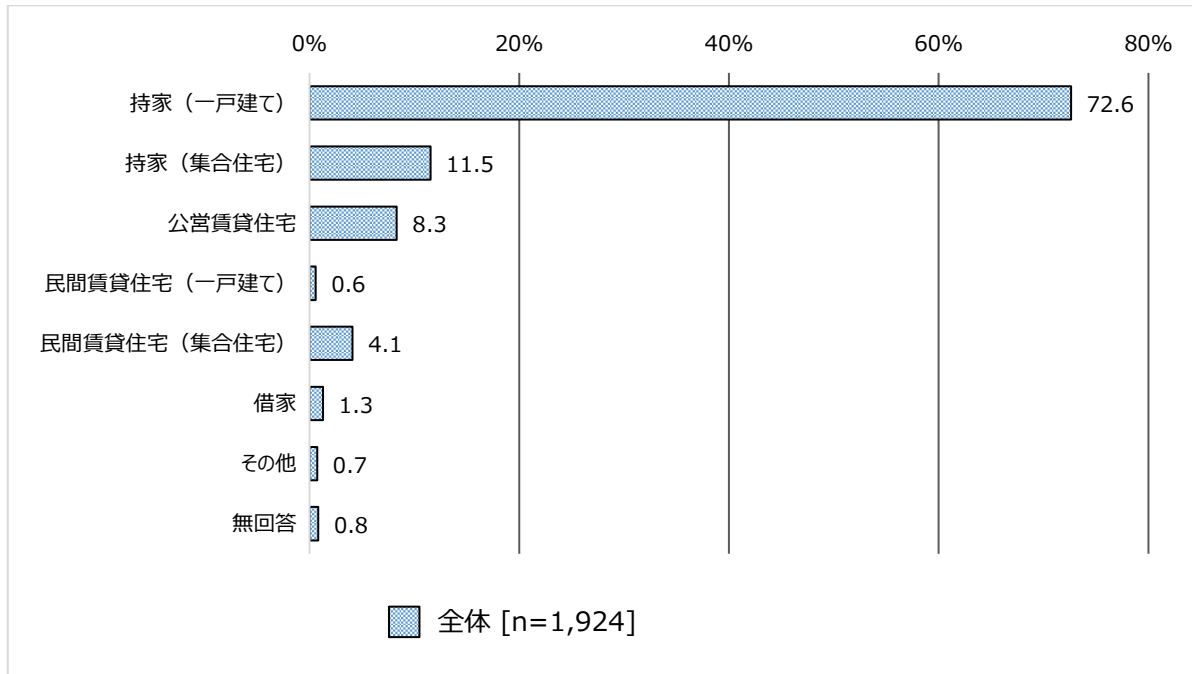
(%)

	合計(n=)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	1,924	7.3	20.9	61.4	7.5	1.8	1.0
一般高齢者	1,735	7.3	20.5	62.1	7.5	1.7	0.9
事業対象者	14	7.1	50.0	35.7	0.0	7.1	0.0
要支援1	104	7.7	18.3	60.6	8.7	2.9	1.9
要支援2	71	7.0	29.6	49.3	8.5	1.4	4.2

⑦住まい

住まいは、「持家（一戸建て）」が72.6%と突出して多い。そのほかでは「持家（集合住宅）」が11.5%、「公営賃貸住宅」が8.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が4.1%、「借家」が1.3%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.6%となっている。

図表 16 住まい

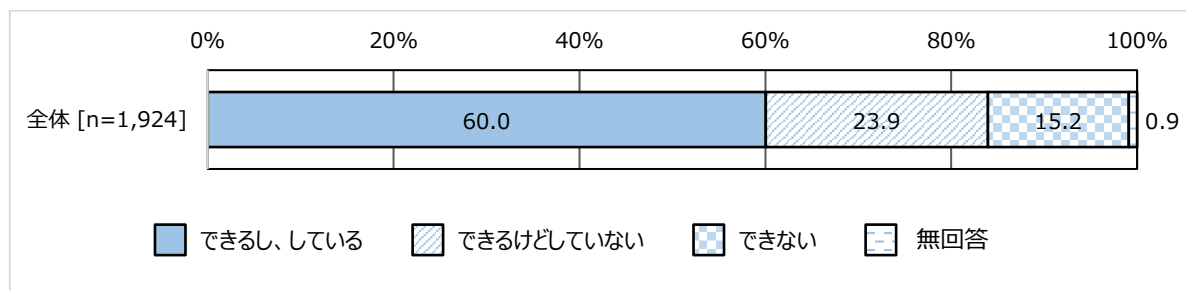


(3) からだを動かすことについて

①階段を手すりや壁をつたわずに昇るか

階段を手すりや壁をつたわずに昇るかは、「できるし、している」が 60.0%と突出して高い。「できるけどしていない」が 23.9%、「できない」が 15.2%となっている。

図表 17 階段を手すりや壁をつたわずに昇るか



一般高齢者は「できるし、している」が 64.4%と大半を占めるが、「できない」は「事業対象者」が 42.9%、「要支援 1」が 55.8%、「要支援 2」が 62.0%とそれぞれの大半を占めて高い。

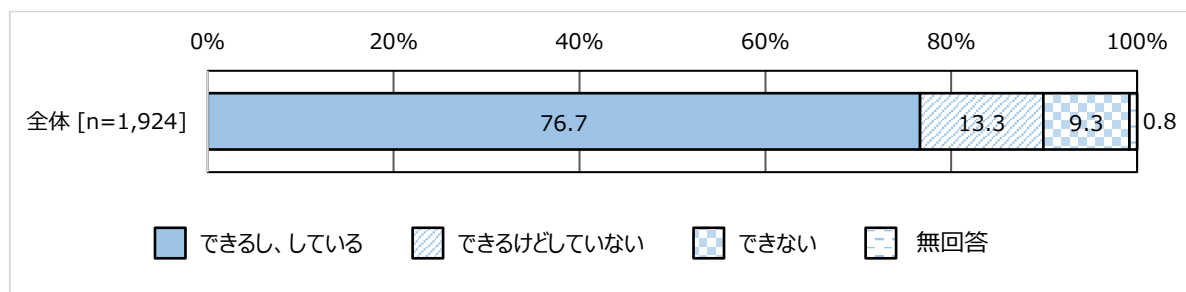
図表 18 階段を手すりや壁をつたわずに昇るか(認定状況別)

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	60.0	23.9	15.2	0.9
一般高齢者	1,735	64.4	24.1	10.6	0.8
事業対象者	14	21.4	35.7	42.9	0.0
要支援 1	104	21.2	22.1	55.8	1.0
要支援 2	71	16.9	18.3	62.0	2.8

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるかは、「できるし、している」が76.7%、「できるけどしていない」が13.3%、「できない」が9.3%となっている。

図表 19 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるか



一般高齢者は「できるし、している」が80.5%、「事業対象者」は71.4%とそれぞれの大半を占めるが、「できない」は「要支援1」が41.3%、「要支援2」が46.5%となり、他の認定状況と比べると相対的に高くなる。

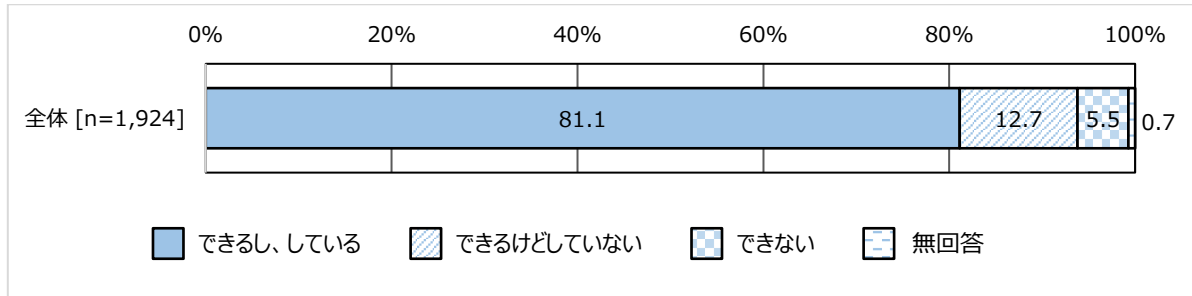
図表 20 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるか（認定状況別）

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	76.7	13.3	9.3	0.8
一般高齢者	1,735	80.5	13.1	5.7	0.7
事業対象者	14	71.4	7.1	21.4	0.0
要支援1	104	43.3	14.4	41.3	1.0
要支援2	71	32.4	16.9	46.5	4.2

③15 分続けて歩いているか

15 分続けて歩いているかは、「できるし、している」が 81.1%、「できるけどしていない」が 12.7%、「できない」が 5.5%となっている。

図表 21 15 分続けて歩いているか



一般高齢者は「できるし、している」は 83.9%、「事業対象者」は 78.6%とそれぞれの大半を占めるが、「できない」は「要支援 1」が 22.1%、「要支援 2」が 32.4%となり、他の認定状況と比べると相対的に高くなる。

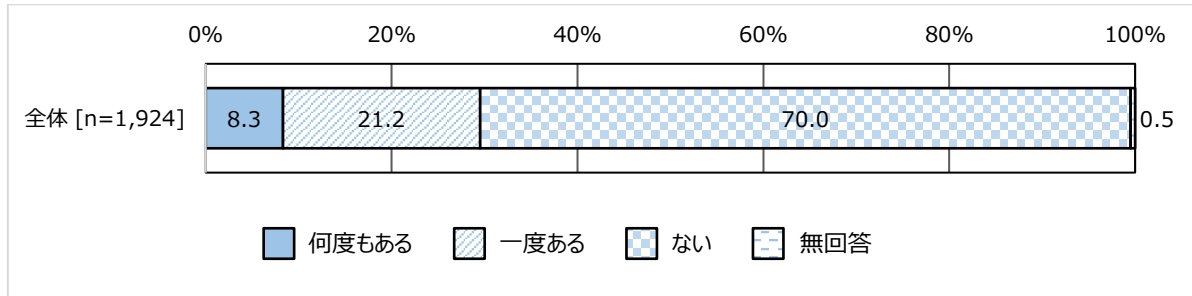
図表 22 15 分続けて歩いているか(認定状況別)

	合計(n=)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体	1,924	81.1	12.7	5.5	0.7
一般高齢者	1,735	83.9	12.2	3.3	0.5
事業対象者	14	78.6	14.3	7.1	0.0
要支援 1	104	59.6	15.4	22.1	2.9
要支援 2	71	45.1	19.7	32.4	2.8

④過去１年間に転んだ経験

過去１年間に転んだ経験は、「ない」が70.0%、「一度ある」が21.2%、「何でもある」が8.3%となっている。

図表 23 過去1年間に転んだ経験



「一般高齢者」は「ない」が72.9%と大半を占める。「事業対象者」は「一度ある」が42.9%と最も高い。「要支援1」「要支援2」とも「ない」が最も高いが、「要支援1」は「一度ある」が36.5%と次いで高い。「要支援2」は「何でもある」(26.8%)、「一度ある」(28.2%)が同程度に高くなっている。

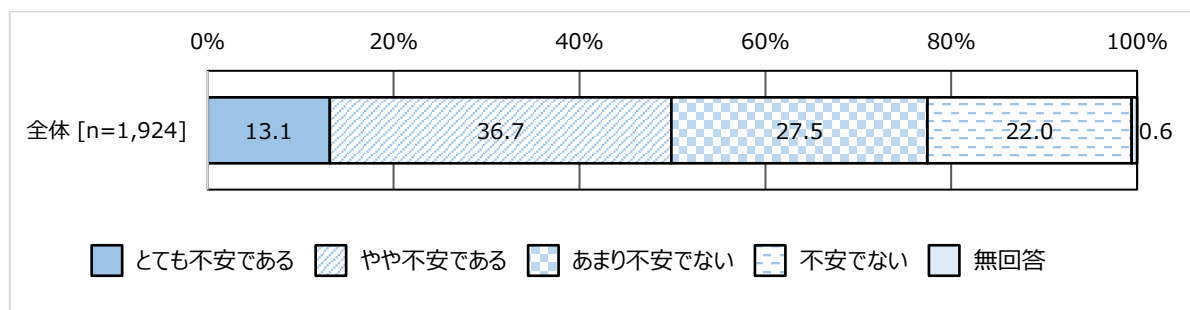
図表 24 過去1年間に転んだ経験(認定状況別)

	合計(n=)	何でもある	一度ある	ない	無回答
全体	1,924	8.3	21.2	70.0	0.5
一般高齢者	1,735	6.9	19.8	72.9	0.5
事業対象者	14	21.4	42.9	35.7	0.0
要支援1	104	18.3	36.5	45.2	0.0
要支援2	71	26.8	28.2	43.7	1.4

⑤転倒に対する不安は大きい

転倒に対する不安は大きいかは、「やや不安である」が 36.7%、「あまり不安でない」が 27.5%、「不安でない」が 22.0%、「とても不安である」が 13.1%となっている。

図表 25 転倒に対する不安は大きい



「一般高齢者」「事業対象者」「要支援1」はいずれも「やや不安である」がそれぞれの中で最も高いが、「要支援2」は「とても不安である」が 54.9%と過半を占める。

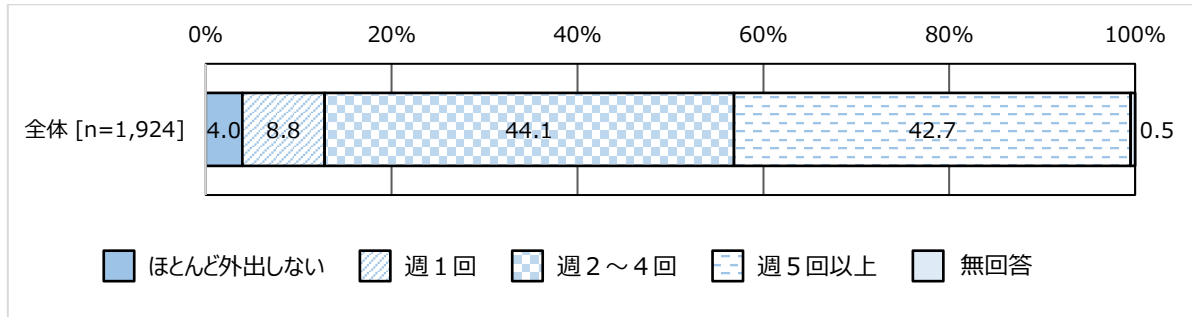
図表 26 転倒に対する不安は大きい(認定状況別)

	合計(n=)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体	1,924	13.1	36.7	27.5	22.0	0.6
一般高齢者	1,735	10.0	35.9	29.5	24.1	0.6
事業対象者	14	35.7	50.0	14.3	0.0	0.0
要支援1	104	34.6	51.9	8.7	4.8	0.0
要支援2	71	54.9	32.4	11.3	0.0	1.4

⑥週に1回以上外出しているか

週に1回以上外出しているかは、「週2～4回」が44.1%、「週5回以上」が42.7%、「週1回」が8.8%、「ほとんど外出しない」が4.0%となっている。

図表 27 週に1回以上外出しているか



「一般高齢者」は「週5回以上」「週2～4回」が4割強と高い。「事業対象者」は「週5回以上」が50.0%と高い。「要支援1」「要支援2」は「週2～4回」がそれぞれの中で最も高い。

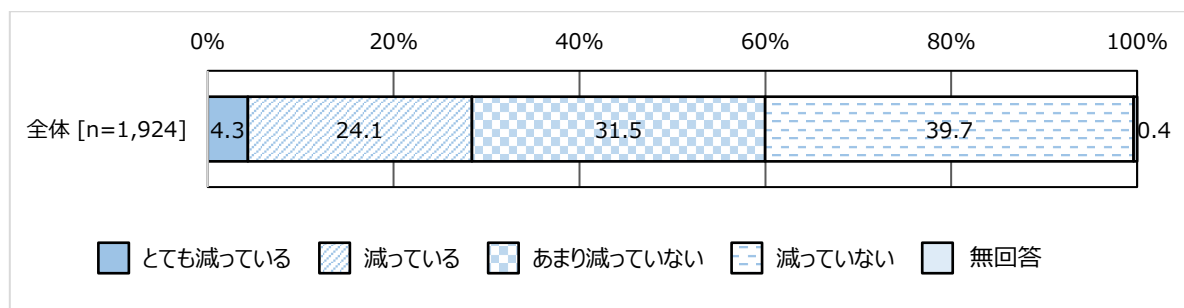
図表 28 週に1回以上外出しているか(認定状況別)

	合計(n=)	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	1,924	4.0	8.8	44.1	42.7	0.5
一般高齢者	1,735	3.2	7.8	43.3	45.3	0.5
事業対象者	14	7.1	7.1	35.7	50.0	0.0
要支援1	104	7.7	16.3	60.6	15.4	0.0
要支援2	71	16.9	23.9	40.8	16.9	1.4

⑦昨年と比べて外出が減っているか

昨年と比べて外出が減っているかは、「減っていない」が39.7%、「あまり減っていない」が31.5%、「減っている」が24.1%、「とても減っている」が4.3%となっている。

図表 29 昨年と比べて外出が減っているか



「一般高齢者」は「減っていない」が42.5%と最も高い。「あまり減っていない」と合わせると74.7%を占める。「事業対象者」「要支援1」「要支援2」ともに「減っている」が高くなっており、「とても減っている」と合わせると順に50.0%、58.7%、64.8%となり、介護度が上がると減っているという回答割合が高くなる傾向にある。

図表 30 昨年と比べて外出が減っているか(認定状況別)

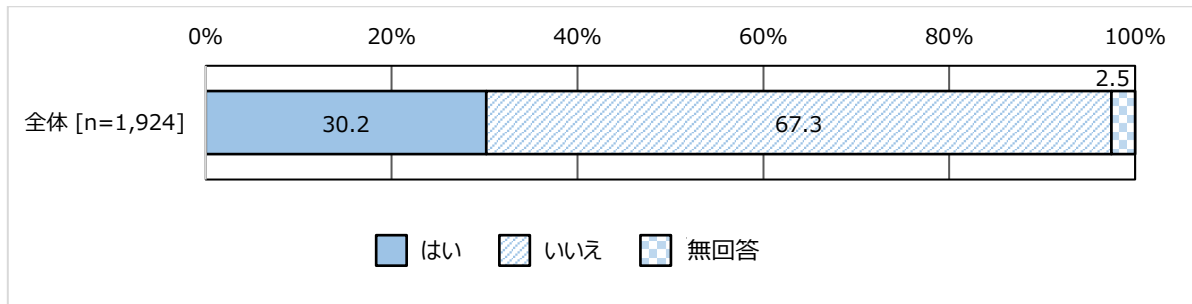
(%)

	合計(n=)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	1,924	4.3	24.1	31.5	39.7	0.4
一般高齢者	1,735	3.3	21.7	32.2	42.5	0.3
事業対象者	14	14.3	35.7	28.6	21.4	0.0
要支援1	104	12.5	46.2	28.8	12.5	0.0
要支援2	71	15.5	49.3	21.1	12.7	1.4

⑧外出を控えているか

外出を控えているかは、「いいえ」が 67.3%、「はい」が 30.2%となっている。

図表 31 外出を控えているか



「一般高齢者」「事業対象者」は「いいえ」が高い。「要支援 1」「要支援 2」とも「はい」が高く、「要支援 1」は 49.0%、「要支援 2」は 73.2%となっている。介護度が上がると「はい」の割合が高くなる傾向にある。

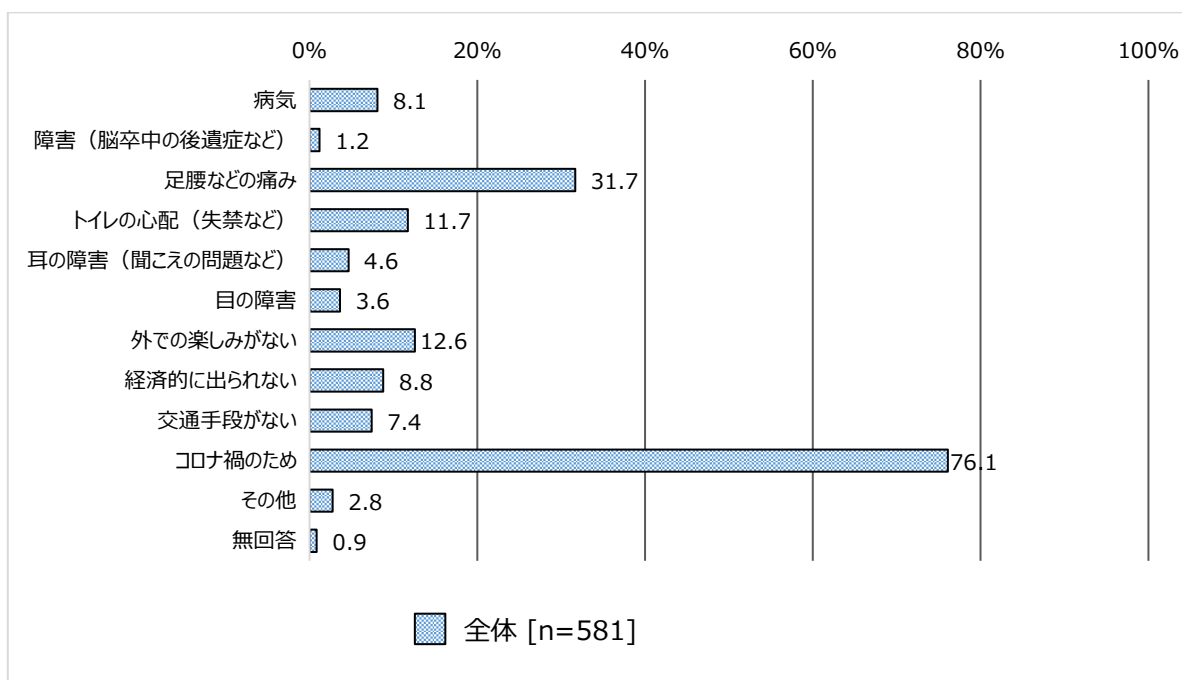
図表 32 外出を控えているか(認定状況別)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	30.2	67.3	2.5
一般高齢者	1,735	27.3	70.5	2.2
事業対象者	14	35.7	57.1	7.1
要支援 1	104	49.0	43.3	7.7
要支援 2	71	73.2	23.9	2.8

⑨外出を控えている理由

「外出を控えているか」に対して「はい」と回答した方に、外出を控えている理由を聞いたところ、「コロナ禍のため」が76.1%と突出している。そのほかでは「足腰などの痛み」が31.7%、「外での楽しみがない」が12.6%、「トイレの心配（失禁など）」が11.7%、「経済的に出られない」が8.8%、「病気」が8.1%、「交通手段がない」が7.4%、「耳の障害（聞こえの問題など）」が4.6%、「目の障害」が3.6%、「障害（脳卒中の後遺症など）」が1.2%となっている。

図表 33 外出を控えている理由〔複数回答〕



「コロナ禍のため」を除くと、すべての種別で「足腰の痛み」が高い。そのほか「一般高齢者」は「外での楽しみがない」が12.3%と続く。「要支援1」「要支援2」では、「トイレの心配（失禁など）」「病気」「耳の障害（聞こえの問題など）」といった身体的要因と、「交通手段が無い」「外での楽しみが無い」「経済的に出られない」といった社会的要因の割合が高い。

図表 34 外出を控えている理由〔複数回答〕（認定状況別）

(%)

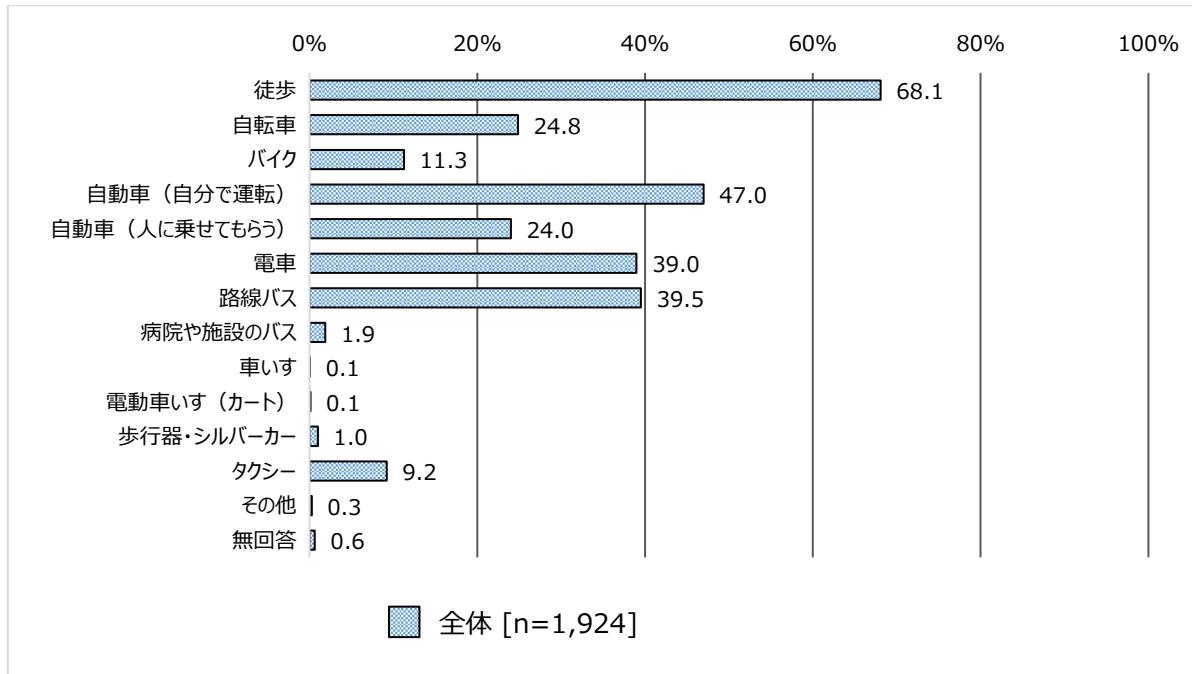
	合計(51)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	コロナ禍のため	その他	無回答
全体	581	8.1	1.2	31.7	11.7	4.6	3.6	12.6	8.8	7.4	76.1	2.8	0.9
一般高齢者	473	7.6	0.6	23.7	9.5	3.4	3.6	12.3	8.9	5.9	81.4	2.5	0.6
事業対象者	5	0.0	0.0	80.0	40.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
要支援1	51	7.8	2.0	70.6	19.6	9.8	2.0	13.7	11.8	13.7	54.9	0.0	3.9
要支援2	52	13.5	5.8	61.5	21.2	11.5	3.8	13.5	1.9	15.4	50.0	7.7	0.0

※「事業対象者」は5名のためクロス分析から外す

⑩外出する際の移動手段

外出する際の移動手段は、「徒歩」が 68.1%、「自動車（自分で運転）」が 47.0%、「路線バス」が 39.5%、「電車」が 39.0%、「自転車」が 24.8%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 24.0%、「バイク」が 11.3%、「タクシー」が 9.2%となっている。

図表 35 外出する際の移動手段〔複数回答〕



「一般高齢者」は「徒歩」が7割と高く、次いで「自動車（自分で運転）」「電車」「路線バス」と続く。「事業対象者」は「徒歩」が78.6%と最も高く、次いで「路線バス」「自動車（人に乗せてもらう）」「電車」が続く。「要支援1」は「徒歩」が63.5%と最も高く、次いで「路線バス」「電車」「タクシー」と続く。「要支援2」は「徒歩」が46.5%と最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」、「路線バス」と「タクシー」が同じ割合で続く。

「徒歩」や「自転車」「バイク」などの体力や技術の必要な移動手段の割合は介護度が上がるにつれて下がっている。

図表 36 外出する際の移動手段〔複数回答〕（認定状況別）

(%)

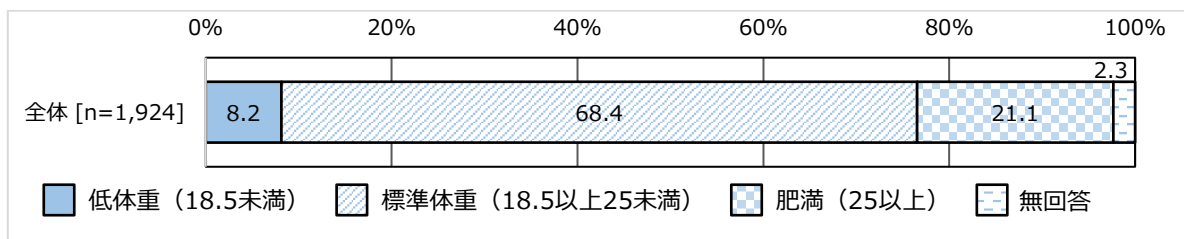
	合計 (人)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他
全体	1,924	68.1	24.8	11.3	47.0	24.0	39.0	39.5	1.9	0.1	0.1	1.0	9.2	0.3
一般高齢者	1,735	69.2	26.8	12.0	49.7	23.1	39.8	39.2	1.0	0.0	0.0	0.2	6.7	0.3
事業対象者	14	78.6	21.4	7.1	21.4	35.7	35.7	57.1	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0
要支援1	104	63.5	5.8	4.8	23.1	28.8	37.5	47.1	11.5	0.0	1.0	9.6	34.6	0.0
要支援2	71	46.5	5.6	2.8	21.1	36.6	21.1	32.4	9.9	1.4	1.4	7.0	32.4	0.0

(4) 食べるについて

①BMI

BMI は、「標準体重（18.5 以上 25 未満）」が 68.4%、「肥満（25 以上）」が 21.1%、「低体重（18.5 未満）」が 8.2%となっている。

図表 37 BMI



認定状況別での大きな差異は見られない。

図表 38 BMI(認定状況別)

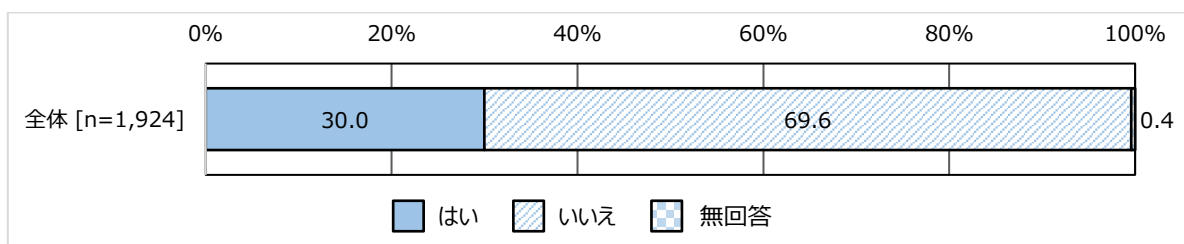
(%)

	合計(n=)	低体重 (18.5 未満)	標準体重 (18.5 以上 25 未満)	肥満 (25 以上)	無回答	平均
全体	1,924	8.2	68.4	21.1	2.3	22.7
一般高齢者	1,735	8.0	69.2	20.8	2.1	22.7
事業対象者	14	0.0	85.7	14.3	0.0	23.0
要支援 1	104	11.5	53.8	27.9	6.7	22.9
要支援 2	71	9.9	67.6	19.7	2.8	22.7

②半年前に比べて固いものが食べにくい

半年前に比べて固いものが食べにくいのは、「いいえ」が 69.6%、「はい」が 30.0%となっている。

図表 39 半年前に比べて固いものが食べにくい



介護度が上がるにつれ「はい」の割合が高くなっている。

図表 40 半年前に比べて固いものが食べにくい(認定状況別)

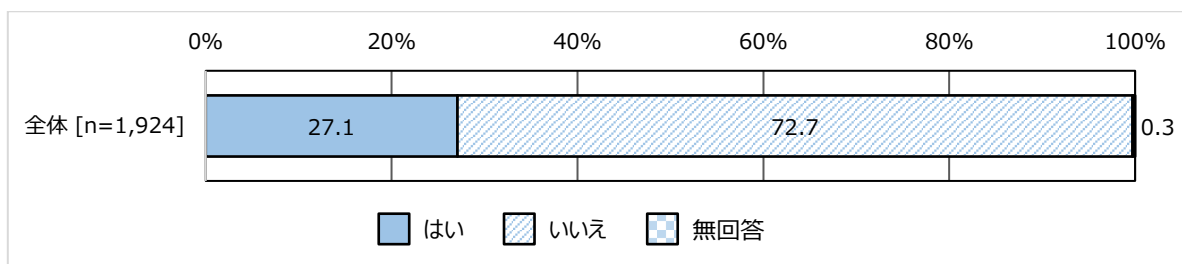
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	30.0	69.6	0.4
一般高齢者	1,735	28.3	71.4	0.3
事業対象者	14	35.7	64.3	0.0
要支援 1	104	43.3	56.7	0.0
要支援 2	71	50.7	46.5	2.8

③むせることがあるか

むせることがあるかは、「いいえ」が72.7%、「はい」が27.1%となっている。

図表 41 むせることがあるか



「一般高齢者」に比べると、「事業対象者」「要支援1」「要支援2」とともに「はい」の割合が高い。

図表 42 むせることがあるか(認定状況別)

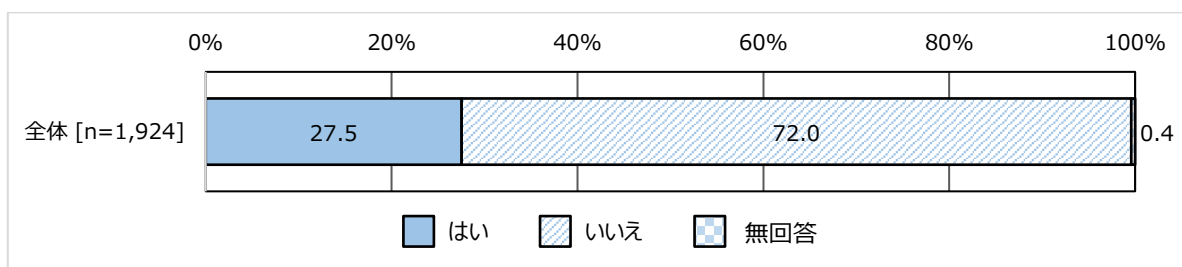
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	27.1	72.7	0.3
一般高齢者	1,735	24.9	74.9	0.2
事業対象者	14	57.1	42.9	0.0
要支援1	104	41.3	58.7	0.0
要支援2	71	53.5	45.1	1.4

④口の渇きが気になるか

口の渇きが気になるかは、「いいえ」が72.0%、「はい」が27.5%となっている。

図表 43 口の渇きが気になるか



「一般高齢者」に比べると、「事業対象者」「要支援1」「要支援2」とともに「はい」の割合が高い。

図表 44 口の渇きが気になるか(認定状況別)

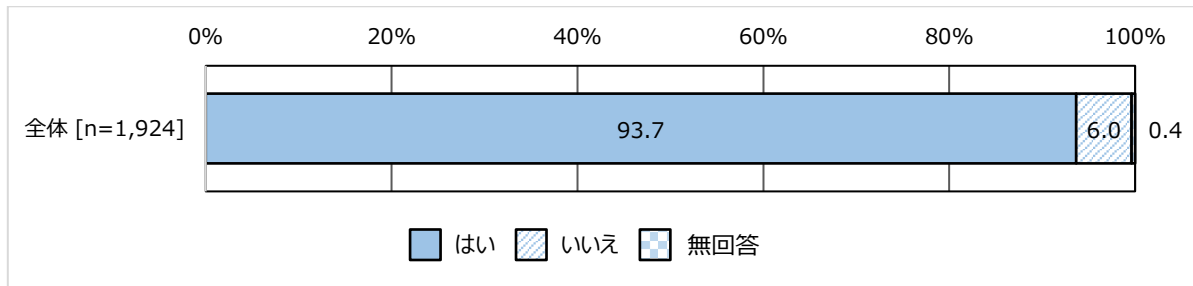
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	27.5	72.0	0.4
一般高齢者	1,735	25.6	74.0	0.3
事業対象者	14	50.0	50.0	0.0
要支援1	104	42.3	56.7	1.0
要支援2	71	47.9	50.7	1.4

⑤歯磨きを毎日しているか

歯磨きを毎日しているかは、「はい」が93.7%、「いいえ」が6.0%となっている。

図表 45 歯磨きを毎日しているか



認定状況別での大きな差異は見られない。

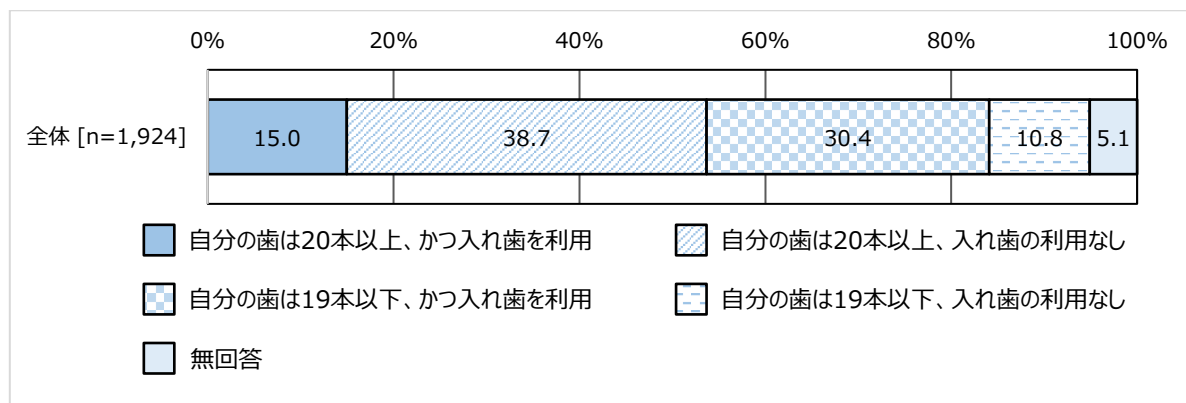
図表 46 歯磨きを毎日しているか(認定状況別)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	93.7	6.0	0.4
一般高齢者	1,735	93.7	6.0	0.3
事業対象者	14	100.0	0.0	0.0
要支援1	104	95.2	4.8	0.0
要支援2	71	90.1	8.5	1.4

⑥歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 38.7%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 30.4%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.0%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.8%となっている。

図表 47 歯の数と入れ歯の利用状況



「自分の歯が 19 本以下」（入れ歯の利用有無は問わず）でみると、介護度が上がるにつれて割合が高くなる傾向にある。

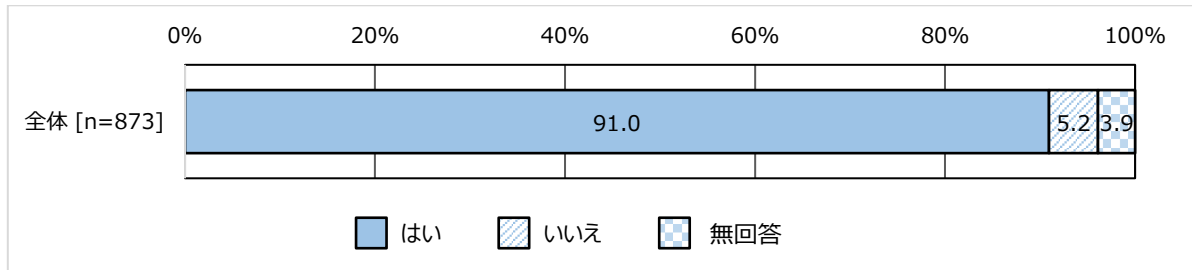
図表 48 歯の数と入れ歯の利用状況（認定状況別）

	合計(n=)	自分の歯は 20 本以上、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 20 本以上、 入れ歯の利 用なし	自分の歯は 19 本以下、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 19 本以下、 入れ歯の利 用なし
全体	1,924	15.0	38.7	30.4	10.8
一般高齢者	1,735	14.9	40.2	29.5	10.7
事業対象者	14	35.7	28.6	28.6	0.0
要支援 1	104	14.4	27.9	40.4	8.7
要支援 2	71	12.7	21.1	39.4	19.7

⑦毎日入れ歯の手入れをしているか

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に、毎日入れ歯の手入れをしているかを聞いたところ、「はい」が 91.0%、「いいえ」が 5.2%となっている。

図表 49 毎日入れ歯の手入れをしているか



「いいえ」の割合が「事業対象者」でやや高いが、全体の傾向はおおむね一致し「はい」が高い。

図表 50 毎日入れ歯の手入れをしているか(認定状況別)

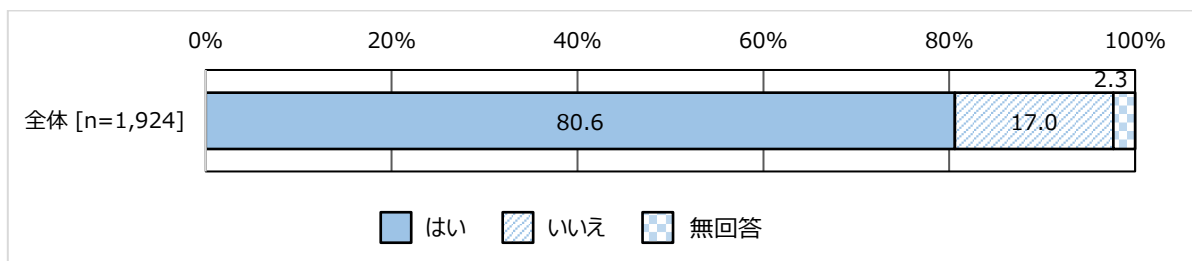
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	873	91.0	5.2	3.9
一般高齢者	770	91.0	4.9	4.0
事業対象者	9	88.9	11.1	0.0
要支援 1	57	91.2	5.3	3.5
要支援 2	37	89.2	8.1	2.7

⑧噛み合わせは良いか

噛み合わせは良いかは、「はい」が 80.6%、「いいえ」が 17.0%となっている。

図表 51 噛み合わせは良いか



「事業対象者」と「要支援 2」は「いいえ」の割合が相対的に高く、3 割前後を占めている。

図表 52 噛み合わせは良いか(認定状況別)

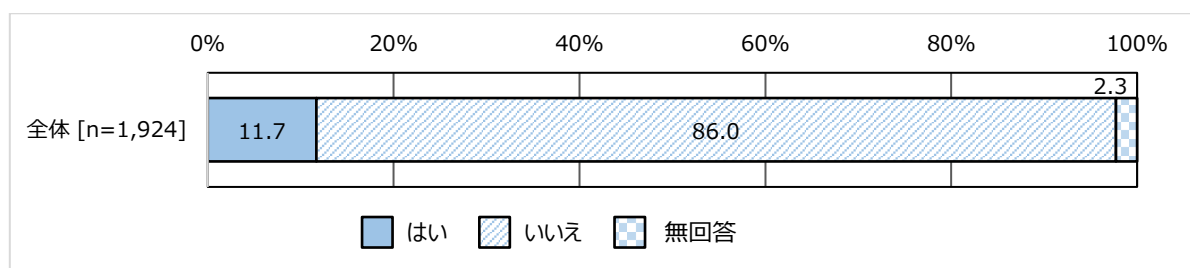
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	80.6	17.0	2.3
一般高齢者	1,735	81.4	16.4	2.2
事業対象者	14	71.4	28.6	0.0
要支援 1	104	79.8	16.3	3.8
要支援 2	71	64.8	31.0	4.2

⑨ 6 か月間での体重減少があったか

6 か月間での体重減少があったかは、「いいえ」が 86.0%、「はい」が 11.7%となっている。

図表 53 6 か月間での体重減少があったか



「はい」の割合は介護度が上がるにつれ高くなる傾向にある。

図表 54 6 か月間での体重減少があったか(認定状況別)

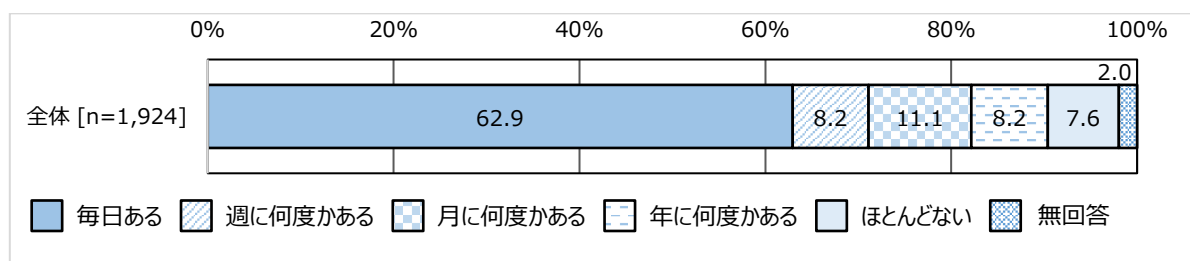
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	11.7	86.0	2.3
一般高齢者	1,735	10.7	87.0	2.2
事業対象者	14	14.3	85.7	0.0
要支援 1	104	20.2	76.9	2.9
要支援 2	71	22.5	74.6	2.8

⑩ 誰かと食事をとにもする機会はあるか

誰かと食事をとにもする機会はあるかは、「毎日ある」が 62.9%、「月に何度かある」が 11.1%、「年に何度かある」が 8.2%、「週に何度かある」が 8.2%、「ほとんどない」が 7.6%となる。

図表 55 誰かと食事をとにもする機会はあるか



「ほとんどない」の割合が「要支援 1」「要支援 2」に 1 割を超えてみられる。「毎日ある」の割合は「一般高齢者」が 65.1%と他に比べて高い。

図表 56 誰かと食事をとにもする機会はあるか(認定状況別)

(%)

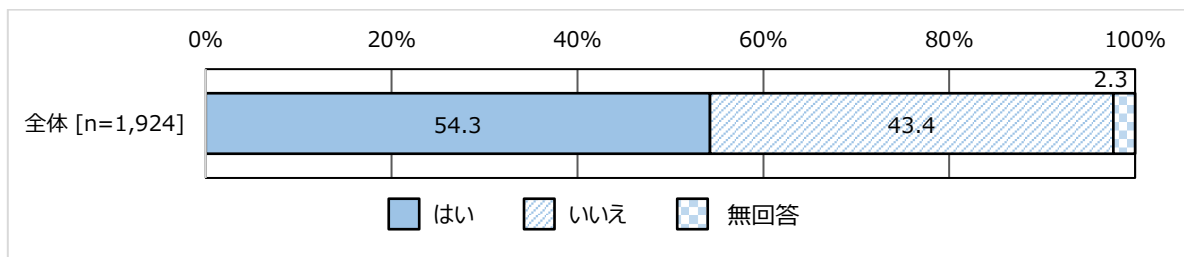
	合計(n=)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	1,924	62.9	8.2	11.1	8.2	7.6	2.0
一般高齢者	1,735	65.1	7.7	10.7	7.5	7.0	2.1
事業対象者	14	57.1	14.3	7.1	14.3	7.1	0.0
要支援 1	104	37.5	16.3	16.3	15.4	13.5	1.0
要支援 2	71	49.3	7.0	12.7	14.1	15.5	1.4

(5) 毎日の生活について

①物忘れが多いと感じるか

物忘れが多いと感じるかは、「はい」が54.3%、「いいえ」が43.4%となっている。

図表 57 物忘れが多いと感じるか



「はい」の割合は「事業対象者」「要支援1」「要支援2」で高くなっている。

図表 58 物忘れが多いと感じるか(認定状況別)

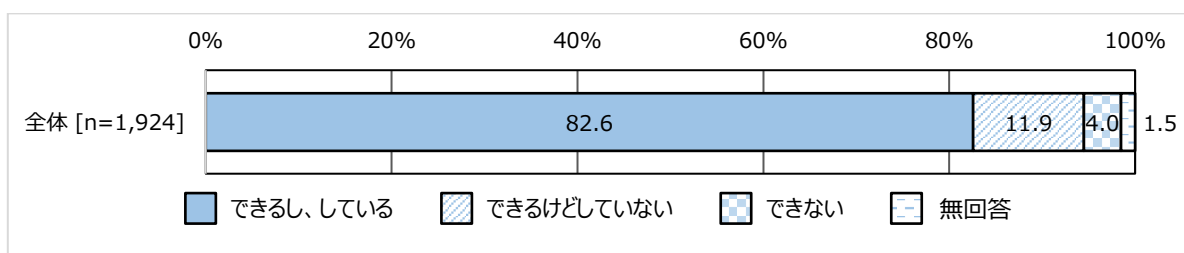
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	54.3	43.4	2.3
一般高齢者	1,735	52.9	44.8	2.3
事業対象者	14	78.6	14.3	7.1
要支援1	104	60.6	36.5	2.9
要支援2	71	74.6	23.9	1.4

②バスや電車を使って一人で外出するか

バスや電車を使って一人で外出するかは、「できるし、している」が82.6%、「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が4.0%となっている。

図表 59 バスや電車を使って一人で外出するか



「できない」の割合は介護度が上がるにつれ高くなり、「要支援2」では3割を占めている。

図表 60 バスや電車を使って一人で外出するか(認定状況別)

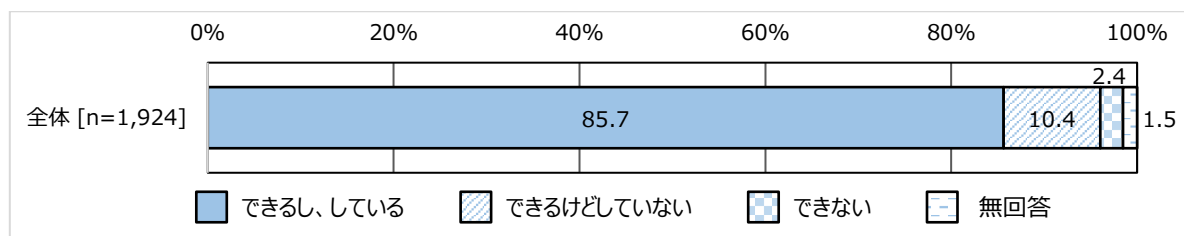
(%)

	合計(n=)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体	1,924	82.6	11.9	4.0	1.5
一般高齢者	1,735	84.6	11.6	2.2	1.5
事業対象者	14	92.9	0.0	7.1	0.0
要支援1	104	66.3	18.3	13.5	1.9
要支援2	71	54.9	11.3	32.4	1.4

③自分で食品・日用品の買い物をしているか

自分で食品・日用品の買い物をしているかは、「できるし、している」が85.7%、「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が2.4%となっている。

図表 61 自分で食品・日用品の買い物をしているか



「できない」の割合は介護度が上がるにつれ高くなり、「要支援2」では2割を占めている。

図表 62 自分で食品・日用品の買い物をしているか(認定状況別)

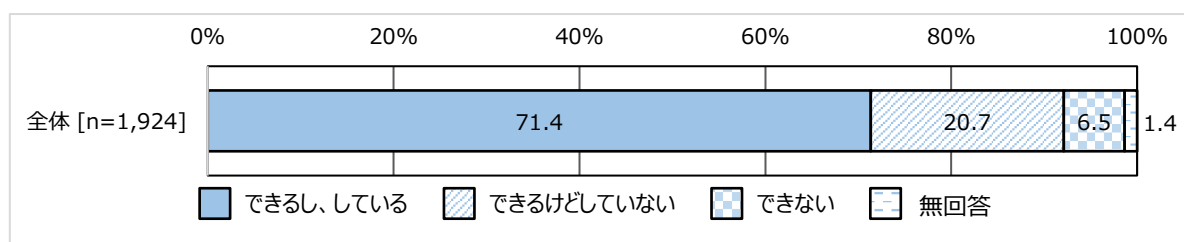
(%)

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	85.7	10.4	2.4	1.5
一般高齢者	1,735	87.3	10.0	1.4	1.4
事業対象者	14	92.9	0.0	7.1	0.0
要支援1	104	76.0	14.4	7.7	1.9
要支援2	71	59.2	16.9	19.7	4.2

④自分で食事の用意をしているか

自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が71.4%、「できるけどしていない」が20.7%、「できない」が6.5%となっている。

図表 63 自分で食事の用意をしているか



「できない」の割合は、「一般高齢者」が他と比べて低くなっている。

図表 64 自分で食事の用意をしているか(認定状況別)

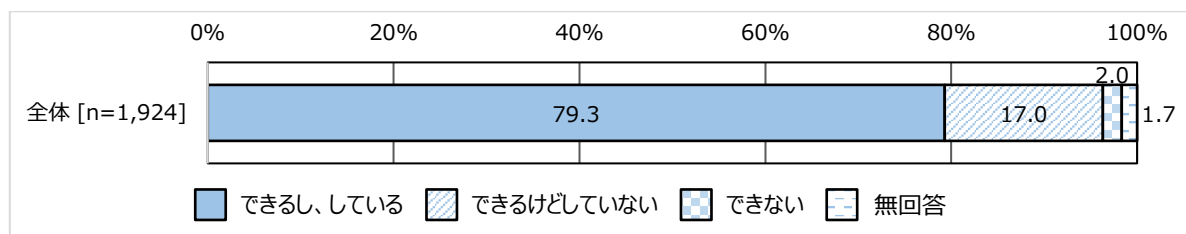
(%)

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	71.4	20.7	6.5	1.4
一般高齢者	1,735	71.4	21.5	5.8	1.3
事業対象者	14	71.4	14.3	14.3	0.0
要支援1	104	76.0	13.5	9.6	1.0
要支援2	71	64.8	14.1	18.3	2.8

⑤部屋の掃除を自分でしているか

部屋の掃除を自分でしているかは、「できるし、している」が79.3%、「できるけどしていない」が17.0%、「できない」が2.0%となっている。

図表 65 部屋の掃除を自分でしているか



「できない」の割合は、「一般高齢者」が他と比べて低く、ほぼいない状況となっている。

図表 66 部屋の掃除を自分でしているか(認定状況別)

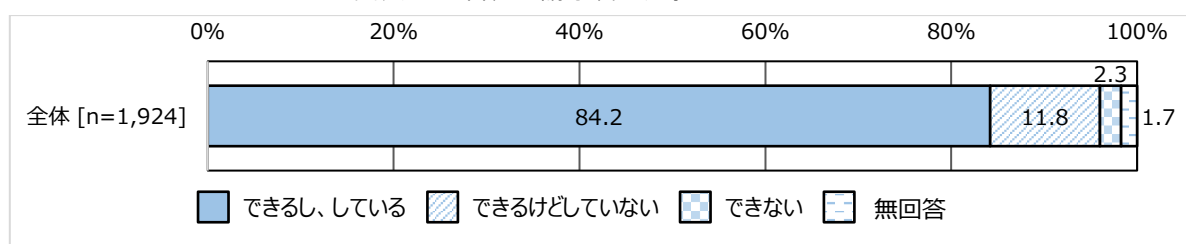
(%)

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	79.3	17.0	2.0	1.7
一般高齢者	1,735	80.4	16.9	1.1	1.6
事業対象者	14	78.6	7.1	14.3	0.0
要支援 1	104	75.0	15.4	6.7	2.9
要支援 2	71	59.2	22.5	15.5	2.8

⑥自分で請求書の支払いをしているか

自分で請求書の支払いをしているかは、「できるし、している」が84.2%、「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が2.3%となっている。

図表 67 自分で請求書の支払いをしているか



「できない」の割合は、「一般高齢者」が他と比べて低く、ほぼいない状況となっている。

図表 68 自分で請求書の支払いをしているか(認定状況別)

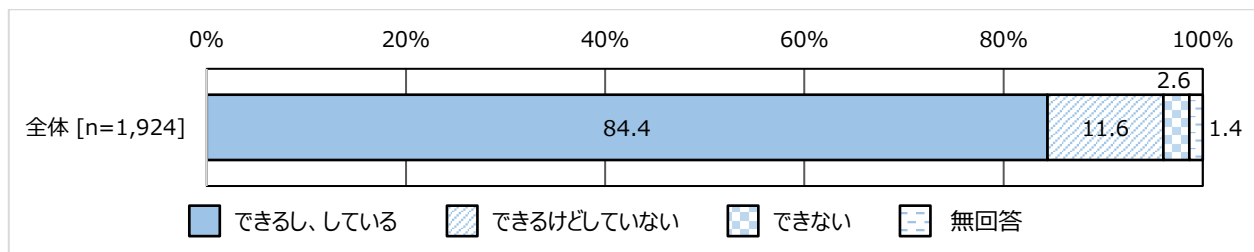
(%)

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	84.2	11.8	2.3	1.7
一般高齢者	1,735	84.7	12.0	1.6	1.7
事業対象者	14	92.9	0.0	7.1	0.0
要支援 1	104	79.8	14.4	4.8	1.0
要支援 2	71	77.5	5.6	14.1	2.8

⑦自分で預貯金の出し入れをしているか

自分で預貯金の出し入れをしているかは、「できるし、している」が84.4%、「できるけどしていない」が11.6%、「できない」が2.6%となっている。

図表 69 自分で預貯金の出し入れをしているか



「一般高齢者」「事業対象者」は「できるし、している」が大半であるが、「要支援1」「要支援2」ではその割合が下がる。「要支援2」は「できない」が15.5%と他と比べて高い。

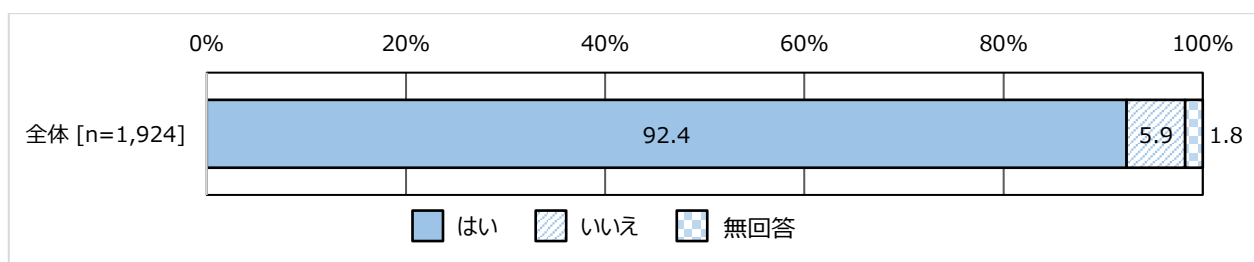
図表 70 自分で預貯金の出し入れをしているか(認定状況別)

	合計(n=)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体	1,924	84.4	11.6	2.6	1.4
一般高齢者	1,735	85.4	11.4	1.9	1.4
事業対象者	14	92.9	0.0	7.1	0.0
要支援1	104	76.9	17.3	4.8	1.0
要支援2	71	70.4	12.7	15.5	1.4

⑧年金などの書類が書けるか

年金などの書類が書けるかは、「はい」が92.4%、「いいえ」が5.9%となっている。

図表 71 年金などの書類が書けるか



「いいえ」の割合は介護度が上がるにつれ高くなり、「要支援2」では16.9%となる。

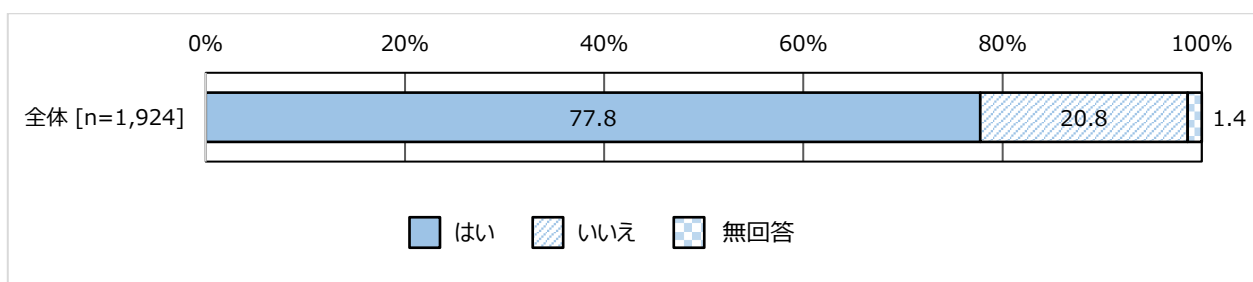
図表 72 年金などの書類が書けるか(認定状況別)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	92.4	5.9	1.8
一般高齢者	1,735	93.3	5.0	1.8
事業対象者	14	92.9	7.1	0.0
要支援1	104	85.6	13.5	1.0
要支援2	71	80.3	16.9	2.8

⑨新聞を読んでいるか

新聞を読んでいるかは、「はい」が77.8%、「いいえ」が20.8%となっている。

図表 73 新聞を読んでいるか



認定状況別での差異はみられない。

図表 74 新聞を読んでいるか(認定状況別)

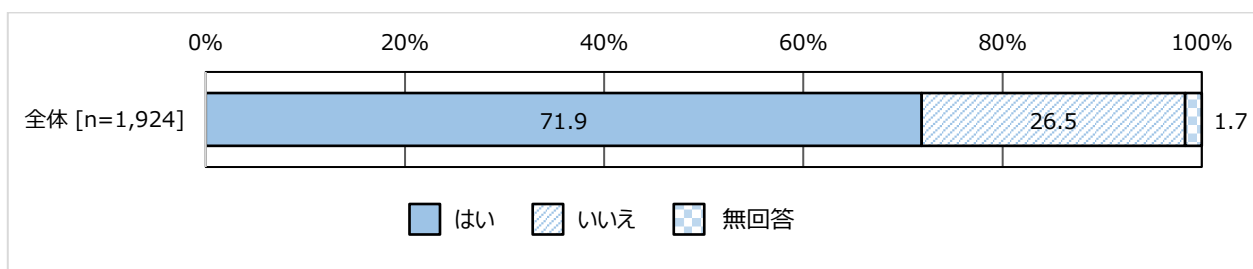
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	77.8	20.8	1.4
一般高齢者	1,735	78.2	20.4	1.4
事業対象者	14	78.6	21.4	0.0
要支援 1	104	74.0	25.0	1.0
要支援 2	71	71.8	25.4	2.8

⑩本や雑誌を読んでいるか

本や雑誌を読んでいるかは、「はい」が71.9%、「いいえ」が26.5%となっている。

図表 75 本や雑誌を読んでいるか



「いいえ」の割合は介護度が上がるにつれ高くなり、「要支援 2」では 36.6%となる。

図表 76 本や雑誌を読んでいるか(認定状況別)

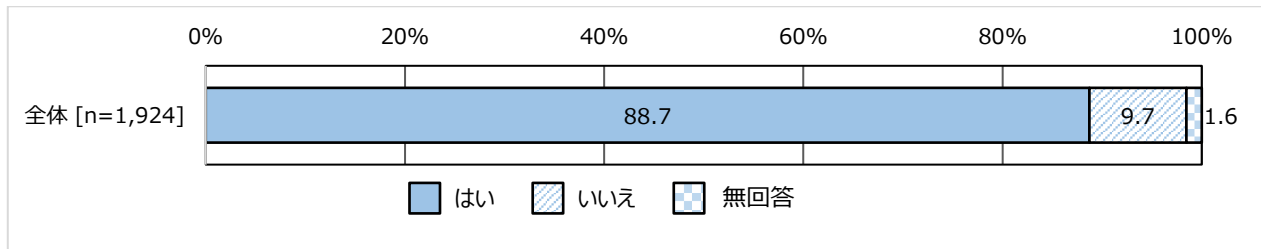
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	71.9	26.5	1.7
一般高齢者	1,735	72.7	25.6	1.7
事業対象者	14	71.4	28.6	0.0
要支援 1	104	64.4	33.7	1.9
要支援 2	71	62.0	36.6	1.4

⑪健康についての記事や番組に関心があるか

健康についての記事や番組に関心があるかは、「はい」が88.7%、「いいえ」が9.7%となっている。

図表 77 健康についての記事や番組に関心があるか



「要支援2」において「いいえ」の割合が他と比べて高く、18.3%となっている。

図表 78 健康についての記事や番組に関心があるか(認定状況別)

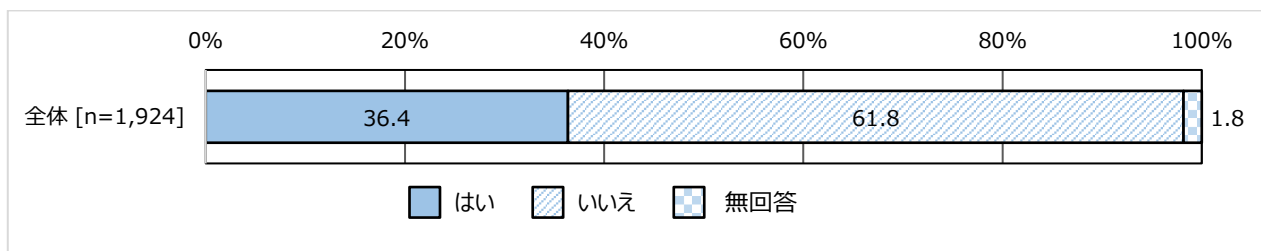
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	88.7	9.7	1.6
一般高齢者	1,735	88.8	9.7	1.5
事業対象者	14	92.9	7.1	0.0
要支援1	104	93.3	4.8	1.9
要支援2	71	78.9	18.3	2.8

⑫友人の家を訪ねているか

友人の家を訪ねているかは、「いいえ」が61.8%、「はい」が36.4%となっている。

図表 79 友人の家を訪ねているか



「要支援2」において「いいえ」の割合が他と比べて高くなり、73.2%となる。

図表 80 友人の家を訪ねているか(認定状況別)

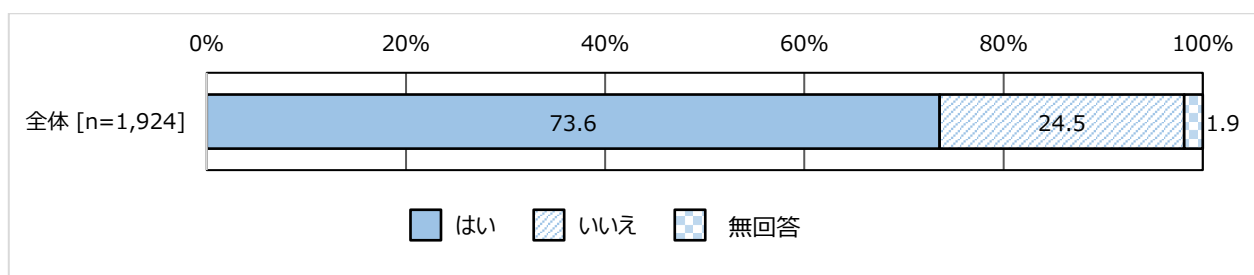
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	36.4	61.8	1.8
一般高齢者	1,735	36.9	61.2	1.9
事業対象者	14	35.7	64.3	0.0
要支援1	104	34.6	64.4	1.0
要支援2	71	25.4	73.2	1.4

⑬家族や友人の相談にのるか

家族や友人の相談にのるかは、「はい」が73.6%、「いいえ」が24.5%となっている。

図表 81 家族や友人の相談にのるか



「いいえ」の割合は、「一般高齢者」が他と比べて低くなっている。

図表 82 家族や友人の相談にのるか(認定状況別)

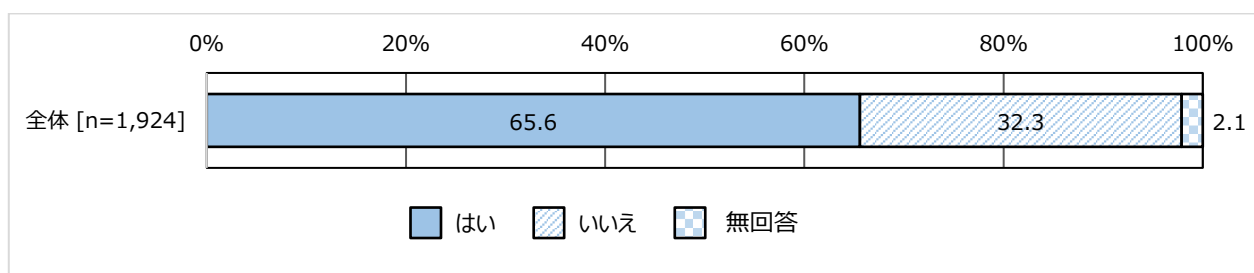
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	73.6	24.5	1.9
一般高齢者	1,735	75.0	23.0	2.0
事業対象者	14	50.0	50.0	0.0
要支援 1	104	64.4	34.6	1.0
要支援 2	71	56.3	42.3	1.4

⑭若い人に話しかけることがあるか

若い人に話しかけることがあるかは、「はい」が65.6%、「いいえ」が32.3%となっている。

図表 83 若い人に話しかけることがあるか



「一般高齢者」は他と比べて「はい」の割合が高い。但し、それほど大きな差異は無く、いずれの認定状況においても「はい」の割合が5割を超えている。

図表 84 若い人に話しかけることがあるか(認定状況別)

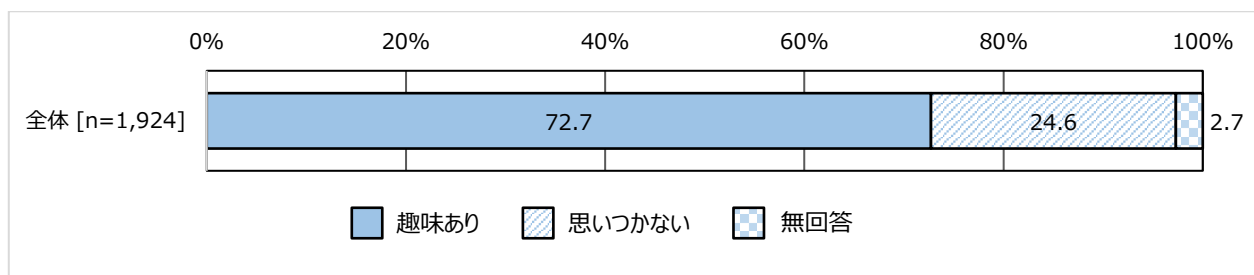
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	65.6	32.3	2.1
一般高齢者	1,735	66.3	31.5	2.1
事業対象者	14	50.0	50.0	0.0
要支援 1	104	59.6	38.5	1.9
要支援 2	71	59.2	38.0	2.8

⑮趣味の有無

趣味の有無は、「趣味あり」が72.7%、「思いつかない」が24.6%となっている。

図表 85 趣味の有無



「思いつかない」の割合は介護度が上がるにつれ高くなり、「要支援2」では38.0%となる。

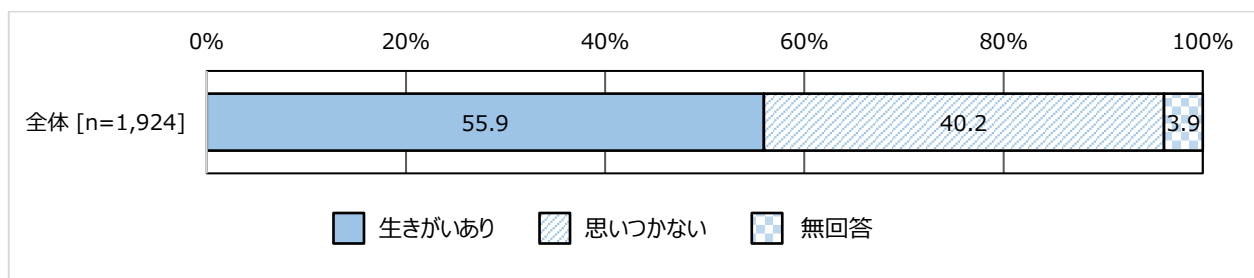
図表 86 趣味の有無(認定状況別)

	合計(n=)	趣味あり	思いつかない	無回答
全体	1,924	72.7	24.6	2.7
一般高齢者	1,735	73.7	23.6	2.8
事業対象者	14	71.4	28.6	0.0
要支援1	104	65.4	31.7	2.9
要支援2	71	60.6	38.0	1.4

⑯生きがいの有無

生きがいの有無は、「生きがいあり」が55.9%、「思いつかない」が40.2%となっている。

図表 87 生きがいの有無



「一般高齢者」は他と比べて「生きがいあり」の割合が高い。他は「思いつかない」の割合が「生きがいあり」より高い。

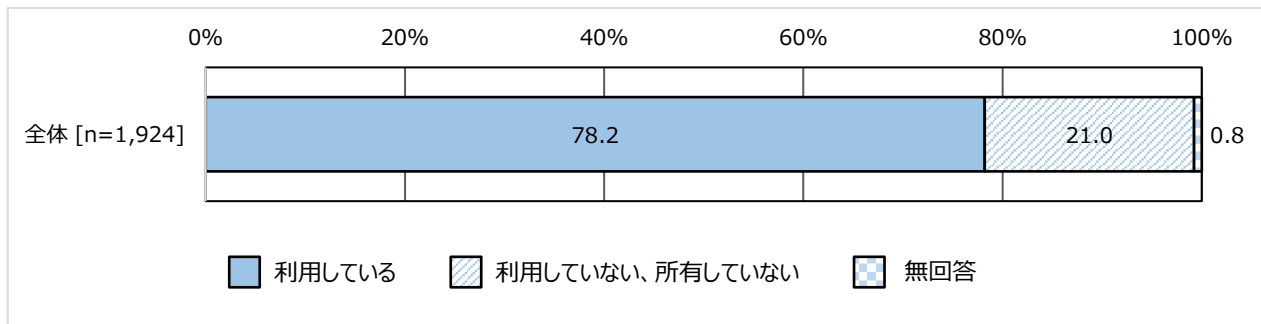
図表 88 生きがいの有無(認定状況別)

	合計(n=)	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	1,924	55.9	40.2	3.9
一般高齢者	1,735	57.2	39.0	3.9
事業対象者	14	42.9	57.1	0.0
要支援1	104	46.2	48.1	5.8
要支援2	71	42.3	54.9	2.8

⑰スマートフォンを利用しているか

スマートフォンを利用しているかは、「利用している」が78.2%、「利用していない、所有していない」が21.0%となっている。

図表 89 スマートフォンを利用しているか



「一般高齢者」は他と比べて「利用している」の割合が高い。他は「利用していない、所有していない」の割合が「一般高齢者」より高く3～4割を占める。

図表 90 スマートフォンを利用しているか(認定状況別)

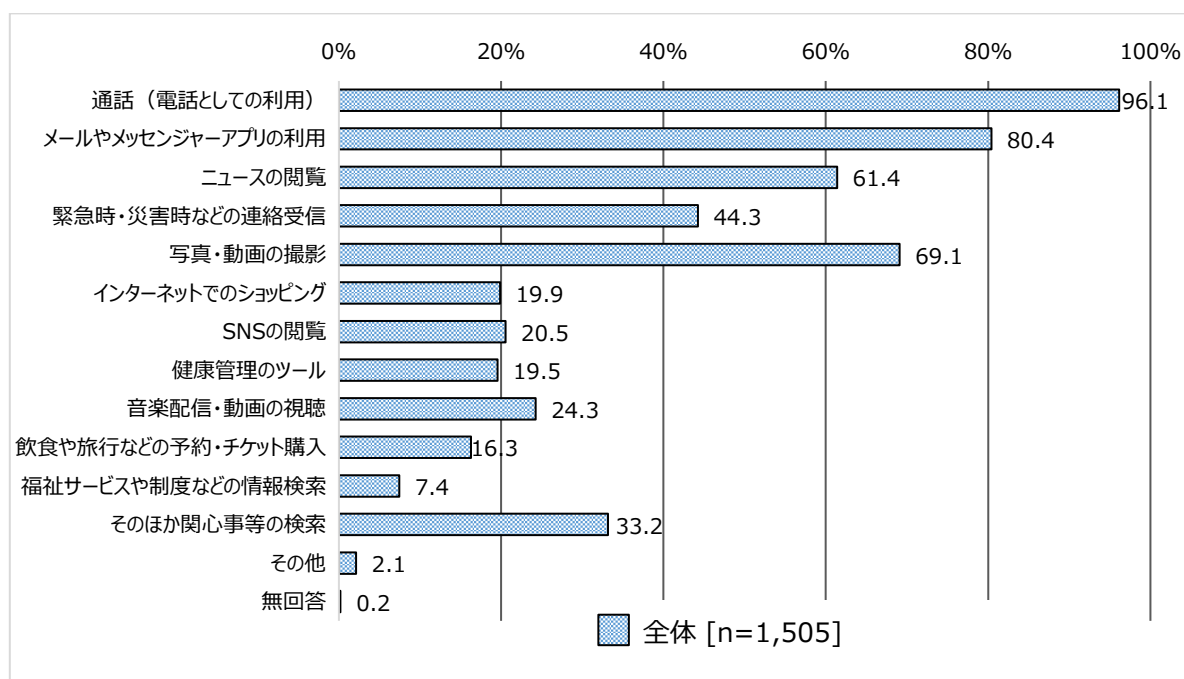
(%)

	合計(n=)	利用してい る	利用してい ない、所有し ていない	無回答
全体	1,924	78.2	21.0	0.8
一般高齢者	1,735	79.8	19.5	0.7
事業対象者	14	64.3	35.7	0.0
要支援1	104	67.3	31.7	1.0
要支援2	71	59.2	39.4	1.4

⑮スマートフォンの使用目的

スマートフォンを「利用している」と回答した方に、スマートフォンの使用目的を聞いたところ、「通話（電話としての利用）」が96.1%、「メールやメッセージアプリの利用」が80.4%、「写真・動画の撮影」が69.1%、「ニュースの閲覧」が61.4%、「緊急時・災害時などの連絡受信」が44.3%、「そのほか関心事等の検索」が33.2%、「音楽配信・動画の視聴」が24.3%、「SNSの閲覧」が20.5%、「インターネットでのショッピング」が19.9%、「健康管理のツール」が19.5%、「飲食や旅行などの予約・チケット購入」が16.3%、「福祉サービスや制度などの情報検索」が7.4%となっている。

図表 91 スマートフォンの使用目的〔複数回答〕



「一般高齢者」は目的全般での使用が、他と比べて多い。「通話（電話としての利用）」「メールやメッセージアプリの利用」「写真・動画の撮影」「ニュースの閲覧」などは、他の認定状況においても高くなっている。要支援などになると使用が全般的に低くなる傾向がある。

図表 92 スマートフォンの使用目的〔複数回答〕（認定状況別）

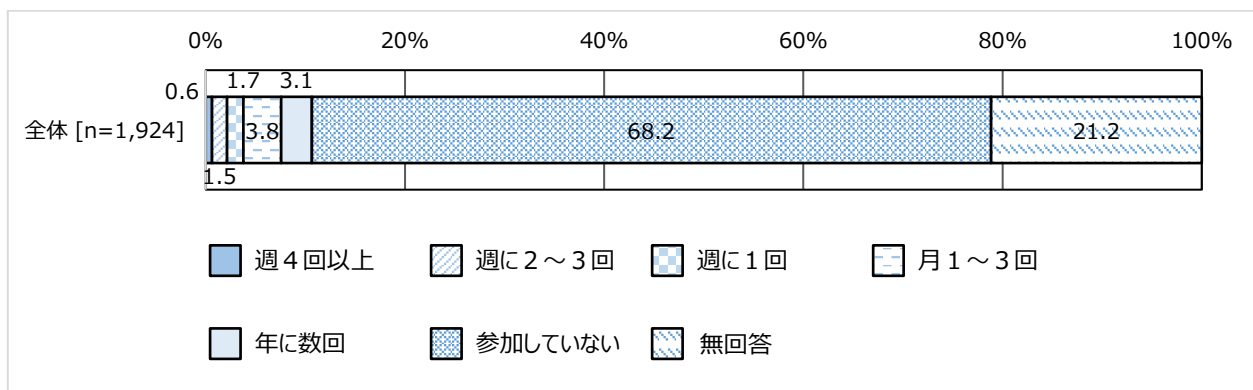
	合計 (n)	通話 (電話としての利用)	メールや メッセージ アプリの 利用	ニュースの 閲覧	緊急時・ 災害時な どの連絡 受信	写真・動 画の撮影	イン ターネッ トでのシ ョッピ ング	SNSの 閲覧	健康 管理の ツール	音楽配 信・動 画の視 聴	飲食や 旅行な どの予 約・チ ケット 購入	福祉サ ービス や制度 などの 情報検 索	そのほ か関心 事等の 検索	その他	無回 答
全体	1,505	96.1	80.4	61.4	44.3	69.1	19.9	20.5	19.5	24.3	16.3	7.4	33.2	2.1	0.2
一般高齢者	1,384	96.2	82.7	62.9	45.4	70.5	21.2	21.2	20.2	25.2	17.4	7.7	34.1	2.2	0.1
事業対象者	9	100.0	55.6	33.3	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0
要支援 1	70	94.3	51.4	44.3	34.3	48.6	2.9	15.7	14.3	11.4	2.9	5.7	17.1	0.0	1.4
要支援 2	42	97.6	59.5	45.2	28.6	54.8	7.1	7.1	9.5	14.3	2.4	4.8	28.6	2.4	0.0

(6) 地域での活動について

① ボランティアの参加頻度

ボランティアの参加頻度は、「参加していない」が 68.2%、「月 1～3 回」が 3.8%、「年に数回」が 3.1%、「週に 1 回」が 1.7%、「週に 2～3 回」が 1.5%、「週 4 回以上」が 0.6%となっている。

図表 93 参加頻度 ボランティア



認定状況別での差異はみられない。（「要支援 1」「要支援 2」は無回答割合が高い）

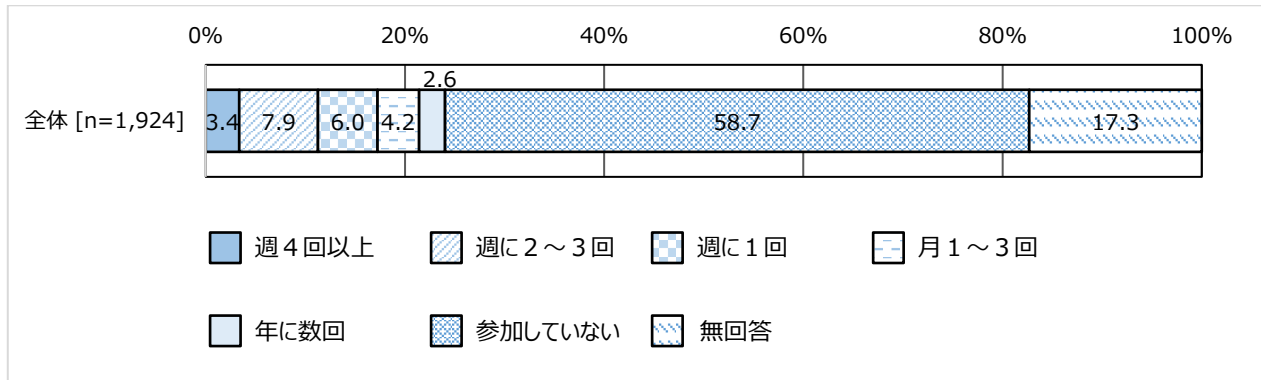
図表 94 参加頻度 ボランティア（認定状況別）

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	0.6	1.5	1.7	3.8	3.1	68.2	21.2
一般高齢者	1,735	0.7	1.6	1.7	3.6	3.3	69.7	19.4
事業対象者	14	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	64.3	14.3
要支援 1	104	0.0	1.0	1.0	3.8	1.0	51.0	42.3
要支援 2	71	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	57.7	35.2

②スポーツ関係の参加頻度

スポーツ関係の参加頻度は、「参加していない」が58.7%、「週に2～3回」が7.9%、「週に1回」が6.0%、「月1～3回」が4.2%、「週4回以上」が3.4%、「年に数回」が2.6%となっている。

図表 95 スポーツ関係の参加頻度



全体的な傾向に大きな差異はみられない。（「要支援1」「要支援2」は無回答割合が高い）

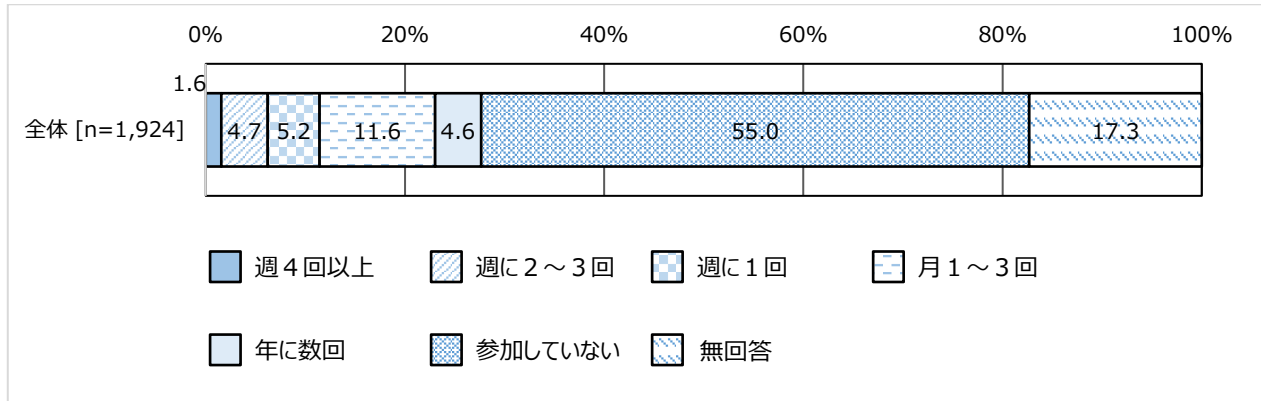
図表 96 スポーツ関係の参加頻度（認定状況別）

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	3.4	7.9	6.0	4.2	2.6	58.7	17.3
一般高齢者	1,735	3.7	8.1	6.1	4.3	2.8	59.8	15.3
事業対象者	14	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0	50.0	14.3
要支援1	104	1.0	8.7	4.8	3.8	1.0	42.3	38.5
要支援2	71	0.0	2.8	1.4	1.4	1.4	57.7	35.2

③趣味関係の参加頻度

趣味関係の参加頻度は、「参加していない」が55.0%、「月1～3回」が11.6%、「週に1回」が5.2%、「週に2～3回」が4.7%、「年に数回」が4.6%、「週4回以上」が1.6%となっている。

図表 97 趣味関係の参加頻度



全体的な傾向に大きな差異はみられない。（「要支援1」「要支援2」は無回答割合が高い）

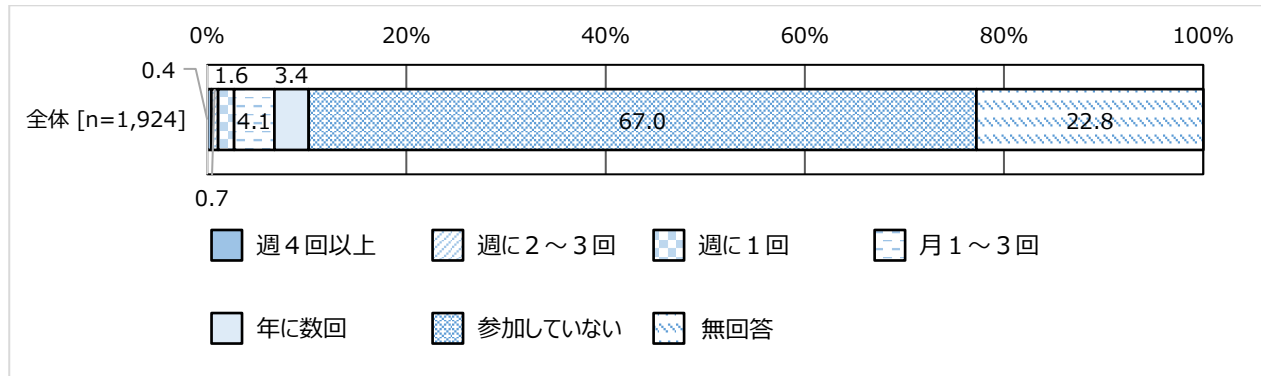
図表 98 趣味関係の参加頻度（認定状況別）

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	1.6	4.7	5.2	11.6	4.6	55.0	17.3
一般高齢者	1,735	1.6	4.9	5.3	11.6	4.8	56.4	15.3
事業対象者	14	0.0	0.0	0.0	28.6	7.1	42.9	21.4
要支援1	104	1.0	2.9	6.7	12.5	2.9	33.7	40.4
要支援2	71	1.4	2.8	1.4	5.6	1.4	54.9	32.4

④学習・教養サークルの参加頻度

学習・教養サークルの参加頻度は、「参加していない」が67.0%、「月1～3回」が4.1%、「年に数回」が3.4%、「週に1回」が1.6%、「週に2～3回」が0.7%、「週4回以上」が0.4%となっている。

図表 99 学習・教養サークルの参加頻度



全体的な傾向に大きな差異はみられない。（「要支援1」「要支援2」は無回答割合が高い）

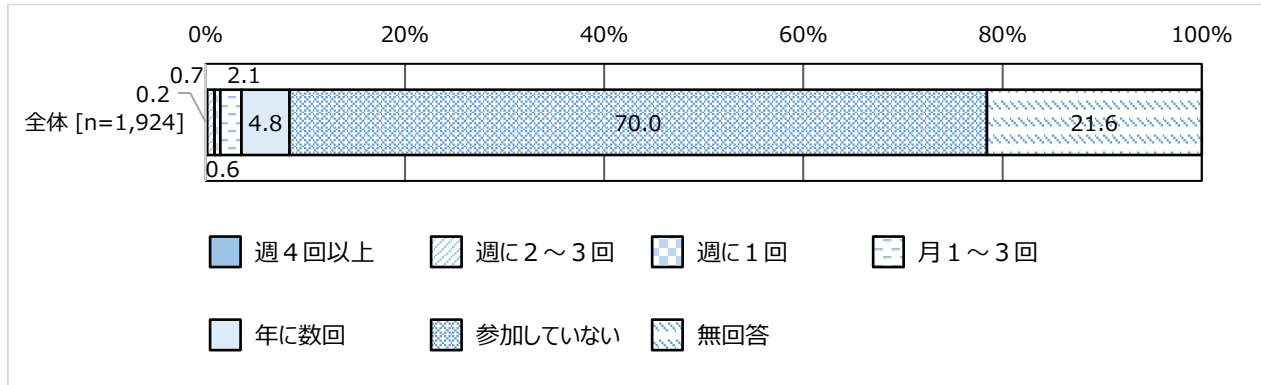
図表 100 学習・教養サークルの参加頻度（認定状況別）

	合計(人)	週4回以上	週に2～3回	週に1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	1,924	0.4	0.7	1.6	4.1	3.4	67.0	22.8
一般高齢者	1,735	0.4	0.7	1.5	4.1	3.5	68.9	20.9
事業対象者	14	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	57.1	28.6
要支援1	104	1.0	1.0	2.9	4.8	1.9	43.3	45.2
要支援2	71	0.0	0.0	1.4	1.4	2.8	59.2	35.2

⑤老人クラブの参加頻度

老人クラブの参加頻度は、「参加していない」が 70.0%、「年に数回」が 4.8%、「月 1～3 回」が 2.1%、「週に 2～3 回」が 0.7%、「週に 1 回」が 0.6%、「週 4 回以上」が 0.2%となっている。

図表 101 老人クラブの参加頻度



全体的な傾向に大きな差異はみられない。（「要支援 1」「要支援 2」は無回答割合が高い）

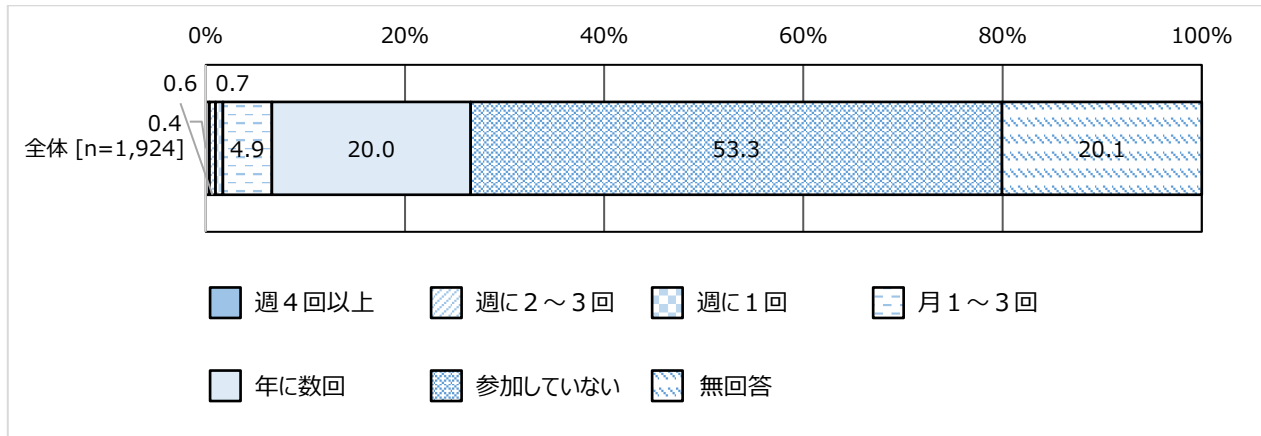
図表 102 老人クラブの参加頻度（認定状況別）

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	0.2	0.7	0.6	2.1	4.8	70.0	21.6
一般高齢者	1,735	0.2	0.7	0.5	1.6	5.1	71.9	20.0
事業対象者	14	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	57.1	21.4
要支援 1	104	0.0	1.0	1.0	8.7	3.8	47.1	38.5
要支援 2	71	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	59.2	35.2

⑥町内会・自治会の参加頻度

町内会・自治会の参加頻度は、「参加していない」が53.3%、「年に数回」が20.0%、「月1～3回」が4.9%、「週に1回」が0.7%、「週に2～3回」が0.6%、「週4回以上」が0.4%となっている。

図表 103 町内会・自治会の参加頻度



全体的な傾向に大きな差異はみられない。（「要支援1」「要支援2」は無回答割合が高い）

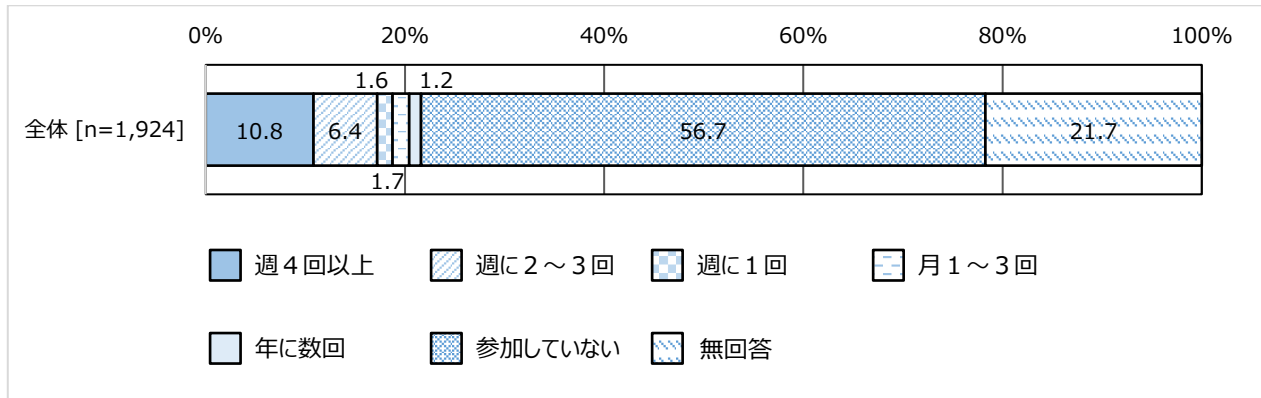
図表 104 町内会・自治会の参加頻度（認定状況別）

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	0.4	0.6	0.7	4.9	20.0	53.3	20.1
一般高齢者	1,735	0.3	0.6	0.7	5.1	20.9	54.1	18.3
事業対象者	14	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	42.9	28.6
要支援1	104	1.0	1.0	1.9	5.8	8.7	42.3	39.4
要支援2	71	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	53.5	33.8

⑦収入のある仕事の参加頻度

収入のある仕事の参加頻度は、「参加していない」が56.7%、「週4回以上」が10.8%、「週に2～3回」が6.4%、「月に1～3回」が1.7%、「週に1回」が1.6%、「年に数回」が1.2%となっている。

図表 105 収入のある仕事の参加頻度



「一般高齢者」に「週4回以上」が1割程度みられる。（「要支援1」「要支援2」は無回答割合が高い）

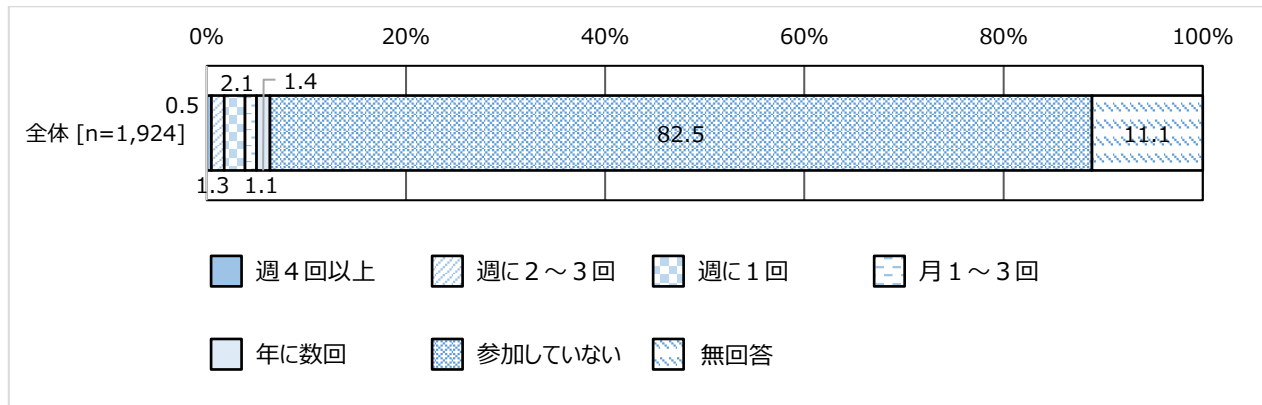
図表 106 収入のある仕事の参加頻度（認定状況別）

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	10.8	6.4	1.6	1.7	1.2	56.7	21.7
一般高齢者	1,735	11.9	6.9	1.6	1.7	1.3	57.2	19.5
事業対象者	14	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	50.0	28.6
要支援1	104	1.0	1.9	0.0	1.0	1.0	49.0	46.2
要支援2	71	1.4	1.4	2.8	0.0	0.0	54.9	39.4

⑧通いの場の参加頻度

通いの場の参加頻度は、「参加していない」が 82.5%、「週に 1 回」が 2.1%、「年に数回」が 1.4%、「週に 2～3 回」が 1.3%、「月 1～3 回」が 1.1%、「週 4 回以上」が 0.5%となっている。

図表 107 通いの場の参加頻度



「事業対象者」「要支援 2」に「週に 2～3 回」が、「要支援 1」に「週に 1 回」が若干高くなる。

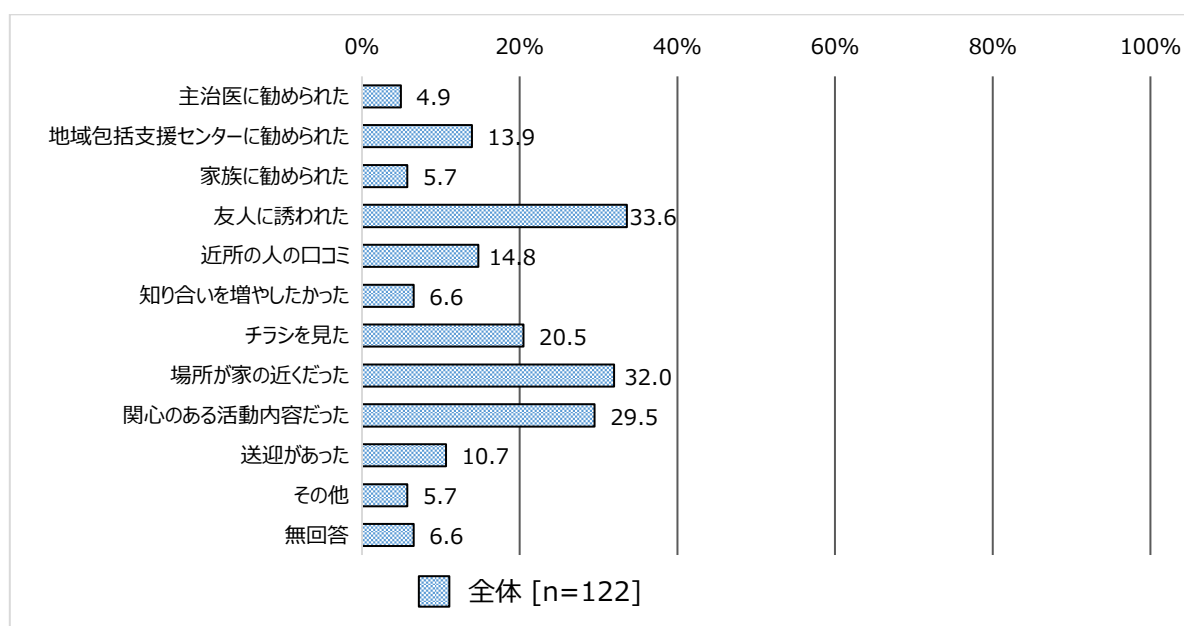
図表 108 通いの場の参加頻度(認定状況別)

	合計 (人)	週 4 回 以 上	週 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	1,924	0.5	1.3	2.1	1.1	1.4	82.5	11.1
一般高齢者	1,735	0.5	0.7	1.3	1.0	1.3	84.8	10.4
事業対象者	14	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	57.1	14.3
要支援 1	104	1.0	3.8	14.4	2.9	1.9	57.7	18.3
要支援 2	71	0.0	8.5	2.8	1.4	1.4	67.6	18.3

⑨ 通いの場に参加し始めたきっかけ

通いの場に参加していると回答した方に、通いの場に参加し始めたきっかけを聞いたところ、「友人に誘われた」が 33.6%、「場所が家の近くだった」が 32.0%、「関心のある活動内容だった」が 29.5%、「チラシを見た」が 20.5%、「近所の人からの口コミ」が 14.8%、「地域包括支援センターに勧められた」が 13.9%、「送迎があった」が 10.7%、「知り合いを増やしたかった」が 6.6%、「家族に勧められた」が 5.7%、「主治医に勧められた」が 4.9%となっている。

図表 109 通いの場に参加し始めたきっかけ〔複数回答〕



「一般高齢者」は「友人に誘われた」が 38.6%、「場所が家の近くだった」が 33.7%、「チラシを見た」が 25.3%と高くなる。「事業対象者」は「友人に誘われた」が相対的に高い。「要支援 1」は「地域包括支援センターに勧められた」が 52.0%、「要支援 2」は「場所が家の近くだった」が 40.0%と高い。

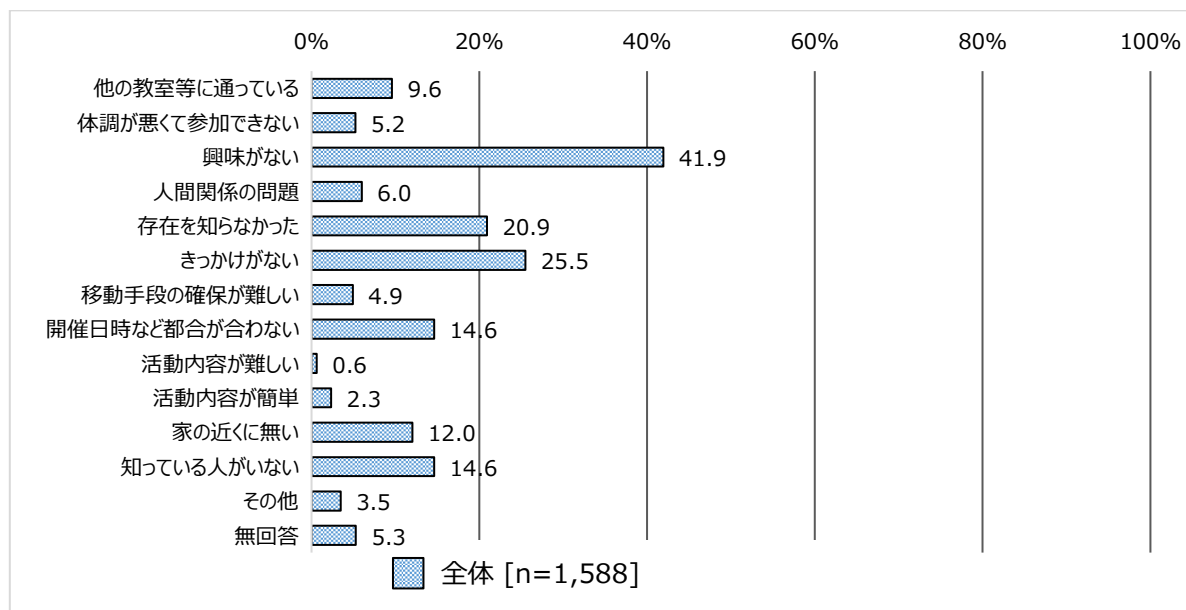
図表 110 通いの場に参加し始めたきっかけ〔複数回答〕(認定状況別)

	合計 (人)	主治医に勧められた	地域包括支援センターに勧められた	家族に勧められた	友人に誘われた	近所の人からの口コミ	知り合いを増やしたかった	チラシを見た	場所が家の近くだった
全体	122	4.9	13.9	5.7	33.6	14.8	6.6	20.5	32.0
一般高齢者	83	2.4	2.4	4.8	38.6	14.5	3.6	25.3	33.7
事業対象者	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
要支援 1	25	12.0	52.0	8.0	20.0	20.0	12.0	12.0	24.0
要支援 2	10	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	40.0

⑩ 通いの場に参加していない理由

通いの場に参加していないと回答した方に、その理由を聞いたところ、「興味がない」が 41.9%、「きっかけがない」が 25.5%、「存在を知らなかった」が 20.9%、「開催日時など都合が合わない」が 14.6%、「知っている人がいない」が 14.6%、「家の近くに無い」が 12.0%、「他の教室等に通っている」が 9.6%、「人間関係の問題」が 6.0%、「体調が悪くて参加できない」が 5.2%、「移動手段の確保が難しい」が 4.9%、「活動内容が簡単」が 2.3%、「活動内容が難しい」が 0.6%となっている。

図表 111 通いの場に参加していない理由〔複数回答〕



「85 歳以上」で「知っている人がいない」「家の近くに無い」「体調が悪くて参加できない」の割合が他と比べてやや高くなる。

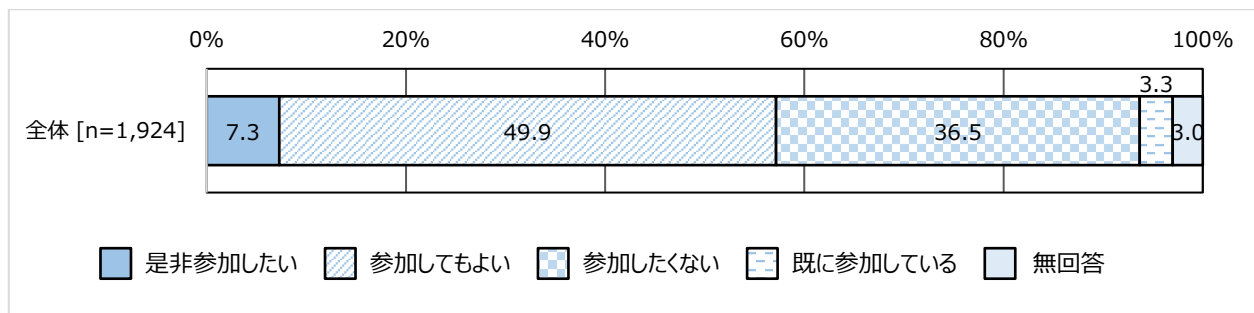
図表 112 通いの場に参加していない理由〔複数回答〕(年代別)

		(%)													
	合計(人)	他の教室等に通っている	体調が悪くて参加できない	興味がない	人間関係の問題	存在を知らなかった	きっかけがない	移動手段の確保が難しい	開催日時など都合が合わない	活動内容が難しい	活動内容が簡単	家の近くに無い	知っている人がいない	その他	無回答
全体	1,588	9.6	5.2	41.9	6.0	20.9	25.5	4.9	14.6	0.6	2.3	12.0	14.6	3.5	5.3
65～69 歳	349	10.0	2.0	46.1	4.0	30.9	24.1	2.3	16.9	0.6	3.2	10.0	13.8	3.2	4.3
70～74 歳	547	9.3	2.6	41.3	6.9	18.6	26.0	4.0	18.8	0.2	2.2	11.9	14.8	1.8	6.6
75～79 歳	370	11.9	7.8	40.3	5.9	16.2	26.2	2.2	8.9	0.3	1.6	9.2	12.2	3.8	5.7
80～84 歳	218	6.9	7.3	44.5	6.0	19.7	26.6	11.0	12.8	1.8	2.8	16.5	16.1	5.0	3.7
85 歳以上	102	6.9	14.7	31.4	7.8	18.6	23.5	14.7	8.8	2.0	2.0	20.6	21.6	8.8	3.9

⑪地域活動へ参加者として参加したいか

地域活動へ参加者として参加したいかは、「参加してもよい」が 49.9%、「参加したくない」が 36.5%、「是非参加したい」が 7.3%、「既に参加している」が 3.3%となっている。

図表 113 地域活動へ参加者として参加したいか



「事業対象者」の「是非参加したい」の割合が 35.7%と、他と比べて高い。

図表 114 地域活動へ参加者として参加したいか(認定状況別)

(%)

	合計(n=)	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答
全体	1,924	7.3	49.9	36.5	3.3	3.0
一般高齢者	1,735	6.7	50.3	37.0	3.5	2.5
事業対象者	14	35.7	42.9	7.1	0.0	14.3
要支援 1	104	11.5	51.0	29.8	1.9	5.8
要支援 2	71	8.5	40.8	39.4	2.8	8.5

日常生活圏域での差異はみられない。

図表 115 地域活動へ参加者として参加したいか(日常生活圏域別)

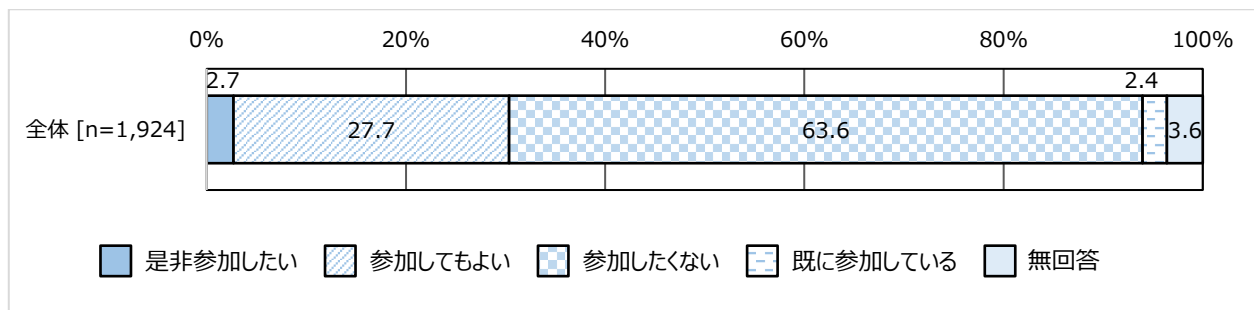
(%)

	合計(n=)	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答
全体	1,924	7.3	49.9	36.5	3.3	3.0
男山中学校圏域	476	7.8	47.7	35.9	4.6	4.0
男山第二中学校圏域	522	5.6	50.2	39.8	2.5	1.9
男山第三中学校圏域	536	8.0	49.6	36.4	3.2	2.8
男山東中学校圏域	386	8.0	52.8	32.6	2.8	3.6

⑫地域活動へ企画・運営として参加したいか

地域活動へ企画・運営として参加したいかは、「参加したくない」が63.6%、「参加してもよい」が27.7%、「是非参加したい」が2.7%、「既に参加している」が2.4%となっている。

図表 116 地域活動へ企画・運営として参加したいか



「要支援2」の「参加したくない」の割合が高い。

図表 117 地域活動へ企画・運営として参加したいか(認定状況別)

(%)

	合計(n=)	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答
全体	1,924	2.7	27.7	63.6	2.4	3.6
一般高齢者	1,735	2.6	28.1	63.7	2.5	3.2
事業対象者	14	0.0	35.7	57.1	0.0	7.1
要支援1	104	3.8	30.8	55.8	2.9	6.7
要支援2	71	4.2	11.3	74.6	1.4	8.5

日常生活圏域での差異はみられない。

図表 118 地域活動へ企画・運営として参加したいか(日常生活圏域別)

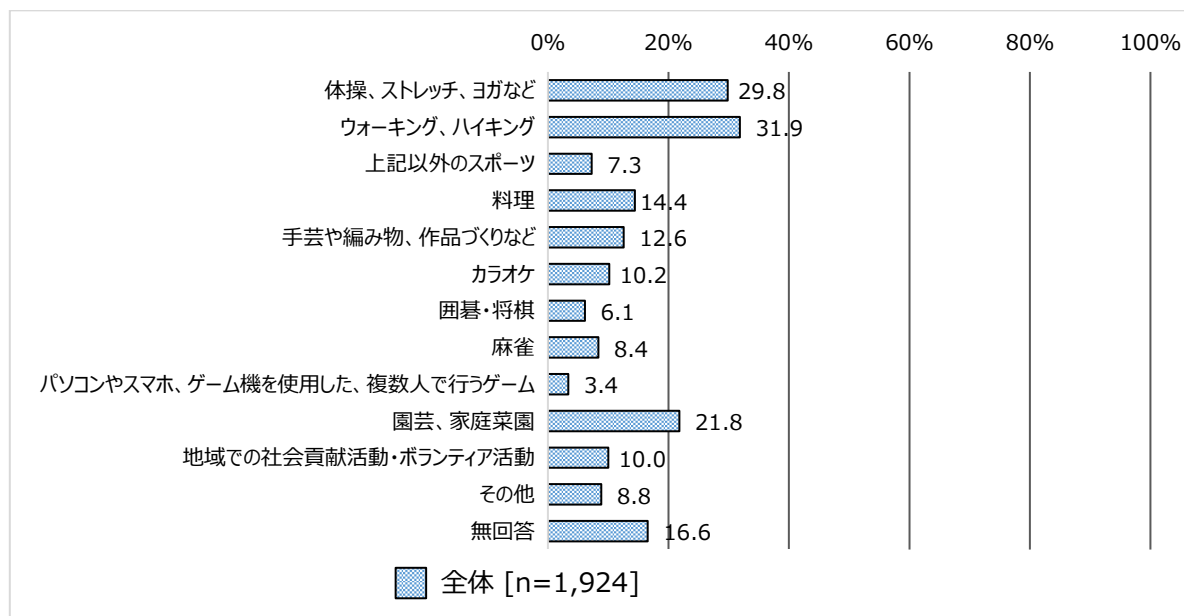
(%)

	合計(n=)	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答
全体	1,924	2.7	27.7	63.6	2.4	3.6
男山中学校圏域	476	2.9	25.6	63.2	4.0	4.2
男山第二中学校圏域	522	1.9	27.4	66.5	1.9	2.3
男山第三中学校圏域	536	3.2	26.3	64.4	2.4	3.7
男山東中学校圏域	386	2.8	32.6	58.8	1.3	4.4

⑬地域でどのような活動に参加したいか

地域でどのような活動に参加したいかは、「ウォーキング、ハイキング」が 31.9%、「体操、ストレッチ、ヨガなど」が 29.8%、「園芸、家庭菜園」が 21.8%、「料理」が 14.4%、「手芸や編み物、作品づくりなど」が 12.6%、「カラオケ」が 10.2%、「地域での社会貢献活動・ボランティア活動」が 10.0%、「麻雀」が 8.4%、「上記（「体操・・・」「ウォーキング・・・」）以外のスポーツ」が 7.3%、「囲碁・将棋」が 6.1%、「パソコンやスマホ、ゲーム機を使用した、複数人で行うゲーム」が 3.4% となっている。

図表 119 地域でどのような活動に参加したいか〔複数回答〕



全般に 79 歳まではおおむね傾向が同じとなる。80 歳以上ではスポーツ系の意向が他と比べて下がっている。「地域での社会貢献活動・ボランティア活動」は 75 歳以上で意向が低くなっている。85 歳以上は「料理」「手芸や編み物、作品づくり」も意向が下がる。80 歳以上では「カラオケ」、85 歳以上では「囲碁・将棋」の意向が相対的に高くなる。

図表 120 地域でどのような活動に参加したいか〔複数回答〕（年代別）

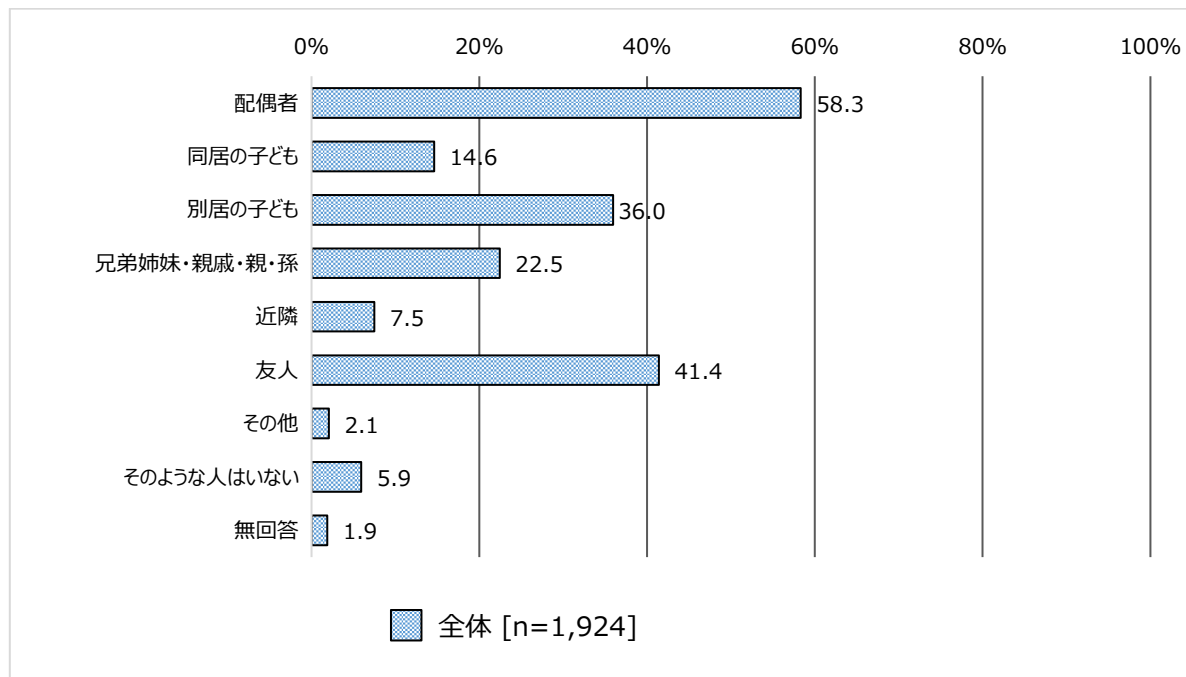
	合計 (人)	体操、ストレッチ、ヨガなど	ウォーキング、ハイキング	上記以外のスポーツ	料理	手芸や編み物、作品づくりなど	カラオケ	囲碁・将棋	麻雀	パソコンやスマホ、ゲーム機を使用した、複数人で行うゲーム	園芸、家庭菜園	地域での社会貢献活動・ボランティア活動	その他	無回答
全体	1,924	29.8	31.9	7.3	14.4	12.6	10.2	6.1	8.4	3.4	21.8	10.0	8.8	16.6
65～69 歳	373	34.0	40.2	11.3	17.2	15.8	8.8	5.9	8.3	4.8	20.9	14.2	10.7	11.5
70～74 歳	629	32.1	35.3	7.5	13.7	14.5	9.9	4.6	7.8	3.5	22.6	11.9	8.9	12.9
75～79 歳	470	30.2	33.2	5.7	15.7	10.4	7.0	6.0	8.7	2.1	23.6	7.4	6.0	19.6
80～84 歳	299	22.4	21.1	5.0	13.4	11.0	14.4	7.0	9.7	3.3	20.4	8.4	8.7	21.7
85 歳以上	151	23.8	14.6	6.0	9.3	6.6	15.9	11.9	6.6	3.3	18.5	3.3	13.2	24.5

(7) たすけあいについて

①心配事や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が 58.3%、「友人」が 41.4%、「別居の子ども」が 36.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 22.5%、「同居の子ども」が 14.6%、「近隣」が 7.5%、「そのような人はいない」が 5.9%となっている。

図表 121 心配事や愚痴を聞いてくれる人〔複数回答〕



「一般高齢者」は「配偶者」の割合が他と比べて高い。「要支援 1」「要支援 2」は「友人」の割合が他と比べて低く、「要支援 1」は「別居の子ども」の割合がやや高い。「そのような人はいない」は「要支援 1」「要支援 2」でやや高くなる。

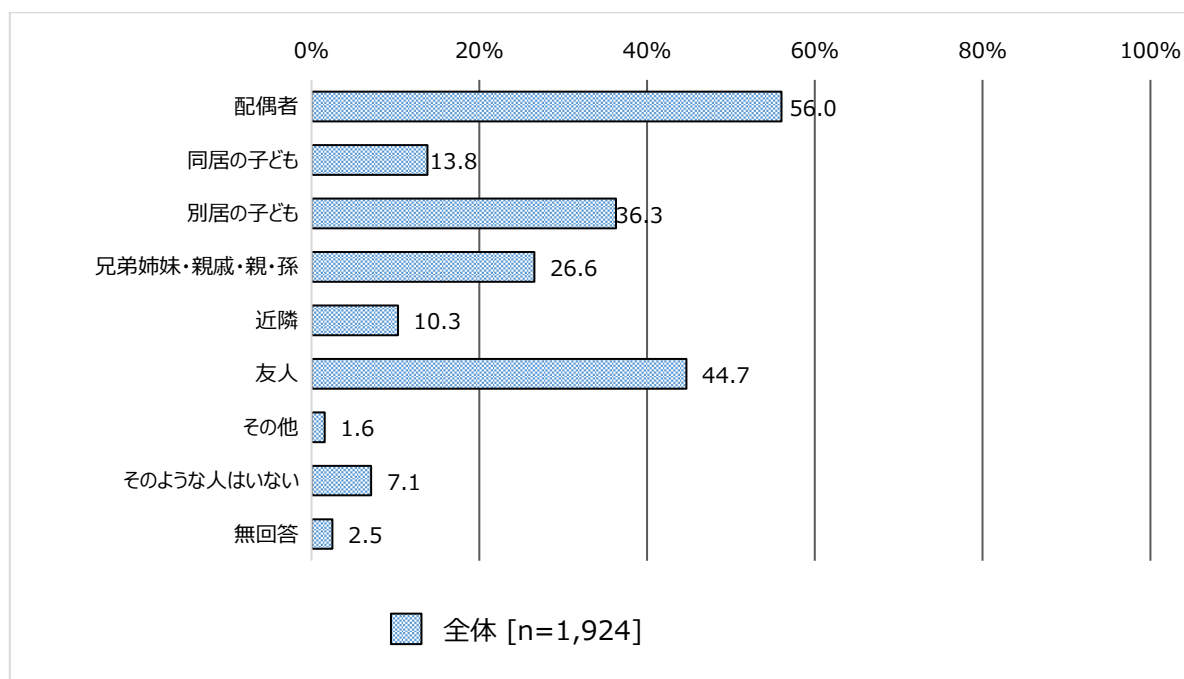
図表 122 心配事や愚痴を聞いてくれる人〔複数回答〕(認定状況別)

	合計 (人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,924	58.3	14.6	36.0	22.5	7.5	41.4	2.1	5.9	1.9
一般高齢者	1,735	60.2	14.9	35.7	22.3	7.4	42.3	2.1	5.6	1.5
事業対象者	14	42.9	14.3	28.6	28.6	0.0	42.9	0.0	7.1	7.1
要支援 1	104	44.2	11.5	41.3	20.2	6.7	31.7	1.0	8.7	4.8
要支援 2	71	36.6	12.7	35.2	28.2	11.3	33.8	4.2	8.5	5.6

②心配事や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が56.0%、「友人」が44.7%、「別居の子ども」が36.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.6%、「同居の子ども」が13.8%、「近隣」が10.3%、「そのような人はいない」が7.1%となっている。

図表 123 心配事や愚痴を聞いてあげる人〔複数回答〕



「一般高齢者」「要支援1」は「配偶者」の割合が他と比べて高い。「一般高齢者」は心配事や愚痴を聞いてあげる相手が全般にみられる。「要支援1」「要支援2」は「友人」の割合が他と比べて若干低く、「そのような人はいない」は「要支援1」「要支援2」でやや高くなる。

図表 124 心配事や愚痴を聞いてあげる人〔複数回答〕(認定状況別)

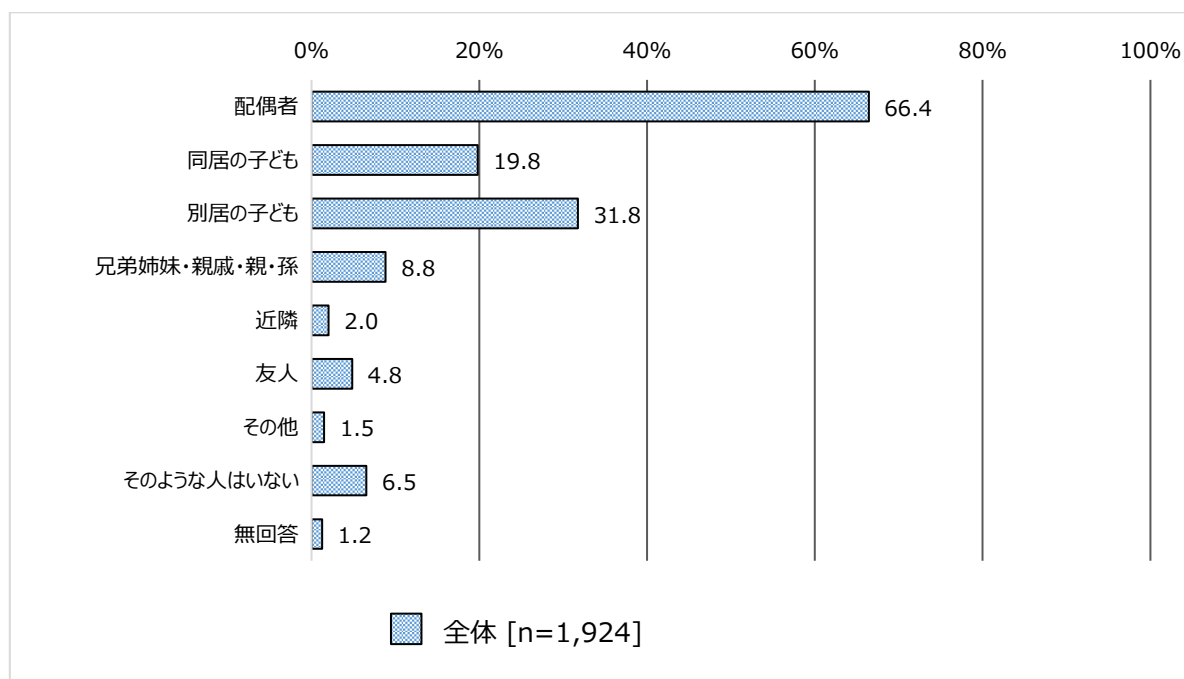
(%)

	合計 (n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,924	56.0	13.8	36.3	26.6	10.3	44.7	1.6	7.1	2.5
一般高齢者	1,735	58.1	14.5	37.1	27.1	10.4	45.3	1.7	6.5	2.1
事業対象者	14	28.6	0.0	28.6	21.4	0.0	57.1	0.0	7.1	0.0
要支援1	104	43.3	9.6	26.0	19.2	10.6	37.5	0.0	14.4	5.8
要支援2	71	29.6	5.6	33.8	23.9	9.9	38.0	0.0	12.7	7.0

③寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人

寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が 66.4%、「別居の子ども」が 31.8%、「同居の子ども」が 19.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 8.8%、「そのような人はいない」が 6.5%、「友人」が 4.8%、「近隣」が 2.0%となっている。

図表 125 寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人〔複数回答〕



いずれも「配偶者」「別居の子ども」の割合が高い。「配偶者」の割合は介護度が上がるにつれ低くなっている。「そのような人はいない」は「要支援1」でやや高い。

図表 126 寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人〔複数回答〕(認定状況別)

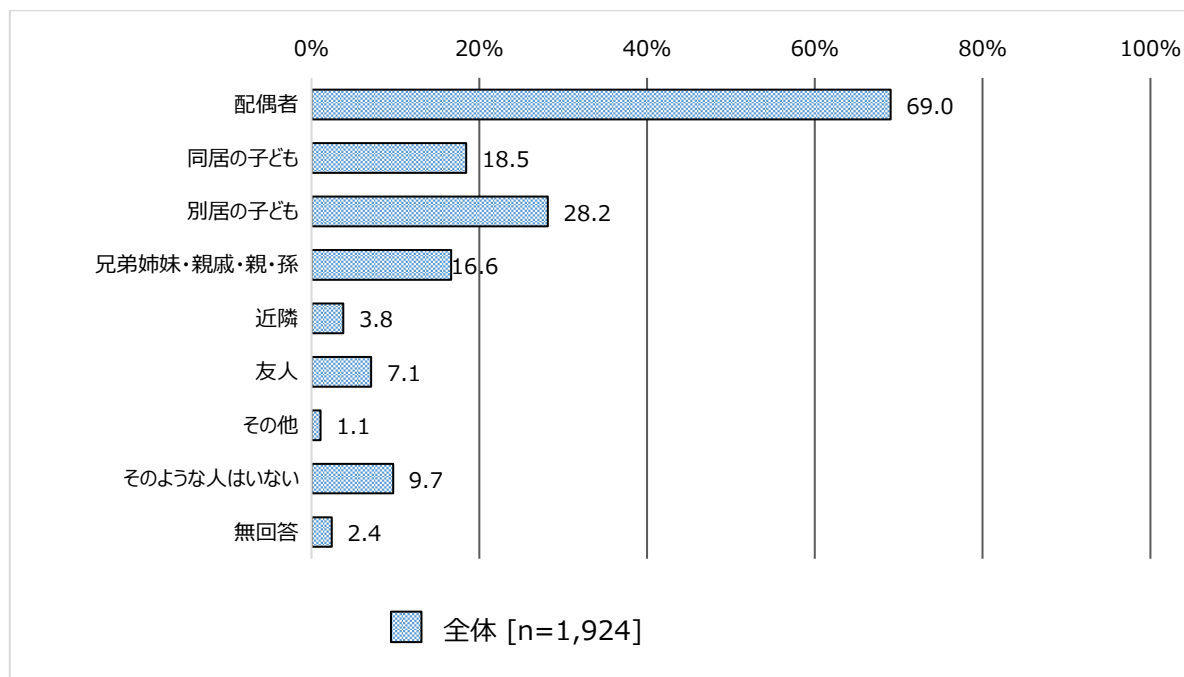
(%)

	合計 (Ⅱ)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,924	66.4	19.8	31.8	8.8	2.0	4.8	1.5	6.5	1.2
一般高齢者	1,735	68.4	19.9	31.6	8.6	1.9	4.8	1.3	6.1	0.9
事業対象者	14	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
要支援1	104	49.0	17.3	35.6	7.7	2.9	4.8	1.0	14.4	4.8
要支援2	71	46.5	22.5	33.8	15.5	4.2	7.0	5.6	7.0	4.2

④看病や世話をしあける人

看病や世話をしあける人は、「配偶者」が 69.0%、「別居の子ども」が 28.2%、「同居の子ども」が 18.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 16.6%、「そのような人はいない」が 9.7%、「友人」が 7.1%、「近隣」が 3.8%となっている。

図表 127 看病や世話をしあける人〔複数回答〕



いずれも「配偶者」の割合が高い。「配偶者」の割合は介護度が上がるにつれ低くなっている。「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「要支援1」「要支援2」において他の認定状況と比べて低くなっている（「別居の子ども」は「一般高齢者」との比較）。「そのような人はいない」は「要支援1」「要介護2」で高い。

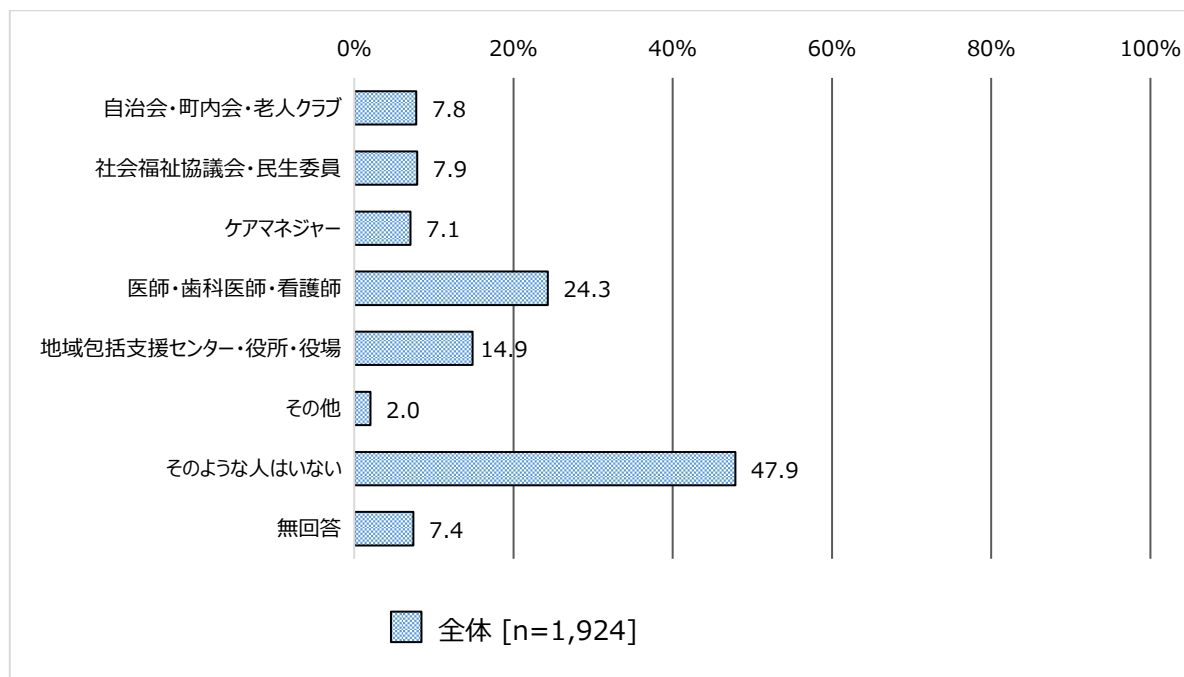
図表 128 看病や世話をしあける人〔複数回答〕（認定状況別）

	合計 (Ⅱ)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,924	69.0	18.5	28.2	16.6	3.8	7.1	1.1	9.7	2.4
一般高齢者	1,735	71.4	19.0	29.5	17.5	3.7	7.0	0.6	8.7	2.0
事業対象者	14	64.3	21.4	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0
要支援1	104	49.0	13.5	17.3	7.7	5.8	6.7	2.9	23.1	4.8
要支援2	71	42.3	11.3	18.3	9.9	4.2	11.3	9.9	15.5	8.5

⑤家族友人以外の相談相手

家族友人以外の相談相手は、「そのような人はいない」が47.9%、「医師・歯科医師・看護師」が24.3%、「地域包括支援センター・役所・役場」が14.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が7.9%、「自治会・町内会・老人クラブ」が7.8%、「ケアマネジャー」が7.1%となっている。

図表 129 家族友人以外の相談相手〔複数回答〕



「ケアマネジャー」の割合は「事業対象者」「要支援1」「要支援2」で高く、特に「要支援1」「要支援2」において高い。「そのような人はいない」については「一般高齢者」「事業対象者」の半数が該当している。「要支援1」では他と比べて「自治会・町内会・老人クラブ」「社会福祉協議会・民生委員」「地域包括支援センター・役所・役場」の割合がやや高くなる。

図表 130 家族友人以外の相談相手〔複数回答〕(認定状況別)

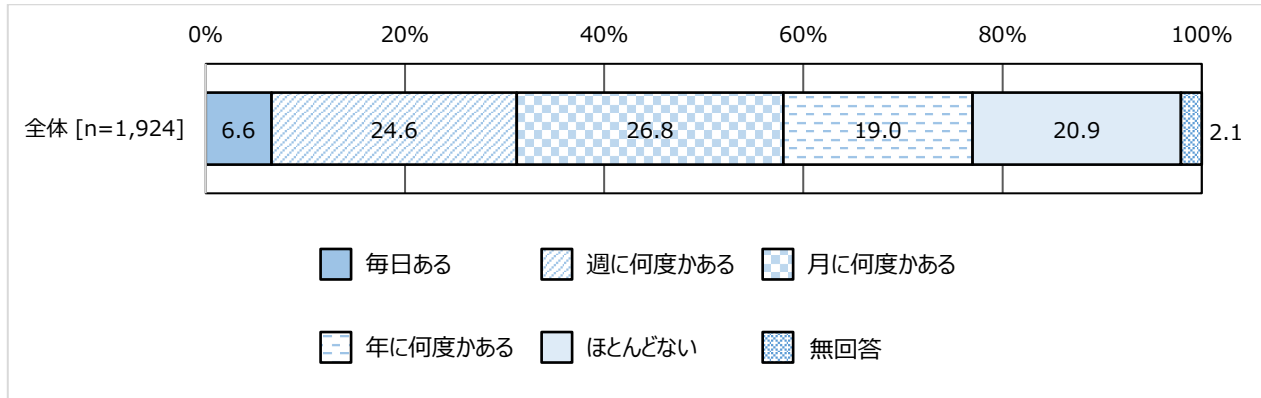
(%)

	合計 (人)	老人 クラブ	自治 会・ 町内 会・	民生 委員	社会 福祉 協議 会・	ケア マネ ジャー	看護 師	医師・ 歯科 医師・	地域 包括 支援 セン ター・ 役所・ 役場	その他	その ような 人はい ない	無回 答
全体	1,924	7.8	7.9	7.1	24.3	14.9	2.0	47.9	7.4			
一般高齢者	1,735	7.6	7.6	4.1	24.2	13.9	2.0	50.3	7.2			
事業対象者	14	7.1	0.0	14.3	28.6	21.4	0.0	50.0	7.1			
要支援1	104	12.5	14.4	30.8	23.1	25.0	2.9	23.1	10.6			
要支援2	71	7.0	8.5	42.3	28.2	21.1	1.4	23.9	8.5			

⑥友人知人と会う頻度

友人知人と会う頻度は、「月に何度かある」が26.8%、「週に何度かある」が24.6%、「ほとんどない」が20.9%、「年に何度かある」が19.0%、「毎日ある」が6.6%となっている。

図表 131 友人知人と会う頻度



「ほとんどない」は「要支援2」で高く、33.8%となっている。

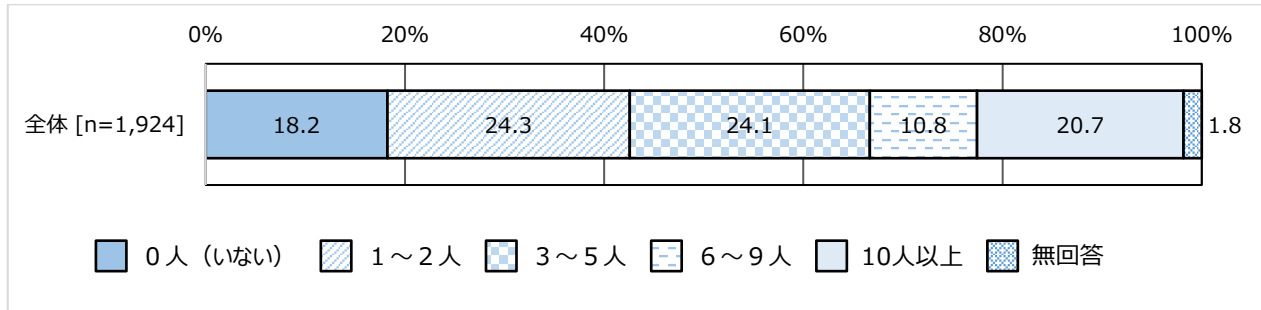
図表 132 友人知人と会う頻度(認定状況別)

	合計(n=)	毎日ある	週に何度 かある	月に何度 かある	年に何度 かある	ほとんどな い	無回答
全体	1,924	6.6	24.6	26.8	19.0	20.9	2.1
一般高齢者	1,735	6.9	25.2	26.5	19.3	20.3	1.8
事業対象者	14	0.0	14.3	50.0	14.3	21.4	0.0
要支援1	104	5.8	20.2	32.7	14.4	22.1	4.8
要支援2	71	2.8	18.3	21.1	18.3	33.8	5.6

⑦この1か月に会った友人知人の人数

この1か月に会った友人知人の人数は、「1～2人」が24.3%、「3～5人」が24.1%、「10人以上」が20.7%、「0人（いない）」が18.2%、「6～9人」が10.8%となっている。

図表 133 この1か月に会った友人知人の人数



「0人（いない）」は「要支援2」が他と比べて高く、23.9%となっている。

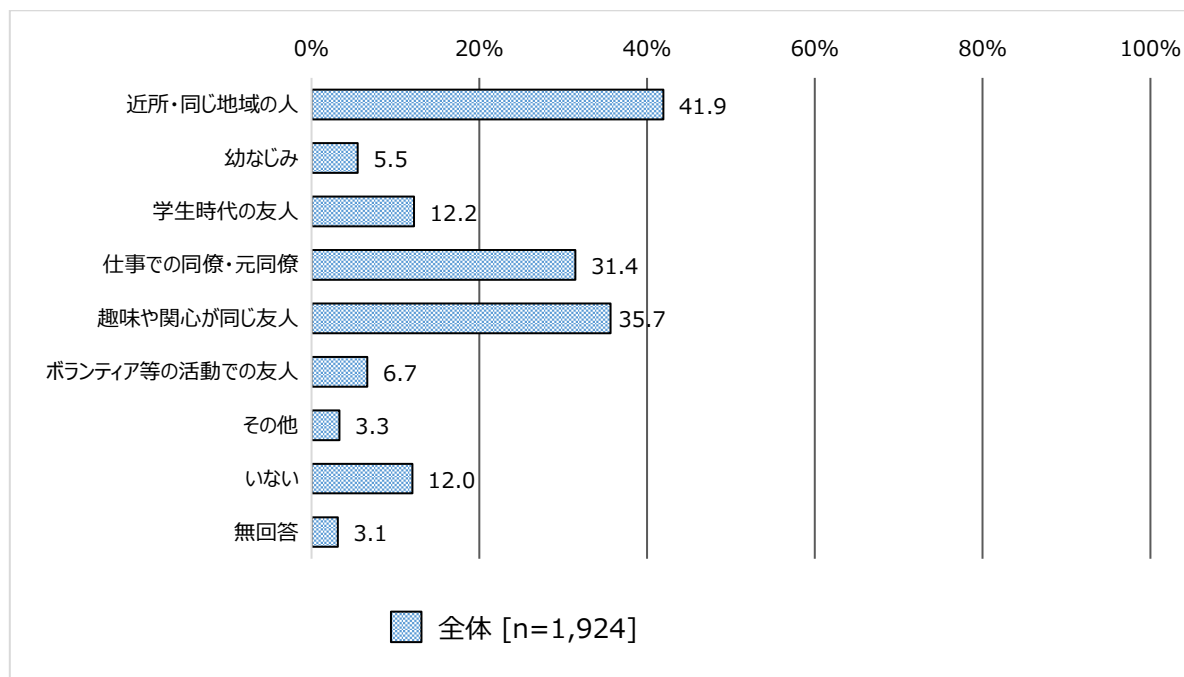
図表 134 この1か月に会った友人知人の人数（認定状況別）

	合計(n=)	0人 (いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全体	1,924	18.2	24.3	24.1	10.8	20.7	1.8
一般高齢者	1,735	18.3	23.6	23.7	11.0	21.8	1.6
事業対象者	14	7.1	42.9	28.6	7.1	7.1	7.1
要支援1	104	15.4	32.7	27.9	8.7	12.5	2.9
要支援2	71	23.9	25.4	26.8	9.9	9.9	4.2

⑧よく会う友人知人との関係

よく会う友人知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が 41.9%、「趣味や関心が同じ友人」が 35.7%、「仕事での同僚・元同僚」が 31.4%、「学生時代の友人」が 12.2%、「いない」が 12.0%、「ボランティア等の活動での友人」が 6.7%、「幼なじみ」が 5.5%となっている。

図表 135 よく会う友人知人との関係〔複数回答〕



「近所・同じ地域の人」は他と比べて「要支援 1」で高くなる。「趣味や関心が同じ友人」は他と比べて「事業対象者」が高くなる。「仕事での同僚・元同僚」は「事業対象者」「要支援 1」「要支援 2」において、「一般高齢者」と比べて低くなる。

図表 136 よく会う友人知人との関係〔複数回答〕(認定状況別)

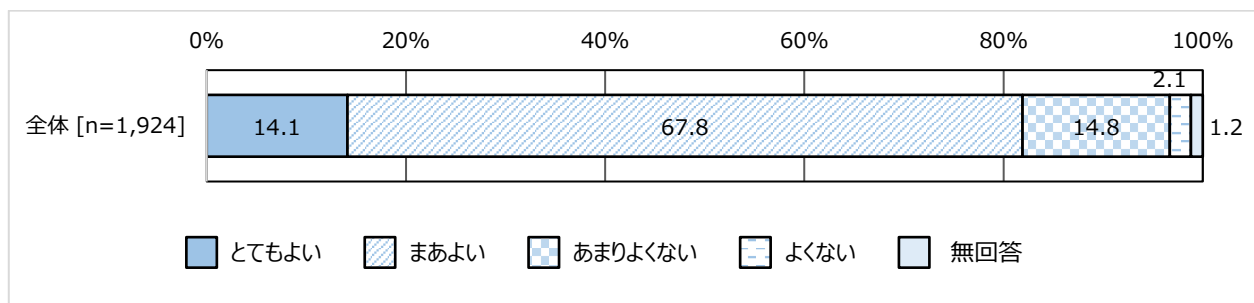
	合計 (Ⅱ)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	1,924	41.9	5.5	12.2	31.4	35.7	6.7	3.3	12.0	3.1
一般高齢者	1,735	41.0	5.5	12.7	33.2	36.4	6.6	3.0	11.8	2.9
事業対象者	14	42.9	14.3	7.1	7.1	42.9	21.4	0.0	14.3	7.1
要支援 1	104	52.9	4.8	8.7	16.3	30.8	5.8	3.8	12.5	2.9
要支援 2	71	47.9	5.6	7.0	15.5	23.9	7.0	11.3	16.9	8.5

(8) 健康について

①健康状態

健康状態は、「まあよい」が 67.8%、「あまりよくない」が 14.8%、「とてもよい」が 14.1%、「よくない」が 2.1%となっている。

図表 137 健康状態



「一般高齢者」は「とてもよい」と「まあよい」を合わせて 84.7%となるが、「事業対象者」は 71.4%、「要支援 1」は 57.7%、「要支援 2」は 49.3%と低くなり、「要支援 2」は「あまりよくない」と「よくない」を合わせて 46.4%となる。

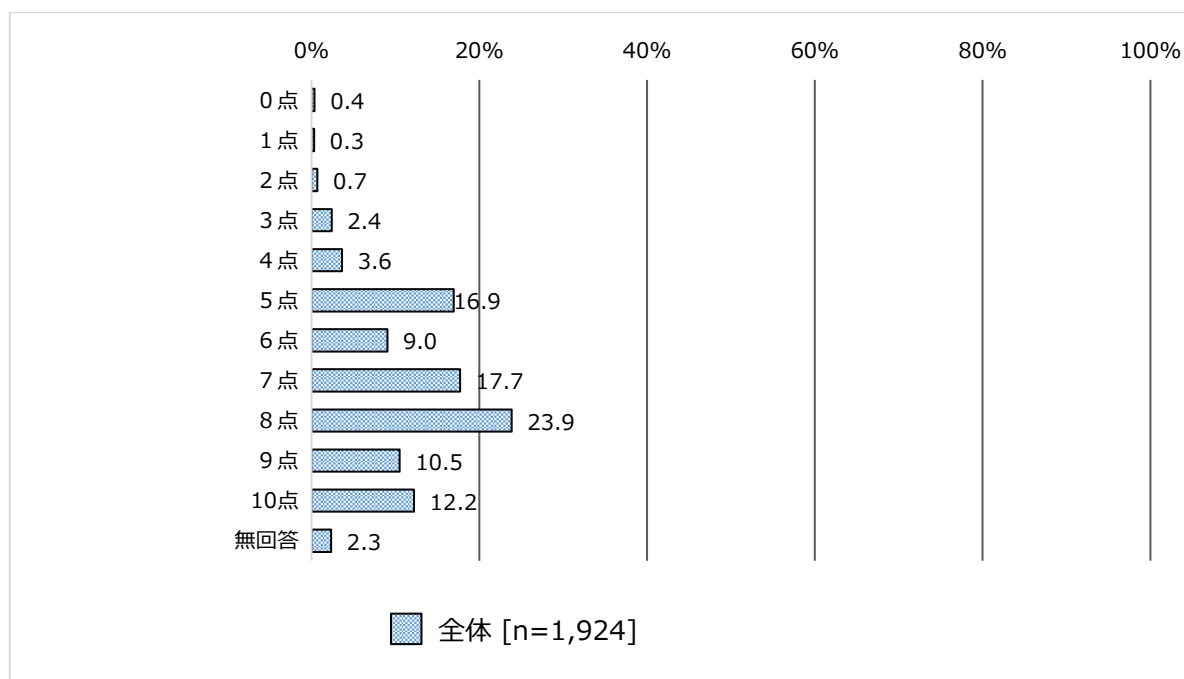
図表 138 健康状態(認定状況別)

	合計(n=)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	1,924	14.1	67.8	14.8	2.1	1.2
一般高齢者	1,735	15.0	69.7	12.7	1.5	1.0
事業対象者	14	0.0	71.4	21.4	7.1	0.0
要支援 1	104	8.7	49.0	29.8	9.6	2.9
要支援 2	71	2.8	46.5	40.8	5.6	4.2

②幸福度

幸福度は、「8点」が23.9%、「7点」が17.7%、「5点」が16.9%、「10点」が12.2%、「9点」が10.5%、「6点」が9.0%、「4点」が3.6%、「3点」が2.4%「2点」が0.7%、「0点」が0.4%、「1点」が0.3%となっている。平均は7.1点となっている。

図表 139 幸福度



最も多い得点を見ると、「一般高齢者」は「8点」が24.7%、「事業対象者」は「7点」が28.6%、「要支援1」は「5点」が25.0%、「要支援2」は「5点」が19.7%となる。「要支援2」は「4点」の割合が12.7%と他と比べて高い。

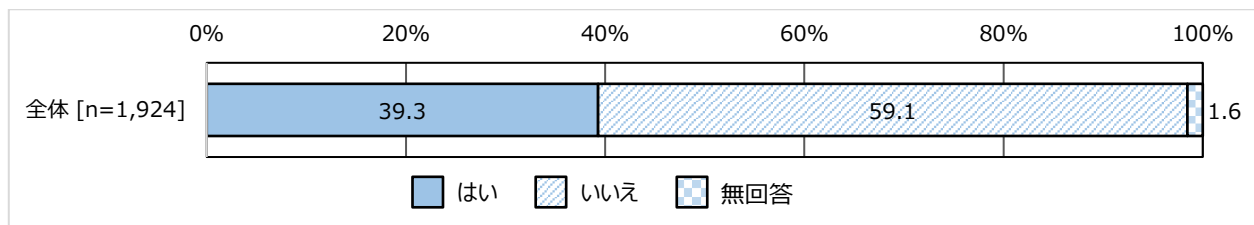
図表 140 幸福度(認定状況別)

	合計 (人)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答	平 均
全体	1,924	0.4	0.3	0.7	2.4	3.6	16.9	9.0	17.7	23.9	10.5	12.2	2.3	7.11
一般高齢者	1,735	0.3	0.3	0.6	2.4	3.2	16.4	8.9	17.8	24.7	10.8	12.3	2.1	7.15
事業対象者	14	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	0.0	7.00
要支援1	104	1.9	0.0	0.0	1.0	4.8	25.0	7.7	17.3	14.4	9.6	11.5	6.7	6.77
要支援2	71	0.0	0.0	2.8	4.2	12.7	19.7	11.3	14.1	16.9	4.2	11.3	2.8	6.38

③気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったかは、「いいえ」が59.1%、「はい」が39.3%となっている。

図表 141 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか



「一般高齢者」は「いいえ」が6割だが、そのほかは「はい」と「いいえ」が拮抗する結果となっている。

図表 142 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか(認定状況別)

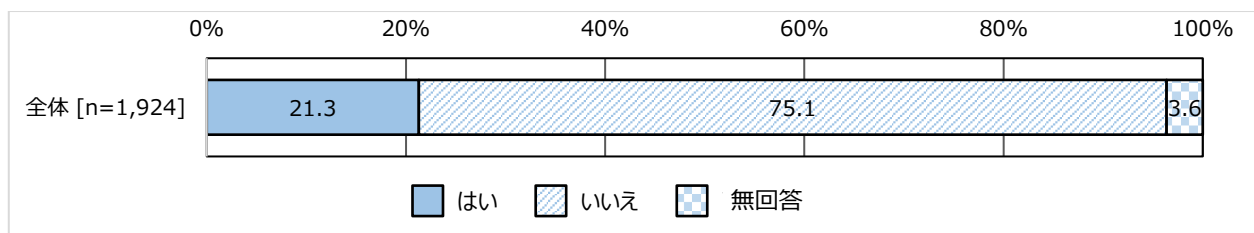
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	39.3	59.1	1.6
一般高齢者	1,735	38.3	60.3	1.4
事業対象者	14	50.0	50.0	0.0
要支援1	104	49.0	48.1	2.9
要支援2	71	47.9	47.9	4.2

④物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか

この1か月間、物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかは、「いいえ」が75.1%、「はい」が21.3%となっている。

図表 143 物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか



全体的に「いいえ」が高いが、「事業対象者」「要支援1」「要支援2」は「はい」の割合が相対的に高くなっている。

図表 144 物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか(認定状況別)

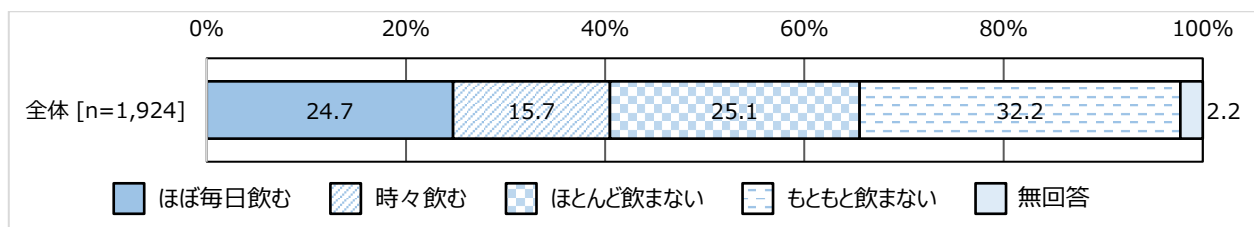
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	21.3	75.1	3.6
一般高齢者	1,735	20.0	76.7	3.3
事業対象者	14	35.7	57.1	7.1
要支援1	104	29.8	63.5	6.7
要支援2	71	38.0	56.3	5.6

⑤お酒は飲むか

お酒は飲むかは、「もともと飲まない」が32.2%、「ほとんど飲まない」が25.1%、「ほぼ毎日飲む」が24.7%、「時々飲む」が15.7%となっている。

図表 145 お酒は飲むか



「要支援2」は「もともと飲まない」の割合が53.5%と半数を占める。「ほとんど飲まない」と合わせると「要支援2」は80.3%を占める。

図表 146 お酒は飲むか(認定状況別)

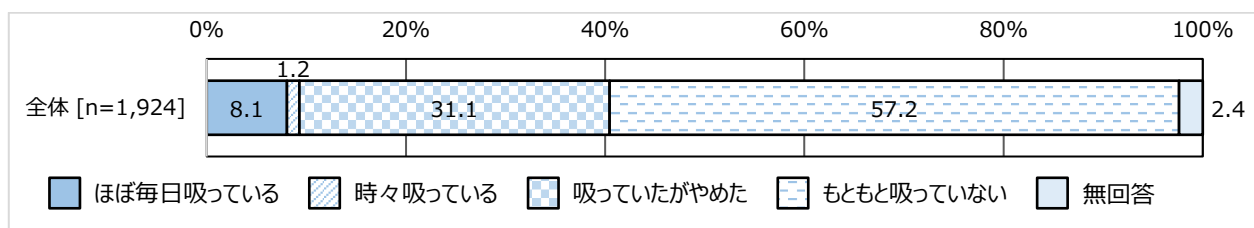
(%)

	合計(n=)	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体	1,924	24.7	15.7	25.1	32.2	2.2
一般高齢者	1,735	26.1	16.1	24.3	31.6	2.0
事業対象者	14	14.3	14.3	50.0	14.3	7.1
要支援1	104	14.4	17.3	33.7	30.8	3.8
要支援2	71	9.9	5.6	26.8	53.5	4.2

⑥タバコは吸うか

タバコは吸うかは、「もともと吸っていない」が57.2%、「吸っていたがやめた」が31.1%、「ほぼ毎日吸っている」が8.1%、「時々吸っている」が1.2%となっている。

図表 147 タバコは吸うか



「事業対象者」「要支援1」は「もともと吸っていない」の割合が7割と高い。

図表 148 タバコは吸うか(認定状況別)

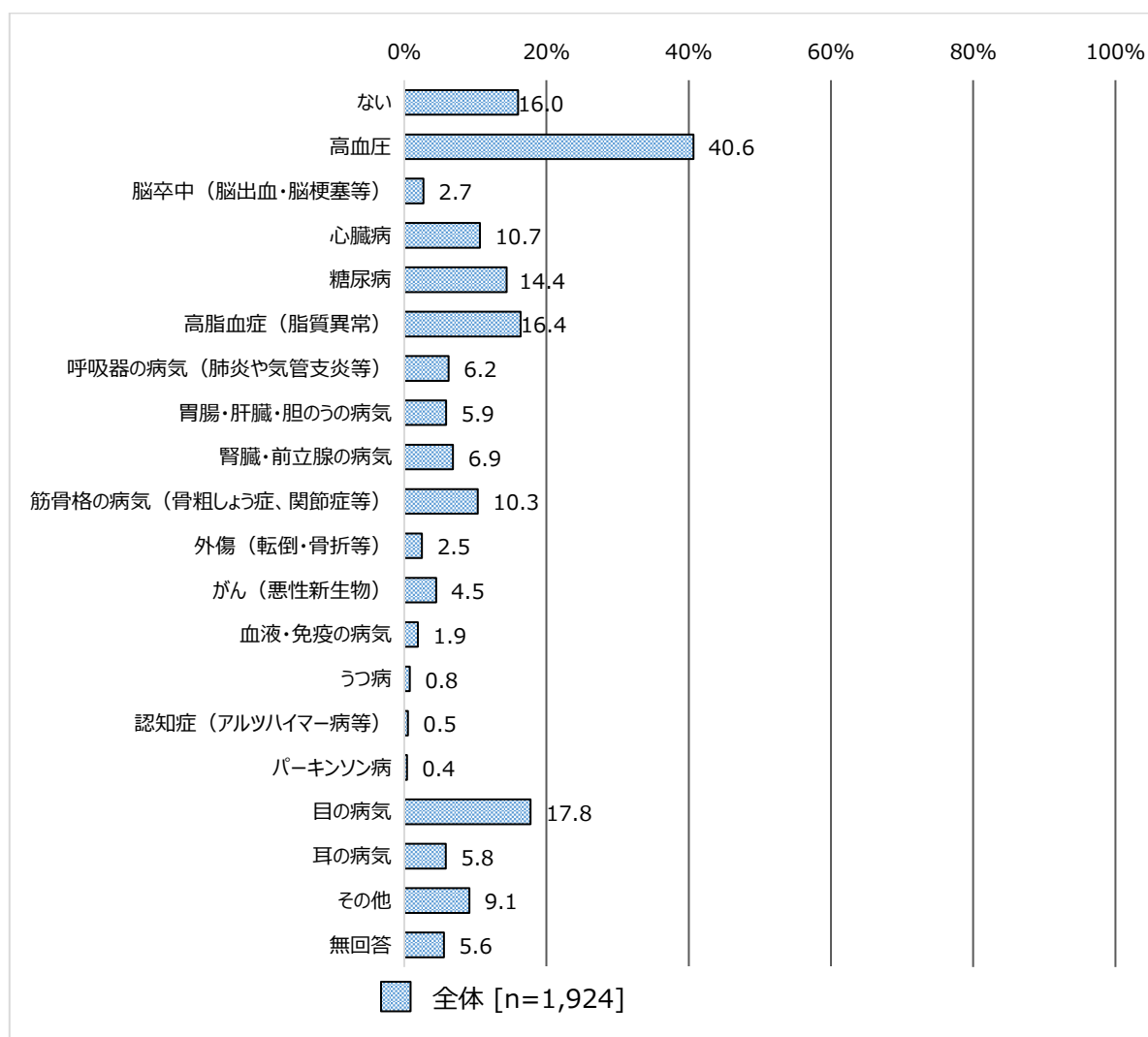
(%)

	合計(n=)	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体	1,924	8.1	1.2	31.1	57.2	2.4
一般高齢者	1,735	8.5	1.3	32.2	55.9	2.2
事業対象者	14	0.0	0.0	21.4	71.4	7.1
要支援1	104	5.8	0.0	19.2	70.2	4.8
要支援2	71	2.8	1.4	25.4	67.6	2.8

⑦治療中、後遺症のある病気

治療中、後遺症のある病気は「ない」が 16.0%となっている。病気としては「高血圧」が 40.6%、「目の病気」が 17.8%、「高脂血症（脂質異常）」が 16.4%「糖尿病」が 14.4%、「心臓病」が 10.7%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 10.3%、「腎臓・前立腺の病気」が 6.9%、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が 6.2%、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」が 5.9%、「耳の病気」が 5.8%、「がん（悪性新生物）」が 4.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が 2.7%、「外傷（転倒・骨折等）」が 2.5%、「血液・免疫の病気」が 1.9%、「うつ病」が 0.8%、「認知症（アルツハイマー病等）」が 0.5%、「パーキンソン病」が 0.4%となっている。

図表 149 治療中、後遺症のある病気〔複数回答〕



「一般高齢者」は「ない」が 17.3%と他と比べて高い。他は何らかの病気が見られる人が高くなり、「一般高齢者」も高くなるのは「高血圧」となる。「事業対象者」「要支援 1」「要支援 2」は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が相対的に高く、「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」「耳の病気」は「要支援 2」で高い。

図表 150 治療中、後遺症のある病気〔複数回答〕（認定状況別）

	合計 (人)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全体	1,924	16.0	40.6	2.7	10.7	14.4	16.4	6.2	5.9	6.9	10.3
一般高齢者	1,735	17.3	39.3	1.8	10.5	13.9	16.6	5.9	5.3	6.9	8.5
事業対象者	14	0.0	64.3	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	14.3	21.4
要支援 1	104	4.8	57.7	12.5	13.5	20.2	16.3	9.6	12.5	7.7	27.9
要支援 2	71	2.8	45.1	8.5	12.7	18.3	9.9	9.9	11.3	4.2	26.8

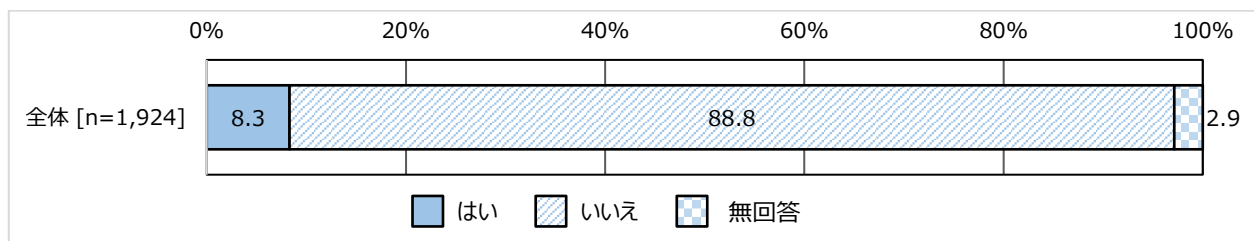
	合計 (人)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	1,924	2.5	4.5	1.9	0.8	0.5	0.4	17.8	5.8	9.1	5.6
一般高齢者	1,735	1.7	4.3	1.9	0.5	0.2	0.2	17.2	5.2	9.2	5.6
事業対象者	14	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	21.4	7.1	14.3	7.1
要支援 1	104	6.7	4.8	1.9	2.9	3.8	1.9	19.2	9.6	7.7	4.8
要支援 2	71	14.1	9.9	2.8	1.4	1.4	0.0	29.6	14.1	9.9	5.6

(9) 認知症にかかる相談窓口の把握について

①認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるか

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるかは、「いいえ」が 88.8%、「はい」が 8.3%となっている。

図表 151 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるか



「事業対象者」は「はい」の割合がやや高いが、全体的に大きな差異はみられない。

図表 152 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるか(認定状況別)

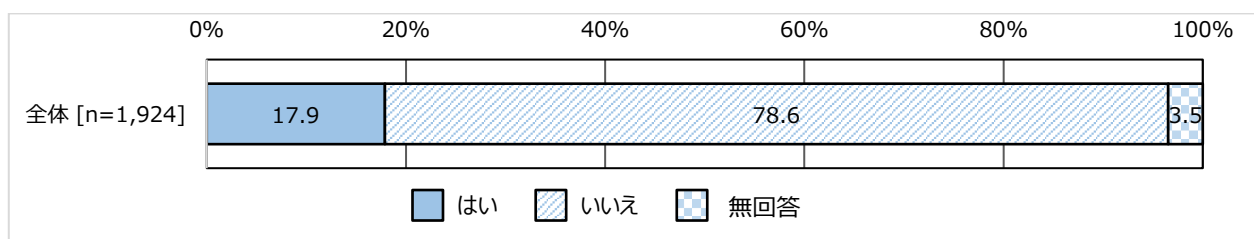
(%)

	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	8.3	88.8	2.9
一般高齢者	1,735	7.6	89.9	2.5
事業対象者	14	28.6	64.3	7.1
要支援 1	104	15.4	78.8	5.8
要支援 2	71	12.7	81.7	5.6

②認知症に関する相談窓口を知っているか

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「いいえ」が 78.6%、「はい」が 17.9%となっている。

図表 153 認知症に関する相談窓口を知っているか



全体的な傾向に大きな差異はみられない。

図表 154 認知症に関する相談窓口を知っているか(認定状況別)

(%)

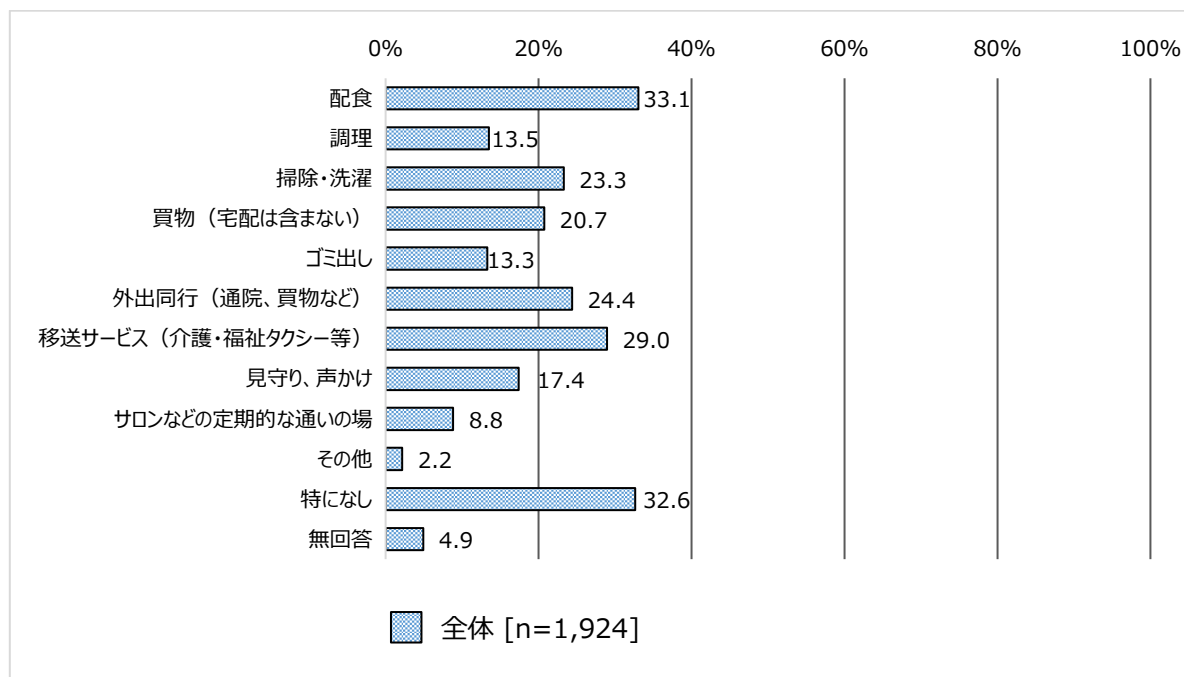
	合計(n=)	はい	いいえ	無回答
全体	1,924	17.9	78.6	3.5
一般高齢者	1,735	18.1	78.8	3.1
事業対象者	14	21.4	71.4	7.1
要支援 1	104	13.5	79.8	6.7
要支援 2	71	18.3	74.6	7.0

(10) 今後の介護・高齢者施策などについて

①在宅生活を続ける上で利用したい生活支援

在宅生活を続ける上で利用したい生活支援は「特になし」が 32.6%であった。具体的な生活支援としては、「配食」が 33.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 29.0%、「外出同行（通院、買物など）」が 24.4%、「掃除・洗濯」が 23.3%、「買物（宅配は含まない）」が 20.7%、「見守り、声かけ」が 17.4%、「調理」が 13.5%、「ゴミ出し」が 13.3%、「サロンなどの定期的な通いの場」が 8.8%となっている。

図表 155 在宅生活を続ける上で利用したい生活支援〔複数回答〕



「事業対象者」は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「外出同行（通院、買物など）」が高く、「要支援 1」「要支援 2」は「掃除・洗濯」の割合が高くなっている。

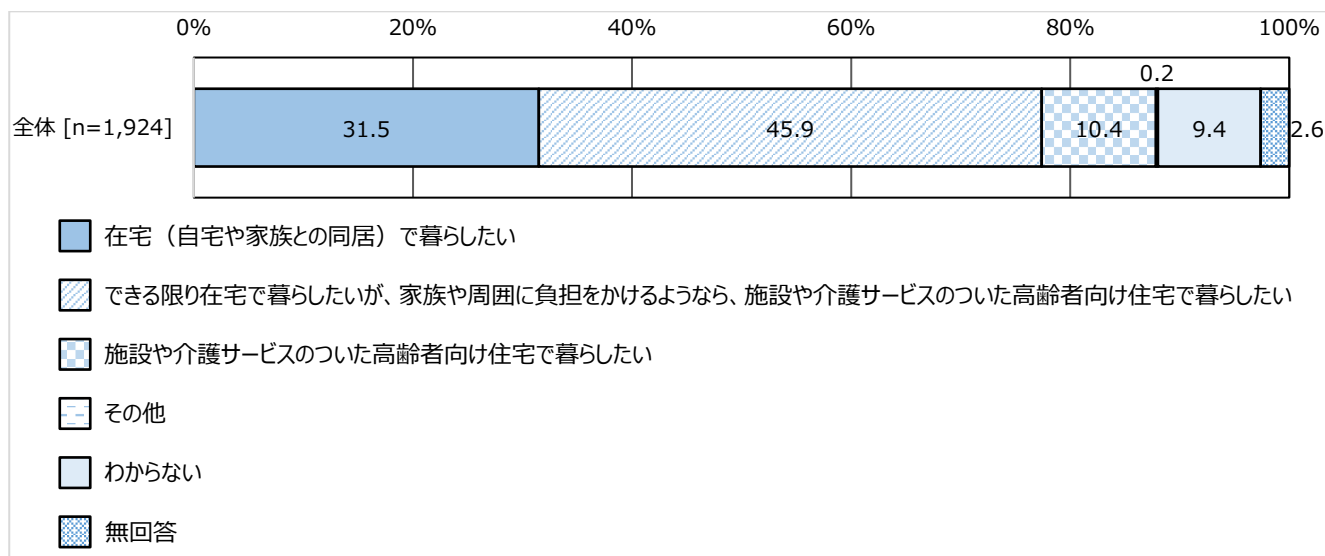
図表 156 在宅生活を続ける上で利用したい生活支援〔複数回答〕（認定状況別）

	合計 (人)	配食	調理	掃除・洗濯	買物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	1,924	33.1	13.5	23.3	20.7	13.3	24.4	29.0	17.4	8.8	2.2	32.6	4.9
一般高齢者	1,735	33.9	13.7	22.5	20.7	13.3	23.9	28.6	17.2	8.8	2.3	33.8	4.8
事業対象者	14	28.6	14.3	7.1	14.3	7.1	42.9	50.0	21.4	28.6	0.0	14.3	0.0
要支援 1	104	20.2	11.5	31.7	17.3	12.5	25.0	31.7	17.3	7.7	0.0	27.9	6.7
要支援 2	71	31.0	11.3	32.4	26.8	15.5	31.0	28.2	22.5	8.5	2.8	15.5	7.0

②介護が必要になったときにどこで暮らしたいか

介護が必要になったときにどこで暮らしたいかは、「できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」が45.9%、「在宅（自宅や家族との同居）で暮らしたい」が31.5%、「施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」が10.4%、「わからない」が9.4%となっている。

図表 157 介護が必要になったときにどこで暮らしたいか



「事業対象者」は「できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」の割合が相対的に高い。

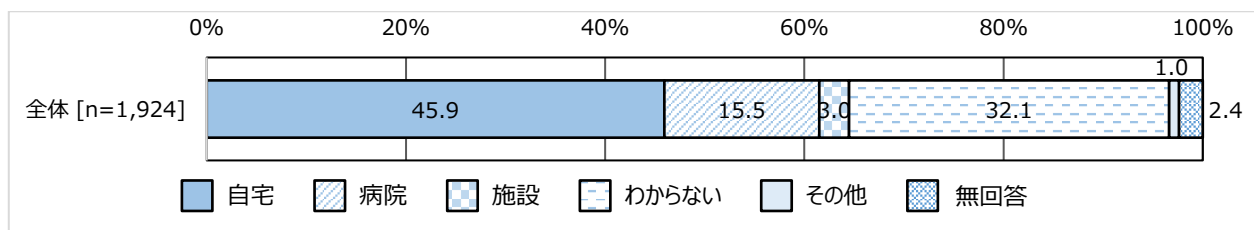
図表 158 介護が必要になったときにどこで暮らしたいか（認定状況別）

	合計(人)	在宅（自宅や家族との同居）で暮らしたい	できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい	施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体	1,924	31.5	45.9	10.4	0.2	9.4	2.6
一般高齢者	1,735	31.7	45.8	10.3	0.2	9.6	2.4
事業対象者	14	28.6	57.1	7.1	0.0	0.0	7.1
要支援 1	104	28.8	44.2	14.4	0.0	7.7	4.8
要支援 2	71	31.0	47.9	9.9	0.0	8.5	2.8

③最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所は、「自宅」が45.9%、「わからない」が32.1%、「病院」が15.5%、「施設」が3.0%となっている。

図表 159 最期を迎えたい場所



全体的な傾向に大きな差異はみられない。

図表 160 最期を迎えたい場所(認定状況別)

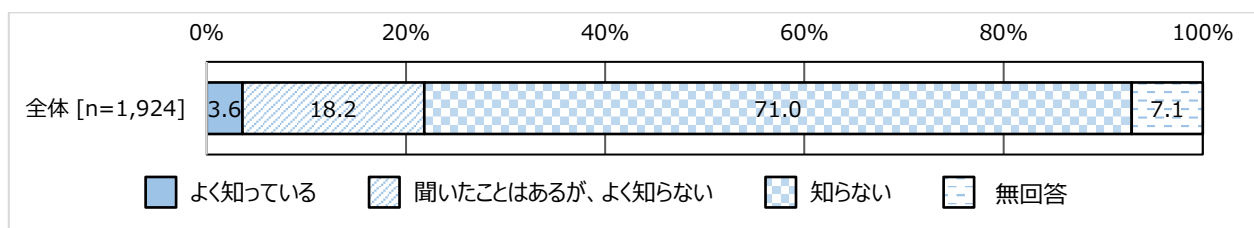
(%)

	合計(n=)	自宅	病院	施設	わからない	その他	無回答
全体	1,924	45.9	15.5	3.0	32.1	1.0	2.4
一般高齢者	1,735	45.1	15.2	3.0	33.3	1.1	2.3
事業対象者	14	57.1	0.0	7.1	35.7	0.0	0.0
要支援 1	104	51.9	18.3	1.9	23.1	0.0	4.8
要支援 2	71	56.3	22.5	4.2	15.5	0.0	1.4

④ACP または人生会議を知っているか

ACP または人生会議を知っているかは、「知らない」が71.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が18.2%、「よく知っている」が3.6%となっている。

図表 161 ACP または人生会議を知っているか



「事業対象者」「要支援 1」は「聞いたことはあるが、よく知らない」がやや高いが、全体的にほぼ同じ傾向となっている。

図表 162 ACP または人生会議を知っているか(認定状況別)

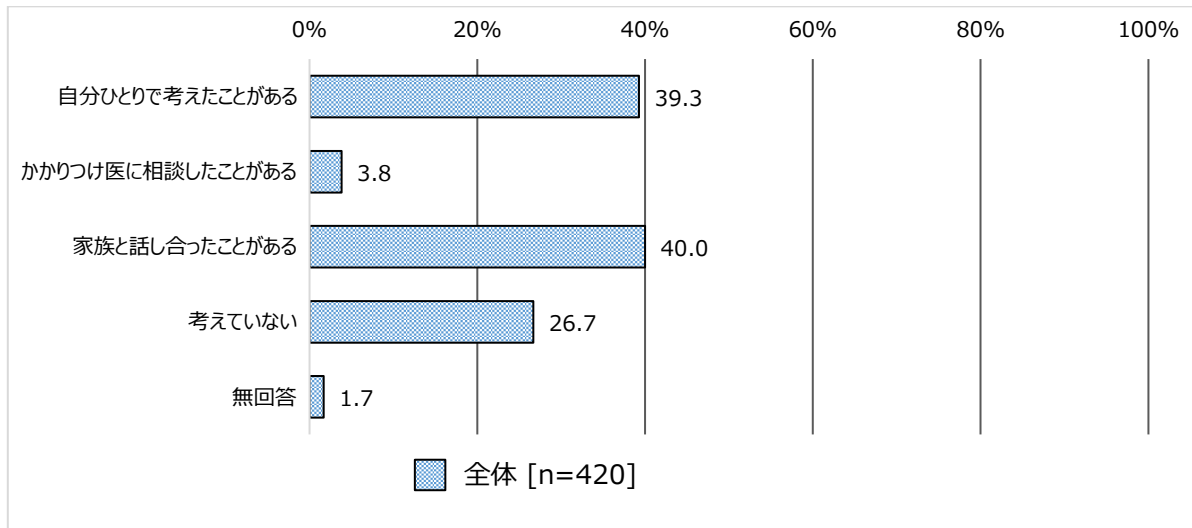
(%)

	合計(n=)	よく知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	知らない	無回答
全体	1,924	3.6	18.2	71.0	7.1
一般高齢者	1,735	3.5	17.7	72.3	6.5
事業対象者	14	0.0	28.6	71.4	0.0
要支援 1	104	3.8	25.0	56.7	14.4
要支援 2	71	5.6	19.7	62.0	12.7

⑤ACP または人生会議の状況について

ACP について「よく知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方に、ACP または人生会議の状況について聞いたところ、「家族と話し合ったことがある」が 40.0%、「自分ひとりで考えたことがある」が 39.3%、「考えていない」が 26.7%、「かかりつけ医に相談したことがある」が 3.8%となっている。

図表 163 ACP または人生会議の状況について〔複数回答〕



「一般高齢者」よりも他の属性において「自分ひとりで考えたことがある」がやや高い。「要支援2」は「考えていない」の割合が低い。

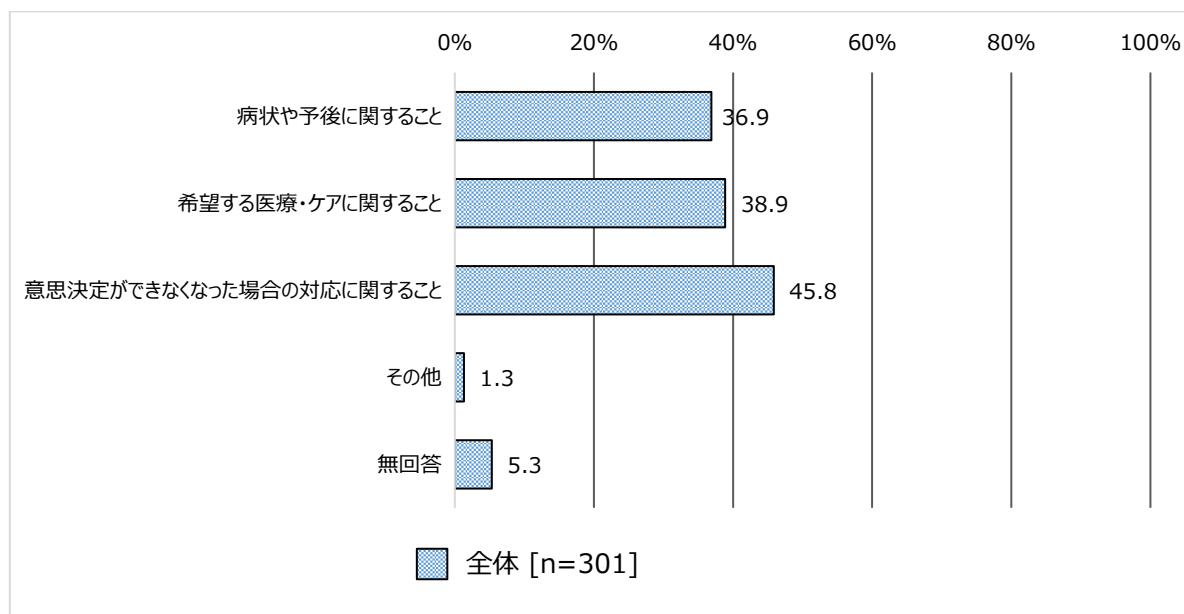
図表 164 ACP または人生会議の状況について〔複数回答〕(認定状況別)

	合計(人)	自分ひとりで考えたことがある	かかりつけ医に相談したことがある	家族と話し合ったことがある	考えていない	無回答
全体	420	39.3	3.8	40.0	26.7	1.7
一般高齢者	368	38.0	4.1	40.8	27.2	1.4
事業対象者	4	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0
要支援1	30	46.7	3.3	26.7	30.0	3.3
要支援2	18	44.4	0.0	50.0	11.1	5.6

⑥ACP または人生会議の内容

ACP について、「自分一人で考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」と回答した方に、その内容を聞いたところ、「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が 45.8%、「希望する医療・ケアに関すること」が 38.9%、「病状や予後に関すること」が 36.9%となっている。

図表 165 ACP または人生会議の内容〔複数回答〕



「一般高齢者」は「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が高く、「要支援 1」は「病状や予後に関すること」、「要支援 2」は「希望する医療・ケアに関すること」が高くなっている。

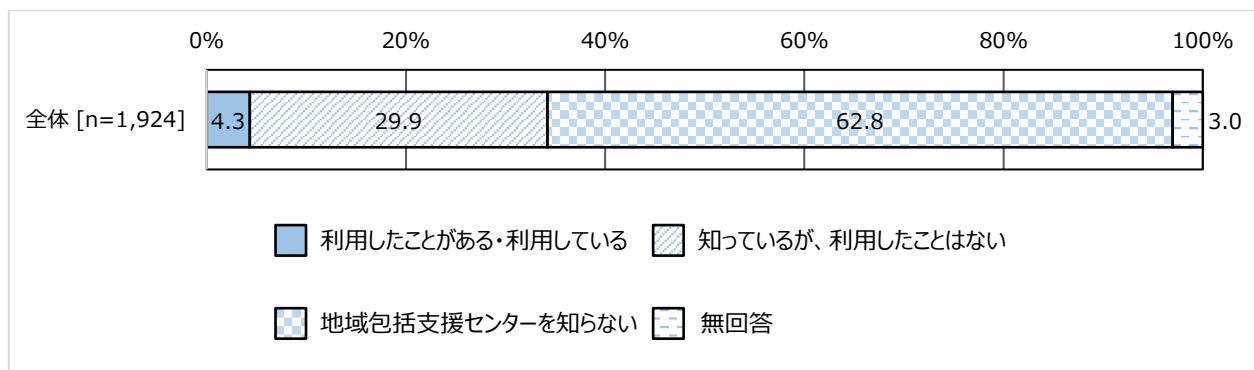
図表 166 ACP または人生会議の内容〔複数回答〕（認定状況別）

	合計 (Ⅱ)	病状や予後に関する こと	希望する医療・ケア に関すること	意思決定ができな くなった場合の対応に 関すること	その他	無回 答
全体	301	36.9	38.9	45.8	1.3	5.3
一般高齢者	263	36.9	39.5	47.1	0.8	5.7
事業対象者	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
要支援 1	20	50.0	25.0	35.0	0.0	0.0
要支援 2	15	20.0	46.7	40.0	13.3	6.7

⑦地域包括支援センターの利用経験

地域包括支援センターの利用経験は、「地域包括支援センターを知らない」が 62.8%、「知っているが、利用したことはない」が 29.9%、「利用したことがある・利用している」が 4.3%となっている。

図表 167 地域包括支援センターの利用経験



「事業対象者」「要支援1」「要支援2」は「利用したことがある・利用している」が高い。「地域包括支援センターを知らない」は「一般高齢者」が最も高いが、他も4割から5割が「知らない」と回答している。

図表 168 地域包括支援センターの利用経験(認定状況別)

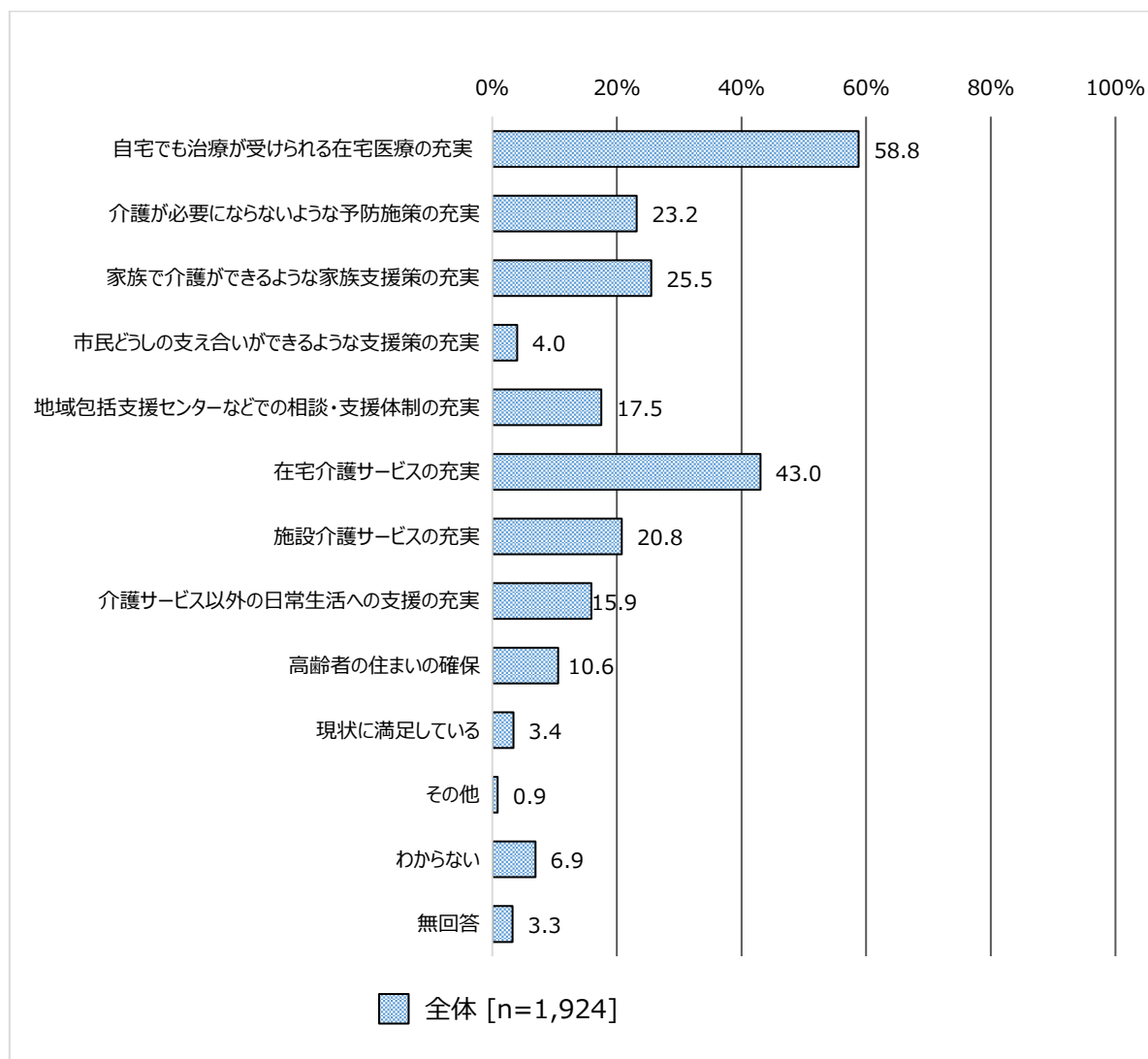
(%)

	合計 (n)	利用したことがある・ 利用している	知っているが、利用し たことはない	地域包括支援センタ ーを知らない	無回 答
全体	1924	4.3	29.9	62.8	3.0
一般高齢者	1735	2.4	29.9	64.7	3.1
事業対象者	14	21.4	28.6	50.0	0.0
要支援1	104	20.2	28.8	47.1	3.8
要支援2	71	25.4	32.4	40.8	1.4

⑧高齢者への介護保険施策等の充実のための行政への希望

高齢者への介護保険施策等の充実のための行政への希望は、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が 58.8%、「在宅介護サービスの充実」が 43.0%、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が 25.5%、「介護が必要にならないような予防施策の充実」が 23.2%、「施設介護サービスの充実」が 20.8%、「地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実」が 17.5%、「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」が 15.9%、「高齢者の住まいの確保」が 10.6%、「わからない」が 6.9%、「市民どうしの支え合いができるような支援策の充実」が 4.0%、「現状に満足している」が 3.4%となっている。

図表 169 高齢者への介護保険施策等の充実のための行政への希望〔複数回答・3つまで〕



「事業対象者」は「介護が必要にならないような予防施策の充実」や「地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実」が他と比べて高いが、全体的にほぼ同じ傾向となる。

図表 170 高齢者への介護保険施策等の充実のための行政への希望〔複数回答・3つまで〕（認定状況別）

(%)

	合計(Ⅱ)	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実	在宅介護サービスの充実	施設介護サービスの充実
全体	1924	58.8	23.2	25.5	4.0	17.5	43.0	20.8
一般高齢者	1735	59.3	23.4	26.1	4.2	16.6	43.4	21.1
事業対象者	14	42.9	50.0	21.4	7.1	42.9	21.4	28.6
要支援 1	104	58.7	23.1	15.4	2.9	24.0	40.4	13.5
要支援 2	71	49.3	12.7	26.8	0.0	25.4	42.3	22.5

	合計(Ⅱ)	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	高齢者の住まいの確保	現状に満足している	その他	わからない	無回答
全体	1924	15.9	10.6	3.4	0.9	6.9	3.3
一般高齢者	1735	15.2	10.4	3.5	0.8	7.1	2.9
事業対象者	14	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援 1	104	24.0	13.5	2.9	2.9	3.8	5.8
要支援 2	71	19.7	9.9	1.4	0.0	8.5	8.5

(11) リスク分析

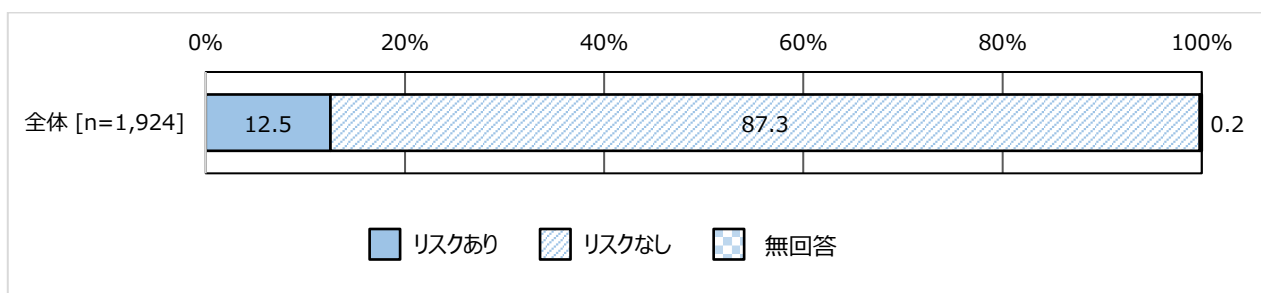
①運動器機能の低下

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、運動器の機能が低下しているリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

運動器機能の低下は、「リスクなし」が87.3%、「リスクあり」が12.5%となっている。

図表 171 運動器機能の低下



「リスクなし」の割合は、介護度が上がるにつれて低くなっている。

図表 172 運動器機能の低下(認定状況別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	12.5	87.3	0.2
一般高齢者	1,735	8.1	91.7	0.2
事業対象者	14	35.7	64.3	0.0
要支援 1	104	50.0	50.0	0.0
要支援 2	71	60.6	38.0	1.4

「リスクなし」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 173 運動器機能の低下(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	12.5	87.3	0.2
65～69 歳	373	5.4	94.6	0.0
70～74 歳	629	6.8	92.8	0.3
75～79 歳	470	11.7	88.1	0.2
80～84 歳	299	21.7	77.9	0.3
85 歳以上	151	37.7	62.3	0.0

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 174 運動器機能の低下(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	12.5	87.3	0.2
男山中学校圏域	476	12.4	87.4	0.2
男山第二中学校圏域	522	11.1	88.5	0.4
男山第三中学校圏域	536	15.1	84.9	0.0
男山東中学校圏域	386	11.1	88.6	0.3

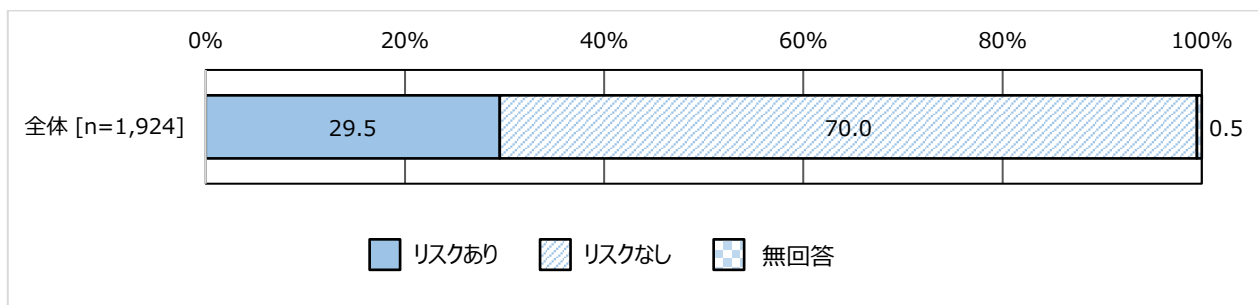
②転倒リスク

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、転倒リスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある 3. ない

転倒リスクは、「リスクなし」が 70.0%、「リスクあり」が 29.5%となっている。

図表 175 転倒リスク



「一般高齢者」と比べて「事業対象者」「要支援 1」「要支援 2」の「リスクあり」の割合は高い。

図表 176 転倒リスク(認定状況別)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	29.5	70.0	0.5
一般高齢者	1,735	26.7	72.9	0.5
事業対象者	14	64.3	35.7	0.0
要支援 1	104	54.8	45.2	0.0
要支援 2	71	54.9	43.7	1.4

「リスクなし」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 177 転倒リスク(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	29.5	70.0	0.5
65～69 歳	373	23.1	76.4	0.5
70～74 歳	629	24.2	75.4	0.5
75～79 歳	470	32.1	67.4	0.4
80～84 歳	299	33.4	65.9	0.7
85 歳以上	151	51.7	48.3	0.0

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 178 転倒リスク(日常生活圏域別別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	29.5	70.0	0.5
男山中学校圏域	476	30.7	68.7	0.6
男山第二中学校圏域	522	27.2	72.4	0.4
男山第三中学校圏域	536	31.2	68.8	0.0
男山東中学校圏域	386	29.3	69.7	1.0

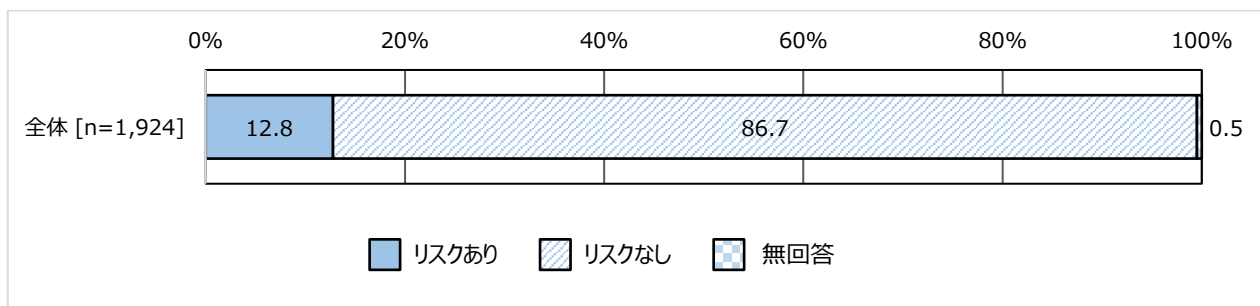
③閉じこもり傾向

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、閉じこもり傾向のリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

閉じこもり傾向は、「リスクなし」が86.7%、「リスクあり」が12.8%となっている。

図表 179 閉じこもり傾向



「要支援1」「要支援2」は「リスクあり」の割合が他と比べて高く、「要支援2」は4割を占めている。

図表 180 閉じこもり傾向（認定状況別）

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	12.8	86.7	0.5
一般高齢者	1,735	11.0	88.6	0.5
事業対象者	14	14.3	85.7	0.0
要支援1	104	24.0	76.0	0.0
要支援2	71	40.8	57.7	1.4

「リスクなし」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 181 閉じこもり傾向(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	12.8	86.7	0.5
65～69 歳	373	6.2	93.6	0.3
70～74 歳	629	10.8	88.9	0.3
75～79 歳	470	13.4	86.2	0.4
80～84 歳	299	16.1	82.9	1.0
85 歳以上	151	28.5	70.9	0.7

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 182 閉じこもり傾向(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	12.8	86.7	0.5
男山中学校圏域	476	12.0	87.6	0.4
男山第二中学校圏域	522	12.3	87.4	0.4
男山第三中学校圏域	536	12.9	86.9	0.2
男山東中学校圏域	386	14.5	84.5	1.0

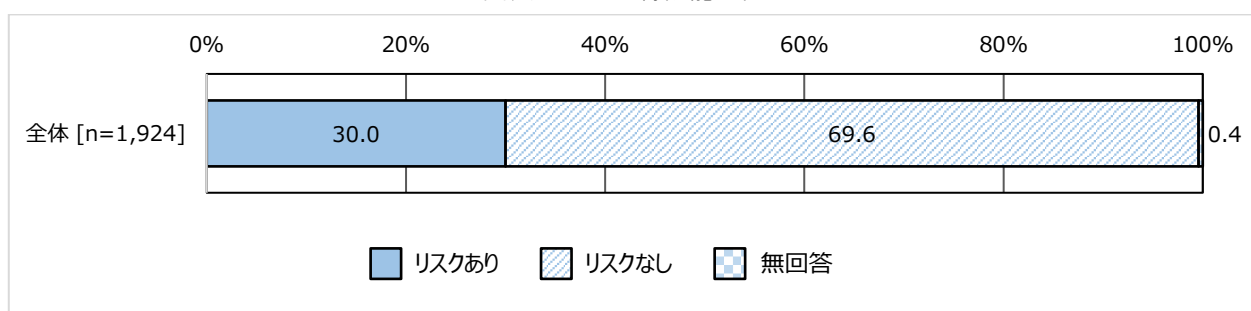
④咀嚼機能の低下

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、咀嚼機能の低下のリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

咀嚼機能の低下は、「リスクなし」が 69.6%、「リスクあり」が 30.0%となっている。

図表 183 咀嚼機能の低下



「リスクなし」の割合は、介護度が上がるにつれて低くなっている。

図表 184 咀嚼機能の低下(認定状況別)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	30.0	69.6	0.4
一般高齢者	1,735	28.3	71.4	0.3
事業対象者	14	35.7	64.3	0.0
要支援 1	104	43.3	56.7	0.0
要支援 2	71	50.7	46.5	2.8

(%)

「リスクなし」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 185 咀嚼機能の低下(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	30.0	69.6	0.4
65～69 歳	373	22.0	77.5	0.5
70～74 歳	629	26.9	72.8	0.3
75～79 歳	470	30.2	69.4	0.4
80～84 歳	299	37.5	61.9	0.7
85 歳以上	151	47.7	52.3	0.0

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 186 咀嚼機能の低下(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	30.0	69.6	0.4
男山中学校圏域	476	32.6	66.8	0.6
男山第二中学校圏域	522	29.5	70.1	0.4
男山第三中学校圏域	536	27.2	72.4	0.4
男山東中学校圏域	386	31.6	68.1	0.3

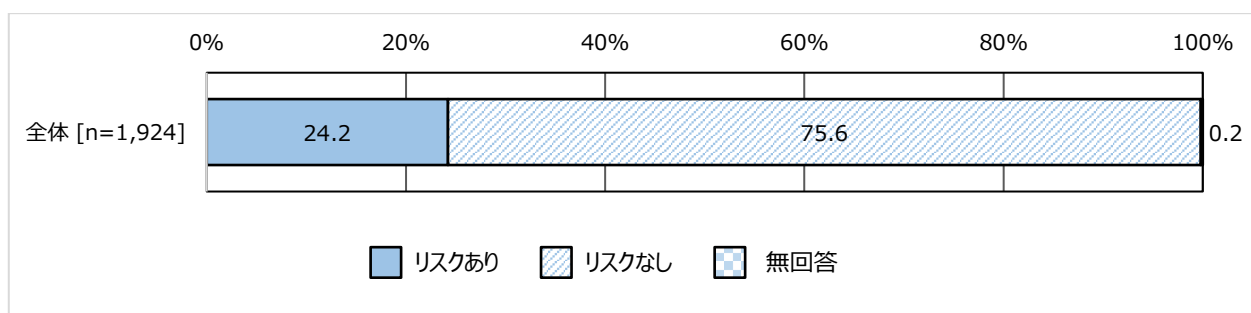
⑤口腔機能の低下

下記の設問で2問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、口腔機能の低下のリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

口腔機能の低下は、「リスクなし」が75.6%、「リスクあり」が24.2%となっている。

図表 187 口腔機能の低下



「一般高齢者」と比べて「事業対象者」「要支援1」「要支援2」の「リスクあり」の割合は高い。

図表 188 口腔機能の低下(認定状況別)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	24.2	75.6	0.2
一般高齢者	1,735	22.0	77.8	0.2
事業対象者	14	50.0	50.0	0.0
要支援1	104	40.4	59.6	0.0
要支援2	71	49.3	49.3	1.4

「リスクなし」の割合は、おおむね年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 189 口腔機能の低下(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	24.2	75.6	0.2
65～69 歳	373	16.6	83.1	0.3
70～74 歳	629	22.3	77.6	0.2
75～79 歳	470	22.1	77.7	0.2
80～84 歳	299	34.8	64.9	0.3
85 歳以上	151	36.4	63.6	0.0

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 190 口腔機能の低下(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	24.2	75.6	0.2
男山中学校圏域	476	23.3	76.3	0.4
男山第二中学校圏域	522	23.4	76.4	0.2
男山第三中学校圏域	536	24.8	75.2	0.0
男山東中学校圏域	386	25.9	73.8	0.3

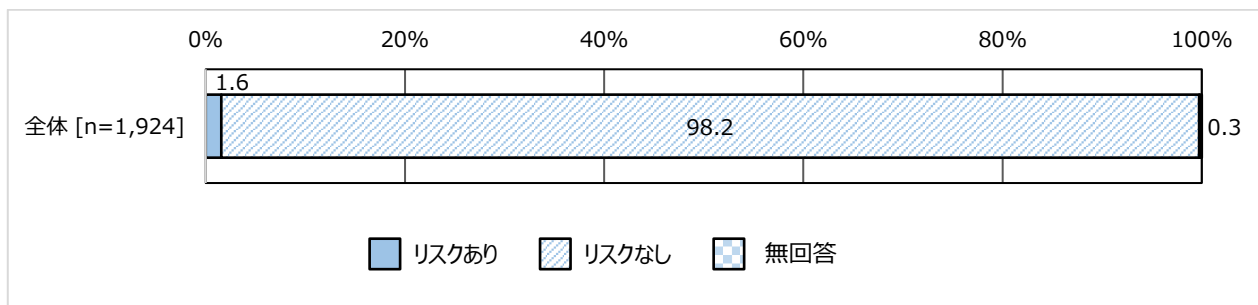
⑥低栄養の傾向

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、低栄養状態のリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
身長、体重（BMI）	18.5 以下
6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

低栄養の傾向は、「リスクなし」が 98.2%、「リスクあり」が 1.6%となっている。

図表 191 低栄養の傾向



認定状況別での差異はみられない。

図表 192 低栄養の傾向（認定状況別）

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	1.6	98.2	0.3
一般高齢者	1,735	1.3	98.4	0.3
事業対象者	14	0.0	100.0	0.0
要支援 1	104	4.8	95.2	0.0
要支援 2	71	4.2	95.8	0.0

年齢別での差異はみられない。

図表 193 低栄養の傾向(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	1.6	98.2	0.3
65～69 歳	373	0.0	99.7	0.3
70～74 歳	629	0.8	99.0	0.2
75～79 歳	470	2.8	97.0	0.2
80～84 歳	299	2.7	97.0	0.3
85 歳以上	151	2.6	96.7	0.7

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 194 低栄養の傾向(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	1.6	98.2	0.3
男山中学校圏域	476	1.1	98.7	0.2
男山第二中学校圏域	522	1.3	98.3	0.4
男山第三中学校圏域	536	2.4	97.4	0.2
男山東中学校圏域	386	1.3	98.4	0.3

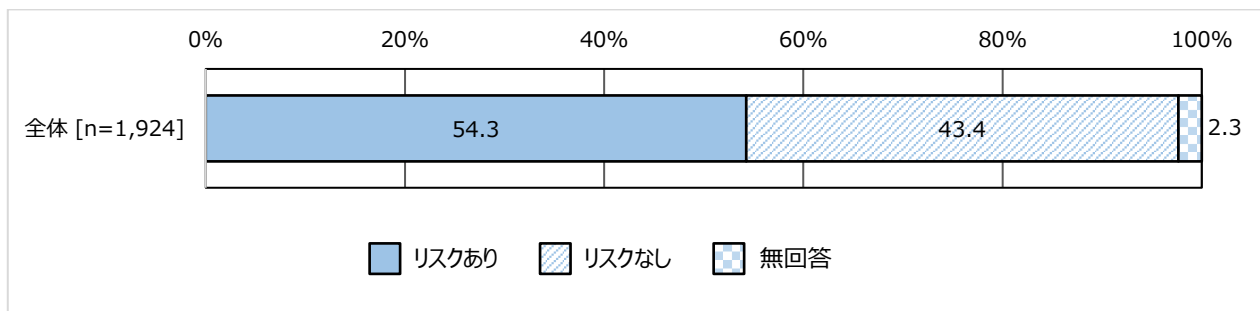
⑦認知機能の低下

下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、認知機能の低下のリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

認知機能の低下は、「リスクあり」が 54.3%、「リスクなし」が 43.4%となっている。

図表 195 認知機能の低下



「一般高齢者」と比べて「事業対象者」「要支援1」「要支援2」の「リスクあり」の割合は高い。

図表 196 認知機能の低下(認定状況別)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	54.3	43.4	2.3
一般高齢者	1,735	52.9	44.8	2.3
事業対象者	14	78.6	14.3	7.1
要支援1	104	60.6	36.5	2.9
要支援2	71	74.6	23.9	1.4

(%)

「リスクなし」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 197 認知機能の低下(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	54.3	43.4	2.3
65～69 歳	373	48.5	50.9	0.5
70～74 歳	629	51.5	46.6	1.9
75～79 歳	470	56.6	40.6	2.8
80～84 歳	299	58.9	37.1	4.0
85 歳以上	151	63.6	32.5	4.0

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 198 認知機能の低下(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	54.3	43.4	2.3
男山中学校圏域	476	53.2	43.9	2.9
男山第二中学校圏域	522	50.8	47.3	1.9
男山第三中学校圏域	536	56.0	42.0	2.1
男山東中学校圏域	386	57.8	39.6	2.6

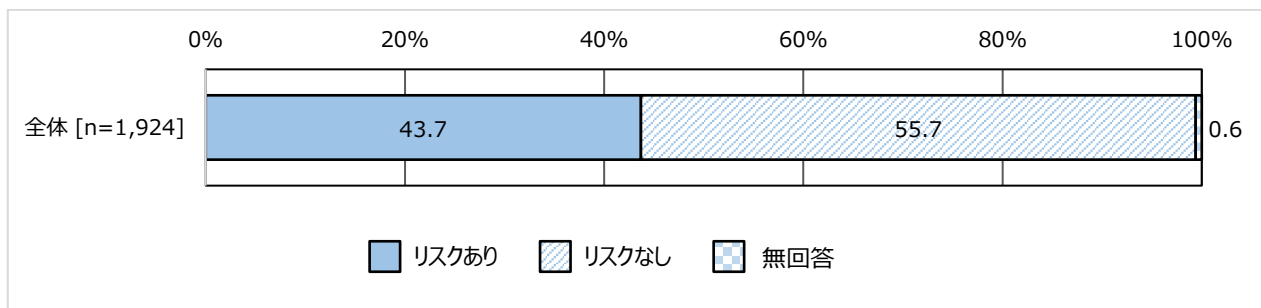
⑧うつ傾向

下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答した方は、うつ傾向のリスクのある高齢者になる。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

うつ傾向は、「リスクあり」が43.7%、「リスクなし」が55.7%となっている。

図表 199 うつ傾向



「一般高齢者」と比べて「事業対象者」「要支援1」「要支援2」の「リスクあり」の割合は高い。

図表 200 うつ傾向（認定状況別）

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	43.7	55.7	0.6
一般高齢者	1,735	42.4	57.1	0.5
事業対象者	14	57.1	42.9	0.0
要支援1	104	53.8	43.3	2.9
要支援2	71	57.7	40.8	1.4

「リスクなし」の割合は、おおむね年齢が上がるにつれて低くなっている。

図表 201 うつ傾向(年代別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	43.7	55.7	0.6
65～69 歳	373	42.1	57.6	0.3
70～74 歳	629	41.7	58.2	0.2
75～79 歳	470	44.7	54.5	0.9
80～84 歳	299	46.2	52.5	1.3
85 歳以上	151	47.7	51.0	1.3

日常生活圏域別での差異はみられない。

図表 202 うつ傾向(日常生活圏域別)

(%)

	合計(n=)	リスクあり	リスクなし	無回答
全体	1,924	43.7	55.7	0.6
男山中学校圏域	476	40.8	58.6	0.6
男山第二中学校圏域	522	43.7	55.6	0.8
男山第三中学校圏域	536	46.1	53.7	0.2
男山東中学校圏域	386	44.3	54.7	1.0

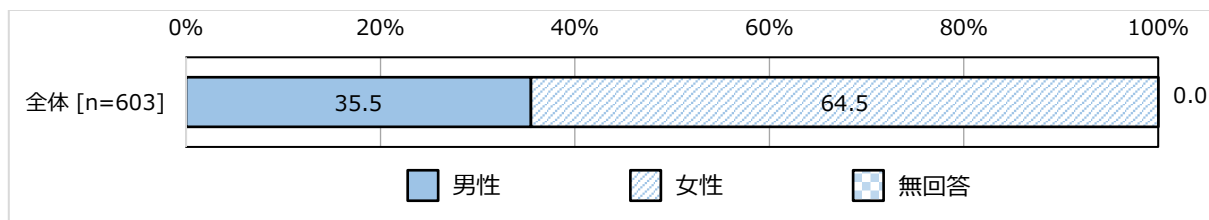
3 在宅介護実態調査結果

(1) 回答者について

①性別

性別は、「女性」が64.5%、「男性」が35.5%となっている。

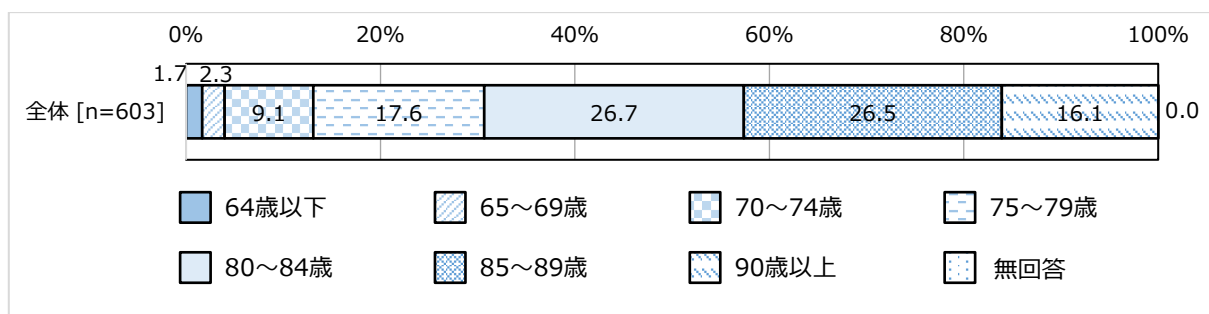
図表 203 性別



②年齢

年齢は、「80～84歳」が26.7%、「85～89歳」が26.5%、「75～79歳」が17.6%、「90歳以上」が16.1%、「70～74歳」が9.1%となっている。

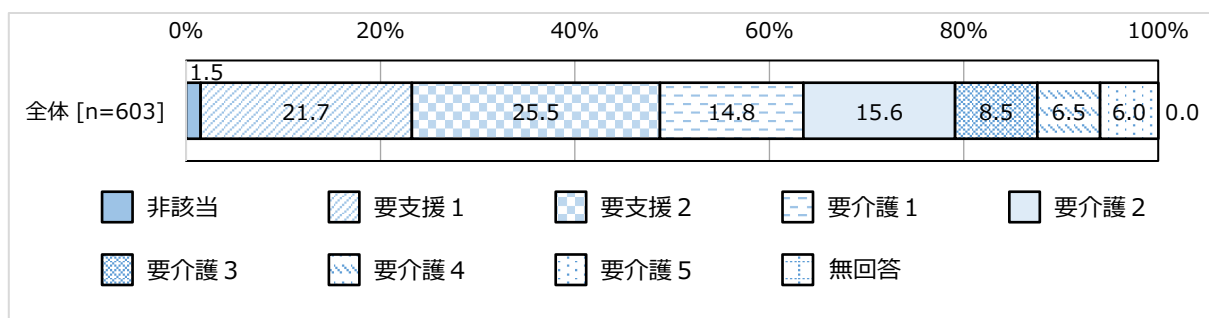
図表 204 年齢



③要介護度

要介護度は、「要支援2」が25.5%と最も高く、次いで「要支援1」が21.7%、「要介護2」が15.6%、「要介護1」が14.8%となっている。

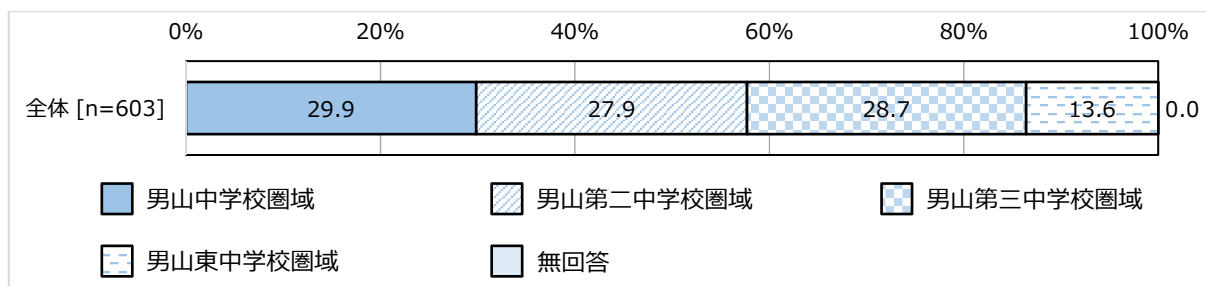
図表 205 要介護度



④日常生活圏域

日常生活圏域は、「男山中学校圏域」が 29.9%、「男山第三中学校圏域」が 28.7%、「男山第二中学校圏域」が 27.9%、「男山東中学校圏域」が 13.6%となっている。

図表 206 日常生活圏域



要介護度別にみると、「要介護 1」は「男山第三中学校圏域」、「要介護 4」は「男山中学校圏域」が比較的高くなっている。

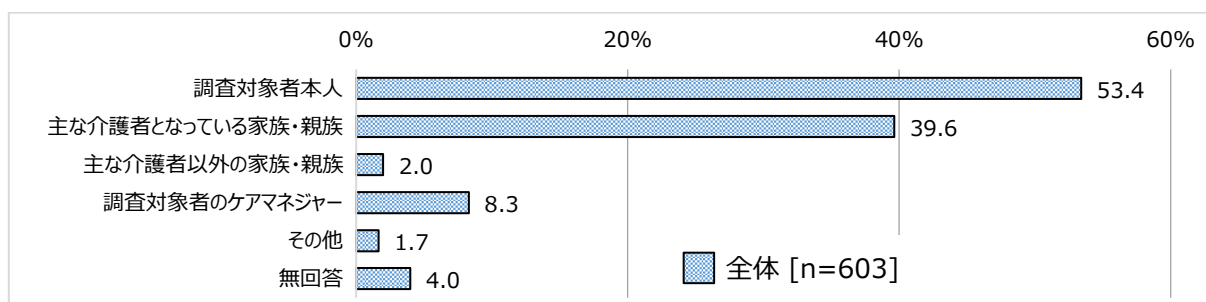
図表 207 日常生活圏域(要介護度別)

	合 計 (n=)	男山中学校 圏域	男山第二中学位 校圏域	男山第三中学位 校圏域	男山東中学校 圏域	無回答
全体	603	29.9	27.9	28.7	13.6	0.0
非該当	9	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0
要支援1	131	34.4	26.7	22.9	16.0	0.0
要支援2	154	28.6	33.8	25.3	12.3	0.0
要介護1	89	24.7	25.8	40.4	9.0	0.0
要介護2	94	31.9	24.5	26.6	17.0	0.0
要介護3	51	21.6	27.5	33.3	17.6	0.0
要介護4	39	43.6	15.4	28.2	12.8	0.0
要介護5	36	22.2	36.1	33.3	8.3	0.0

⑤回答者

回答者は、「調査対象者本人」が 53.4%、「主な介護者となっている家族・親族」が 39.6%、「調査対象者のケアマネジャー」が 8.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が 2.0%となっている。

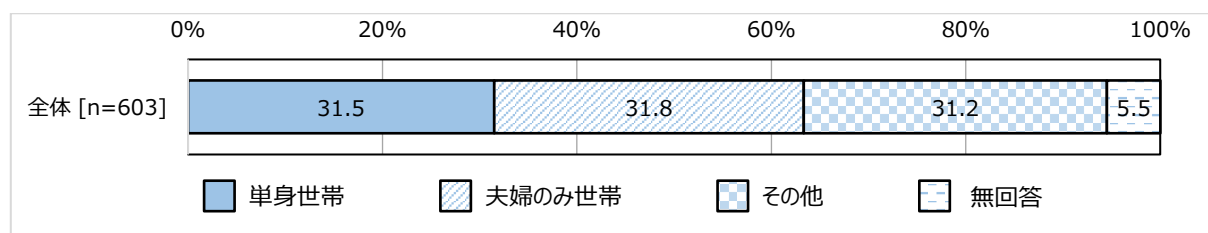
図表 208 回答者〔複数回答〕



⑥世帯類型

世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が31.8%、「単身世帯」が31.5%となっている。

図表 209 世帯類型



要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて「単身世帯」が減少する傾向にあり、「要介護3」以上になると「その他」が約4～5割となっている。一方、「夫婦のみ世帯」は、要介護度が上がっても大きくは変わらない。

図表 210 世帯類型(要介護度別)

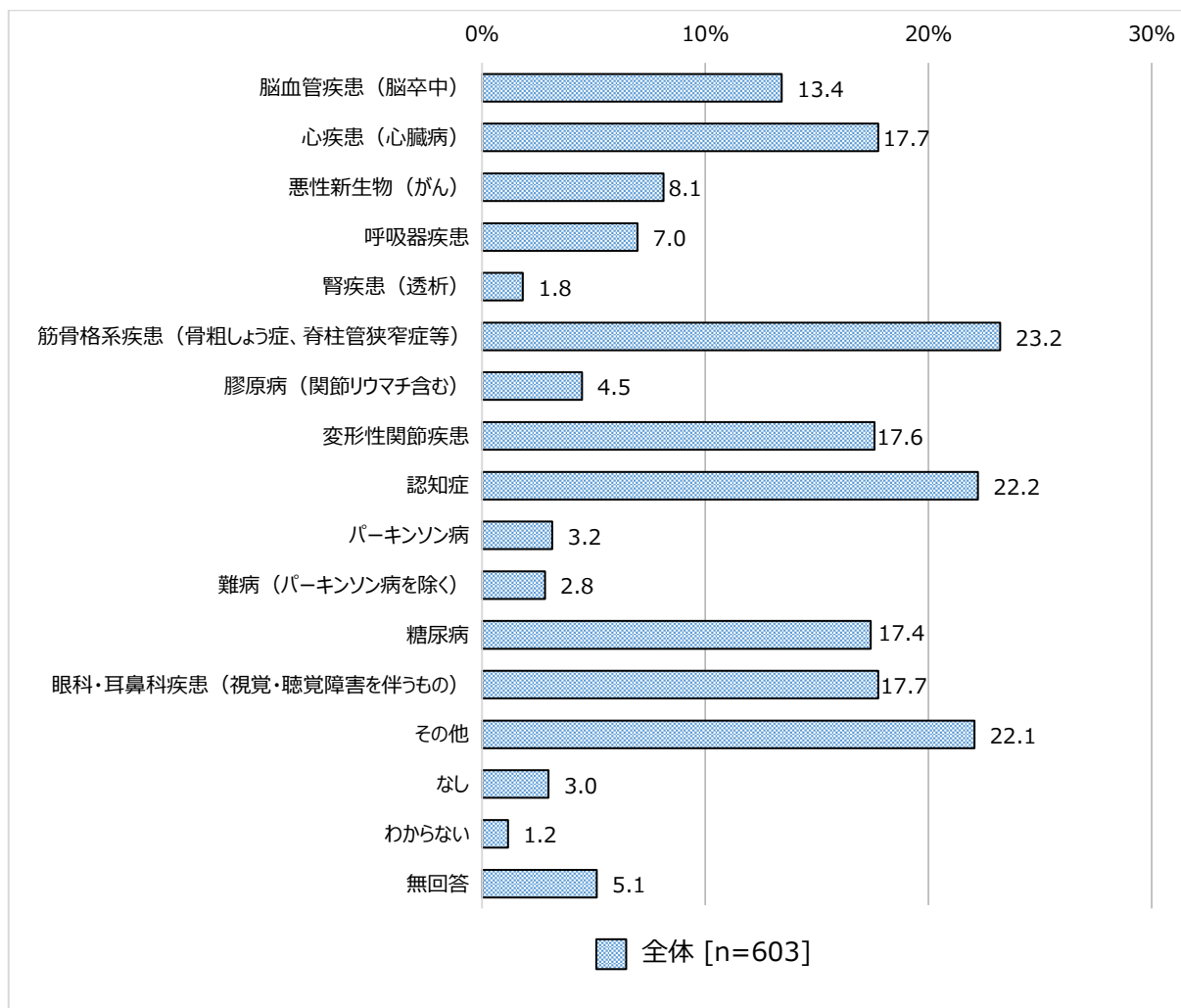
(%)

	合計 (n=)	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体	603	31.5	31.8	31.2	5.5
非該当	9	44.4	44.4	11.1	0.0
要支援1	131	35.9	32.8	25.2	6.1
要支援2	154	36.4	33.1	24.7	5.8
要介護1	89	28.1	31.5	33.7	6.7
要介護2	94	37.2	29.8	29.8	3.2
要介護3	51	25.5	25.5	43.1	5.9
要介護4	39	10.3	33.3	46.2	10.3
要介護5	36	16.7	33.3	50.0	0.0

⑦現在抱えている傷病

現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 23.2%と最も高く、次いで「認知症」が 22.2%、「心疾患（心臓病）」が 17.7%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 17.7%、「変形性関節疾患」が 17.6%、「糖尿病」が 17.4%となっている。

図表 211 現在抱えている傷病〔複数回答〕



要介護度別にみると、「要支援1」は「変形性関節疾患」、「要支援2」は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「要介護1」から「要介護5」は「認知症」が最も高く、特に「要介護3」以上になると「認知症」が約半数を占めている。

図表 212 現在抱えている傷病〔複数回答〕(要介護度別)

(%)

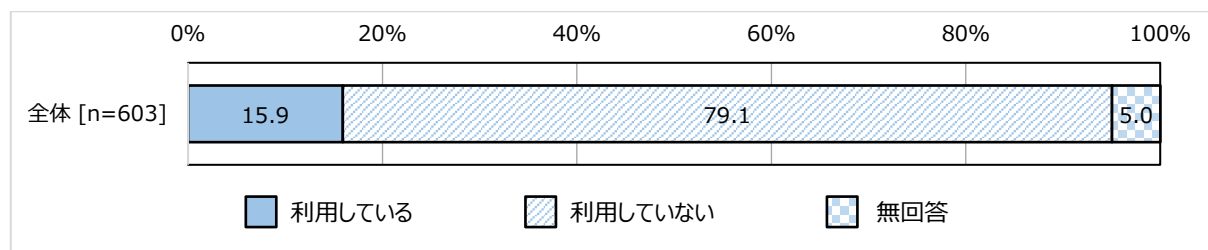
	合計 (人)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器 疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症)	膠原病 (関節リウマチ 含む)	変形性 関節疾患	認知 症	パー キンソン 病
全体	603	13.4	17.7	8.1	7.0	1.8	23.2	4.5	17.6	22.2	3.2
非該当	9	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	22.2	11.1	44.4	0.0	0.0
要支援1	131	6.1	14.5	10.7	6.9	0.8	23.7	4.6	26.7	4.6	1.5
要支援2	154	9.7	19.5	6.5	7.8	2.6	37.7	5.2	26.6	1.9	2.6
要介護1	89	19.1	15.7	4.5	7.9	2.2	14.6	4.5	10.1	31.5	4.5
要介護2	94	19.1	22.3	8.5	8.5	2.1	14.9	4.3	11.7	37.2	4.3
要介護3	51	11.8	21.6	7.8	7.8	2.0	17.6	3.9	2.0	47.1	2.0
要介護4	39	17.9	7.7	7.7	2.6	2.6	25.6	2.6	5.1	48.7	7.7
要介護5	36	27.8	16.7	11.1	2.8	0.0	8.3	2.8	8.3	52.8	2.8

	合計 (人)	難病 (パーキンソン 病を除く)	糖尿 病	眼科・耳鼻科 疾患(視 覚・聴覚障 害を伴うも)	その他	なし	わ か ら な い	無 回 答
全体	603	2.8	17.4	17.7	22.1	3.0	1.2	5.1
非該当	9	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0
要支援1	131	1.5	21.4	16.8	21.4	6.9	1.5	6.1
要支援2	154	3.2	18.2	19.5	21.4	3.9	1.3	5.2
要介護1	89	4.5	14.6	16.9	21.3	0.0	1.1	6.7
要介護2	94	2.1	14.9	19.1	22.3	1.1	2.1	3.2
要介護3	51	2.0	11.8	15.7	37.3	2.0	0.0	3.9
要介護4	39	0.0	23.1	20.5	20.5	0.0	0.0	7.7
要介護5	36	5.6	16.7	13.9	8.3	0.0	0.0	2.8

⑧訪問診療の利用有無

訪問診療を利用しているかについては、「利用していない」が79.1%、「利用している」が15.9%となっている。

図表 213 訪診療の利用有無



※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まない

要介護度別にみると、「要支援1」から「要介護3」は「利用していない」が約7～9割となっている。要介護度が上がるにつれて「利用している」が増える傾向にあり、「要介護4」と「要介護5」は約4～5割が「利用している」となっている。

図表 214 訪問診療の利用有無(要介護度別)

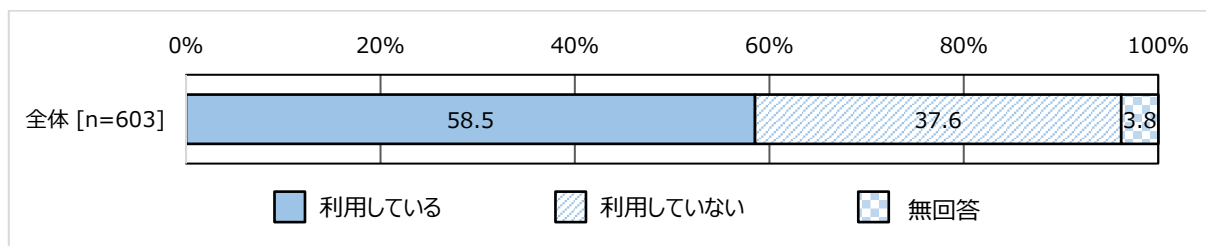
	合計(n=)	利用している	利用していない	無回答
全体	603	15.9	79.1	5.0
非該当	9	0.0	100.0	0.0
要支援1	131	5.3	92.4	2.3
要支援2	154	8.4	83.8	7.8
要介護1	89	12.4	83.1	4.5
要介護2	94	18.1	77.7	4.3
要介護3	51	27.5	70.6	2.0
要介護4	39	38.5	48.7	12.8
要介護5	36	52.8	44.4	2.8

(2) 必要な介護やサービスの利用などについて

①介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）の利用有無

介護保険サービスを利用しているかは、「利用している」が58.5%、「利用していない」が37.6%となっている。

図表 215 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)の利用有無



要介護度別にみると、「要支援1」は「利用していない」が約6割となっている。「要支援2」以上は「利用している」が「利用していない」を上回り、「要介護2」以上では約7～8割が「利用している」となっている。

図表 216 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)の利用有無(要介護度別)

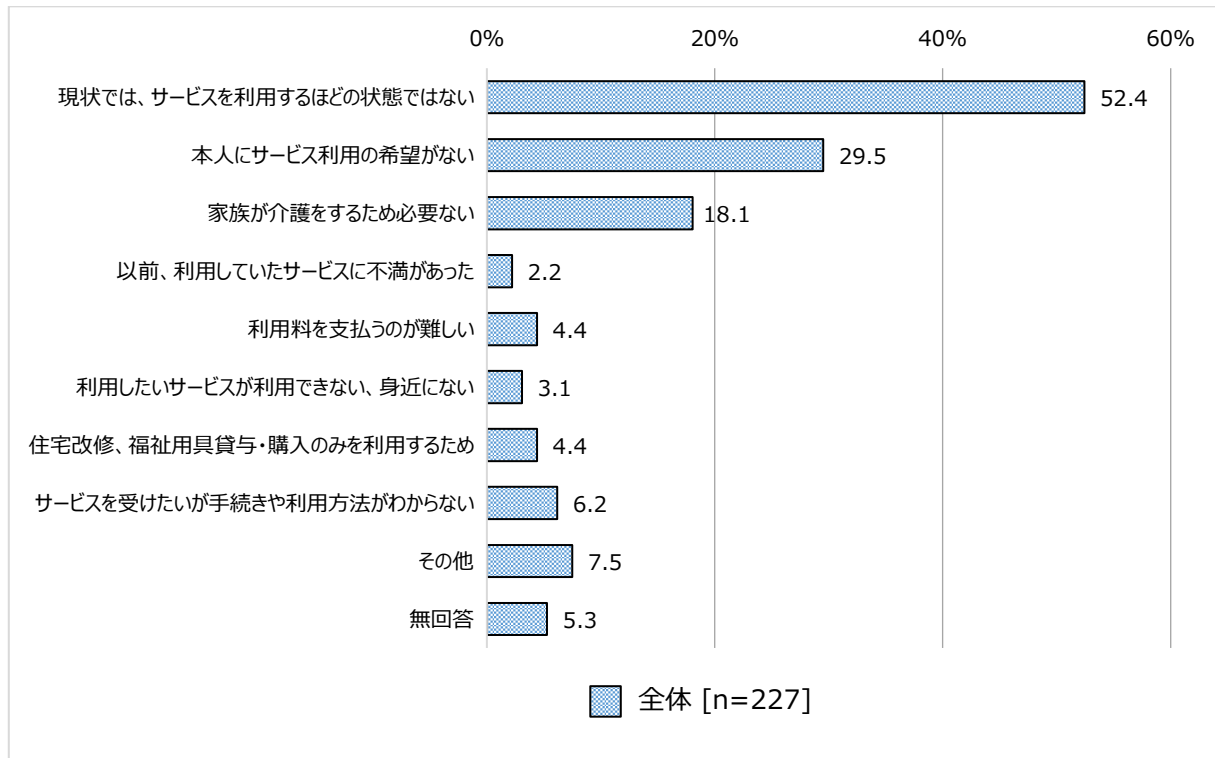
(%)

	合計(n=)	利用している	利用していない	無回答
全体	603	58.5	37.6	3.8
非該当	9	44.4	55.6	0.0
要支援1	131	38.9	60.3	0.8
要支援2	154	54.5	44.2	1.3
要介護1	89	57.3	34.8	7.9
要介護2	94	71.3	24.5	4.3
要介護3	51	72.5	17.6	9.8
要介護4	39	76.9	15.4	7.7
要介護5	36	80.6	16.7	2.8

②介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していないと回答した方に、介護保険サービスを利用していない理由を聞いたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が29.5%、「家族が介護をするため必要ない」が18.1%となっている。

図表 217 介護保険サービスを利用していない理由〔複数回答〕



要介護度別にみると、「要支援1」と「要支援2」は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高い。「要介護1」「要介護2」「要介護4」は「本人にサービス利用の希望がない」が比較的高い傾向にあり、「要介護4」は「家族が介護をするため必要ない」が最も高くなっている。

図表 218 介護保険サービスを利用していない理由〔複数回答〕(要介護度別)

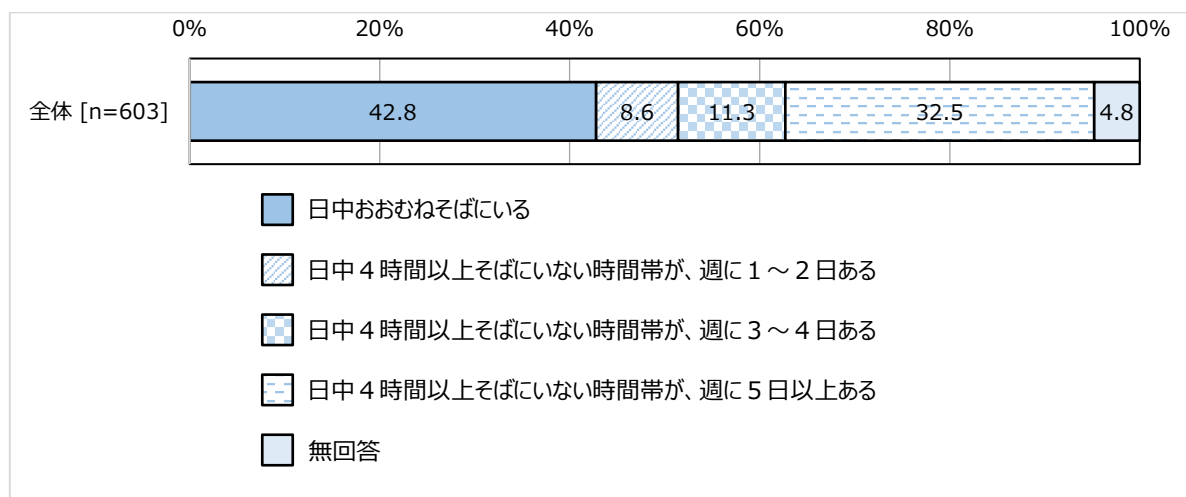
(%)

	合計(人)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答
全体	227	52.4	29.5	18.1	2.2	4.4	3.1	4.4	6.2	7.5	5.3
非該当	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
要支援1	79	72.2	26.6	8.9	1.3	3.8	1.3	3.8	5.1	3.8	7.6
要支援2	68	50.0	27.9	16.2	1.5	4.4	2.9	7.4	8.8	7.4	1.5
要介護1	31	38.7	45.2	29.0	3.2	6.5	0.0	0.0	9.7	6.5	9.7
要介護2	23	34.8	34.8	30.4	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	8.7	0.0
要介護3	9	33.3	22.2	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0
要介護4	6	16.7	50.0	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
要介護5	6	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0

③日中の時間帯に介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいあるか

日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいあるか聞いたところ、「日中おおむねそばにいる」が42.8%と最も高く、次いで「日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある」が32.5%、「日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある」が11.3%となっている。

図表 219 日中の時間帯に介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいあるか



要介護度別にみると、「要支援1」と「要支援2」は「日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある」が最も高く、「要介護1」以上は「日中おおむねそばにいる」が最も高くなっている。

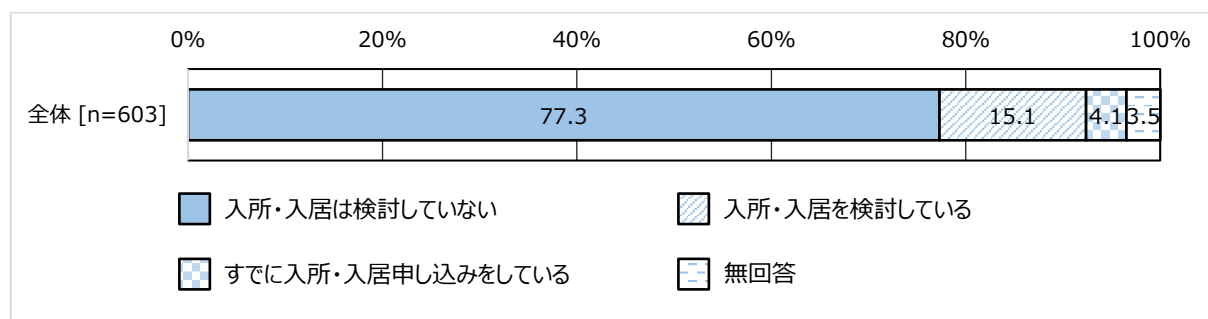
図表 220 日中の時間帯に介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいあるか（要介護度別）

	合計 (n)	日中 おお むね そば に い る	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1～2日ある	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある	無回答
全体	603	42.8	8.6	11.3	32.5	4.8
非該当	9	33.3	22.2	11.1	33.3	0.0
要支援1	131	35.1	3.8	11.5	41.2	8.4
要支援2	154	31.8	10.4	14.3	39.0	4.5
要介護1	89	43.8	10.1	7.9	36.0	2.2
要介護2	94	41.5	6.4	16.0	31.9	4.3
要介護3	51	64.7	13.7	7.8	11.8	2.0
要介護4	39	61.5	12.8	5.1	17.9	2.6
要介護5	36	69.4	5.6	5.6	11.1	8.3

④施設への入所・入居検討状況

現時点での、施設への入所・入居検討状況は、「入所・入居は検討していない」が 77.3%、「入所・入居を検討している」が 15.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.1%となっている。

図表 221 施設への入所・入居検討状況



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す。

要介護度別にみても、いずれも「入所・入居は検討していない」が最も高く、「要支援1」から「要介護2」は約7～9割となっている。「要介護3」と「要介護4」は「入所・入居を検討している」、「要介護5」は「すでに入所・入居申し込みをしている」が比較的高い傾向にある。

図表 222 施設への入所・入居検討状況(要介護度別)

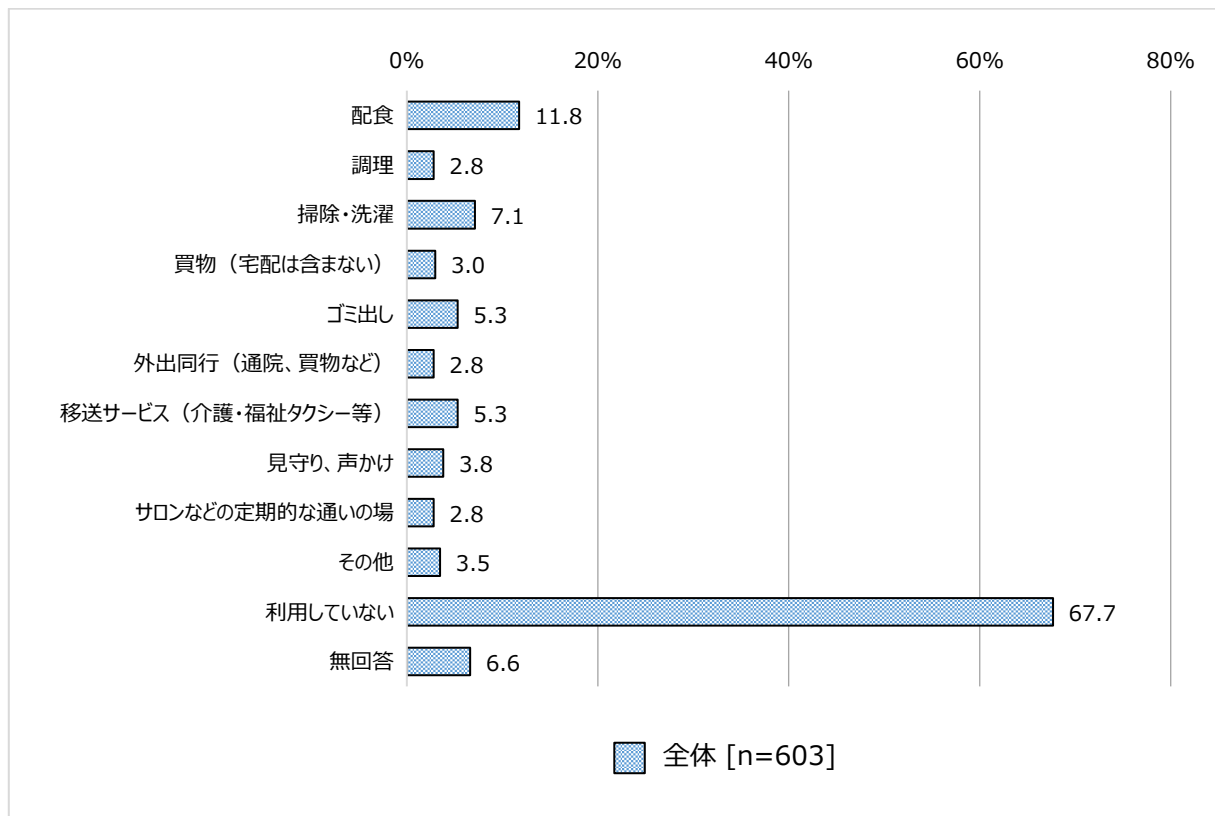
	合計 (n=)	入所・入居は 検討していない	入所・入居を 検討している	すでに入所・入居 申し込みをしている	無回答
全体	603	77.3	15.1	4.1	3.5
非該当	9	100.0	0.0	0.0	0.0
要支援1	131	87.0	8.4	0.0	4.6
要支援2	154	83.8	10.4	0.6	5.2
要介護1	89	78.7	15.7	3.4	2.2
要介護2	94	74.5	20.2	3.2	2.1
要介護3	51	54.9	31.4	11.8	2.0
要介護4	39	66.7	23.1	10.3	0.0
要介護5	36	55.6	16.7	22.2	5.6

(%)

⑤現在利用している介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外の支援・サービスの

現在利用している介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外の支援・サービスは、「利用していない」が 67.7%と最も高い。利用しているサービスとしては、「配食」が 11.8%、「掃除・洗濯」が 7.1%、「ゴミ出し」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに 5.3%となっている。

図表 223 現在利用している介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外の支援・サービス
〔複数回答〕



要介護度別にみると、いずれも「利用していない」が最も高くなっている。利用している支援・サービスでは、「要介護1」以上で「配食」が高くなっている。そのほか、「要介護2」は「掃除・洗濯」「ゴミ出し」、「要介護4」は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「要介護5」は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」も比較的高い傾向にある。

図表 224 現在利用している介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外の支援・サービス
〔複数回答〕(要介護度別)

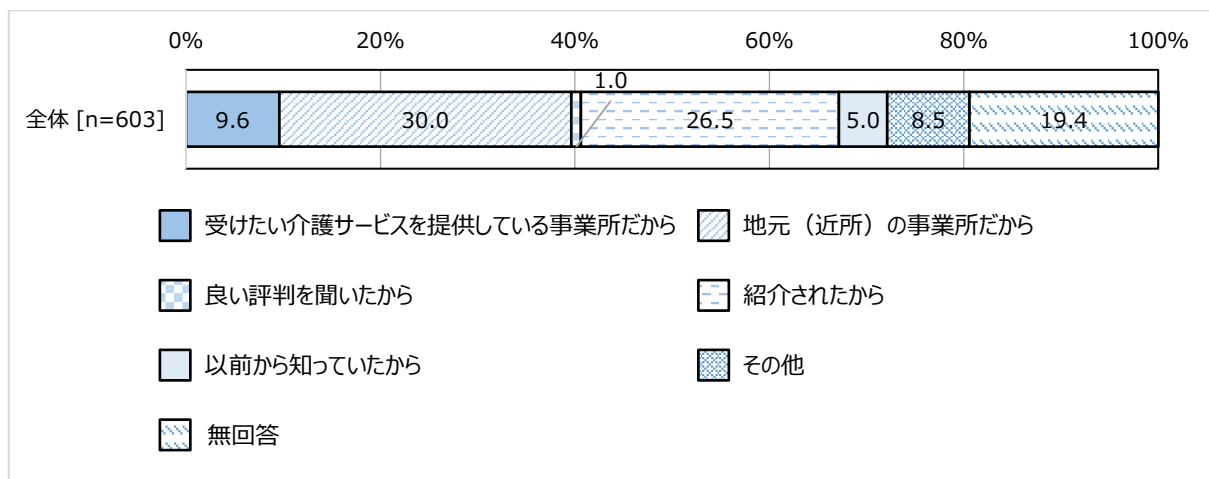
(%)

	合計 (n)	配食	調理	掃除・洗濯	買物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	603	11.8	2.8	7.1	3.0	5.3	2.8	5.3	3.8	2.8	3.5	67.7	6.6
非該当	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	77.8	0.0
要支援1	131	9.2	0.0	3.1	1.5	0.8	0.0	1.5	0.8	2.3	4.6	74.8	8.4
要支援2	154	7.8	1.9	7.8	1.9	3.9	3.9	4.5	0.6	2.6	0.6	75.3	1.9
要介護1	89	15.7	2.2	5.6	3.4	2.2	3.4	5.6	2.2	4.5	2.2	70.8	4.5
要介護2	94	18.1	6.4	14.9	7.4	14.9	6.4	3.2	7.4	0.0	3.2	56.4	6.4
要介護3	51	11.8	3.9	7.8	2.0	9.8	3.9	9.8	9.8	3.9	5.9	56.9	17.6
要介護4	39	12.8	5.1	2.6	2.6	5.1	0.0	15.4	7.7	0.0	10.3	56.4	10.3
要介護5	36	13.9	5.6	8.3	2.8	5.6	0.0	11.1	11.1	5.6	5.6	55.6	8.3

⑥担当のケアマネジャーをどのように選んだか

担当のケアマネジャーをどのように選んだかは、「地元（近所）の事業所だから」が 30.0%、「紹介されたから」が 26.5%、「受きたい介護サービスを提供している事業所だから」が 9.6%となっている。

図表 225 担当のケアマネジャーをどのように選んだか



要介護度別にみると、「要支援1」から「要介護1」は、「地元（近所）の事業所だから」が最も高く、「要介護2」以上は、「紹介されたから」が最も高くなっている。

図表 226 担当のケアマネジャーをどのように選んだか(要介護度別)

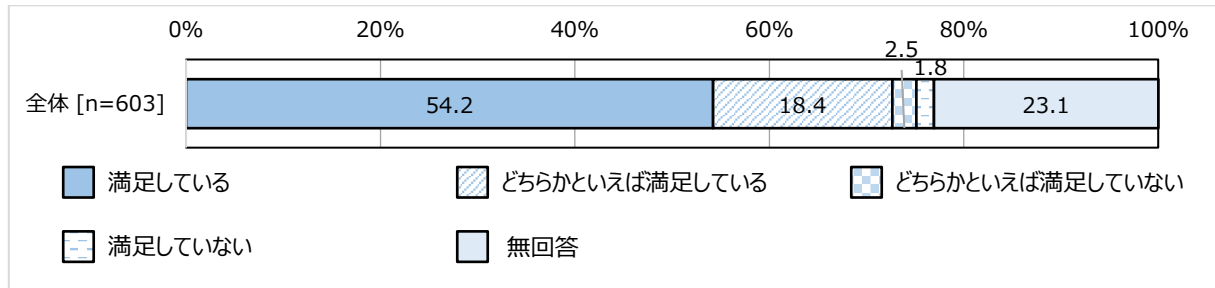
	合計(人)	受きたい介護サービスを提供している事業所だから	地元(近所)の事業所だから	良い評判を聞いたから	紹介されたから	以前から知っていたから	その他	無回答
全体	603	9.6	30.0	1.0	26.5	5.0	8.5	19.4
非該当	9	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6
要支援1	131	7.6	35.1	0.0	12.2	2.3	8.4	34.4
要支援2	154	6.5	38.3	0.6	20.1	3.9	7.1	23.4
要介護1	89	10.1	31.5	2.2	29.2	3.4	6.7	16.9
要介護2	94	13.8	20.2	1.1	38.3	10.6	11.7	4.3
要介護3	51	13.7	17.6	2.0	43.1	5.9	7.8	9.8
要介護4	39	10.3	28.2	0.0	41.0	5.1	10.3	5.1
要介護5	36	13.9	13.9	2.8	36.1	8.3	11.1	13.9

⑦担当のケアマネジャーに満足しているか

担当のケアマネジャーに満足しているかは、「満足している」が 54.2%、「どちらかといえば満足している」が 18.4%と、約 7 割が満足しているとなっている。

要介護別にみても、いずれも「満足している」が最も高くなっている。

図表 227 担当のケアマネに満足しているか



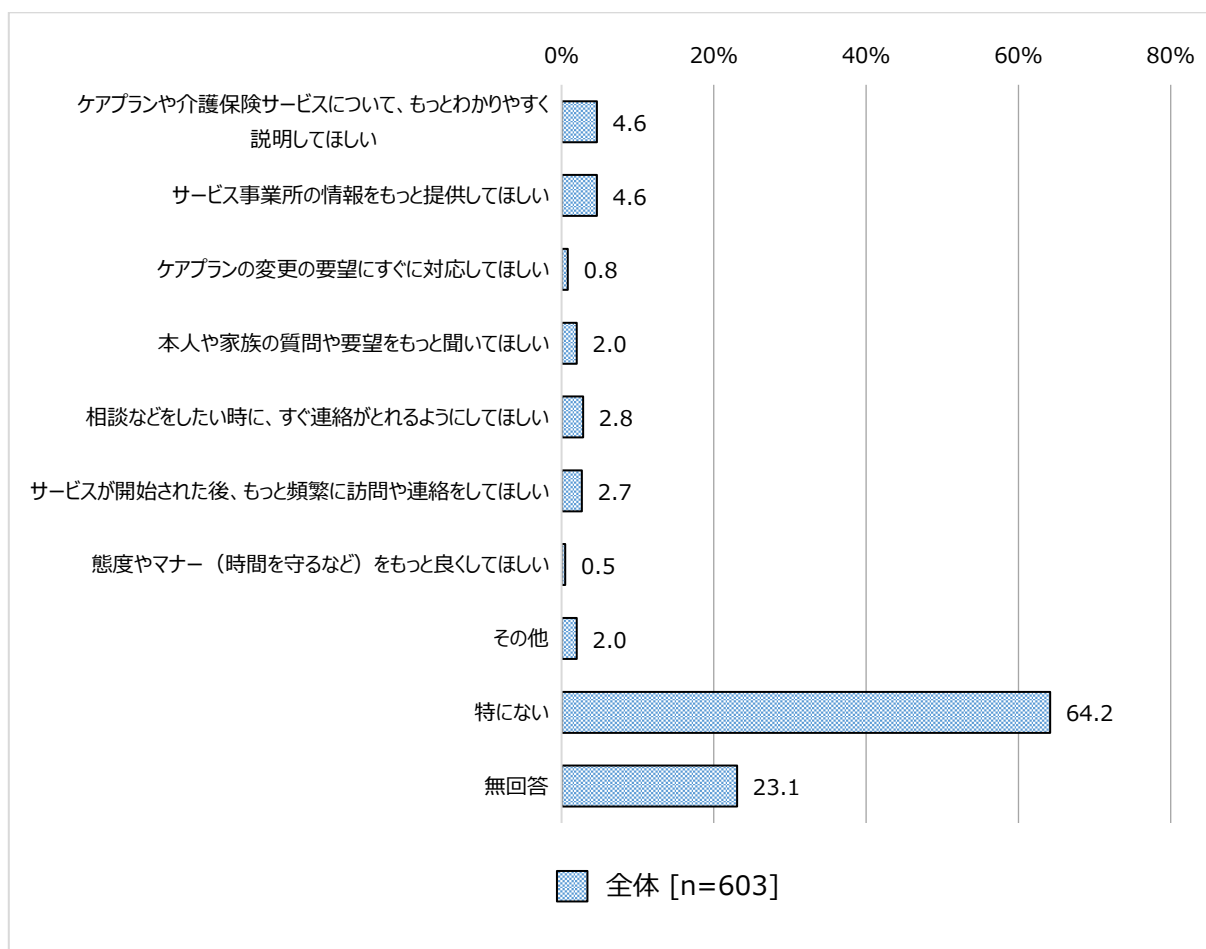
図表 228 担当のケアマネに満足しているか(要介護度別)

	合計 (n=)	満足している	どちらかといえば 満足している	どちらかといえば 満足していない	満足していない	無回答
全体	603	54.2	18.4	2.5	1.8	23.1
非該当	9	33.3	11.1	0.0	0.0	55.6
要支援1	131	48.9	9.9	0.8	1.5	38.9
要支援2	154	47.4	20.1	4.5	1.3	26.6
要介護1	89	48.3	25.8	0.0	3.4	22.5
要介護2	94	67.0	20.2	3.2	1.1	8.5
要介護3	51	58.8	19.6	2.0	3.9	15.7
要介護4	39	66.7	23.1	5.1	0.0	5.1
要介護5	36	69.4	13.9	2.8	2.8	11.1

⑧担当のケアマネジャーへの要望

担当のケアマネジャーへの要望は、「特にない」が64.2%となっている。要望の中では、「ケアプランや介護保険サービスについて、もっとわかりやすく説明してほしい」と「サービス事業所の情報をもっと提供してほしい」がともに4.6%、「相談などをしたい時に、すぐ連絡がとれるようにしてほしい」が2.8%、「サービスが開始された後、もっと頻繁に訪問や連絡をしてほしい」が2.7%となっている。

図表 229 担当のケアマネジャーへの要望〔複数回答〕



要介護別にみても、いずれも「特にない」が最も高くなっている。

図表 230 担当のケアマネジャーへの要望〔複数回答〕(要介護度別)

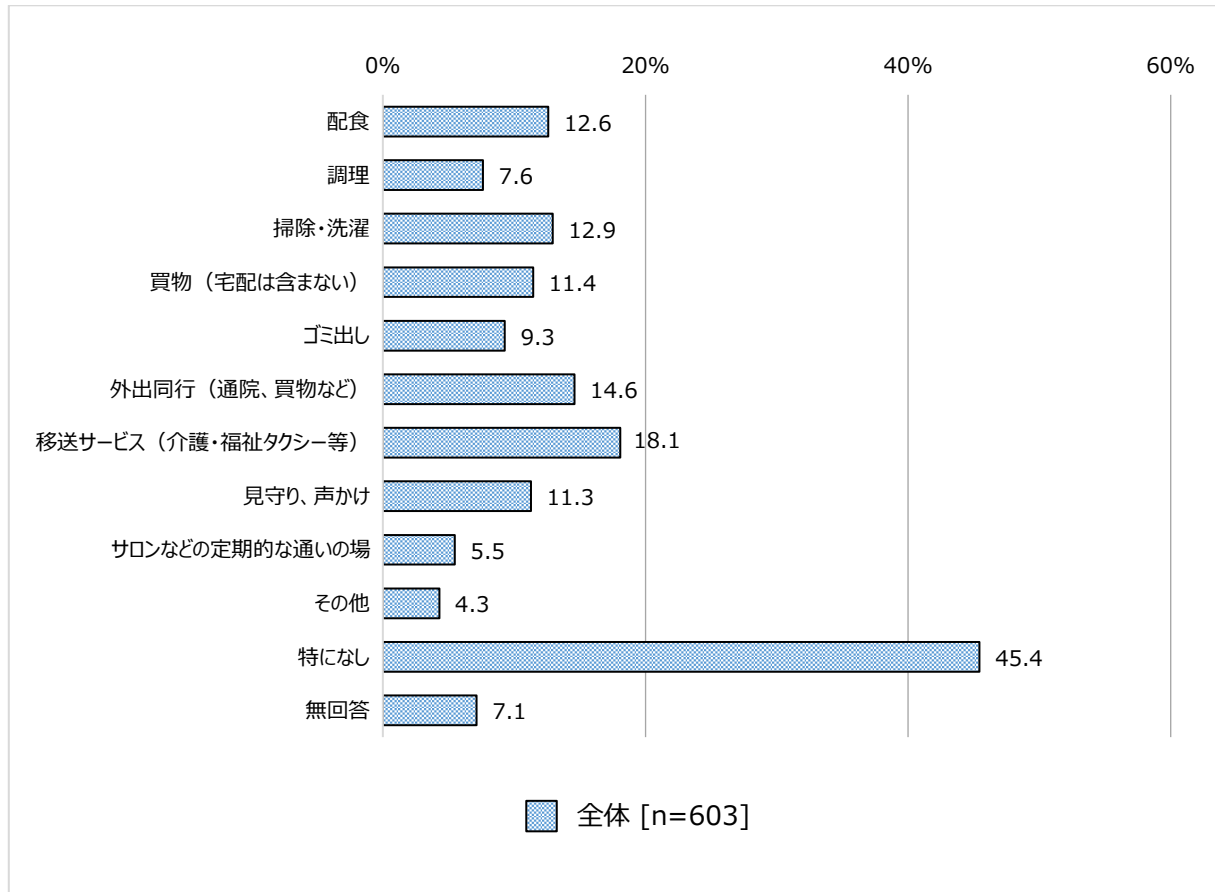
(%)

	合計(人)	ケアプランや介護保険サービスについて、もっとわかりやすく説明してほしい	サービス事業所の情報をもっと提供してほしい	ケアプランの変更の要望にすぐに対応してほしい	本人や家族の質問や要望をもっと聞いてほしい	相談などをしてほしい時に、すぐ連絡がとれるようにしてほしい	相談などを開始された後、もっと頻繁に訪問や連絡をしてほしい	サービスが開始された後、もっと頻	態度やマナー(時間を守るなど)をもっと良くしてほしい	その他	特にない	無回答
全体	603	4.6	4.6	0.8	2.0	2.8	2.7	0.5	2.0	64.2	23.1	
非該当	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	55.6	
要支援1	131	3.8	3.1	0.0	0.0	3.1	2.3	0.8	2.3	54.2	38.2	
要支援2	154	7.1	5.8	0.6	3.2	2.6	2.6	0.6	1.3	57.8	27.3	
要介護1	89	3.4	5.6	2.2	2.2	5.6	4.5	1.1	1.1	58.4	25.8	
要介護2	94	2.1	4.3	2.1	1.1	1.1	2.1	0.0	2.1	77.7	8.5	
要介護3	51	5.9	3.9	0.0	5.9	2.0	2.0	0.0	3.9	78.4	9.8	
要介護4	39	5.1	7.7	0.0	2.6	2.6	2.6	0.0	2.6	79.5	5.1	
要介護5	36	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	77.8	11.1	

⑨今後在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.1%、「外出同行（通院、買物など）」が14.6%、「掃除・洗濯」が12.9%、「配食」が12.6%となっている。一方、「特になし」が45.4%となっている。

図表 231 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス〔複数回答〕



要介護度別にみると、いずれも「特になし」が最も高いが、「要支援2」以上になると具体的な支援・サービスが高くなる傾向にある。概ね「要支援2」以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高いほか、「要介護1」は「配食」、「要介護2」は「掃除・洗濯」、「要介護4」は「見守り、声かけ」、「要介護5」は「外出同行（通院、買物など）」も比較的高い傾向にある。

図表 232 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス〔複数回答〕（要介護度別）

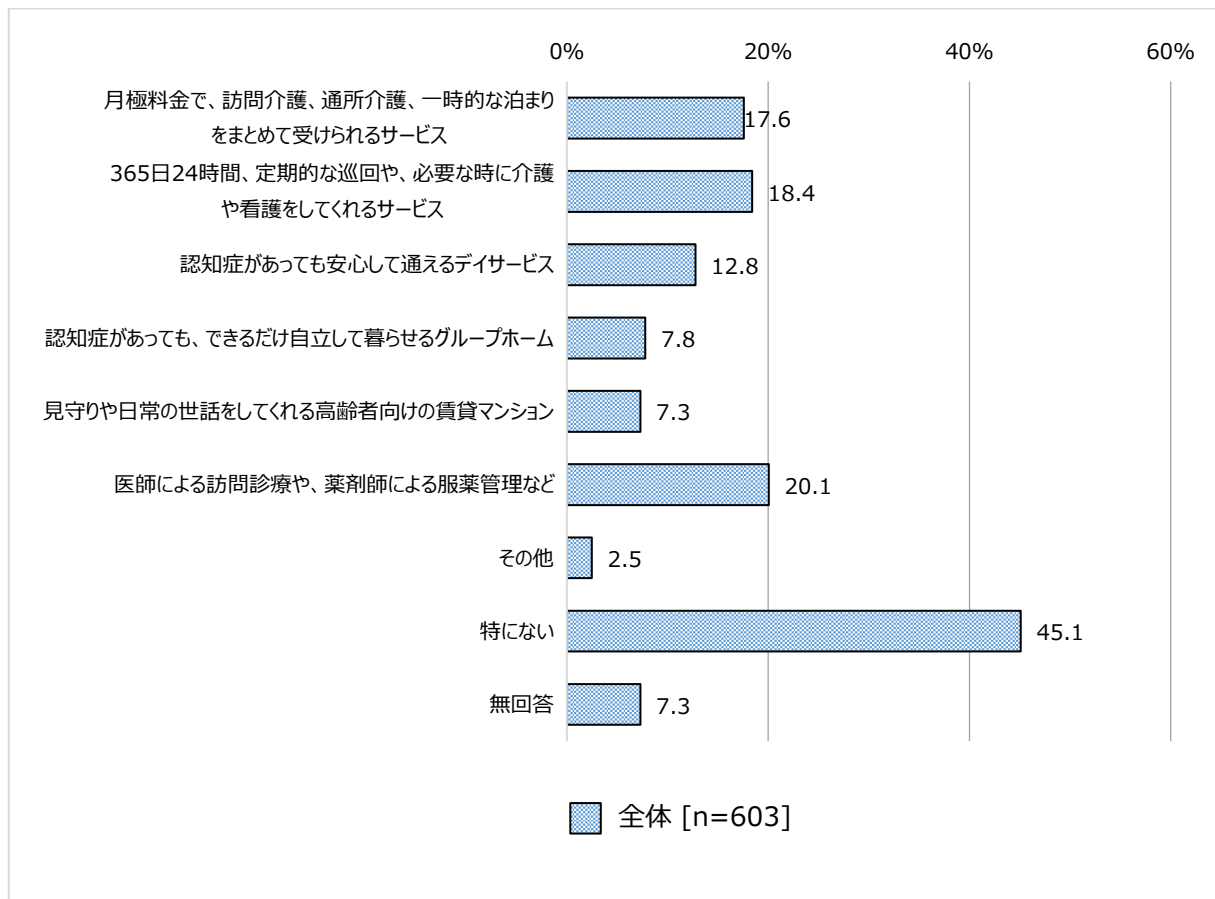
(%)

	合計 (n)	配食	調理	掃除・洗濯	買物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	603	12.6	7.6	12.9	11.4	9.3	14.6	18.1	11.3	5.5	4.3	45.4	7.1
非該当	9	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	33.3	11.1	33.3	0.0
要支援1	131	4.6	4.6	7.6	9.9	5.3	6.1	9.9	9.2	5.3	3.1	58.8	9.2
要支援2	154	13.6	7.1	14.3	13.6	9.7	14.9	21.4	7.1	2.6	3.2	44.8	7.8
要介護1	89	20.2	6.7	12.4	7.9	12.4	20.2	21.3	14.6	11.2	5.6	42.7	6.7
要介護2	94	14.9	14.9	23.4	16.0	10.6	17.0	16.0	12.8	4.3	2.1	40.4	3.2
要介護3	51	13.7	5.9	9.8	9.8	9.8	15.7	19.6	15.7	5.9	9.8	37.3	9.8
要介護4	39	10.3	10.3	5.1	7.7	7.7	17.9	25.6	23.1	2.6	7.7	33.3	7.7
要介護5	36	11.1	2.8	11.1	11.1	8.3	19.4	19.4	5.6	2.8	2.8	47.2	5.6

⑩今後自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために利用したいサービス

今後、自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために利用したいサービスは、「医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など」が20.1%、「365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」が18.4%、「月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス」が17.6%となっている。一方、「特にない」が45.1%となっている。

図表 233 今後自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために利用したいサービス〔複数回答〕



要介護度別にみると、「要支援1」と「要支援2」は「特にない」が最も高い。「要介護1」から「要介護3」は「月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス」が最も高く、「要介護4」と「要介護5」は、「365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」が最も高くなっている。

図表 234 今後自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために利用したいサービス
〔複数回答〕(要介護度別)

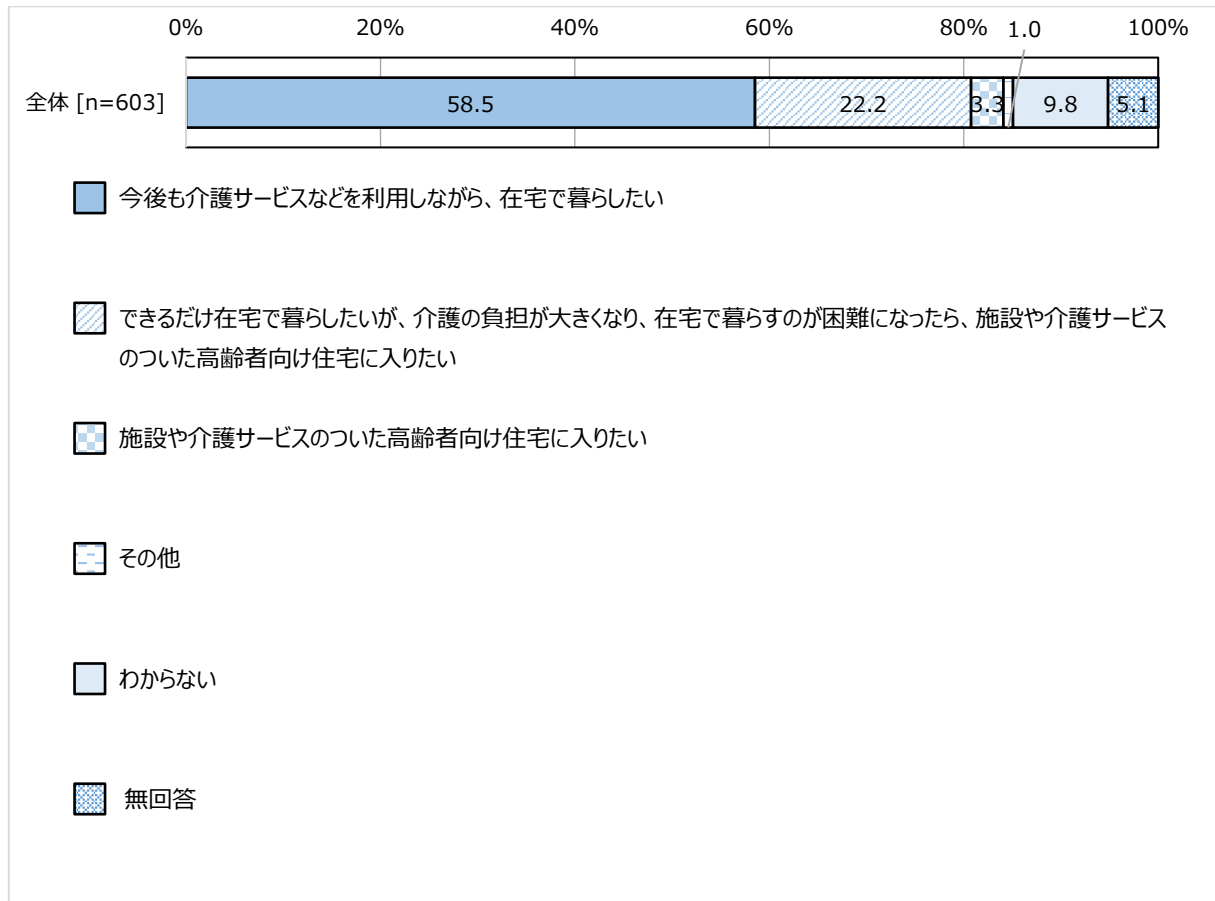
(%)

	合計(Ⅱ)	月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス	365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス	認知症があっても安心して通えるデイサービス	認知症があっても、できるだけ自立して暮らせるグループホーム	見守りや日常の世話をしてくれる高齢者向けの賃貸マンション	医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など	その他	特にない
全体	603	17.6	18.4	12.8	7.8	7.3	20.1	2.5	45.1
非該当	9	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
要支援1	131	10.7	16.0	10.7	8.4	5.3	17.6	1.5	53.4
要支援2	154	9.7	12.3	7.1	5.2	6.5	16.2	3.9	55.2
要介護1	89	23.6	14.6	10.1	5.6	6.7	20.2	4.5	43.8
要介護2	94	22.3	21.3	19.1	9.6	11.7	18.1	0.0	38.3
要介護3	51	29.4	19.6	19.6	13.7	5.9	27.5	0.0	33.3
要介護4	39	28.2	33.3	25.6	7.7	5.1	33.3	2.6	25.6
要介護5	36	22.2	36.1	13.9	11.1	13.9	30.6	5.6	25.0

⑪ 今後についての考え

今後についてどのように考えているか聞いたところ、「今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい」が58.5%と最も高く、次いで「できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい」が22.2%となっている。

図表 235 今後についての考え



要介護度別にみても、いずれも、「今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい」が最も高い。「できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい」は、「要介護3」で比較的高くなっている。

図表 236 今後についての考え(要介護度別)

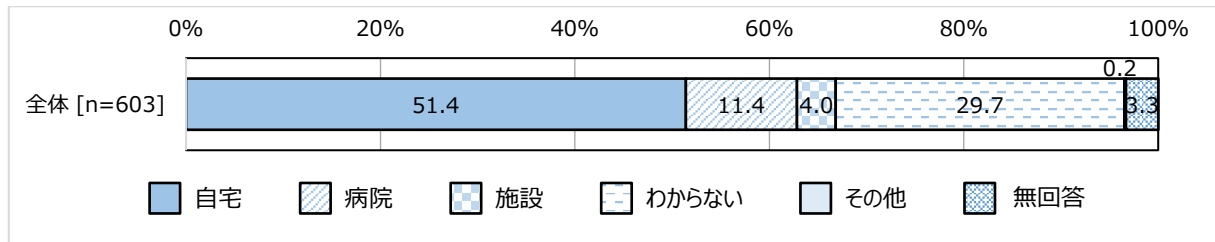
(%)

	合計(コリ)	今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい	できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい	施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい	その他	わからない	無回答
全体	603	58.5	22.2	3.3	1.0	9.8	5.1
非該当	9	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1
要支援1	131	55.7	23.7	1.5	0.0	13.7	5.3
要支援2	154	64.9	18.8	2.6	0.6	7.8	5.2
要介護1	89	56.2	23.6	2.2	0.0	11.2	6.7
要介護2	94	62.8	20.2	1.1	1.1	9.6	5.3
要介護3	51	47.1	27.5	7.8	0.0	11.8	5.9
要介護4	39	61.5	25.6	7.7	0.0	5.1	0.0
要介護5	36	50.0	19.4	11.1	11.1	5.6	2.8

⑫どこで最期を迎えたいか

どこで最期を迎えたいかは、「自宅」が51.4%と最も高く、次いで「病院」が11.4%となっている。一方、「わからない」が29.7%となっている。

図表 237 どこで最期を迎えたいか



要介護度別にみても、いずれも「自宅」が最も高く、「わからない」も比較的高い傾向にある。「要支援1」から「要介護1」で「病院」が比較的高い傾向にある。

図表 238 どこで最期を迎えたいか(要介護度別)

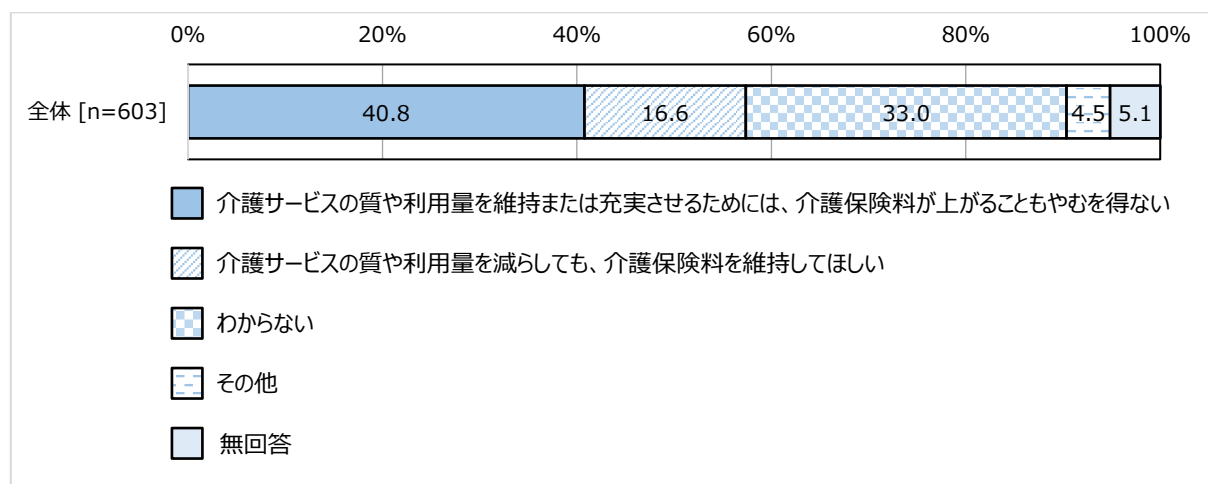
(%)

	合計 (n=)	自宅	病院	施設	わから ない	その他	無回答
全体	603	51.4	11.4	4.0	29.7	0.2	3.3
非該当	9	44.4	11.1	0.0	44.4	0.0	0.0
要支援1	131	56.5	13.0	4.6	24.4	0.0	1.5
要支援2	154	51.9	12.3	3.9	29.2	0.0	2.6
要介護1	89	40.4	19.1	1.1	31.5	0.0	7.9
要介護2	94	59.6	9.6	3.2	25.5	0.0	2.1
要介護3	51	45.1	5.9	5.9	37.3	0.0	5.9
要介護4	39	48.7	2.6	2.6	41.0	0.0	5.1
要介護5	36	50.0	5.6	11.1	30.6	2.8	0.0

⑬現在納めている介護保険料についてどう思うか

現在納めている介護保険料については、「介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない」が40.8%、「介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい」が16.6%、「わからない」が33.0%となっている。

図表 239 現在納めている介護保険料についてどう思うか



要介護度別にみても、概ね「介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない」が最も高い。「要支援1」から「要介護1」で「介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい」が比較的高い傾向にある。

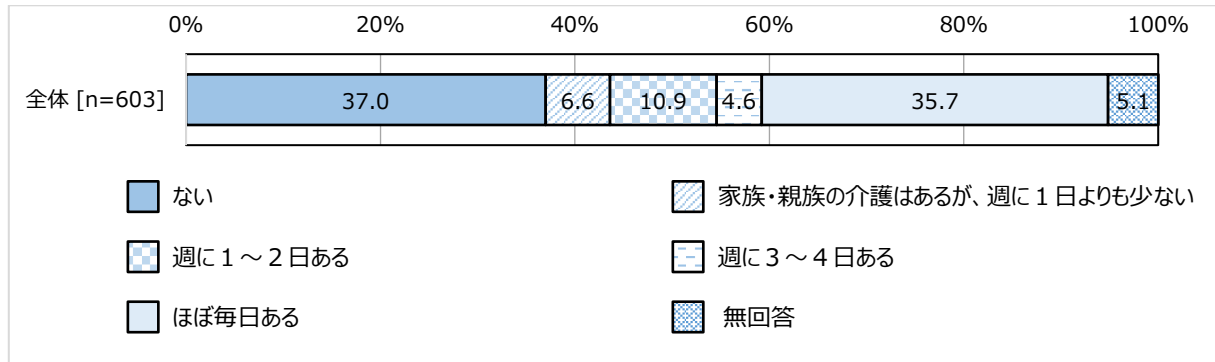
図表 240 現在納めている介護保険料についてどう思うか(要介護度別)

	合計(人)	介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない	介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい	わからない	その他	無回答
全体	603	40.8	16.6	33.0	4.5	5.1
非該当	9	44.4	22.2	22.2	0.0	11.1
要支援1	131	37.4	18.3	35.9	3.1	5.3
要支援2	154	44.2	20.1	28.6	3.2	3.9
要介護1	89	37.1	19.1	29.2	5.6	9.0
要介護2	94	39.4	11.7	42.6	3.2	3.2
要介護3	51	39.2	11.8	33.3	9.8	5.9
要介護4	39	46.2	15.4	28.2	5.1	5.1
要介護5	36	47.2	8.3	33.3	8.3	2.8

⑭家族や親族からの介護の頻度（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

家族や親族からの介護の頻度（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）は、「ない」が37.0%、「ほぼ毎日ある」が35.7%、「週に1～2日ある」が10.9%となっている。

図表 241 家族や親族からの介護の頻度



要介護度別にみると、「要支援1」と「要支援2」は「ない」が最も高く、「要介護1」以上は「ほぼ毎日ある」が最も高い。「要介護5」は「ない」と「週に1～2日ある」も比較的高い傾向にある。

図表 242 家族や親族からの介護の頻度（要介護度別）

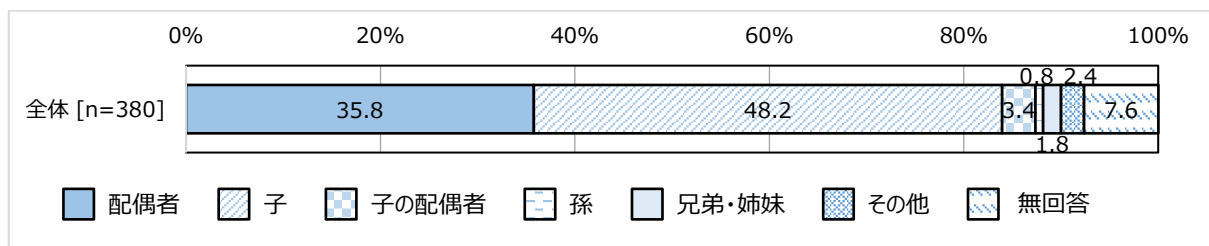
	合計 (人)	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体	603	37.0	6.6	10.9	4.6	35.7	5.1
非該当	9	66.7	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0
要支援1	131	54.2	6.1	12.2	3.1	19.8	4.6
要支援2	154	46.1	7.8	11.7	5.8	24.7	3.9
要介護1	89	30.3	7.9	11.2	3.4	33.7	13.5
要介護2	94	19.1	8.5	11.7	6.4	52.1	2.1
要介護3	51	23.5	3.9	7.8	5.9	54.9	3.9
要介護4	39	15.4	7.7	0.0	5.1	66.7	5.1
要介護5	36	33.3	0.0	16.7	2.8	44.4	2.8

(3) 主な介護者について《介護者への質問》

①主な介護者

家族や親族からの介護があると回答した方の、主な介護者は、「子」が48.2%と最も高く、次いで「配偶者」が35.8%、「子の配偶者」が3.4%となっている。

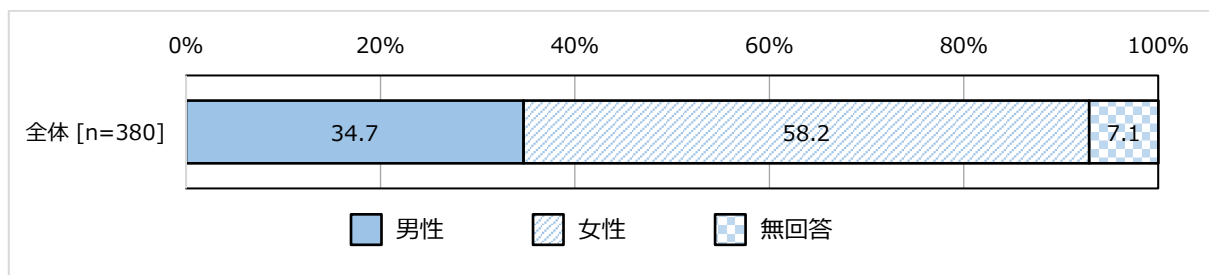
図表 243 主な介護者



②主な介護者の性別

家族や親族からの介護があると回答した方の、主な介護者の性別は、「女性」が58.2%、「男性」が34.7%となっている。

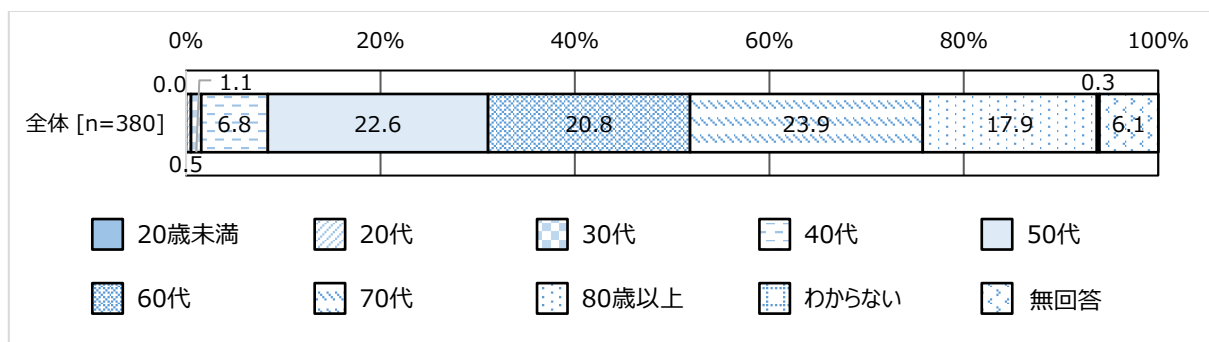
図表 244 主な介護者の性別



③主な介護者の年齢

家族や親族からの介護があると回答した方の、主な介護者の年齢は、「70代」が23.9%と最も高く、次いで「50代」が22.6%、「60代」が20.8%、「80歳以上」が17.9%となっており、60代以上が約6割を占めている。

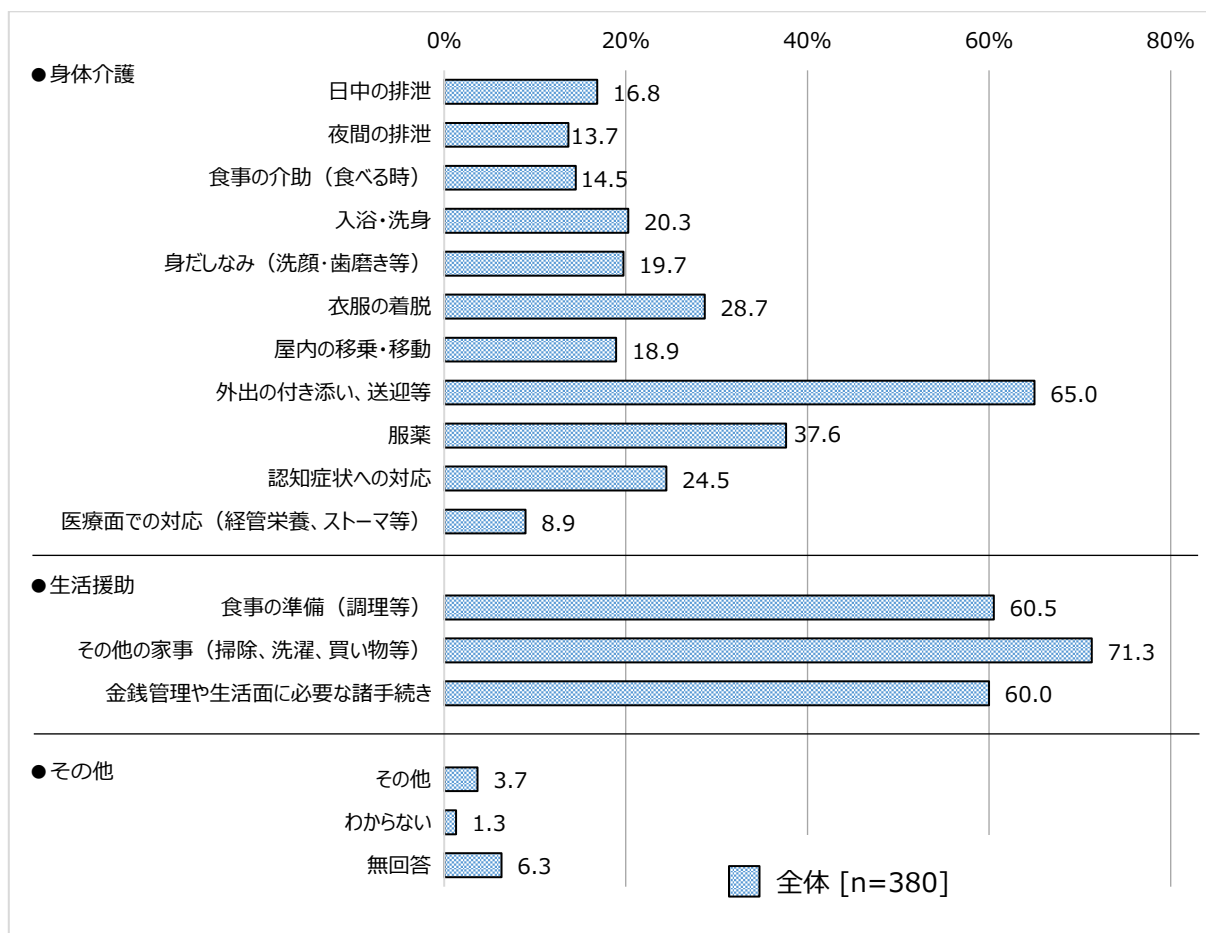
図表 245 主な介護者の年齢



④主な介護者が行っている介護等

家族や親族からの介護があると回答した方の、主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が71.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が65.0%、「食事の準備（調理等）」が60.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が60.0%、「服薬」が37.6%、「衣服の着脱」が28.7%、「認知症状への対応」が24.5%となっている。

図表 246 主な介護者が行っている介護等〔複数回答〕



要介護度別にみると、「要支援１」は「外出の付き添い、送迎等」が最も高く、「要支援２」から「要介護２」は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「要介護３」は「食事の準備（調理等）」、「要介護４」と「要介護５」は「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっている。

図表 247 主な介護者が行っている介護等〔複数回答〕（要介護度別）

(%)

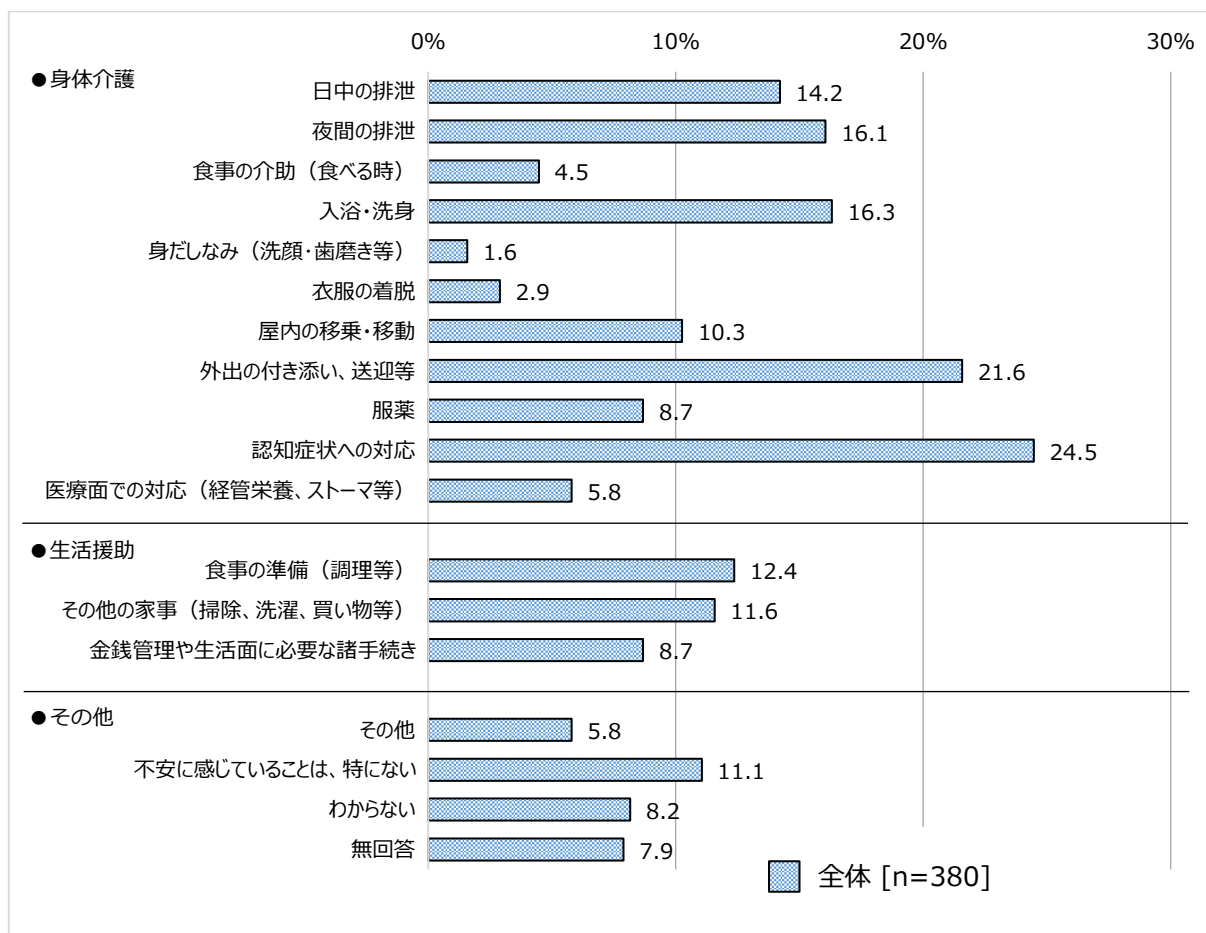
	合計 (人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎送 外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
全体	380	16.8	13.7	14.5	20.3	19.7	28.7	18.9	65.0	37.6	24.5	8.9
非該当	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
要支援１	60	0.0	0.0	3.3	1.7	0.0	3.3	3.3	58.3	10.0	8.3	3.3
要支援２	83	1.2	1.2	4.8	10.8	4.8	12.0	7.2	62.7	10.8	3.6	1.2
要介護１	62	1.6	1.6	4.8	17.7	8.1	21.0	8.1	62.9	40.3	25.8	8.1
要介護２	76	17.1	14.5	14.5	30.3	22.4	35.5	17.1	69.7	48.7	36.8	10.5
要介護３	39	41.0	30.8	23.1	38.5	41.0	53.8	35.9	71.8	61.5	41.0	15.4
要介護４	33	54.5	45.5	42.4	36.4	63.6	66.7	63.6	78.8	81.8	42.4	15.2
要介護５	24	62.5	50.0	50.0	20.8	50.0	58.3	45.8	54.2	62.5	41.7	29.2

	合計 (人)	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体	380	60.5	71.3	60.0	3.7	1.3	6.3
非該当	3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
要支援１	60	40.0	56.7	28.3	0.0	1.7	11.7
要支援２	83	43.4	63.9	43.4	2.4	1.2	10.8
要介護１	62	61.3	77.4	62.9	9.7	1.6	6.5
要介護２	76	68.4	76.3	73.7	2.6	0.0	1.3
要介護３	39	84.6	82.1	82.1	2.6	2.6	2.6
要介護４	33	81.8	81.8	84.8	0.0	3.0	3.0
要介護５	24	75.0	70.8	79.2	12.5	0.0	4.2

⑤現在の生活を継続するにあたり、介護者が不安に感じる介護

家族や親族からの介護があると回答した方の、生活を継続するにあたり、介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が24.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が21.6%、「入浴・洗身」が16.3%、「夜間の排泄」が16.1%、「日中の排泄」が14.2%、「食事の準備（調理等）」が12.4%となっている。

図表 248 現在の生活を継続するにあたり、介護者が不安に感じる介護〔複数回答・3つまで〕



要介護度別にみると、「要支援1」と「要支援2」は「外出の付き添い、送迎等」が最も高く、「要介護1」から「要介護4」は「認知症状への対応」、「要介護5」は「夜間の排泄」が最も高くなっている。

図表 249 現在の生活を継続するにあたり、介護者が不安に感じる介護（要介護度別）〔複数回答・3つまで〕

(%)

	合計 (人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
全体	380	14.2	16.1	4.5	16.3	1.6	2.9	10.3	21.6	8.7	24.5	5.8
非該当	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
要支援1	60	6.7	8.3	1.7	10.0	0.0	0.0	6.7	23.3	8.3	15.0	8.3
要支援2	83	9.6	7.2	2.4	20.5	0.0	1.2	13.3	31.3	7.2	9.6	3.6
要介護1	62	11.3	17.7	3.2	17.7	0.0	4.8	1.6	17.7	16.1	27.4	6.5
要介護2	76	21.1	18.4	5.3	17.1	2.6	6.6	10.5	21.1	7.9	30.3	3.9
要介護3	39	12.8	25.6	0.0	15.4	5.1	2.6	17.9	20.5	7.7	41.0	5.1
要介護4	33	30.3	24.2	15.2	15.2	6.1	0.0	18.2	18.2	6.1	39.4	9.1
要介護5	24	16.7	29.2	12.5	16.7	0.0	4.2	8.3	4.2	4.2	25.0	8.3

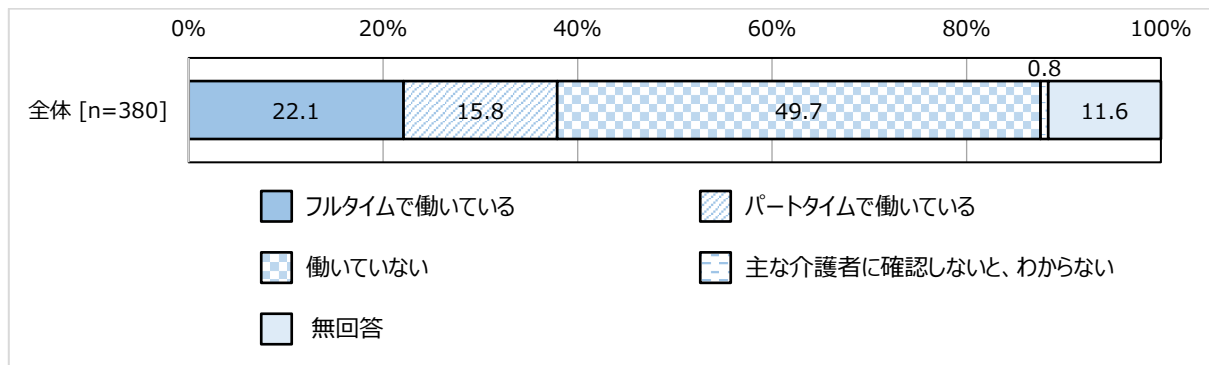
	合計 (人)	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	わからない	無回答
全体	380	12.4	11.6	8.7	5.8	11.1	8.2	7.9
非該当	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
要支援1	60	11.7	16.7	11.7	1.7	15.0	13.3	15.0
要支援2	83	13.3	16.9	10.8	2.4	7.2	12.0	10.8
要介護1	62	9.7	11.3	8.1	12.9	11.3	9.7	4.8
要介護2	76	15.8	10.5	9.2	3.9	10.5	6.6	5.3
要介護3	39	15.4	12.8	7.7	7.7	10.3	0.0	2.6
要介護4	33	9.1	0.0	3.0	6.1	12.1	3.0	0.0
要介護5	24	8.3	0.0	4.2	12.5	12.5	0.0	16.7

(4) 主な介護者の就労について《介護者への質問》

①主な介護者の勤務形態

家族や親族からの介護があると回答した方の、主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が49.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が22.1%、「パートタイムで働いている」が15.8%となっている。

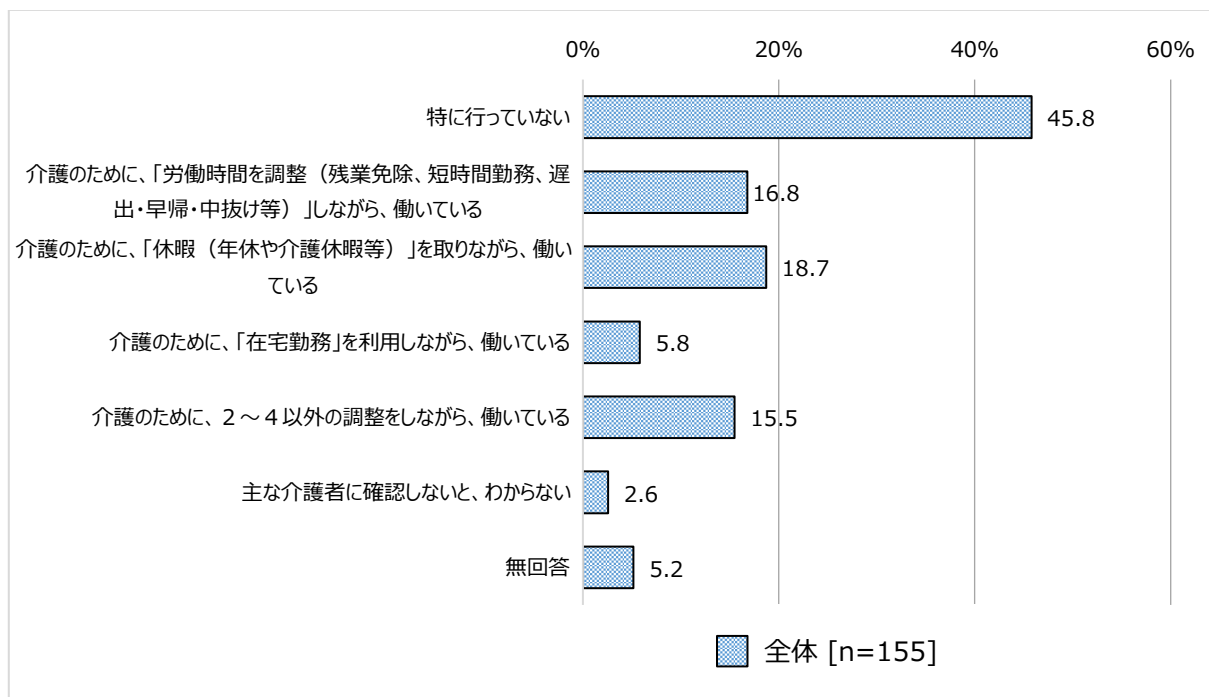
図表 250 主な介護者の勤務形態



②介護をするにあたっての働き方の調整等の有無

主な介護者が働いていると回答した方に、介護をするにあたって働き方の調整等をしているか聞いたところ、「特に行っていない」が45.8%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.7%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が16.8%となっている。

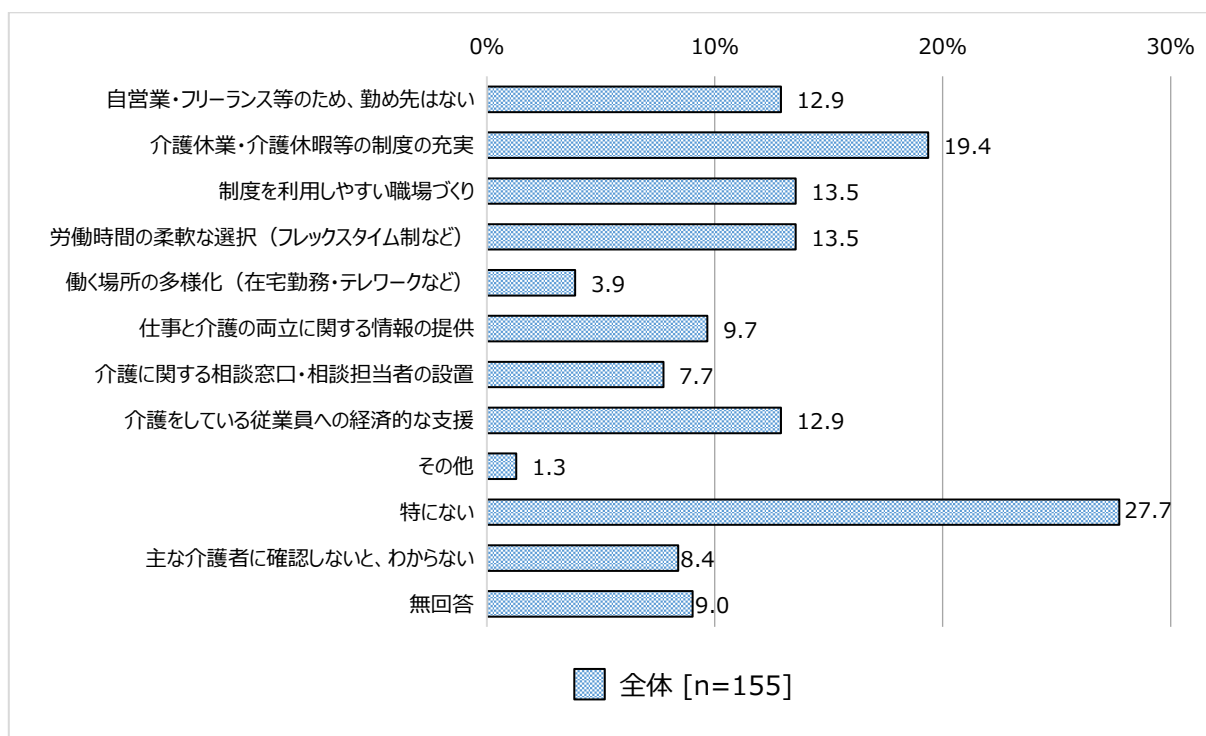
図表 251 介護をするにあたっての働き方の調整等の有無〔複数回答〕



③勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があるか

主な介護者が働いていると回答した方に、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があるか聞いたところ、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が19.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がともに13.5%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」と「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに12.9%となっている。

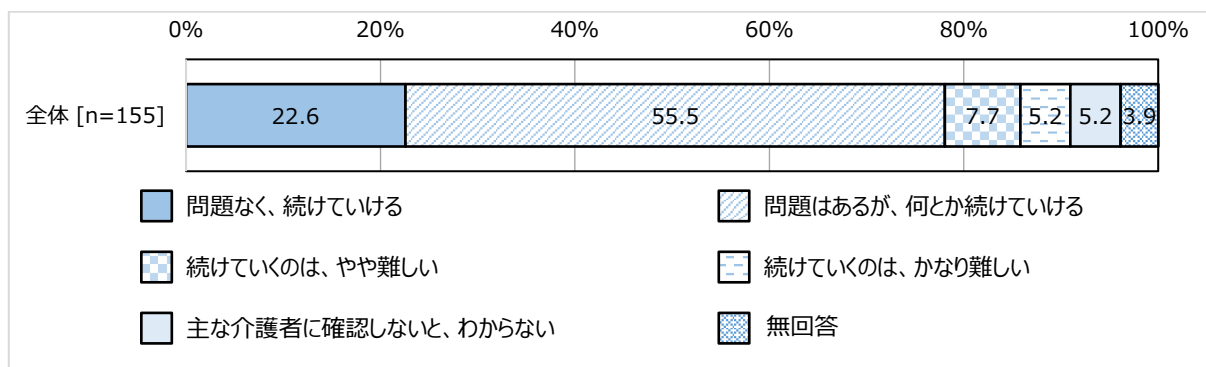
図表 252 勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があるか〔複数回答〕



④今後も働きながら介護を続けていけるか

主な介護者が働いていると回答した方に、今後も働きながら介護を続けていけるか聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.5%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.6%、「続けていくのは、やや難しい」が7.7%となっている。

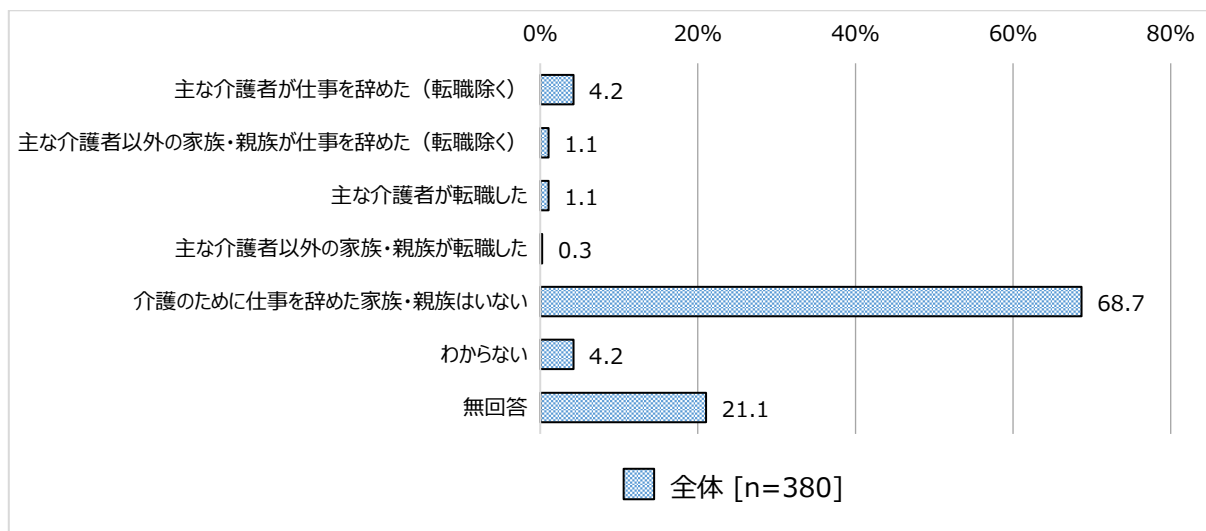
図表 253 今後も働きながら介護を続けていけるか



⑤家族や親族に介護を理由に過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか

家族や親族からの介護があると回答した方に、家族や親族に、介護を理由に過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか聞いたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が68.7%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.2%となっている。

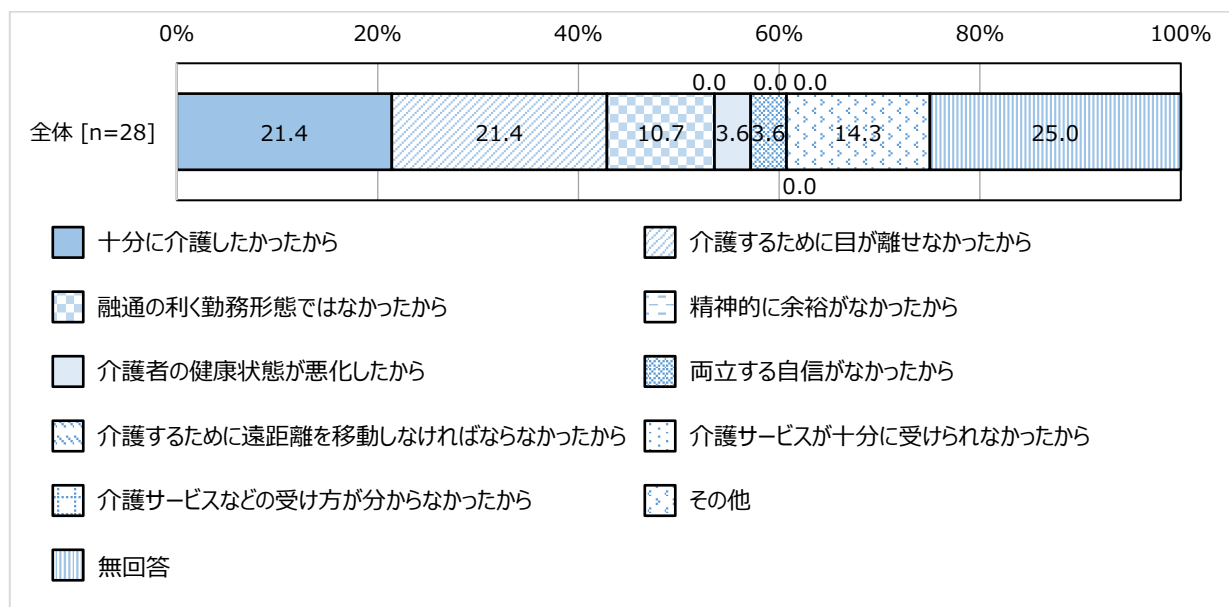
図表 254 家族や親族に介護を理由に過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか〔複数回答〕



⑥仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由

家族や親族が介護を理由に過去1年の間に仕事を辞めたり、転職したと回答した方に、仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由を聞いたところ、「十分に介護したかったから」と「介護するために目が離せなかったから」がともに21.4%と最も高く、次いで「融通の利く勤務形態ではなかったから」が10.7%、「介護者の健康状態が悪化したから」と「両立する自信がなかったから」がともに3.6%となっている。

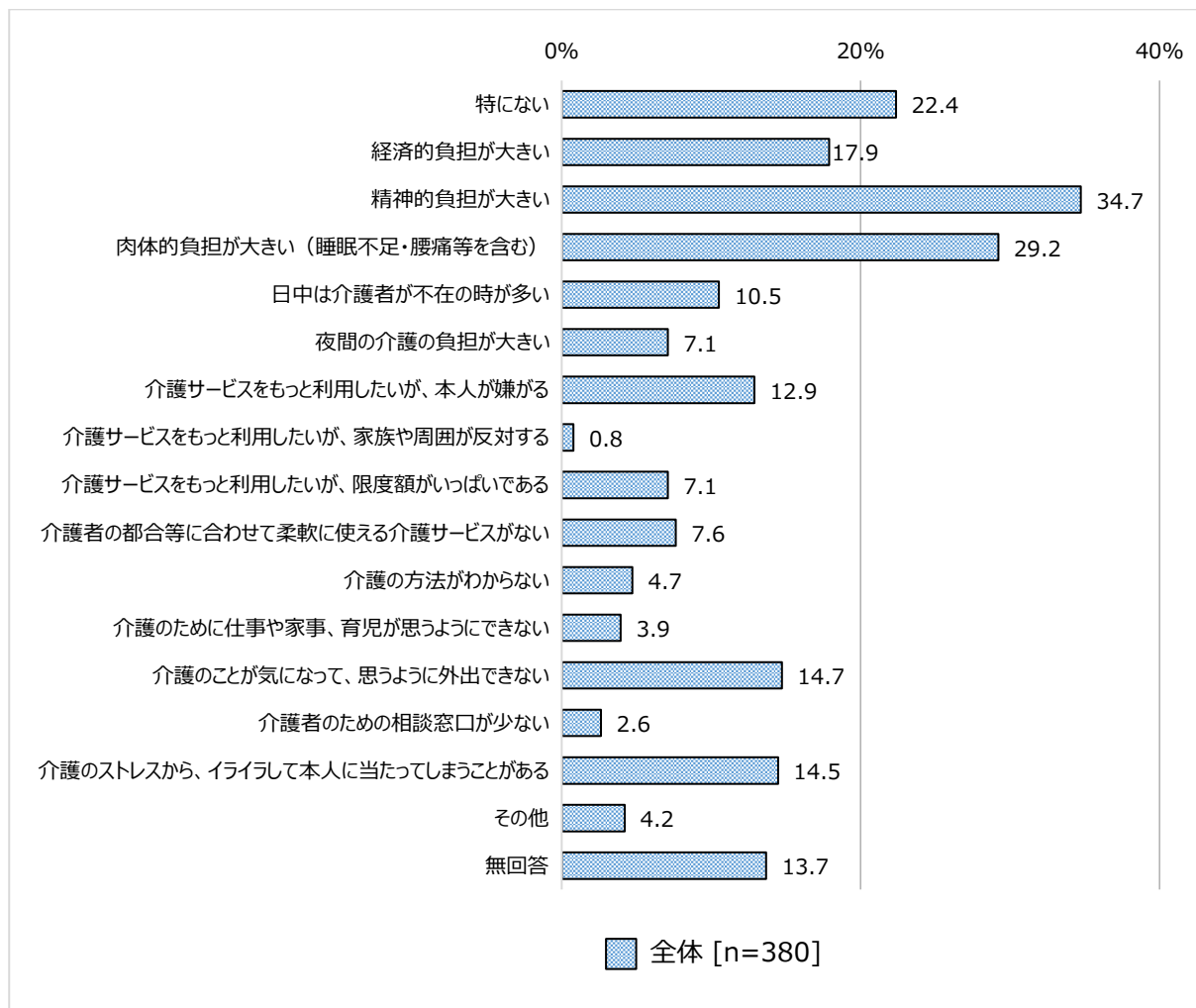
図表 255 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由



⑦介護をする上で困っていること

家族や親族からの介護があると回答した方の、介護をする上で困っていることは、「精神的負担が大きい」が 34.7%と最も高く、「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）」が 29.2%、「経済的負担が大きい」が 17.9%、「介護のことが気になって、思うように外出できない」が 14.7%、「介護のストレスから、イライラして本人に当たってしまうことがある」が 14.5%となっている。一方、「特にない」が 22.4%となっている。

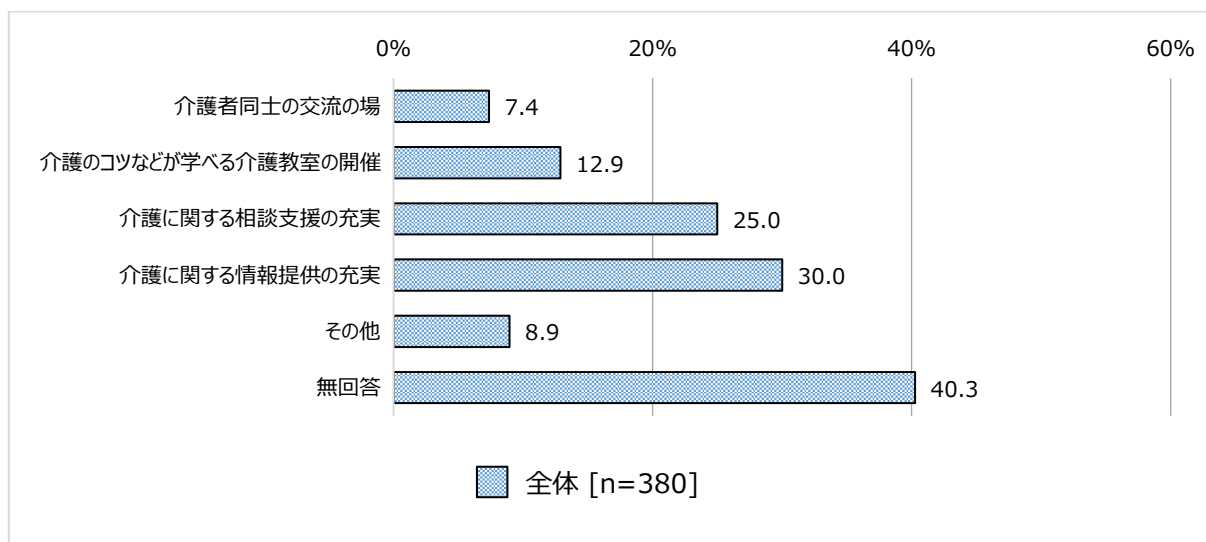
図表 256 介護をする上で困っていること〔複数回答〕



⑧介護者に対する支援であればよいもの

家族や親族からの介護があると回答した方に、介護者に対する支援であればよいものを聞いたところ、「介護に関する情報提供の充実」が30.0%、「介護に関する相談支援の充実」が25.0%、「介護のコツなどが学べる介護教室の開催」が12.9%、「介護者同士の交流の場」が7.4%となっている。

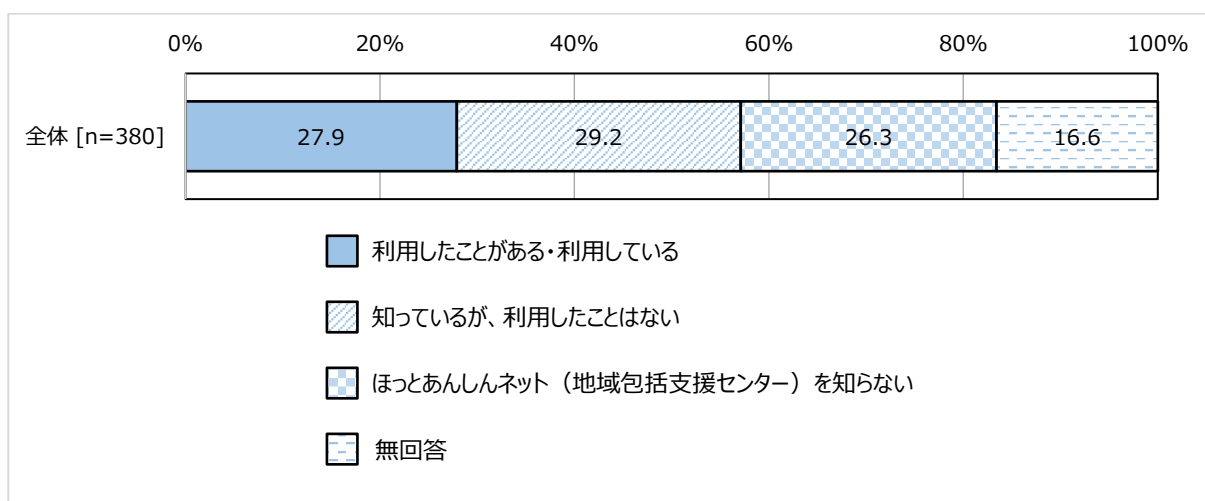
図表 257 介護者に対する支援であればよいもの〔複数回答〕



⑨「ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）」の利用有無

家族や親族からの介護があると回答した方に、「ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）」を利用したことがあるか聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」が29.2%、「利用したことがある・利用している」が27.9%、「ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）」を知らない」が26.3%となっている。

図表 258 「ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）」の利用有無



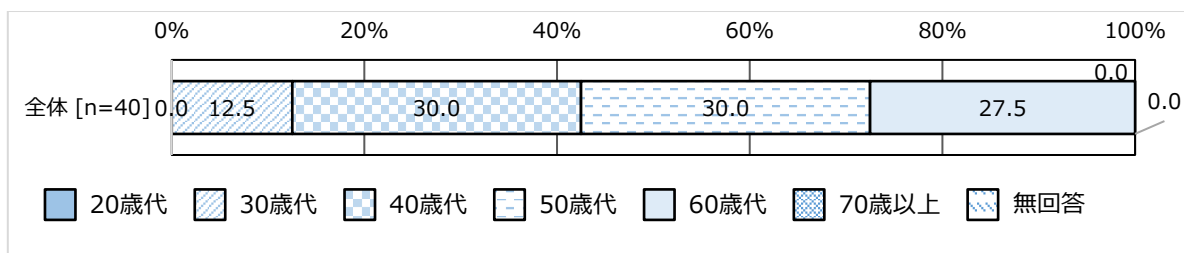
4 介護支援専門員調査結果

(1) 回答者の属性

①年齢

年齢は、「40 歳代」「50 歳代」が最も多く、30.0%となっている。次いで「60 代」が 27.5%となっている。

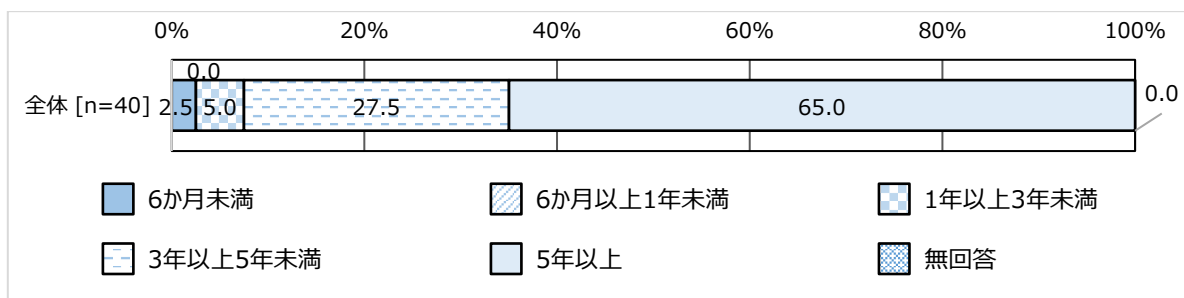
図表 259 年齢



②介護支援専門員業務の経験の合計期間

介護支援専門員業務の経験の合計期間は、「5 年以上」が 65.0%と最も高く、次いで「3 年以上 5 年未満」が 27.5%となっている。

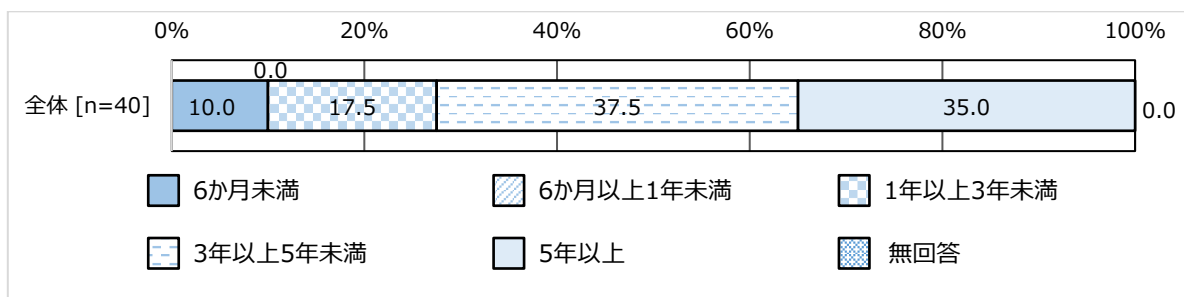
図表 260 介護支援専門員業務の経験の合計期間



③現在の職場（介護支援専門員業務）の勤務期間

現在の職場（介護支援専門員業務）の勤務期間は、「3 年以上 5 年未満」が 37.5%と最も高く、次いで「5 年以上」が 35.0%となっている。

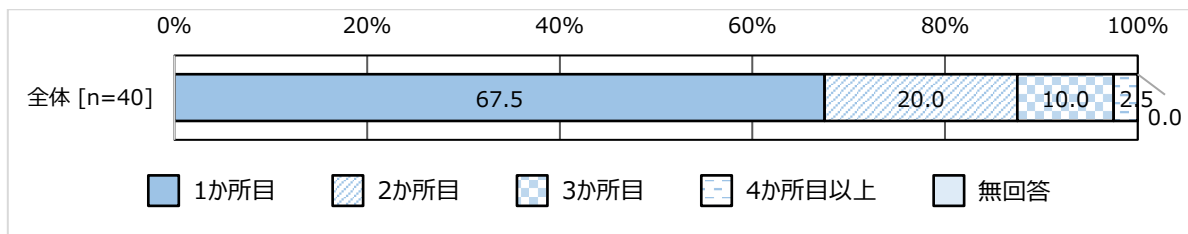
図表 261 現在の職場（介護支援専門員業務）の勤務期間



④勤務している居宅介護支援事業所は何か所目か

勤務している居宅介護支援事業所は何か所目かについては、「1 か所目」が 67.5%と最も高く、次いで「2 か所目」が 20.0%となっている。

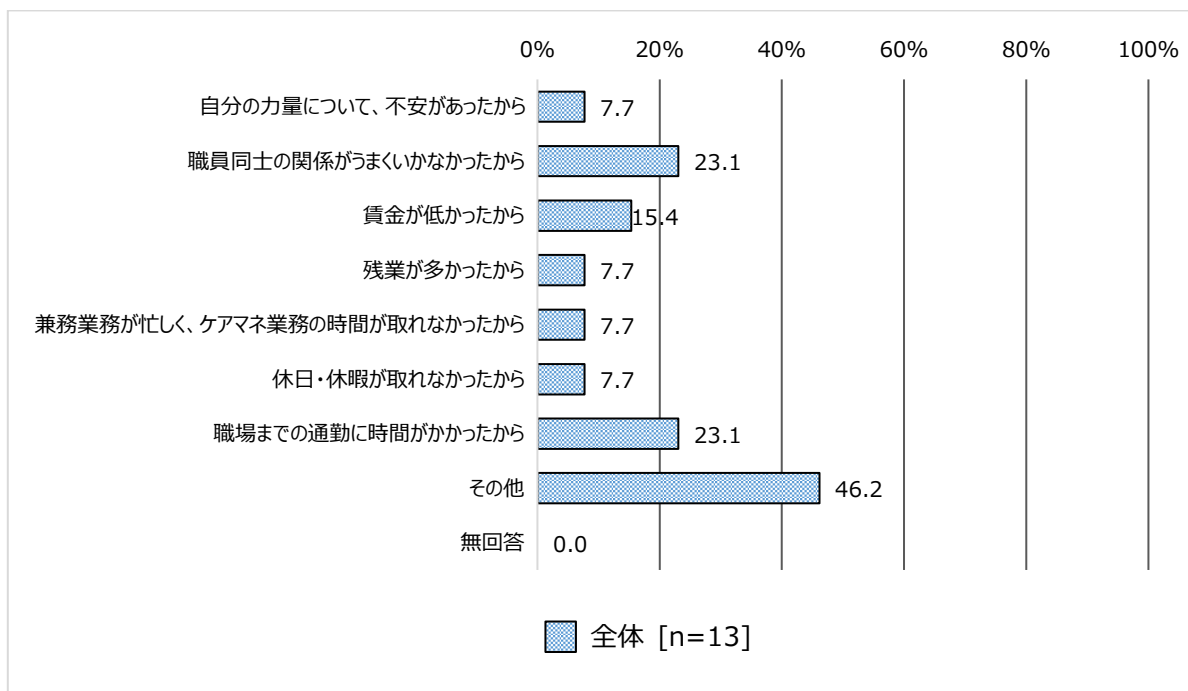
図表 262 勤務している居宅介護支援事業所は何か所目か



⑤以前の居宅介護支援事業所を辞めた主な理由

勤務している居宅介護支援事業所が2 か所目以上と回答した方の、以前の居宅介護支援事業所を辞めた主な理由は、「職員同士の関係がうまくいかなかったから」と「職場までの通勤に時間がかかったから」が 23.1%と最も高く、次いで「賃金が低かったから」が 15.4%となっている。

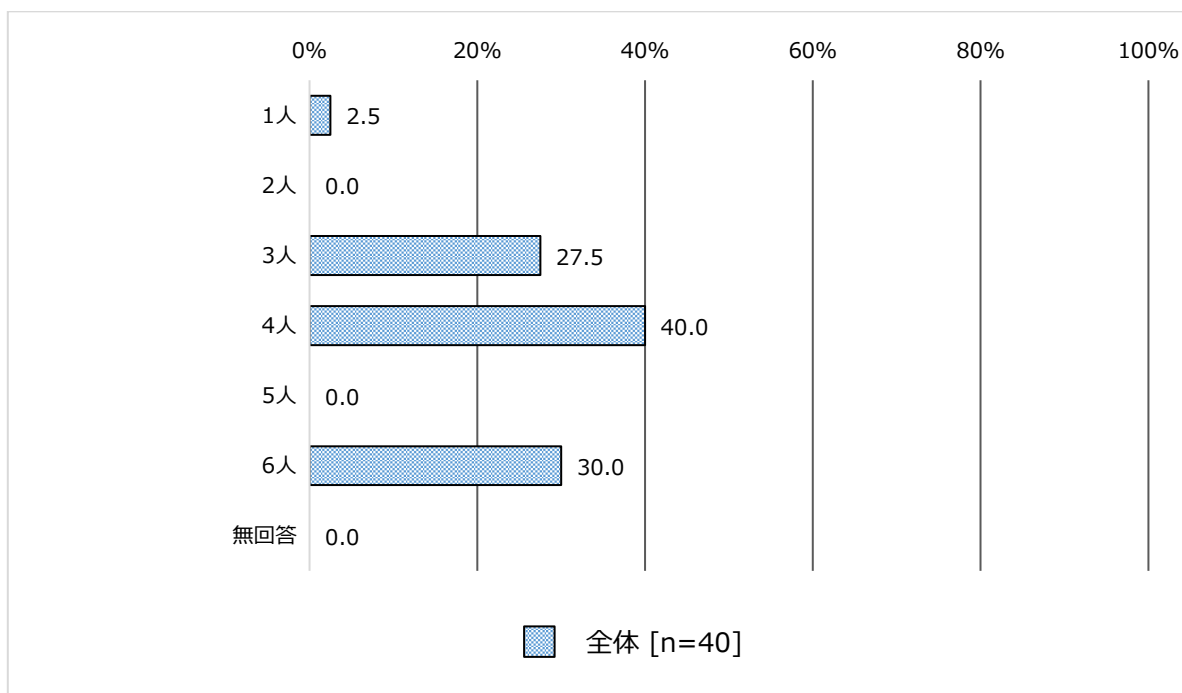
図表 263 以前の居宅介護支援事業所を辞めた主な理由〔複数回答・3つまで〕



⑥勤務している居宅介護支援事業所の介護支援専門員の人数

勤務している居宅介護支援事業所の介護支援専門員の人数は、「4人」が40.0%と最も高く、次いで「6人」が30.0%となっている。

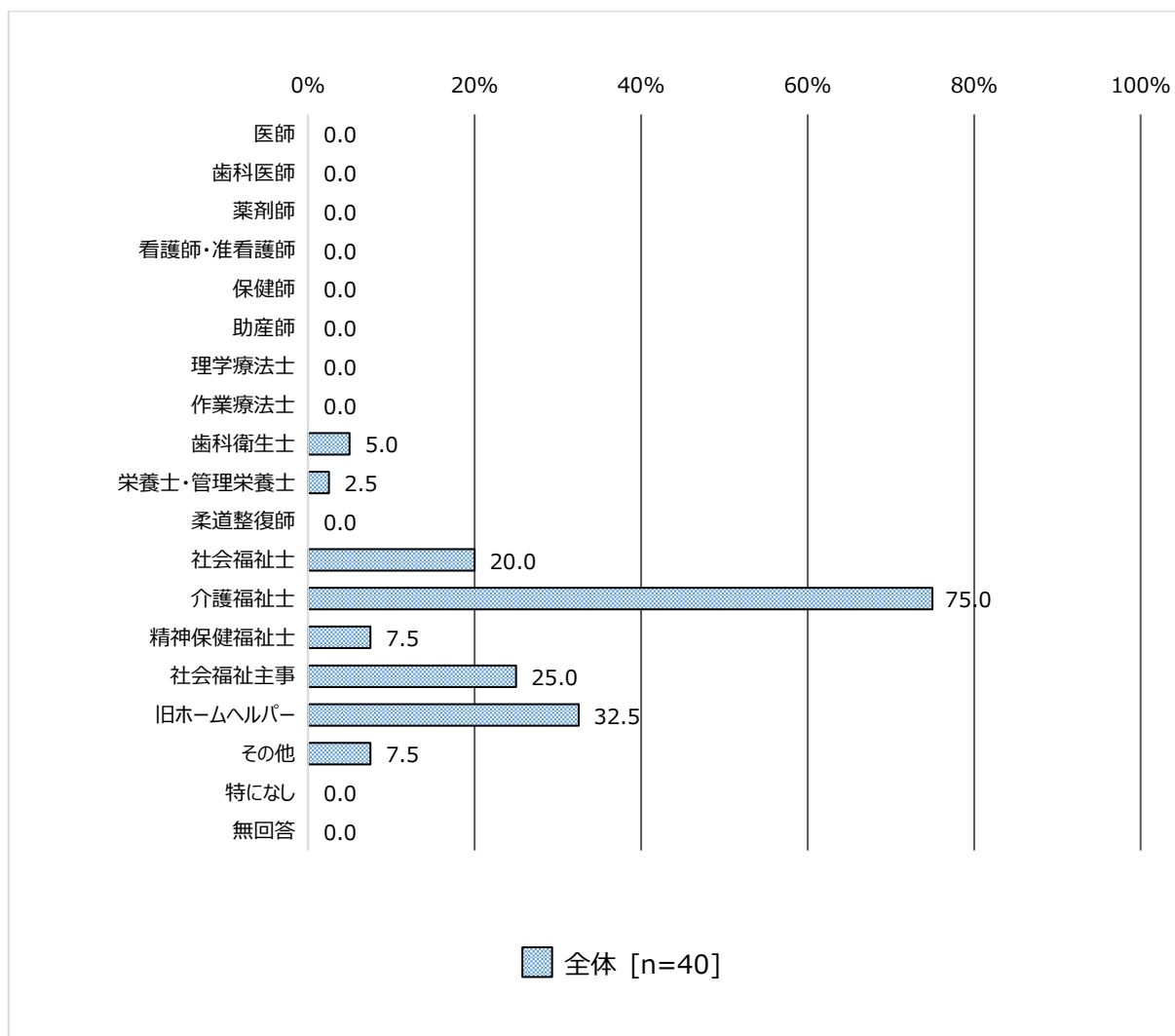
図表 264 勤務している居宅介護支援事業所の介護支援専門員の人数



⑦保健医療福祉関係の資格

保健医療福祉関係の資格は、「介護福祉士」が 75.0%と最も高く、次いで「旧ホームヘルパー」が 32.5%となっている。

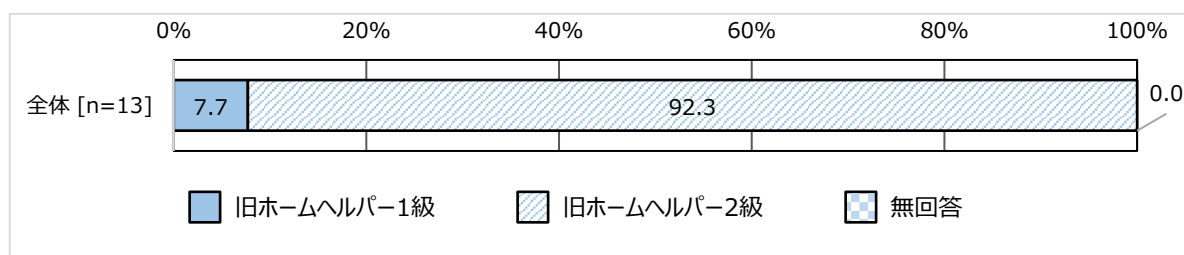
図表 265 保健医療福祉関係の資格を持っているか〔複数回答〕



⑧旧ホームヘルパーの級数

旧ホームヘルパーの資格を所持していると回答した方の、旧ホームヘルパーの級数は、「旧ホームヘルパー2級」が 92.3%、「旧ホームヘルパー1級」が 7.7%となっている。

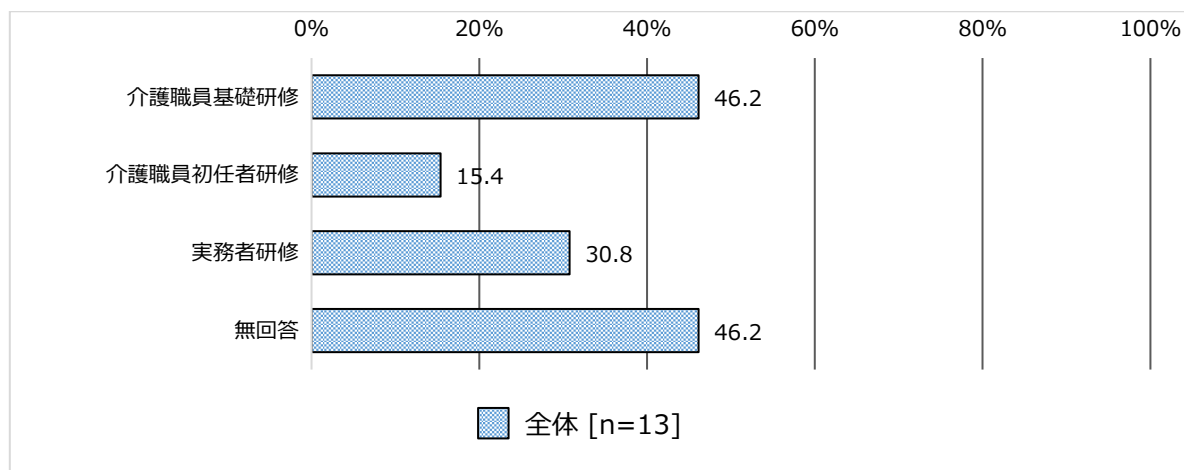
図表 266 旧ホームヘルパーの級数



⑨旧ホームヘルパーの修了済の研修

旧ホームヘルパーの資格を所持していると回答した方の、旧ホームヘルパーの修了済の研修は、「介護職員基礎研修」が46.2%と最も高く、次いで「実務者研修」が30.8%となっている。

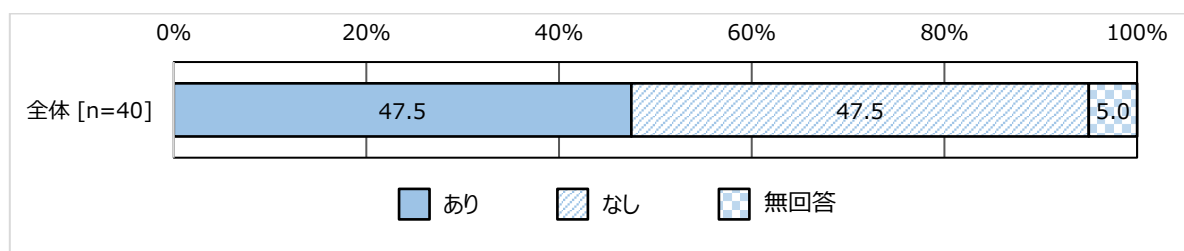
図表 267 旧ホームヘルパーの修了済の研修〔複数回答〕



⑩主任介護支援専門員の資格の有無

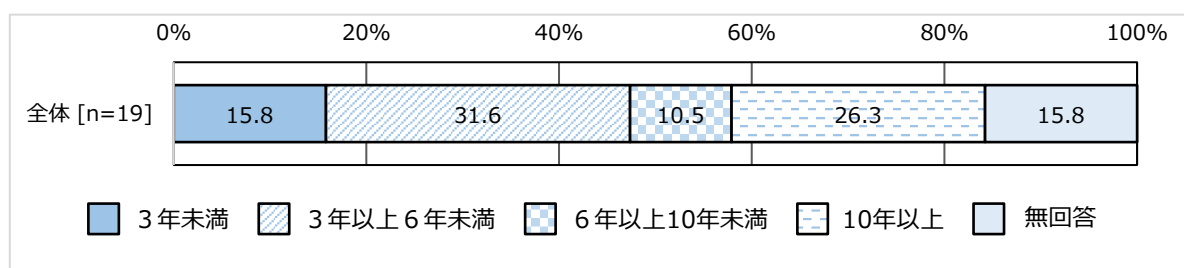
主任介護支援専門員の資格の有無については、「あり」「なし」いずれも47.5%となっている。

図表 268 主任介護支援専門員の資格の有無



主任介護支援専門員資格取得後の経過年数は、「3年以上6年未満」が31.6%と最も高く、次いで「10年以上」が26.3%となっている。平均は6.8年となっている。

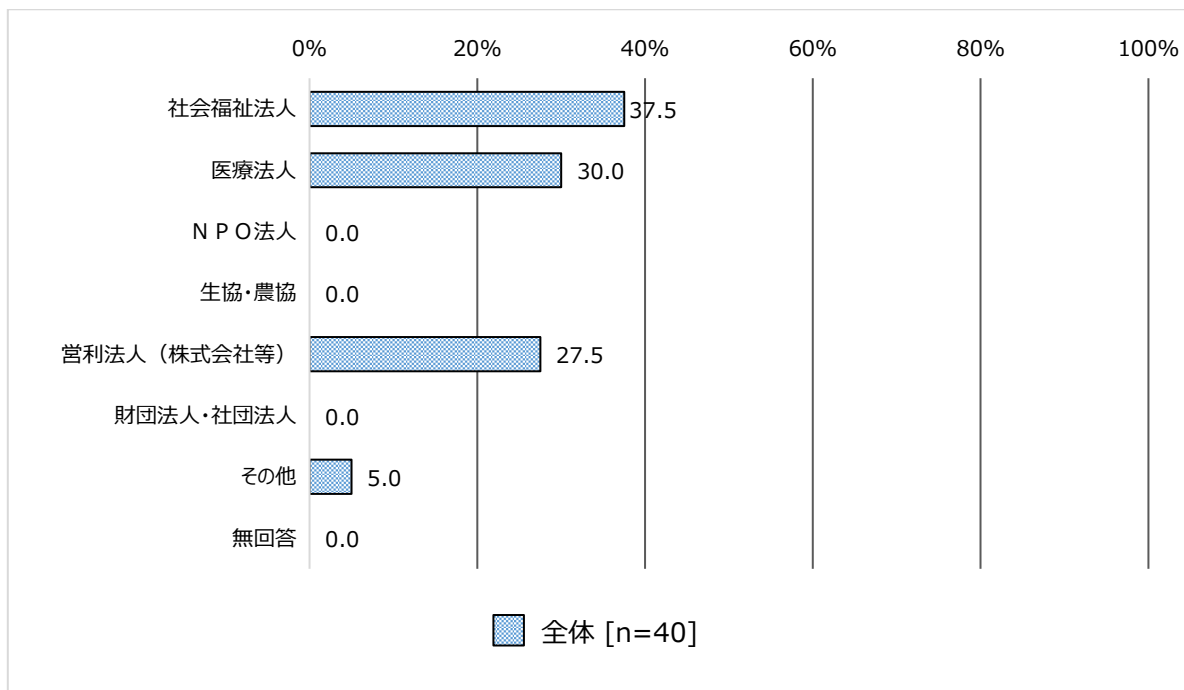
図表 269 主任介護支援専門員資格取得後の経過年数



⑪勤務している居宅介護支援事業所の設置主体

勤務している居宅介護支援事業所の設置主体は、「社会福祉法人」が 37.5%と最も高く、次いで「医療法人」が 30.0%、「営利法人（株式会社等）」が 27.5%となっている。

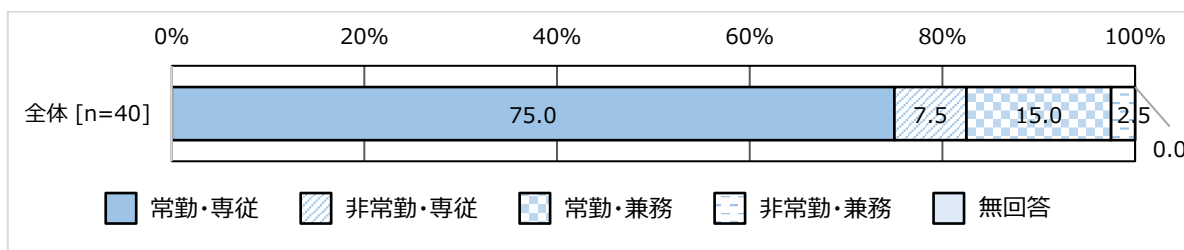
図表 270 勤務している居宅介護支援事業所の設置主体



⑫勤務形態

勤務形態は、「常勤・専従」が 75.0%と最も高く、次いで「常勤・兼務」が 15.0%となっている。

図表 271 勤務形態



⑬担当している利用者

担当している利用者数は平均人数が 31.0 人となっており、うち予防が 1.3 人となっている。また、居宅サービス計画新規作成件数の平均件数は 6.1 件、居宅サービス計画変更作成件数の平均件数は 5.1 件となっている。

図表 272 担当している利用者

(n=40)

	合計	平均
担当利用者数(人)(令和4年 11 月 1 日現在)	1,239	31.0
うち予防(人)	50	1.3
居宅サービス計画新規作成件数(件)	245	6.1
うち予防(件)	12	0.3
居宅サービス計画変更作成件数(件)	205	5.1
うち予防(件)	3	0.1

※担当利用者数は令和 4 年 11 月 1 日現在のもの。以下の設問でも同様。

※新規、変更は令和 4 年 11 月 1 日～30 日の該当件数、介護予防サービス計画を含む。

⑭担当利用者の要介護度

担当利用者の要介護度は、「要介護 1」「要介護 2」が 31.8%と最も高く、次いで「要介護 3」が 16.5%となっている。

図表 273 担当利用者の要介護度

(n=38)

		全体	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他
合計 (人)	担当利用者	1,214	12	38	386	386	200	114	69	11
	うち認知症	655	0	2	194	193	115	65	37	6
割合 (%)	担当利用者	－	1.0	3.1	31.8	31.8	16.5	9.4	5.7	0.9
	うち認知症	－	0.0	0.3	29.6	29.5	17.6	9.9	5.6	0.9
平均 (人)	担当利用者	31.9	0.3	1.0	10.2	10.2	5.3	3.0	1.8	0.3
	うち認知症	17.2	0.0	0.1	5.1	5.1	3.0	1.7	1.0	0.2

※「全体」の「合計」は合計欄に回答のあった人数の集計であり、内訳の合計ではない。

「割合」は「全体」の「合計」を分母としている。2 件は無回答であったため、n=38 となっている。

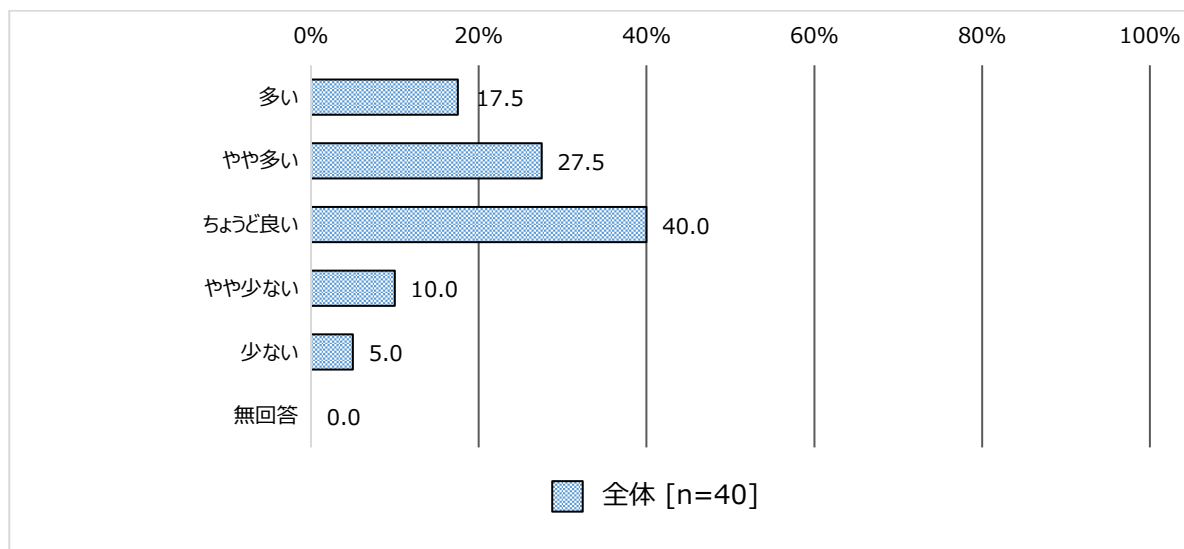
※「うち認知症」は「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上」の方。

(2) 支援・サービスについて

①現在担当しているケアプラン件数の多さ

現在担当しているケアプラン件数の多さは、「ちょうど良い」が 40.0%と最も高い一方、「多い」と「やや多い」の合計は 45.0%となっている。

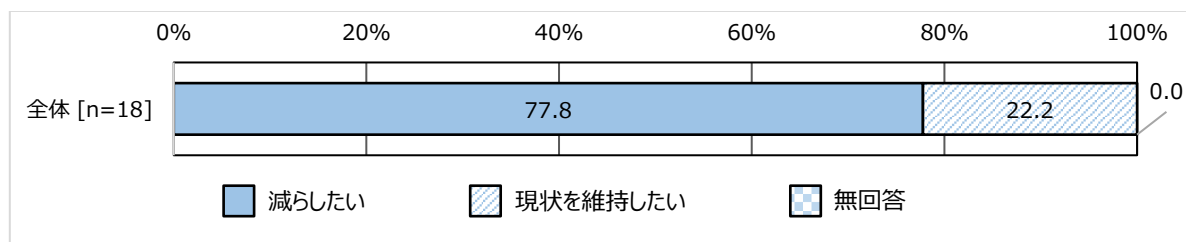
図表 274 現在担当しているケアプラン件数の多さ



②ケアプラン件数が今後どうなると良いと考えているか

現在担当しているケアプラン件数の多さが「多い」「やや多い」と回答した方について、ケアプラン件数が今後どうなると良いと考えているかを聞いたところ、「減らしたい」が 77.8%、「現状を維持したい」が 22.2%となっている。

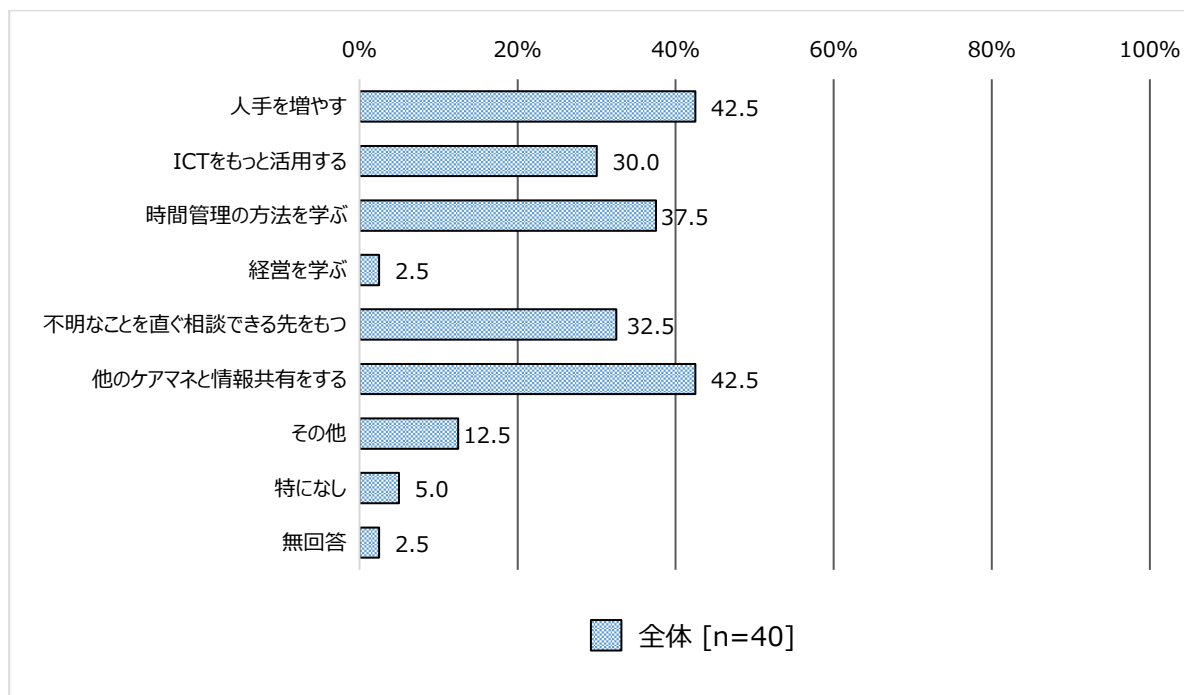
図表 275 ケアプラン件数が今後どうなると良いと考えているか



③担当の件数に適切に対応するために必要なこと

担当の件数に適切に対応するために必要なことは、「人手を増やす」「他のケアマネと情報共有をする」がともに 42.5%となっている。次いで「時間管理の方法を学ぶ」「不明なことを直ぐ相談できる先をもつ」と続く。

図表 276 担当の件数に適切に対応するために必要なこと〔複数回答・3つまで〕



④担当利用者数の住まい別の内訳

担当利用者数の住まい別の内訳は、「利用者の家（持ち家・賃貸）」が 82.1%と最も高くなっている。

図表 277 担当利用者数の住まい別の内訳

	(n=39)	
	合計(人)	割合(%)
全体	1,223	100.0
利用者の家(持ち家・賃貸)	1,004	82.1
高齢者向け住宅(介護付き有料老人ホーム除く)	84	6.9
その他(利用者の子ども、親族の家など)	95	7.8

※「全体」は合計欄に回答のあった人数の集計であり、内訳の合計ではない。

「割合」は「全体」を分母としている。1件は無回答であったため、n=39となっている。

⑤医療的処置等の必要な利用者

担当利用者について、「医療的処置等あり」は13.4%、「医療的処置等なし」は86.6%となっている。また、「医療的な処置等あり」の内訳としては、「インスリン注射」が3.5%と最も高く、次いで「じょくそうの処置」が2.5%となっている。

図表 278 医療的処置等の必要な利用者

(n=38)

	合計(人)	利用者全体に占める割合(%)
全体	1,191	100.0
医療的な処置等あり	160	13.4
点滴の管理	6	0.5
中心静脈栄養	2	0.2
透析	20	1.7
ストーマ(人工肛門)の処置	6	0.5
酸素療法	23	1.9
レスピレーター(人工呼吸器)	4	0.3
気管切開の処置	5	0.4
喀痰吸引	13	1.1
疼痛の看護	13	1.1
経管栄養	10	0.8
モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	23	1.9
じょくそうの処置	30	2.5
インスリン注射	42	3.5
カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	19	1.6
その他	0.0	0.0
医療的な処置等なし	1,031	86.6

※「合計」は合計欄に回答のあった人数の集計であり、内訳の合計ではない。

「利用者全体に占める割合」は「医療的な処置等あり」と「医療的な処置等なし」の合計を分母としている。

2件は無回答であったため、n=38となっている。

⑥終末期を在宅で迎えることを希望している利用者数

終末期を在宅で迎えることを希望している利用者数は、合計135人、平均3.8人となっている。

図表 279 終末期を在宅で迎えることを希望している利用者数

(n=36)

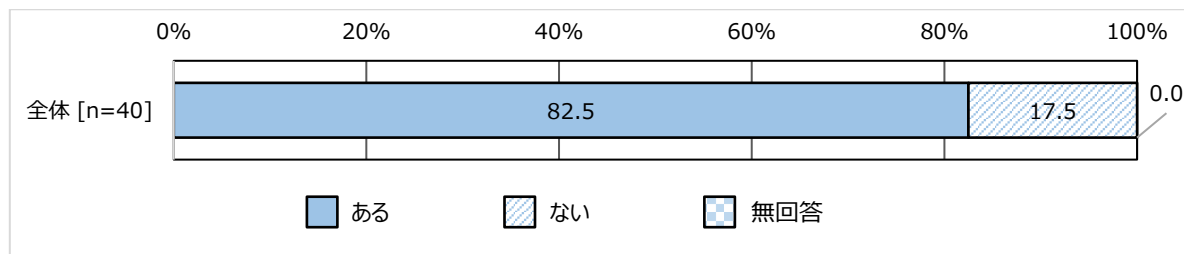
合計(人)	平均(人)	最大値(人)	最小値(人)
135	3.8	22	0

※4件は無回答であったため、n=36となっている。

⑦インフォーマルサービスを組み合わせで作成したケアプランの有無

インフォーマルサービスを組み合わせで作成したケアプランは、「ある」が 82.5%、「ない」が 17.5%となっている。「ある」と回答した方の平均件数は 9.0 件となっている。

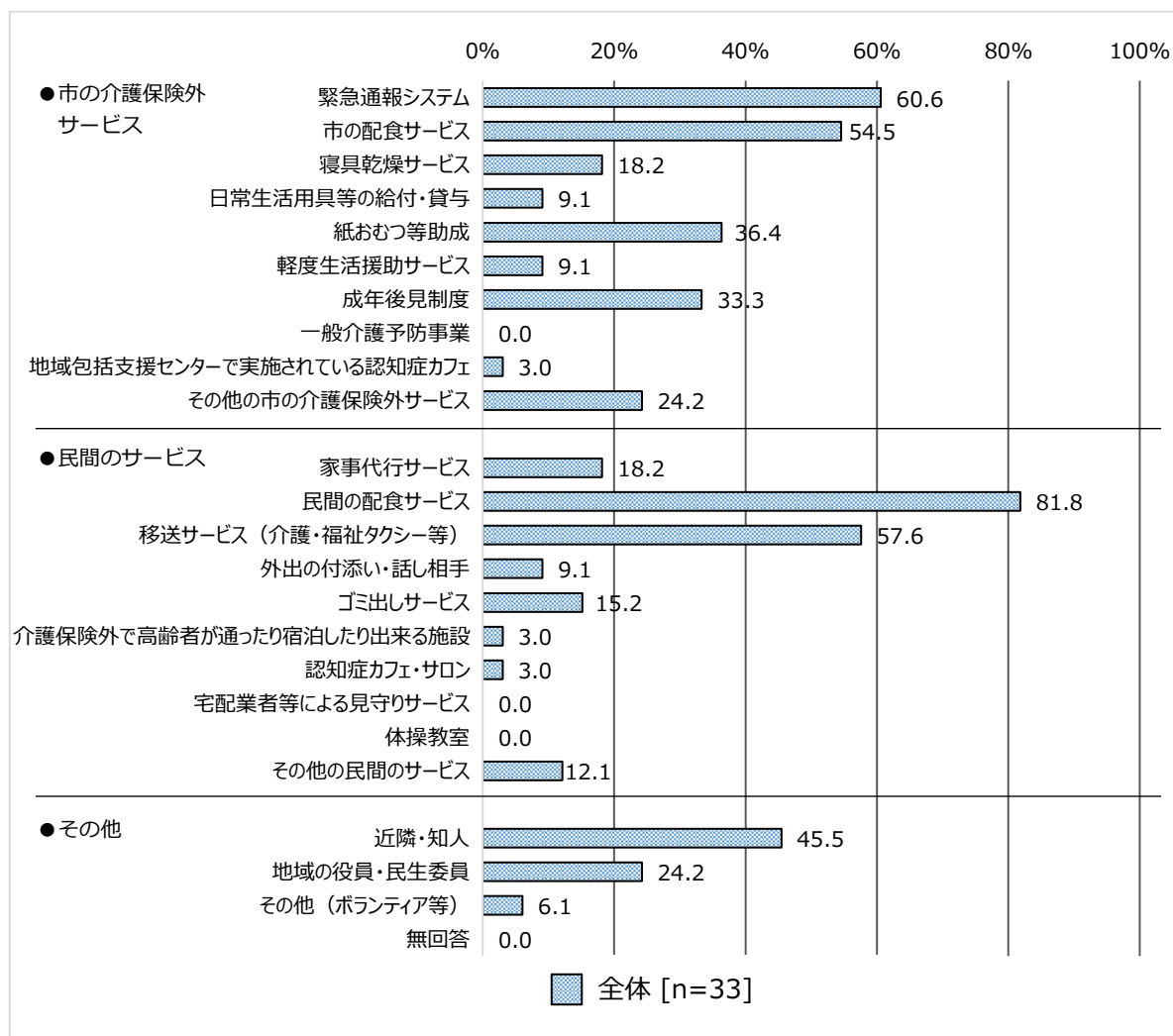
図表 280 インフォーマルサービスを組み合わせで作成したケアプランの有無



⑧ケアプランで組み合わせた介護保険外サービス・インフォーマルサービス

インフォーマルサービスを組み合わせで作成したケアプランが「ある」と回答した方について、ケアプランで組み合わせた介護保険外サービス・インフォーマルサービスは、「民間の配食サービス」が 81.8%と最も高く、次いで「緊急通報システム」が 60.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 57.6%、「市の配食サービス」54.5%となっている。

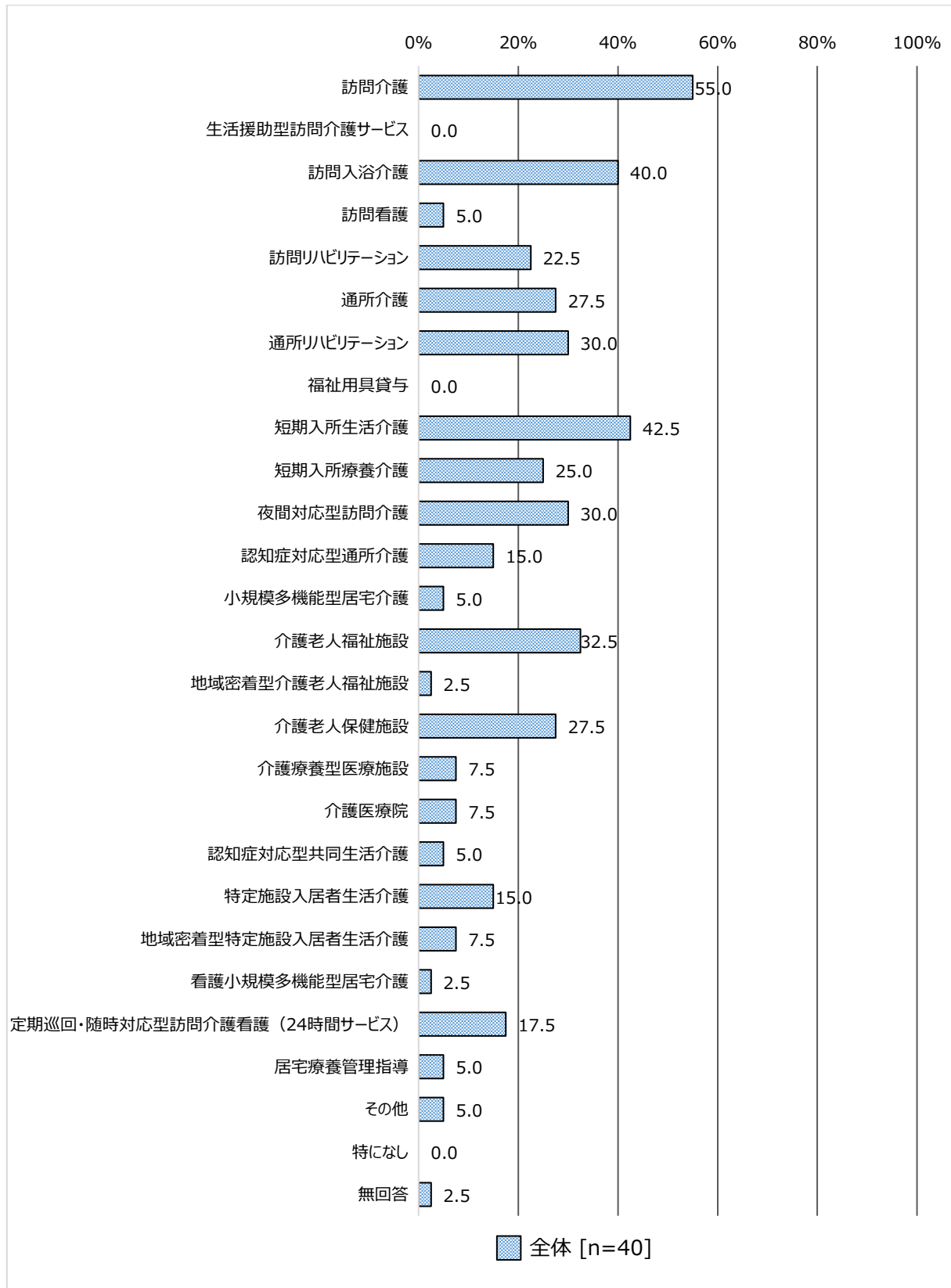
図表 281 ケアプランで組み合わせた介護保険外サービス・インフォーマルサービス〔複数回答〕



⑨量的に不足していると思われるサービス

量的に不足していると思われるサービス（介護予防サービスを含む）は、「訪問介護」が55.0%と最も高く、次いで「短期入所生活介護」が42.5%、「訪問入浴介護」が40.0%となっている。

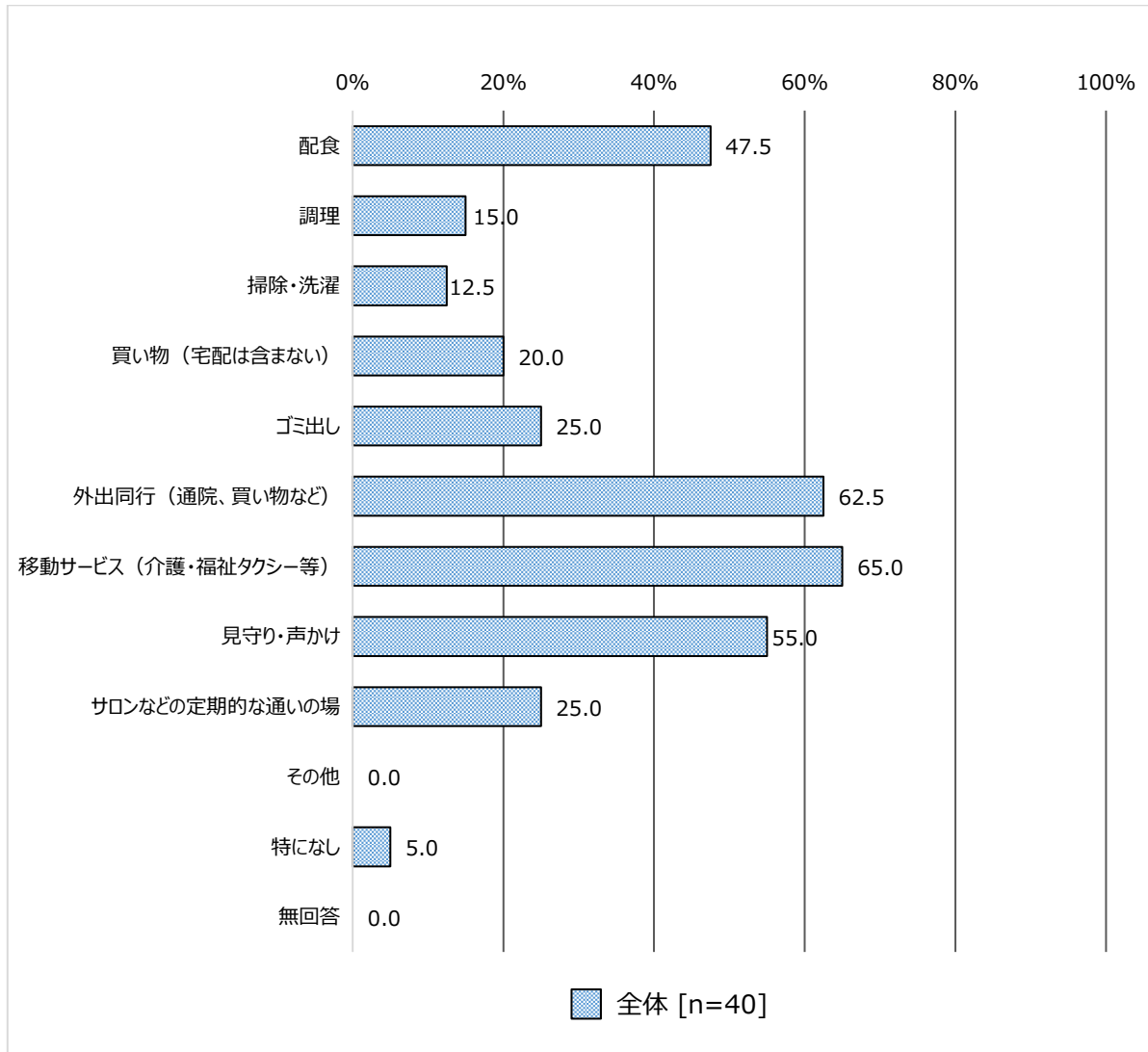
図表 282 量的に不足していると思われるサービス〔複数回答〕



⑩在宅生活を支えるために必要な生活支援

在宅生活を支えるために必要な生活支援は、「移動サービス（介護・福祉タクシー等）」が 65.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 62.5%、「見守り・声かけ」が 55.0%、「配食」が 47.5%となっている。

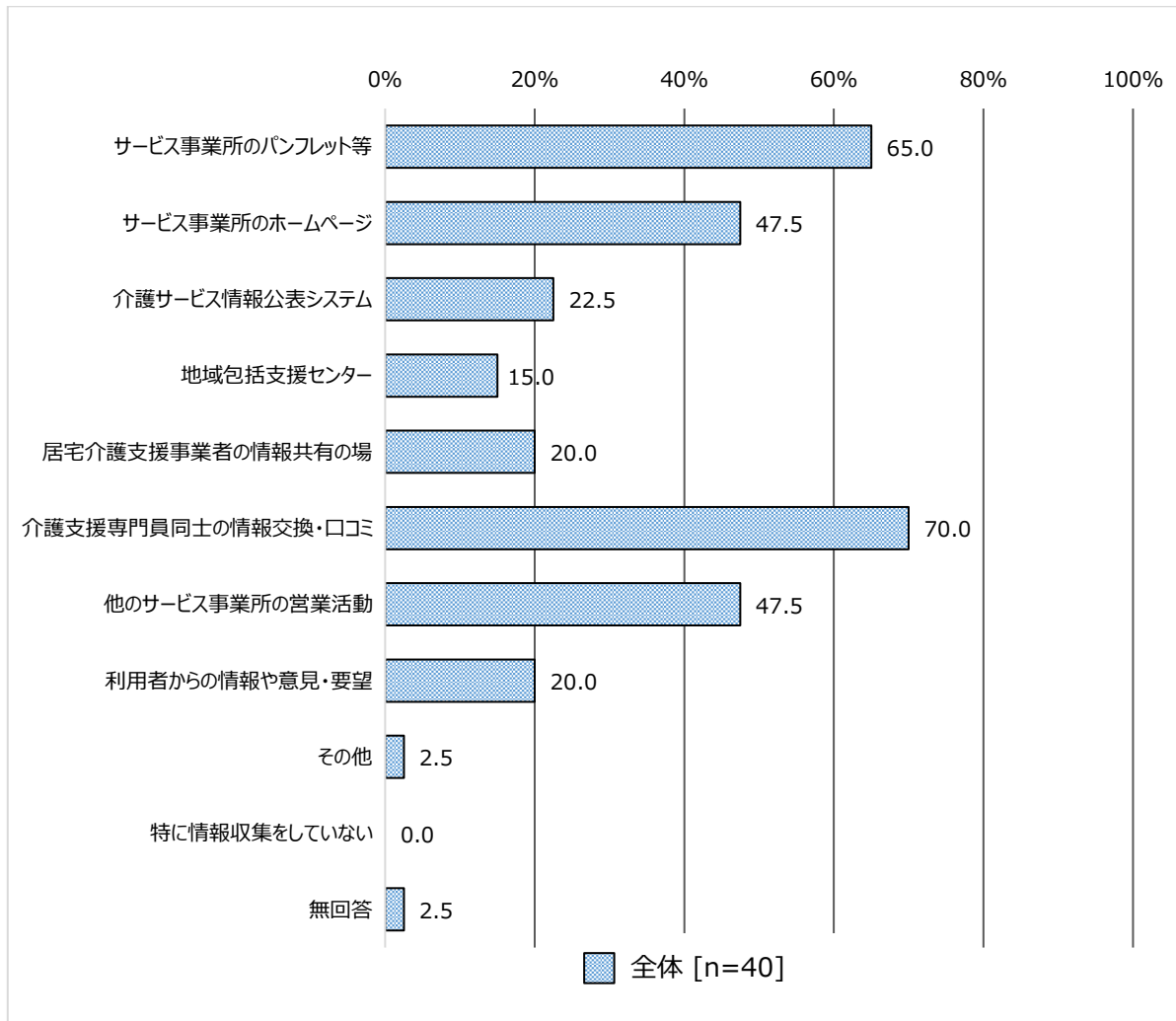
図表 283 在宅生活を支えるために、必要と感じる生活支援〔複数回答〕



⑪ サービス事業所に関する情報源

サービス事業所に関する情報源は、「介護支援専門員同士の情報交換・口コミ」が70.0%と最も高く、次いで「サービス事業所のパンフレット等」が65.0%となっている。

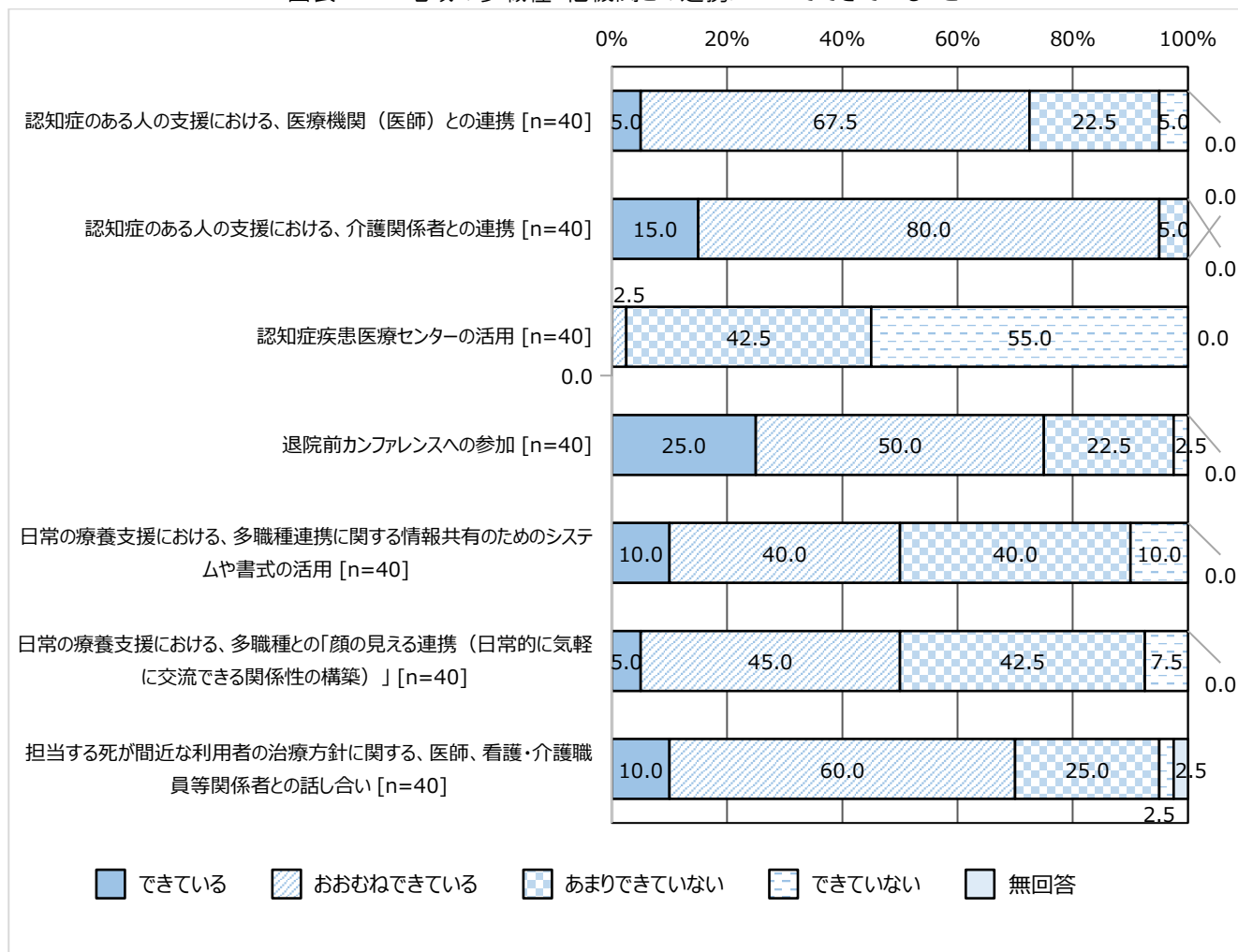
図表 284 サービス事業所に関する情報源〔複数回答〕



⑫地域の多職種・他機関との連携についてできていること

地域の多職種・他機関との連携についてできていることを聞いたところ、「認知症のある人の支援における、介護関係者との連携」が「できている」と「おおむねできている」の合計が95.0%と高くなっている。一方、「認知症疾患医療センターの活用」は、「あまりできていない」と「できていない」の合計が97.5%と高くなっている。

図表 285 地域の多職種・他機関との連携についてできていること

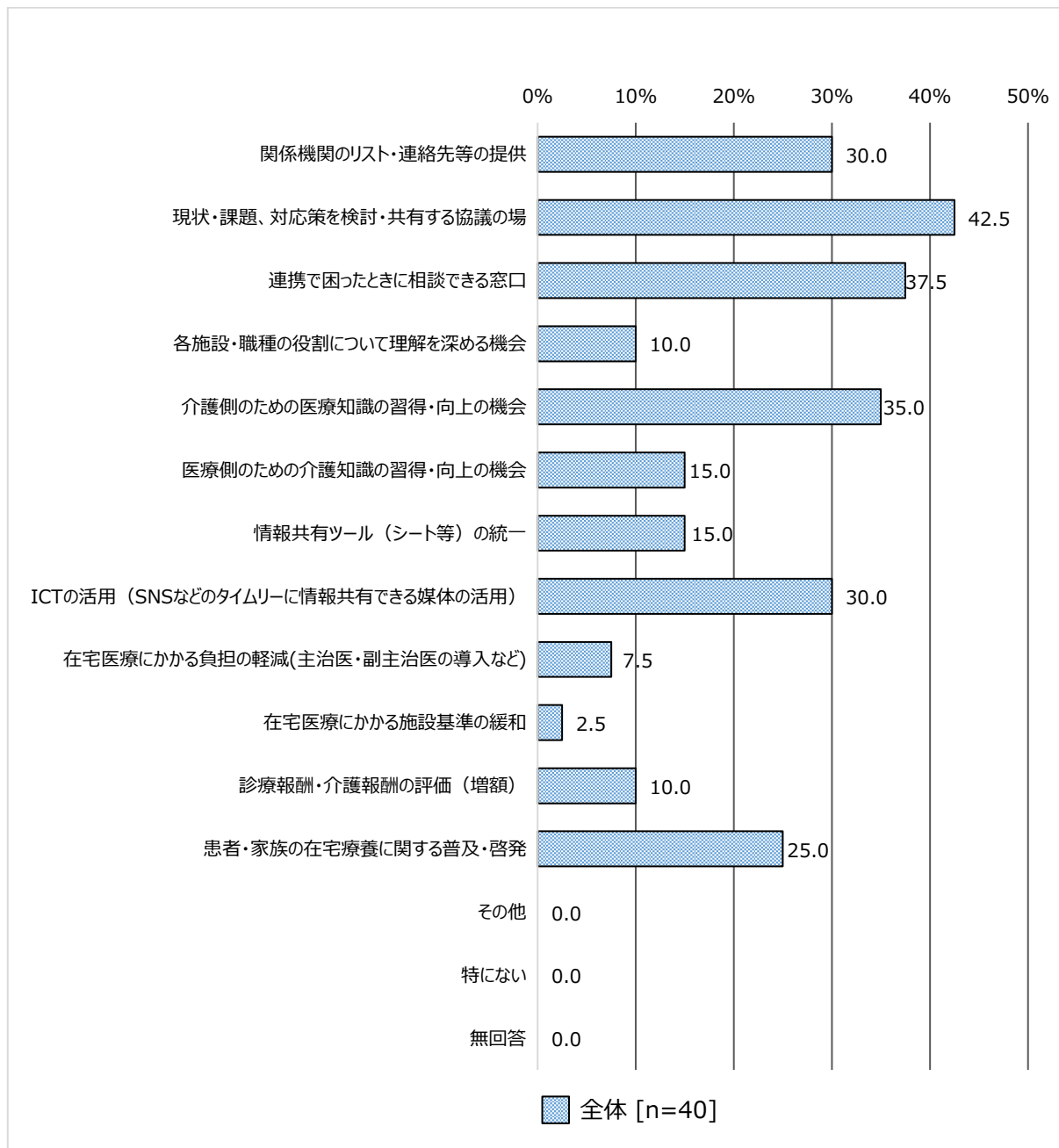


(3) 在宅医療・介護連携について

①在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと

在宅医療・介護連携の推進のために必要なことは、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が42.5%と最も高く、次いで「連携で困ったときに相談できる窓口」が37.5%、「介護側のための医療知識の習得・向上の機会」が35.0%となっている。

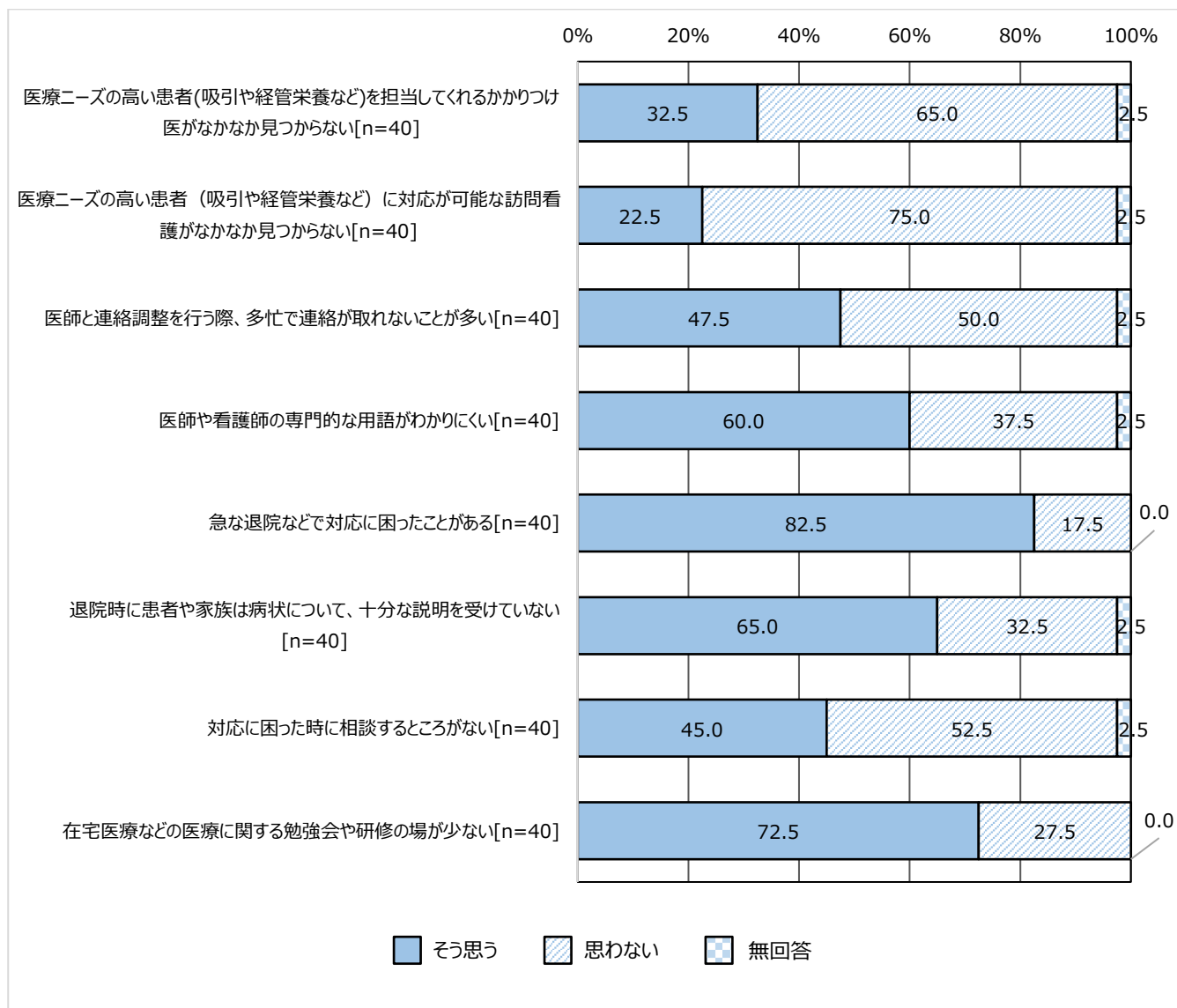
図表 286 在宅医療・介護連携の推進のために必要なこと〔複数回答・3つまで〕



②在宅で医療的な処置を必要とする方の支援で困っていること

在宅で医療的な処置を必要とする方の支援で困っていることは、「急な退院などで対応に困ったことがある」で「そう思う」が82.5%と、他と比べて最も高くなっており、次いで「在宅医療などの医療に関する勉強会や研修の場が少ない」で「そう思う」が72.5%と高くなっている。そのほか「退院時に患者や家族は病状について、十分な説明を受けていない」が65.0%、「医師や看護師の専門的な用語がわかりにくい」が60.0%と続く。

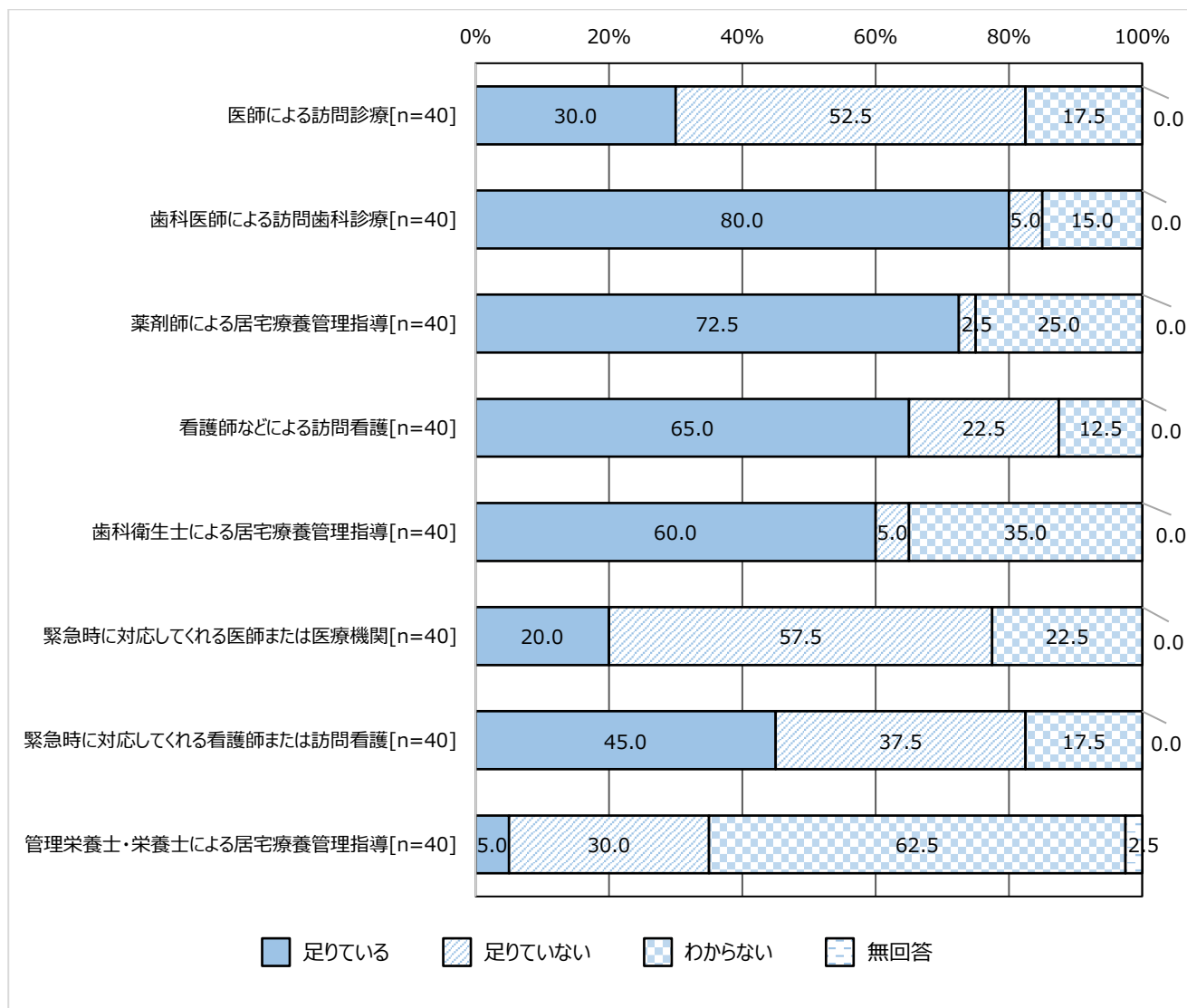
図表 287 在宅で医療的な処置を必要とする方の支援で困っていること



③在宅医療を進めていく上で必要な社会資源

在宅医療を進めていく上で必要な社会資源について、「緊急時に対応してくれる医師又は医療機関」で「足りていない」が57.5%と他の項目と比べて最も高くなっており、次いで「医師による訪問診療」で「足りていない」が52.5%、「緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護」が37.5%となっている。

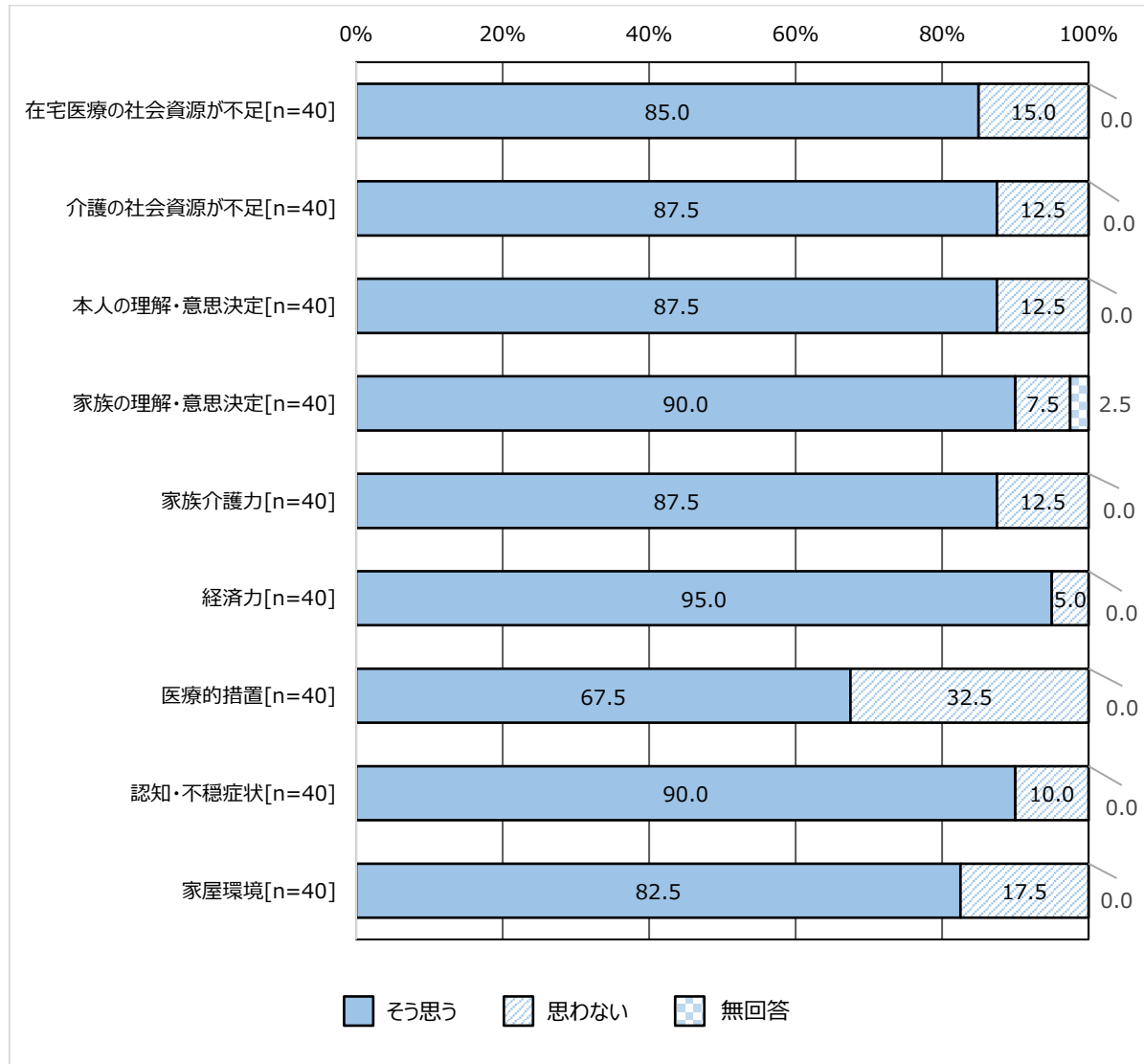
図表 288 在宅医療を進めていく上で必要な社会資源



④在宅医療が必要な利用者の生活継続における課題

在宅医療が必要な利用者の生活継続における課題は、「経済力」で「そう思う」が 95.0%と他と比べて最も高くなっており、次いで「家族の理解・意思決定」「認知・不穏症状」で「そう思う」が 90.0%となっている。

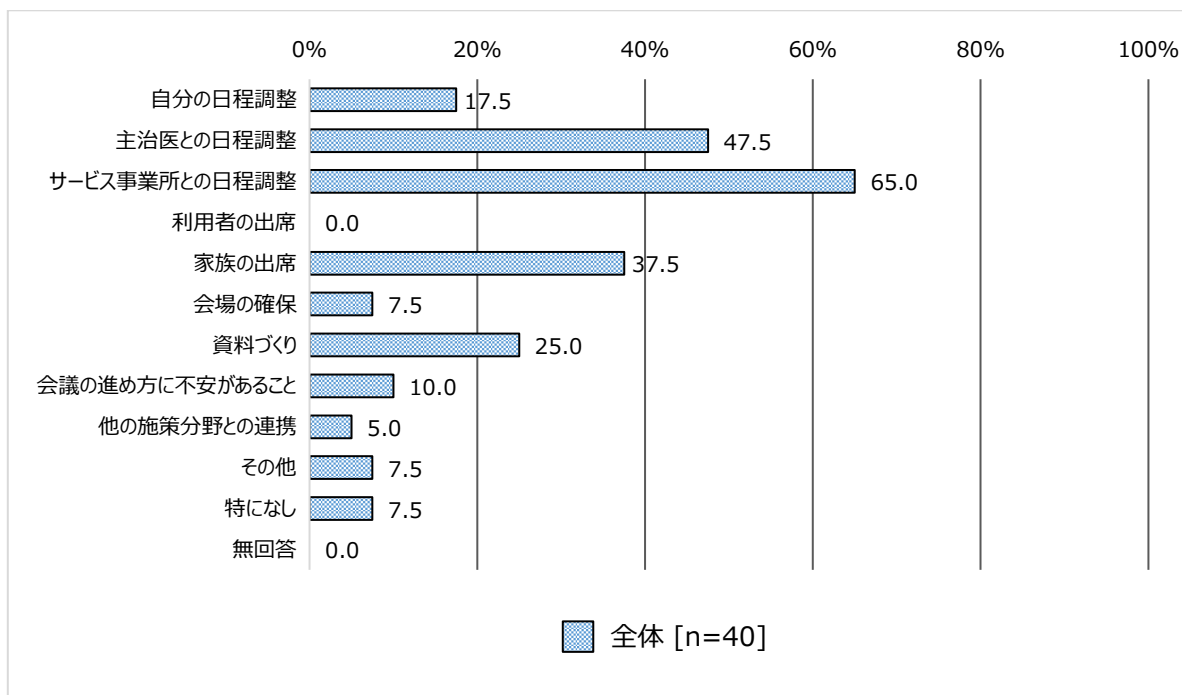
図表 289 在宅医療が必要な利用者の生活継続における課題



⑤ サービス担当者会議の開催にあたり、主に困難と感じていること

サービス担当者会議の開催にあたり、主に困難と感じていることは、「サービス事業所との日程調整」が65.0%と最も高く、次いで「主治医との日程調整」が47.5%、「家族の出席」となっている。

図表 290 サービス担当者会議の開催にあたり、主に困難と感じていること〔複数回答・3つまで〕

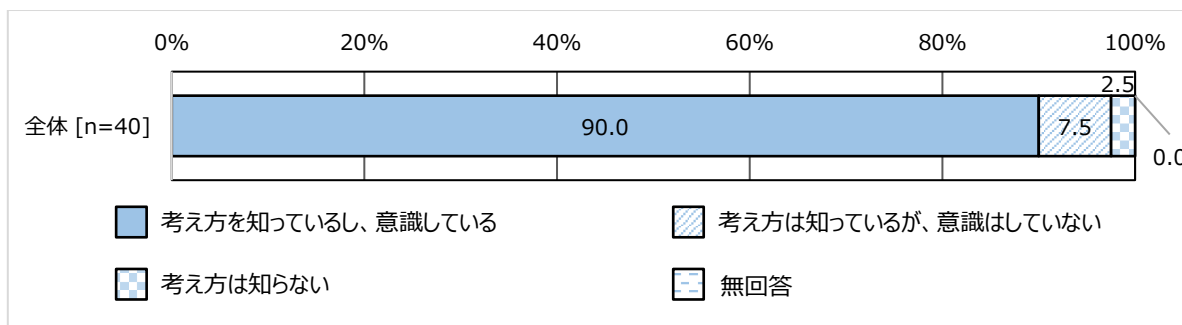


(4) ケアプランの作成やケアマネジメントについて

① 利用者の「意思決定支援」の考え方を知っているか

利用者の「意思決定支援」の考え方を知っているかは、「考え方を知っているし、意識している」が90.0%と最も高く、次いで「考え方は知っているが、意識はしていない」が7.5%となっている。

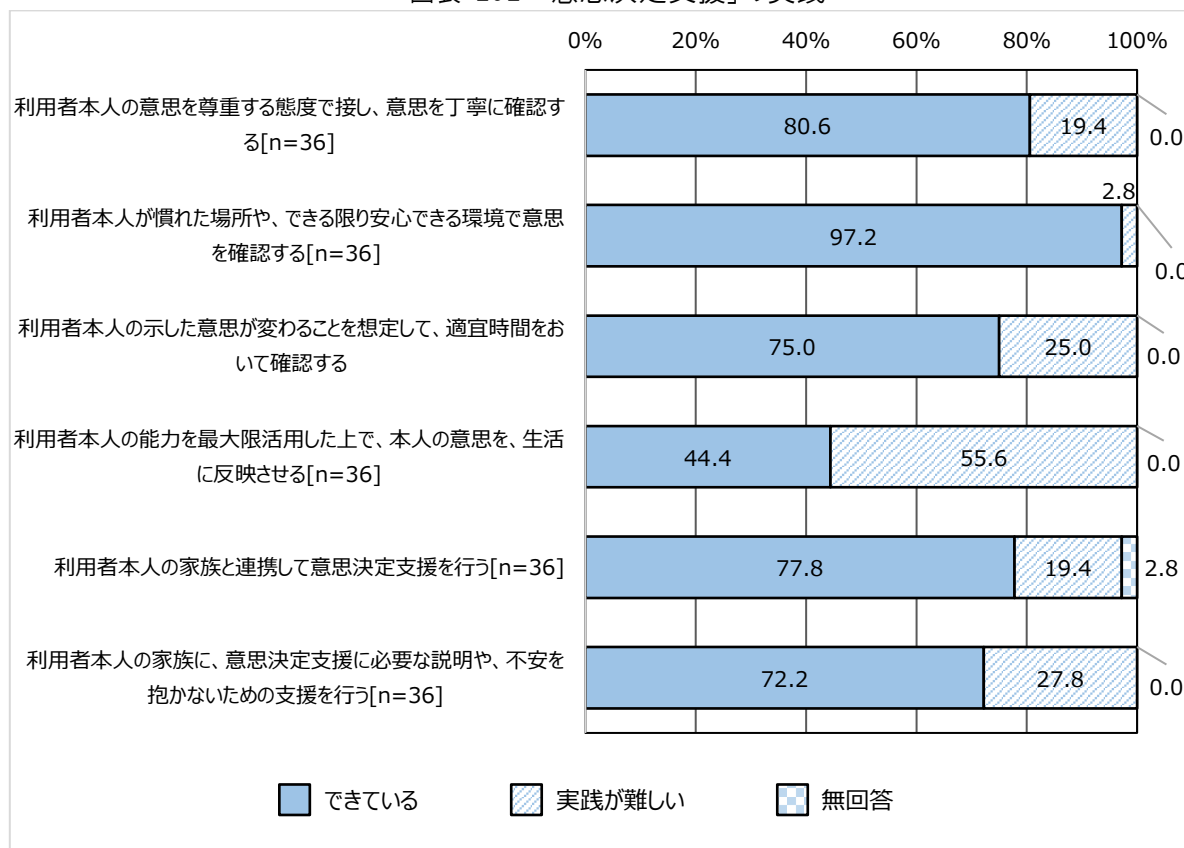
図表 291 利用者の「意思決定支援」の考え方を知っているか



②「意思決定支援」の実践

利用者の「意思決定支援」について、「考え方を知っているし、意識している」と回答した方について、「意思決定支援」の実践でできていることを聞いたところ、「利用者本人が慣れた場所や、できる限り安心できる環境で意思を確認する」で「できている」が 97.2%と他と比べて最も高くなっている。一方、「利用者本人の能力を最大限活用したうえで、本人の意思を、生活に反映させる」は「実践が難しい」が 55.6%と他と比べて最も高くなっている。

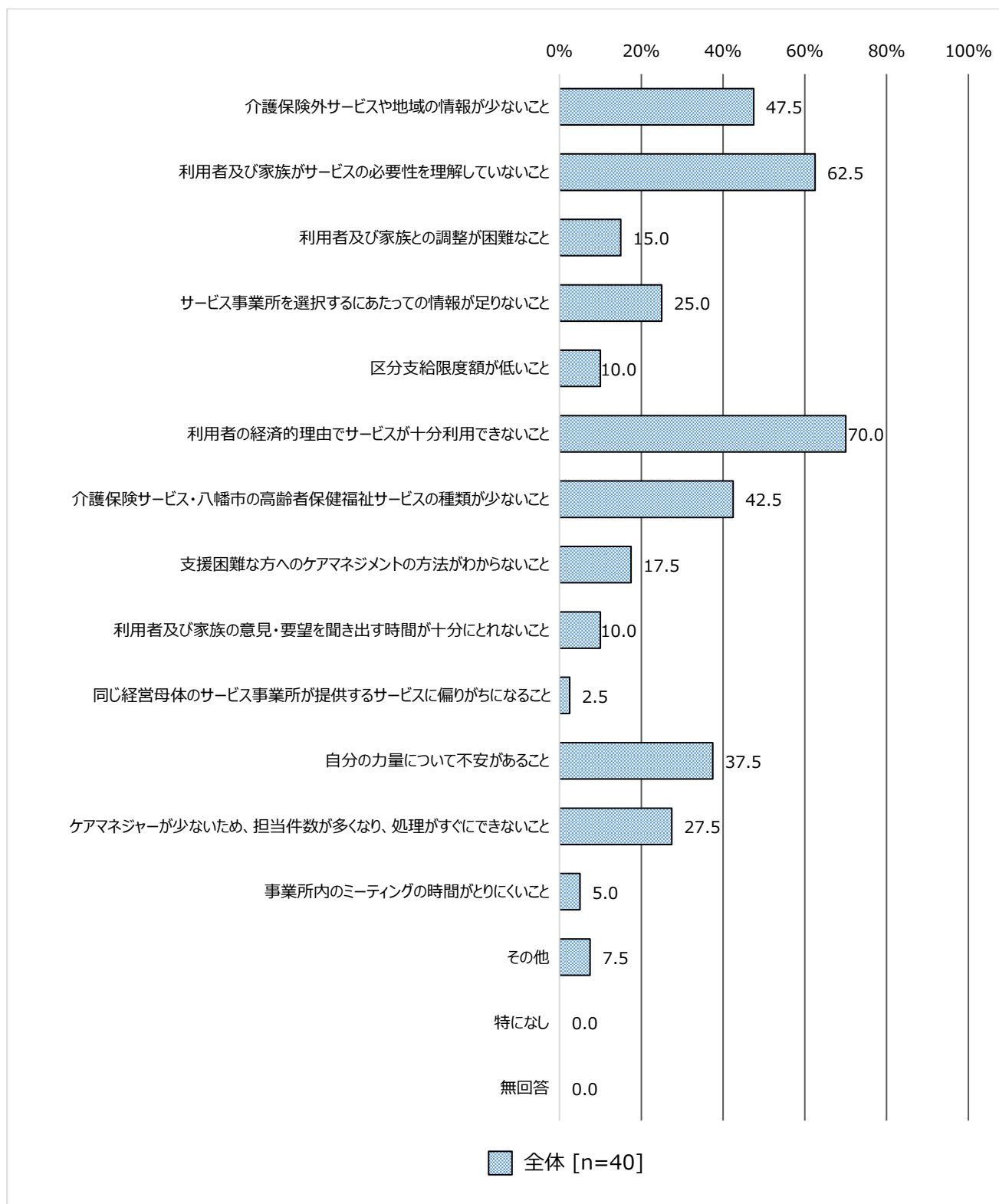
図表 292 「意思決定支援」の実践



③ケアプラン作成における課題

ケアプラン作成における課題は、「利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと」が70.0%と最も高く、次いで「利用者及び家族がサービスの必要性を理解していないこと」が62.5%となっている。そのほか「介護保険外サービスや地域の情報が少ないこと」が47.5%、「介護保険サービス・八幡市の高齢者保健福祉サービスの種類が少ないこと」が42.5%と続く。

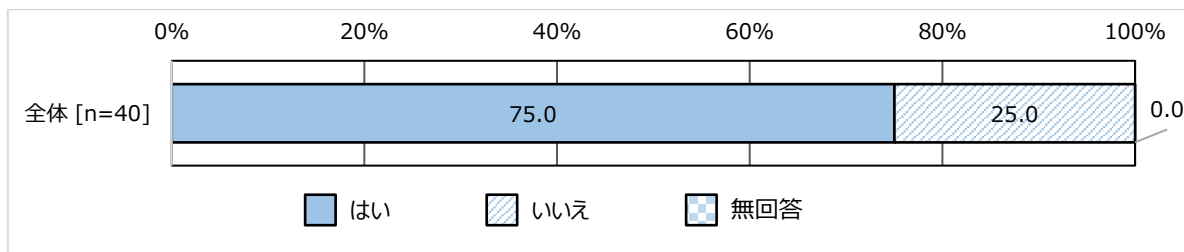
図表 293 ケアプラン作成における課題〔複数回答・5つまで〕



④自立支援型のケアマネジメントを実施しているか

自立支援型のケアマネジメントを実施しているかについて、「はい」が75.0%と最も高く、次いで「いいえ」が25.0%となっている。

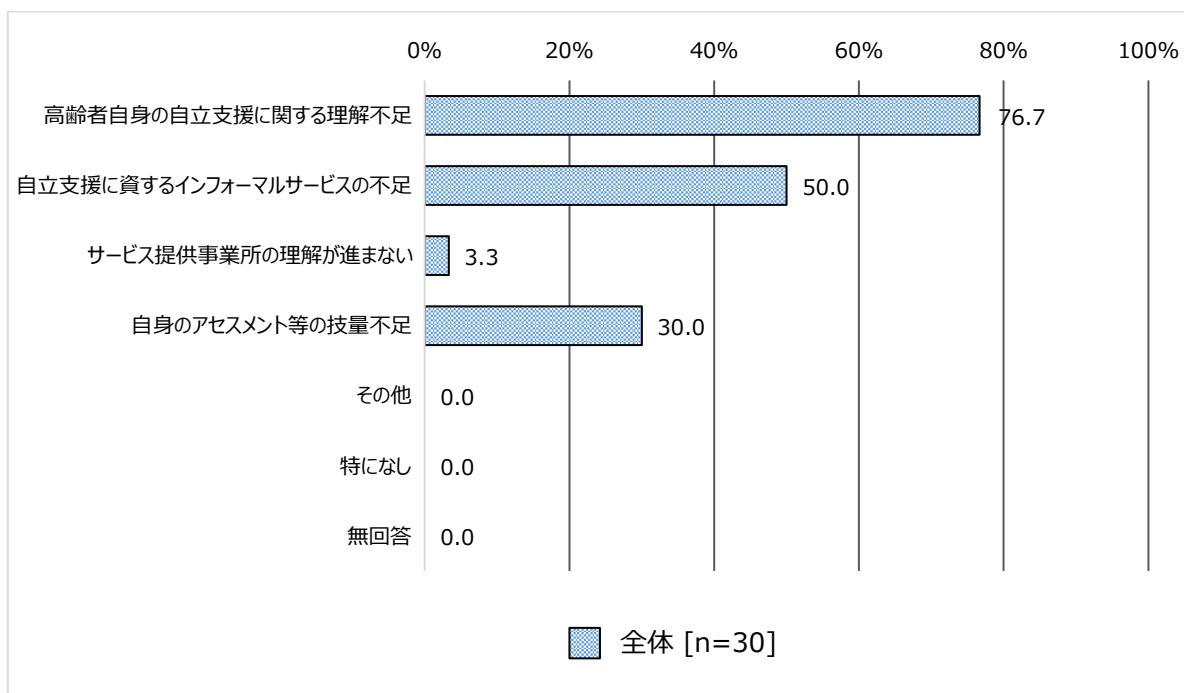
図表 294 自立支援型のケアマネジメントを実施しているか



⑤自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたって困難な点

「自立支援型のケアマネジメントを実施しているか」で「はい」と回答した方について、自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたって困難な点は、「高齢者自身の自立支援に関する理解不足」が76.7%と最も高く、次いで「自立支援に資するインフォーマルサービスの不足」が50.0%となっている。

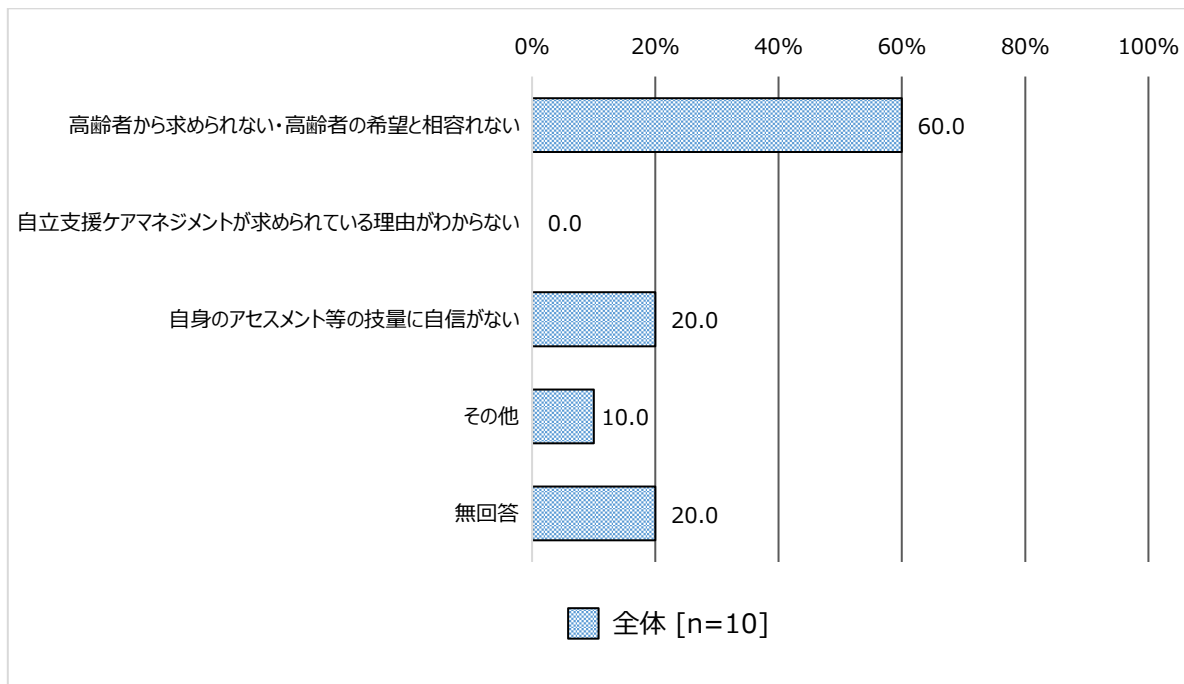
図表 295 自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたって困難な点〔複数回答〕



⑥自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由

「自立支援型のケアマネジメントを実施しているか」で「いいえ」と回答した方の、自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由は、「高齢者から求められない・高齢者の希望と相容れない」が60.0%と最も高く、次いで「自身のアセスメント等の技量に自信がない」が20.0%となっている。

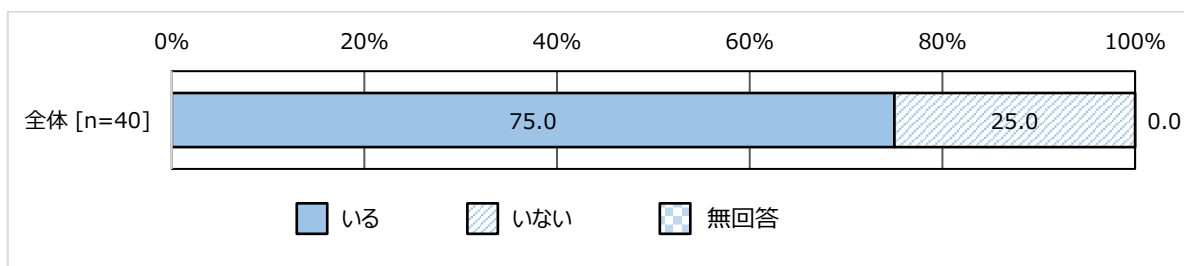
図表 296 自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由〔複数回答〕



⑦様々な理由で支援が困難な担当利用者の有無

様々な理由で支援が困難な担当利用者は、「いる」が75.0%、「いない」が25.0%となっている。「いる」と回答した方の、支援の困難な担当利用者数の平均は3.9人となっている。

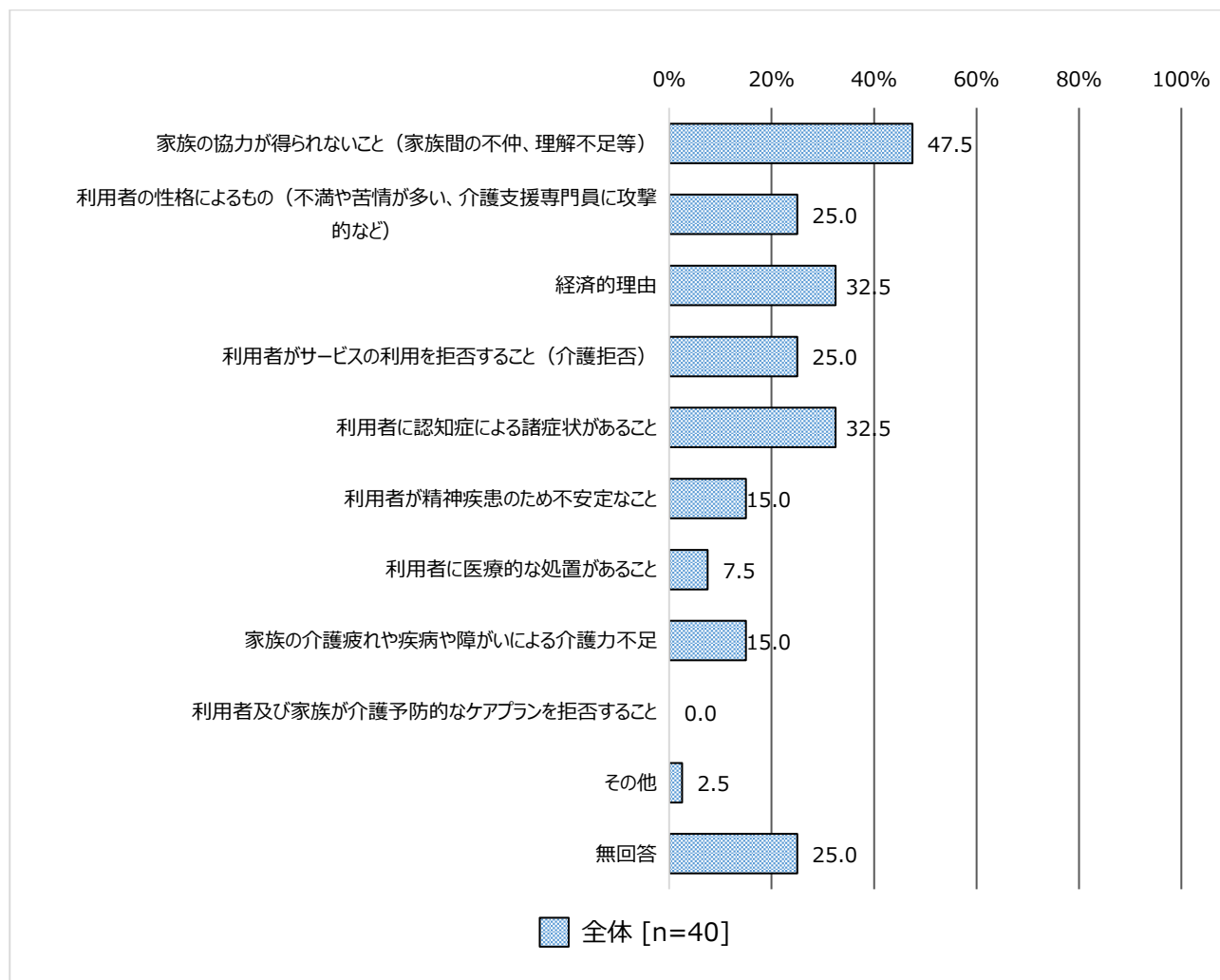
図表 297 様々な理由で支援が困難な担当利用者の有無



⑧支援が困難な理由

様々な理由で支援が困難な担当利用者が「いる」と回答した方の、支援が困難な理由は、「家族の協力が得られないこと（家族間の不仲、理解不足等）」が47.5%と最も高く、次いで「経済的理由」「利用者に認知症による諸症状があること」がともに32.5%となっている。

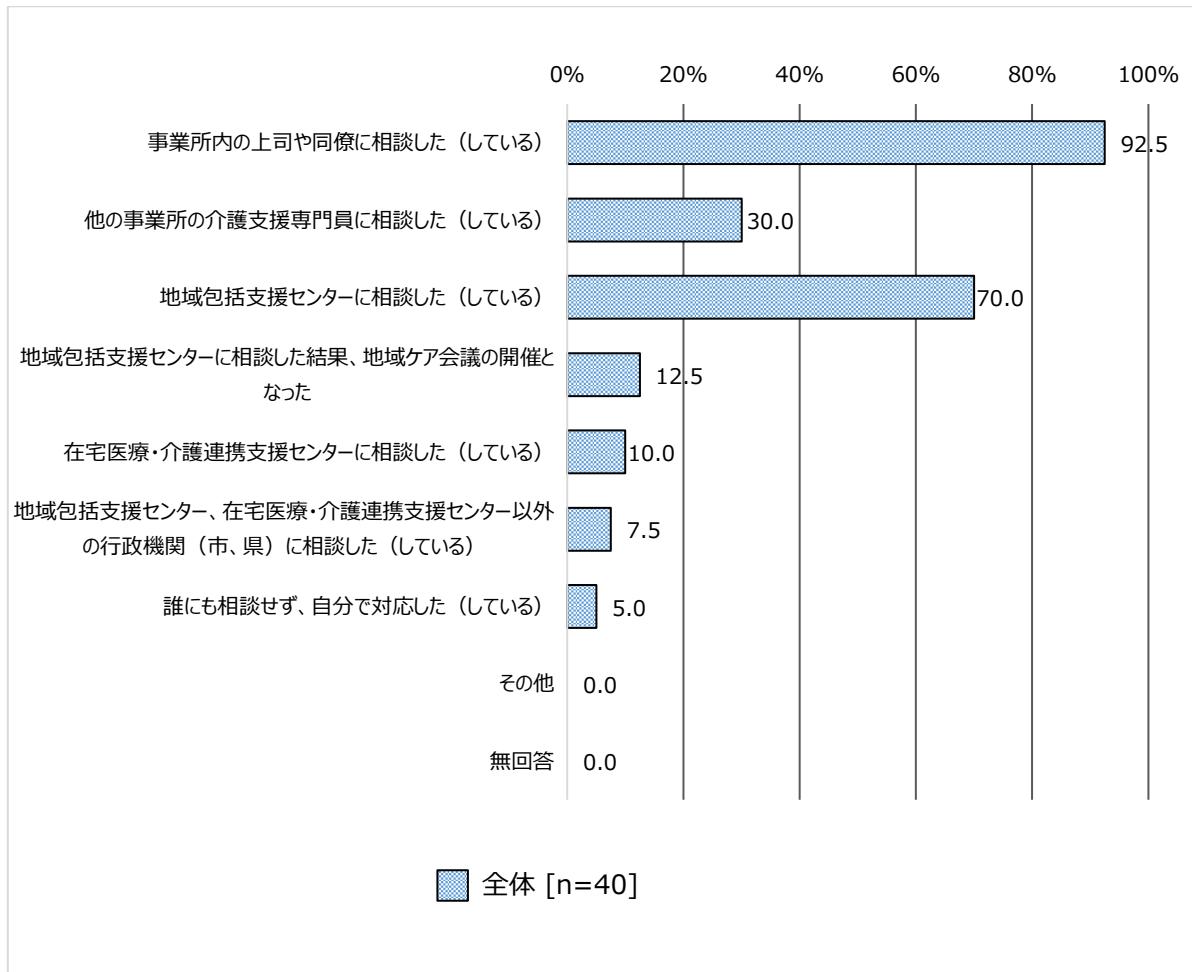
図表 298 支援が困難な理由〔複数回答・3つまで〕



⑨支援が困難な方への対応

支援が困難な方への対応は、「事業所内の上司や同僚に相談した（している）」が 92.5%と最も高く、次いで「地域包括支援センターに相談した（している）」が 70.0%となっている。

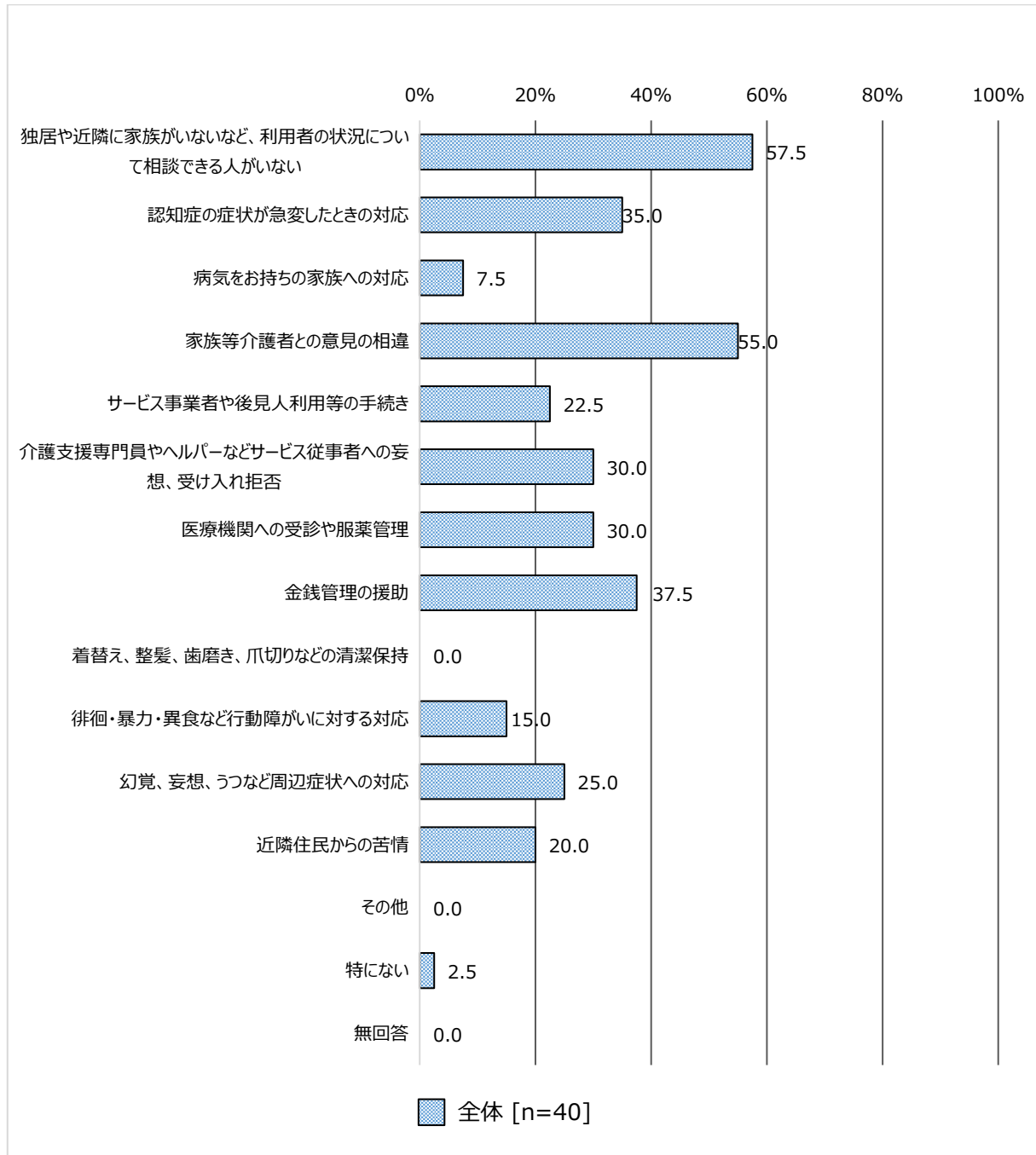
図表 299 支援が困難な方への対応〔複数回答〕



⑩ケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていること

ケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることは、「独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない」が 57.5%と最も高く、次いで「家族等介護者との意見の相違」が 55.0%となっている。

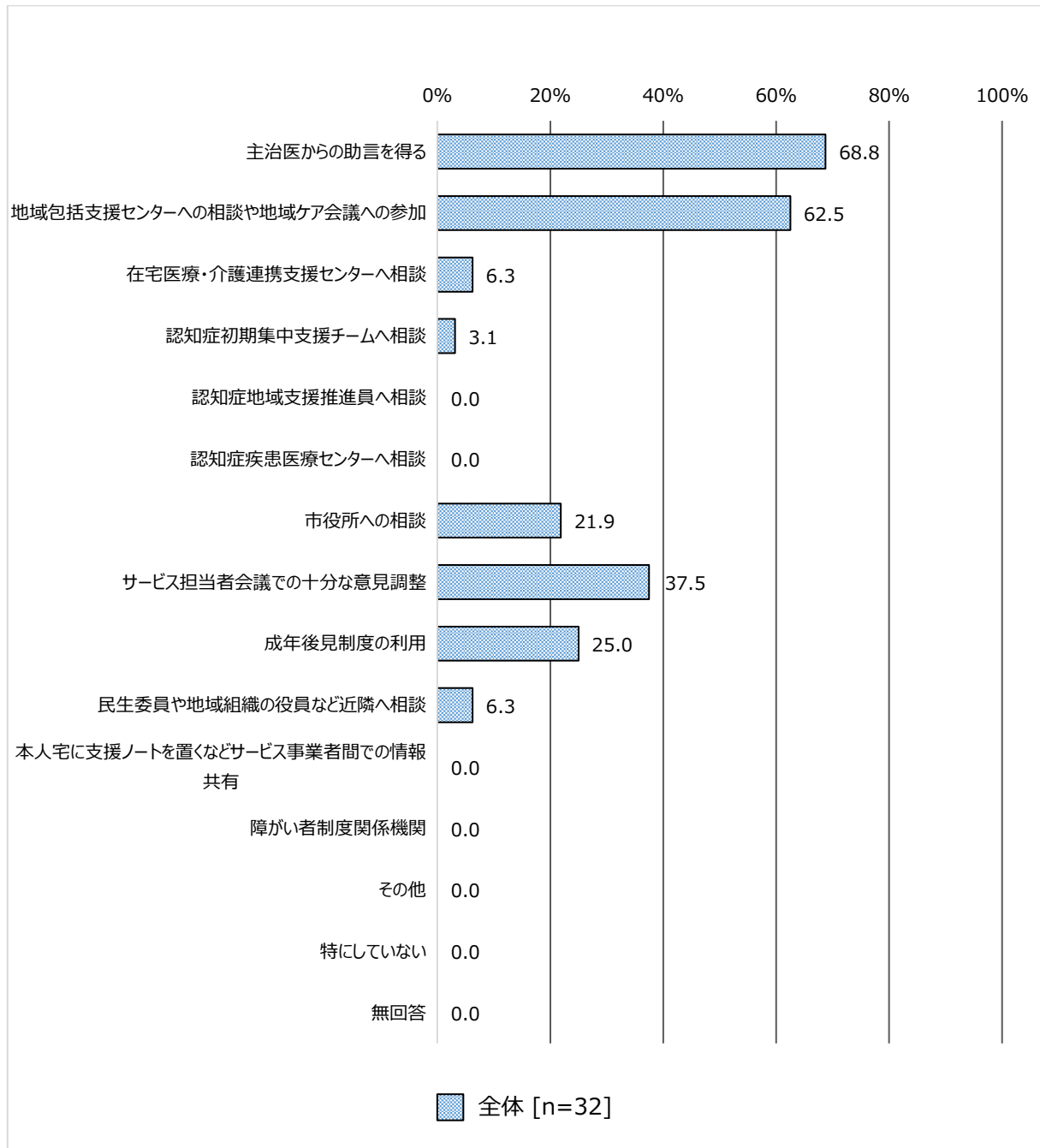
図表 300 ケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていること〔複数回答・5つまで〕



⑪ケアプラン作成にあたっての課題解決のための対応

ケアプラン作成にあたって特に困難を感じていることについて、「特にない」以外を回答した方に、ケアプラン作成にあたっての課題解決のための対応を聞いたところ、「主治医からの助言を得る」が68.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センターへの相談や地域ケア会議への参加」が62.5%となっている。

図表 301 ケアプラン作成にあたっての課題解決のための対応〔複数回答〕

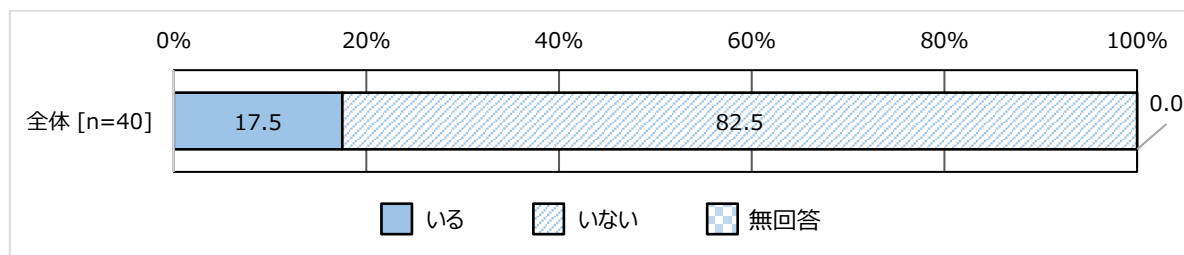


(5) 高齢者虐待について

①高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者の有無

高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者は、「いない」82.5%、「いる」が17.5%となっている。

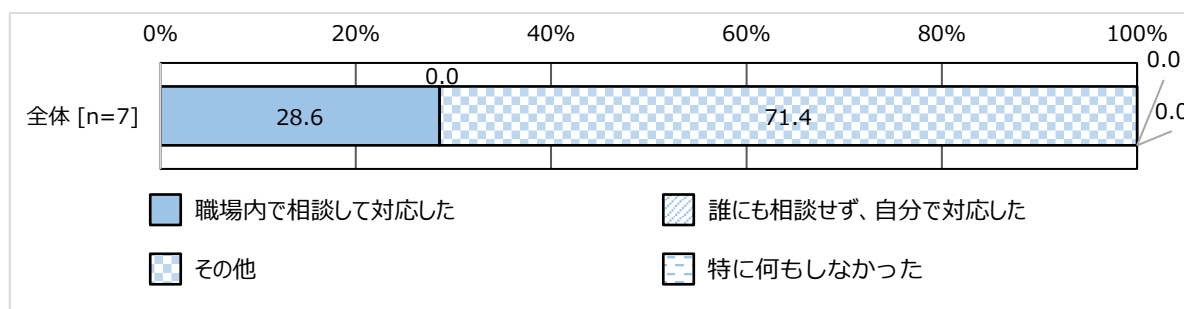
図表 302 高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者への対応



②高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者への対応

高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者が「いる」と回答した方について、その対応は、「職場内で相談して対応した」が28.6%となっている。「その他」はすべて地域包括支援センター等への相談に関する内容となっている。

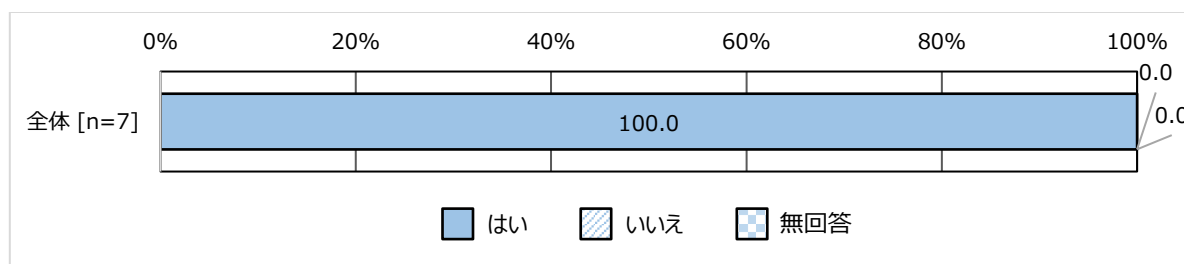
図表 303 高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者への対応



③市役所または地域包括支援センターに相談（通報）したか

高齢者虐待を受けている、または疑いがある利用者が「いる」と回答した方に、市役所または地域包括支援センターに相談（通報）したか聞いたところ、「はい」が100.0%となっている。

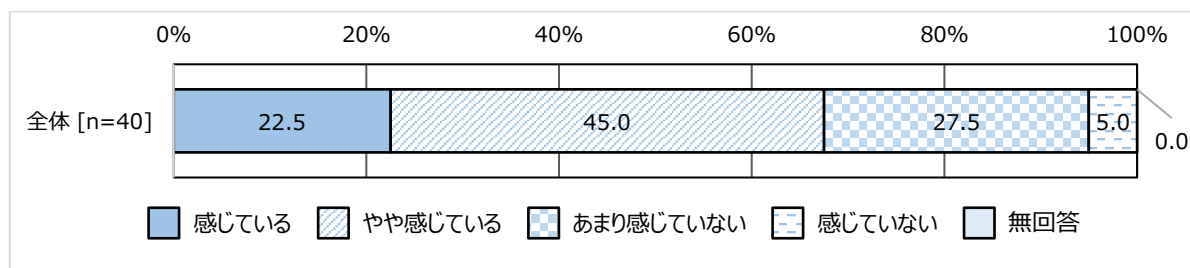
図表 304 市役所または地域包括支援センターに相談（通報）したか



④仕事に満足感を感じているか

仕事に満足感を感じているか聞いたところ、「感じている」と「やや感じている」の合計が 67.5% となっている。また、「あまり感じていない」と「感じていない」の合計は 32.5% となっている。

図表 305 仕事に満足感を感じているか

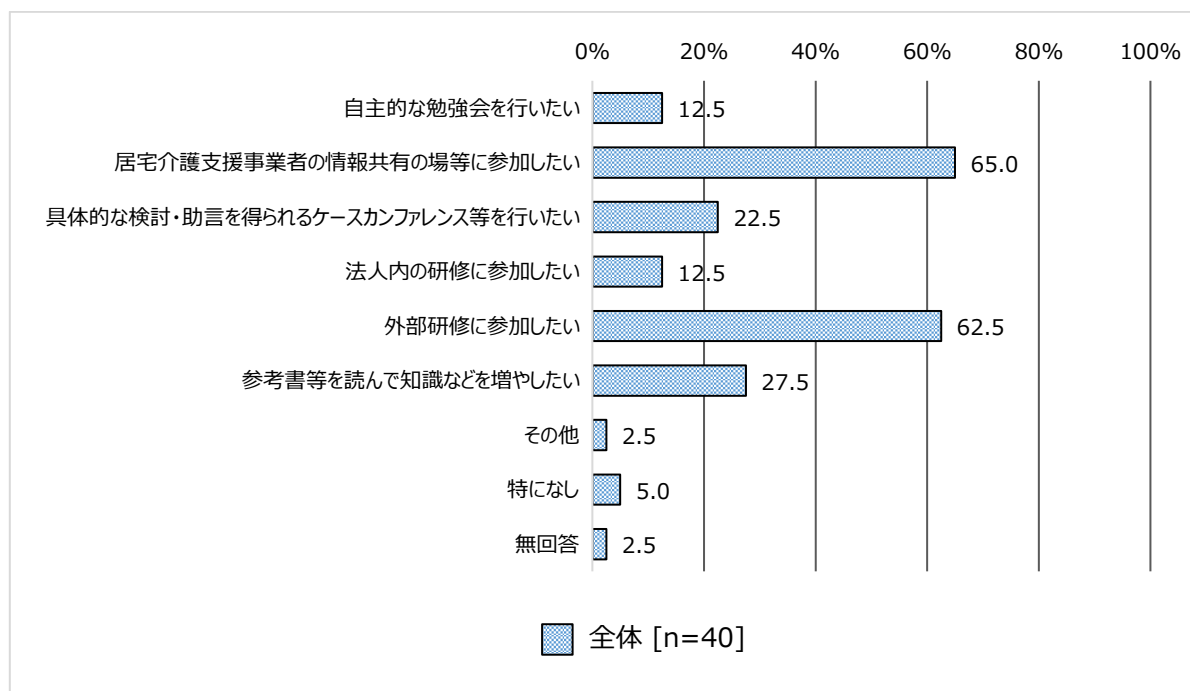


(6) 介護支援専門員業務について

①介護支援専門員業務のレベルアップのために今後始めたい取り組み

介護支援専門員業務のレベルアップのために今後始めたい取り組みは、「居宅介護支援事業者の情報共有の場等に参加したい」が 65.0% と最も高く、次いで「外部研修に参加したい」が 62.5% となっている。

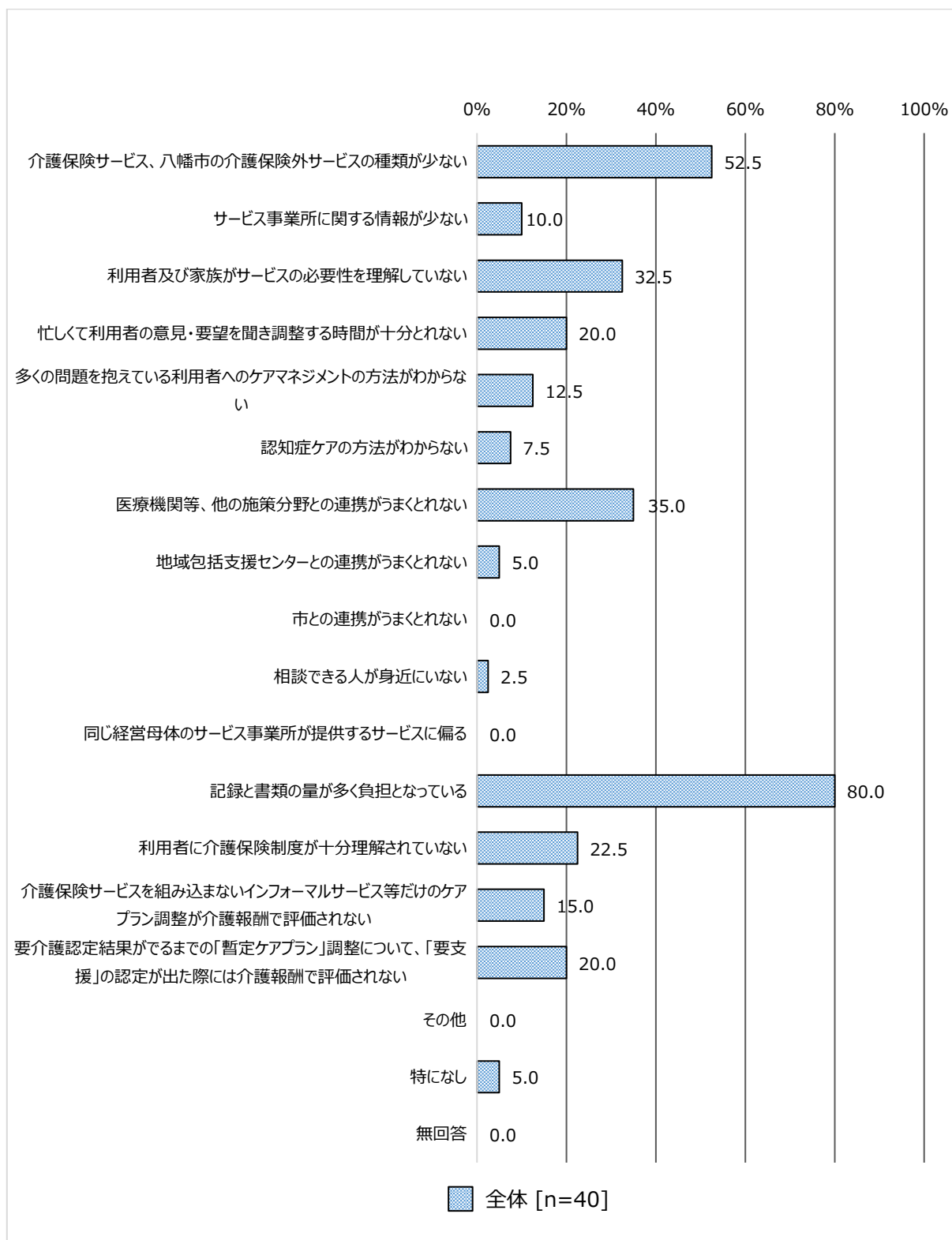
図表 306 介護支援専門員業務のレベルアップのために今後始めたい取り組み〔複数回答・3つまで〕



②介護支援専門員業務を行う上での主な課題

介護支援専門員業務を行う上での主な課題は、「記録と書類の量が多く負担となっている」が80.0%と突出して最も高く、次いで「介護保険サービス、八幡市の介護保険外サービスの種類が少ない」が52.5%となっている。そのほか「医療機関等、他の施策分野との連携がうまくとれない」が35.0%、「利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない」が32.5%と続く。

図表 307 介護支援専門員業務を行う上での主な課題〔複数回答・5つまで〕

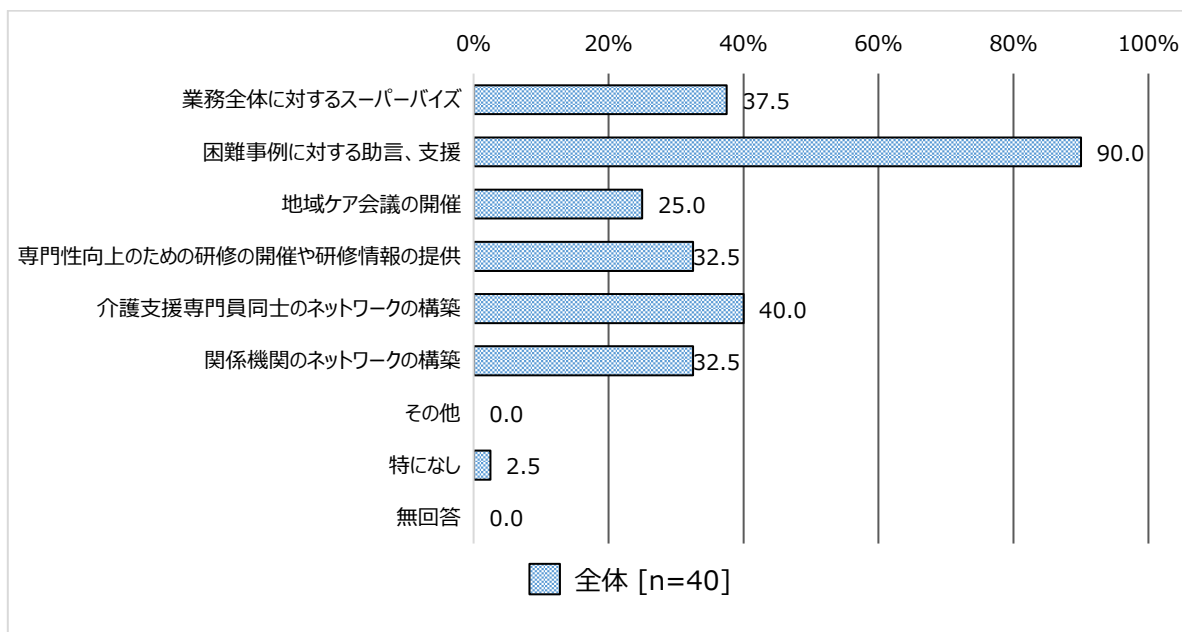


(7) 地域包括支援センター・行政への要望

①地域包括支援センターに期待する役割

地域包括支援センターに期待する役割は、「困難事例に対する助言、支援」が90.0%と突出して最も高く、次いで「介護支援専門員同士のネットワークの構築」が40.0%、「業務全体に対するスーパーバイズ」が37.5%となっている。

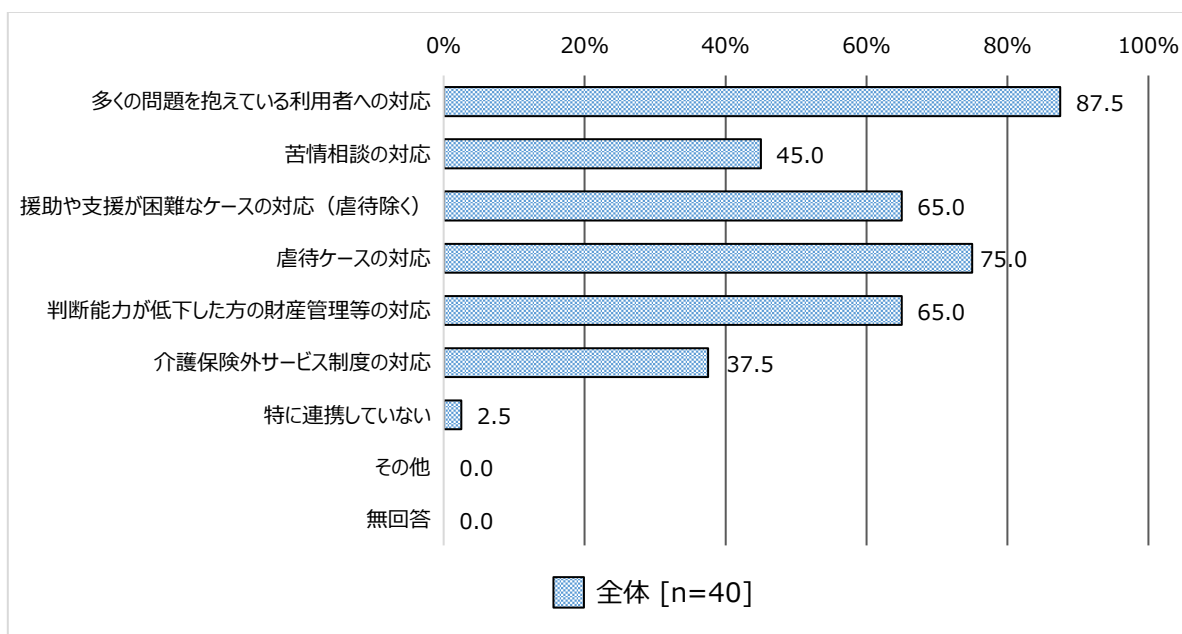
図表 308 地域包括支援センターにどのような役割を主に期待しているか〔複数回答・3つまで〕



②地域包括支援センターと連携するときの状況

地域包括支援センターと連携するときの状況は、「多くの問題を抱えている利用者への対応」が87.5%と最も高く、次いで「虐待ケースの対応」が75.0%となっている。

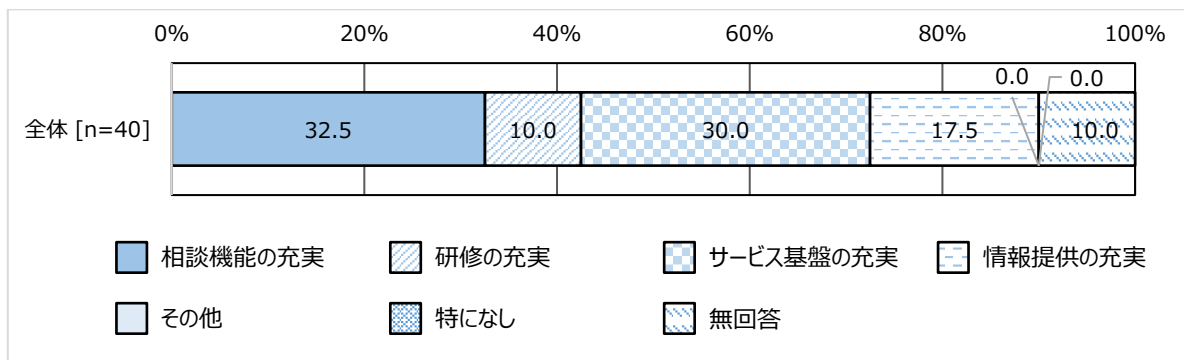
図表 309 地域包括支援センターと連携するときの状況〔複数回答〕



③行政に最も期待する役割

行政に最も期待する役割は、「相談機能の充実」が 32.5%と最も高く、「サービス基盤の充実」が 30.0%となっている。

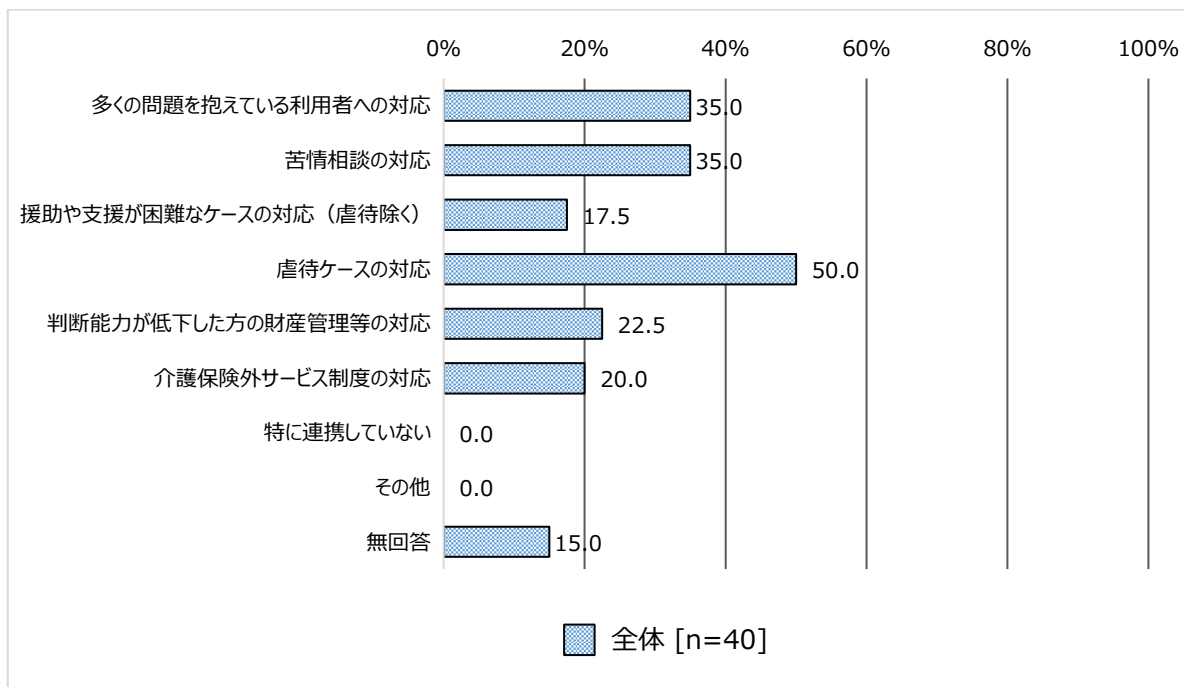
図表 310 地域包括支援センターに期待する役割



④行政と連携するときの状況

行政と連携するときの状況は、「虐待ケースの対応」が 50.0%と最も高く、次いで「多くの問題を抱えている利用者への対応」「苦情相談の対応」がともに 35.0%となっている。

図表 311 行政と連携するときの状況〔複数回答〕



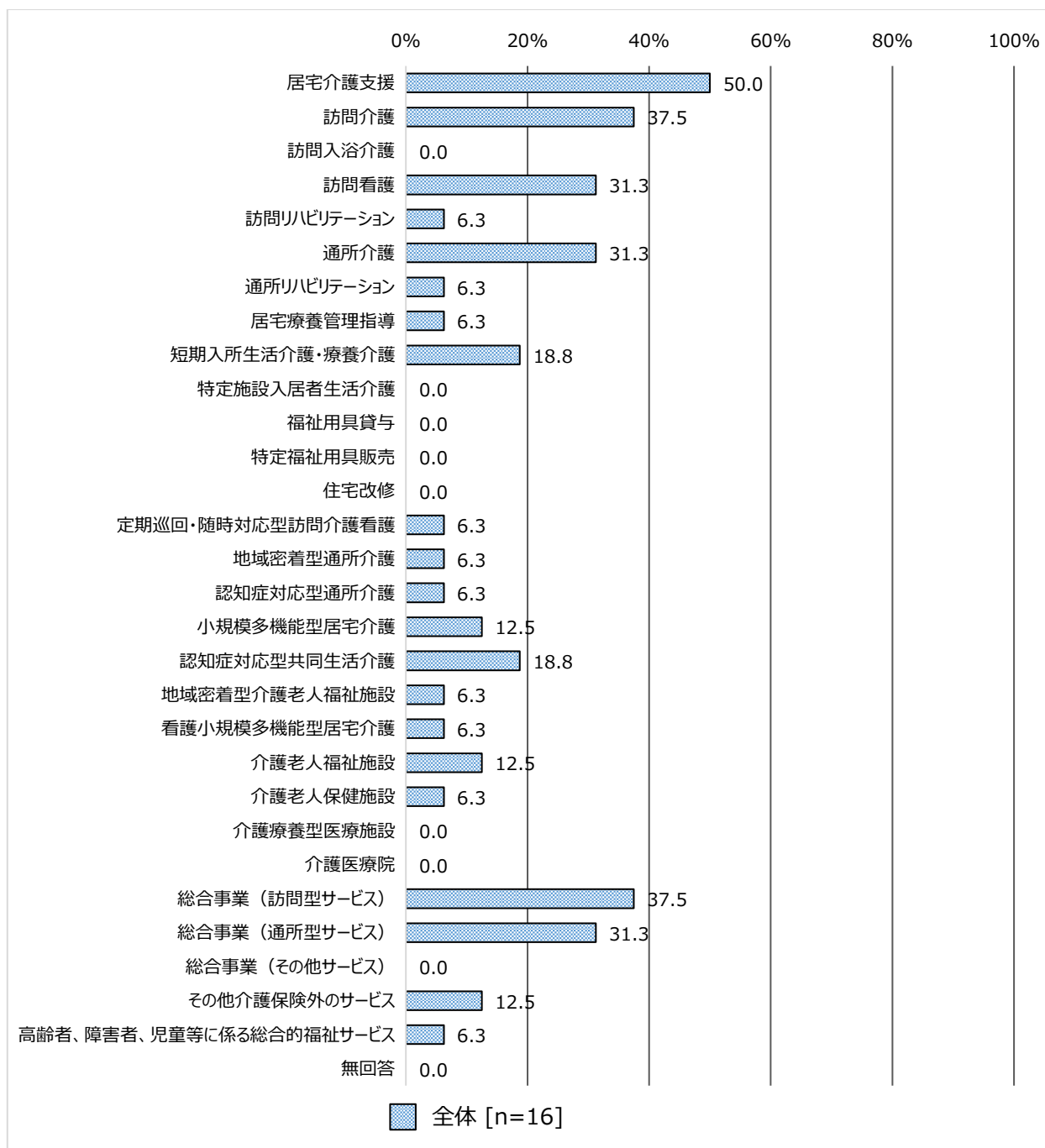
5 介護人材実態調査結果

(1) 介護サービス等の提供状況について

①提供している介護サービス（介護予防事業含む）

提供している介護サービス（介護予防事業含む）は、「居宅介護支援」が50.0%と最も高く、次いで「訪問介護」「総合事業（訪問型サービス）」がともに37.5%となっている。

図表 312 提供している介護サービス(介護予防事業含む)[複数回答]



(2) 介護人材の雇用について

①職員の人数

性別では、「その他の管理職」以外で「女性」の方が多くなっているが、「生活相談・支援・指導員」「リハビリ職（PT・OT・ST等）」では差は小さい。年齢では、40代～50代が主力となっている職種が多い。経験年数では、「保育士」を除くすべての職種で「5年以上」が最も多くなっている。常勤・非常勤の別では、「常勤（専任）」が多いが、「訪問介護員」「調理員」「その他（事務職等）」では「非常勤」の方が多くなっている。

表 313 職員の人数

(n=16)

	計	性別		年齢						
		男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
		(人)								
全体	747	209	490	1	68	99	174	168	115	75
介護職員	390	118	265	1	47	60	108	85	56	27
介護支援専門員	57	15	38	0	0	3	21	21	10	2
生活相談・支援・指導員	27	12	15	0	1	6	13	6	1	0
訪問介護員	90	9	81	0	3	9	18	22	22	17
看護職	105	23	79	0	5	18	21	33	24	4
保育士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ職(PT・OT・ST等)	23	11	12	0	8	10	4	1	0	0
栄養士	16	2	14	0	7	2	4	2	0	1
調理員	36	4	31	0	2	0	6	6	10	12
サービス提供責任者	16	1	15	0	0	1	6	7	2	0
その他の管理職	23	14	10	0	0	1	5	6	8	4
その他(事務職等)	61	39	22	0	3	2	9	12	15	20

(n=16)

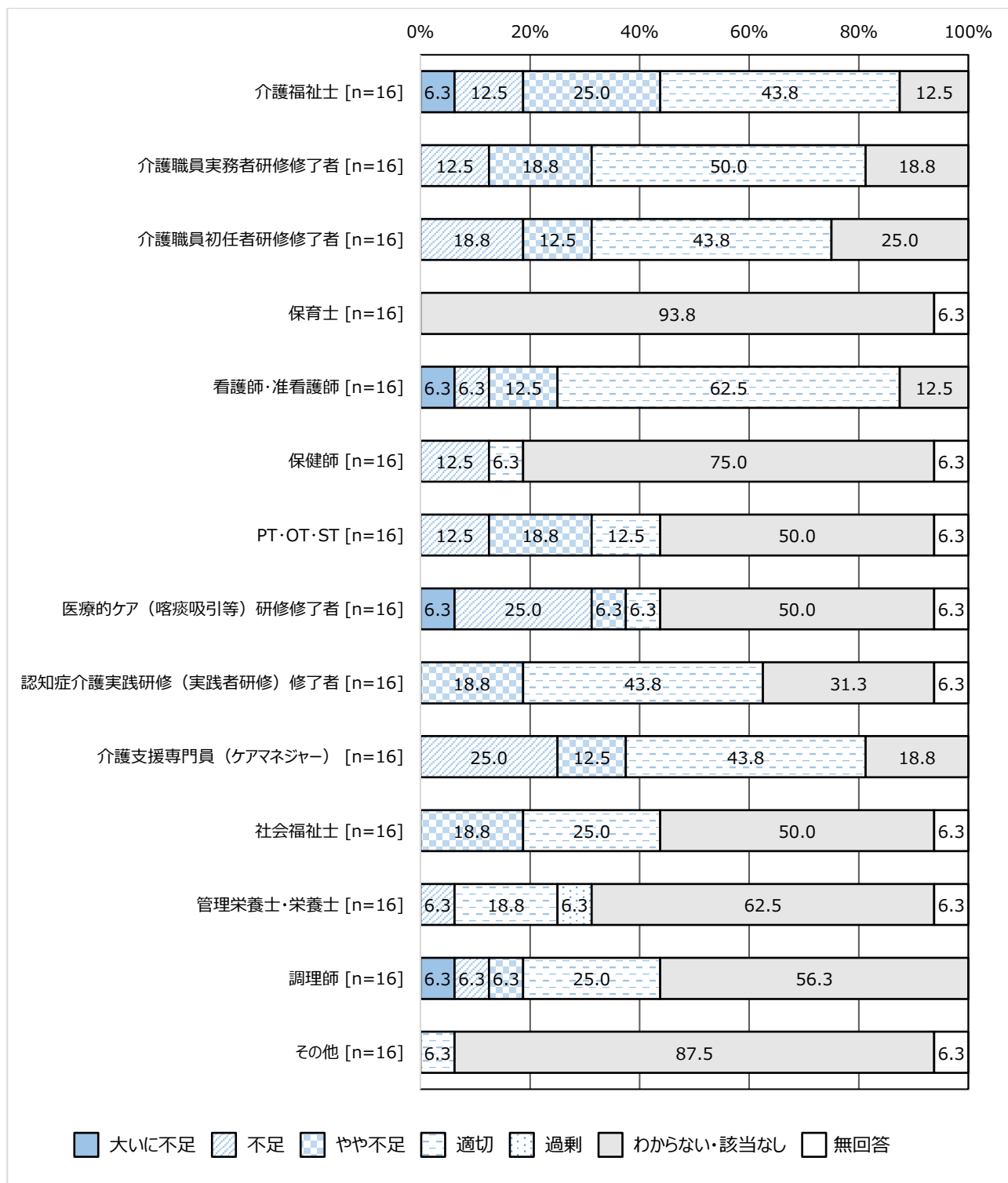
	(貴法人での)経験年数				常勤・非常勤の別		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	常勤 (専任)	常勤 (兼務)	非常勤
	(人)						
全体	71	116	106	305	316	39	226
介護職員	34	52	51	167	160	22	121
介護支援専門員	3	7	8	29	30	13	12
生活相談・支援・指導員	0	4	2	14	10	10	0
訪問介護員	6	26	6	46	24	6	54
看護職	14	21	20	39	49	8	35
保育士	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ職(PT・OT・ST等)	2	4	4	10	17	1	2
栄養士	0	2	2	7	8	1	2
調理員	7	7	2	20	9	1	26
サービス提供責任者	1	4	3	7	14	1	0
その他の管理職	2	2	2	14	6	11	3
その他(事務職等)	7	8	3	19	12	2	21

※「計」は計欄に回答のあった人数の集計であり、内訳の合計ではない。

②資格保有者の過不足感

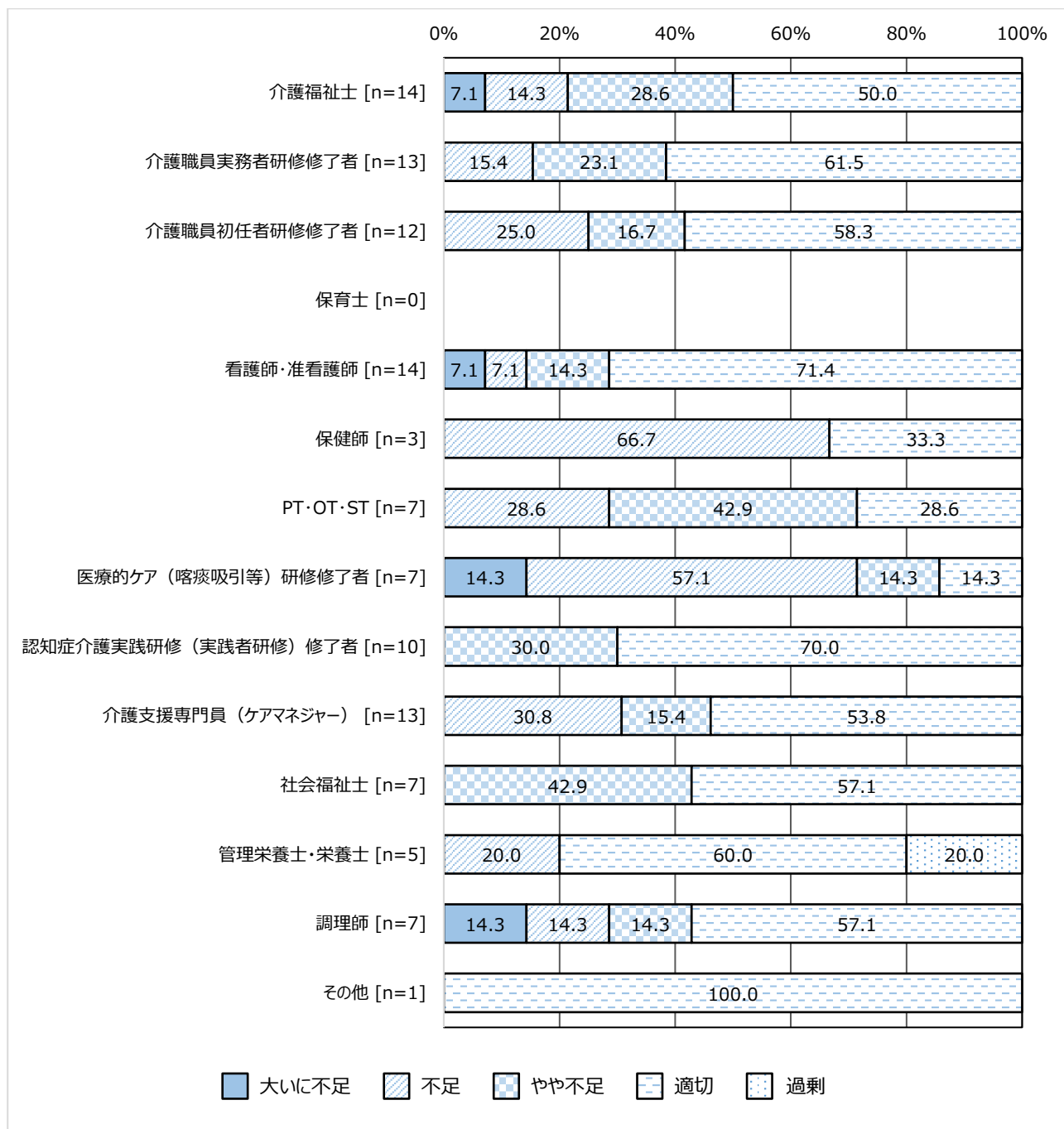
「不足している」（大いに不足・不足・やや不足の合計）資格保有者をみると、「介護福祉士」が43.8%と最も高く、次いで「医療的ケア（喀痰吸引等）研修修了者」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」がともに37.5%となっている。

図表 314 資格保有者の過不足感



「不足している」（大いに不足・不足・やや不足の合計）資格保有者について、「わからない・該当なし」及び無回答を除く集計でみると、「介護福祉士」、「保健師」、「PT・OT・ST」、「医療的ケア（喀痰吸引等）研修修了者」では過半数となっている。

図表 315 資格保有者の過不足感（「わからない・該当なし」及び無回答を除く）



③資格保有者の不足人数

資格別に不足している人数をみると、全体では「介護福祉士」が27人と最も多くなっている。介護保険サービス等ごとでは、「訪問介護」における「介護職員初任者研修修了者」が9人と最も多く、次いで「介護老人福祉施設」における「医療的ケア（喀痰吸引等）研修修了者」が8人、「居宅介護支援の介護支援専門員（ケアマネジャー）」が7人となっている。

図表 316 不足している資格保有者の人数

(n=16)

	介護福祉士	介護職員実務者研修修了者	介護職員初任者研修修了者	保育士	看護師・准看護師	保健師	PT・OT・ST	医療的ケア（喀痰吸引等）研修修了者	認知症介護実践研修（実践者研修）修了者	介護支援専門員（ケアマネジャー）	社会福祉士	管理栄養士・栄養士	調理師	その他
	(人)													
全体	27	8	14	-	8	2	6	16	4	12	7	2	4	-
居宅介護支援	5	2	2	-	-	1	2	-	-	7	2	-	-	-
訪問介護	5	3	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問入浴介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問看護	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問リハビリテーション	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
通所介護	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
通所リハビリテーション	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
短期入所生活介護・療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定福祉用具販売	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅改修	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模多機能型居宅介護	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
認知症対応型共同生活介護	2	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	-	-	-
地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
看護小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
介護老人福祉施設	4	2	-	-	1	-	-	8	-	1	1	-	2	-
介護老人保健施設	2	-	-	-	3	1	2	-	-	2	2	2	2	-
介護療養型医療施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合事業（訪問型サービス）	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合事業（通所型サービス）	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合事業（その他サービス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他介護保険外のサービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者、障害者、児童等に係る総合的福祉サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

④採用状況

令和3年度の採用状況をみると、介護職員では、「常勤」において応募者数が求人数を上回っているが、「非常勤」の応募者数は求人数を下回っている。訪問介護員では、「常勤」において応募者数が求人数を上回っている。「非常勤」においては、求人数とほぼ同数の応募があったが、採用は0人となっている。

看護職員では、「常勤」において応募者数が求人数を下回っており、採用も応募者の約半数となっている。介護支援専門員では、「常勤」の応募者、採用者ともに求人数を上回っている。

図表 317 採用状況

(n=16)

		求人数(人)		応募者数(人)		採用人数(人)	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員		23	16	81	13	28	7
	男性			40	3	9	3
	女性			39	6	17	2
訪問介護員		12	8	21	7	12	0
	男性			9	0	5	0
	女性			12	5	7	0
看護職員		14	5	11	10	6	4
	男性			2	0	0	0
	女性			7	8	5	2
訪問看護員		0	0	9	4	6	3
	男性			2	0	2	0
	女性			7	4	4	3
介護支援専門員		4	0	13	0	7	0
	男性			4	0	2	0
	女性			9	0	5	0
PT・OT・ST		1	0	0	0	0	0
	男性			0	0	0	0
	女性			0	0	0	0

⑤離職状況

令和3年度の離職者数は介護職員が最も多く、次いで、看護職員が多くなっている。介護職員の「常勤」の離職者数のうち、半数が1年未満の離職者となっている。

図表 318 離職状況

(n=16)

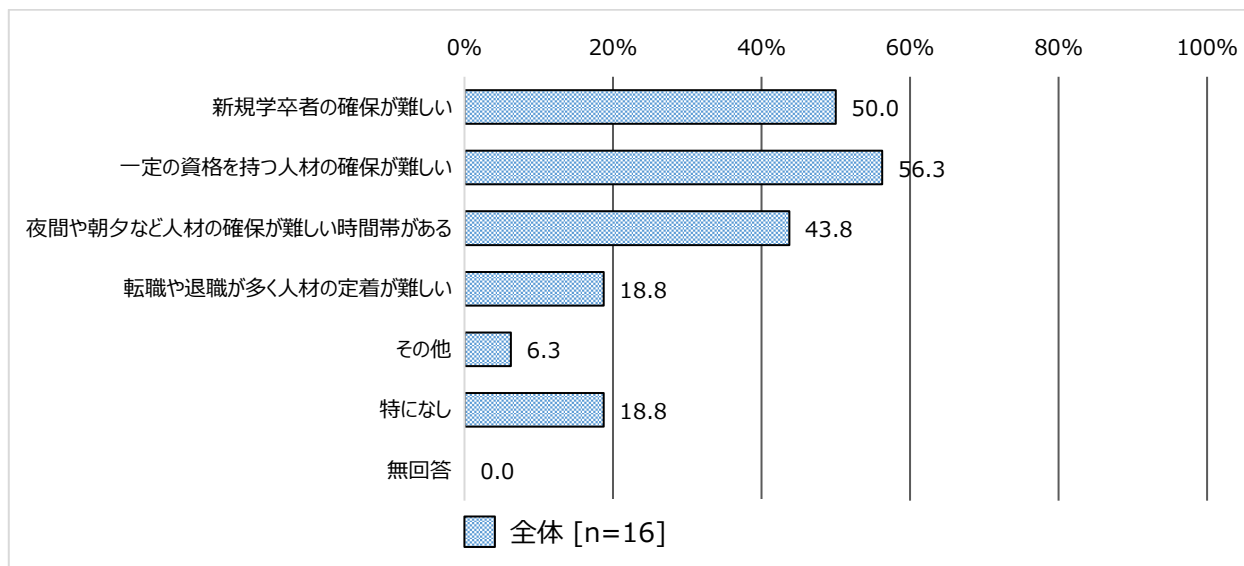
		離職者数 (人)		離職者数のうち 定年・契約満了者数 (人)		離職者数のうち 1年未満離職者数 (人)	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員		20	13	0	1	10	0
	男性	7	0	0	0	4	0
	女性	13	13	0	1	6	0
訪問介護員		3	1	1	1	0	0
	男性	0	0	0	0	0	0
	女性	3	1	1	1	0	0
看護職員		8	6	0	0	2	2
	男性	0	0	0	0	0	0
	女性	8	6	0	0	2	2
訪問看護員		2	0	0	0	1	0
	男性	0	0	0	0	0	0
	女性	2	0	0	0	1	0
介護支援専門員		2	0	0	0	1	0
	男性	1	0	0	0	0	0
	女性	1	0	0	0	1	0
PT・OT・ST		4	5	0	0	0	0
	男性	0	1	0	0	0	0
	女性	4	4	0	0	0	0

(3) 人材の確保・育成について

①人材確保の課題

人材確保の課題は、「一定の資格を持つ人材の確保が難しい」が56.3%と最も高く、次いで「新規学卒者の確保が難しい」が50.0%、「夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある」が43.8%となっている。

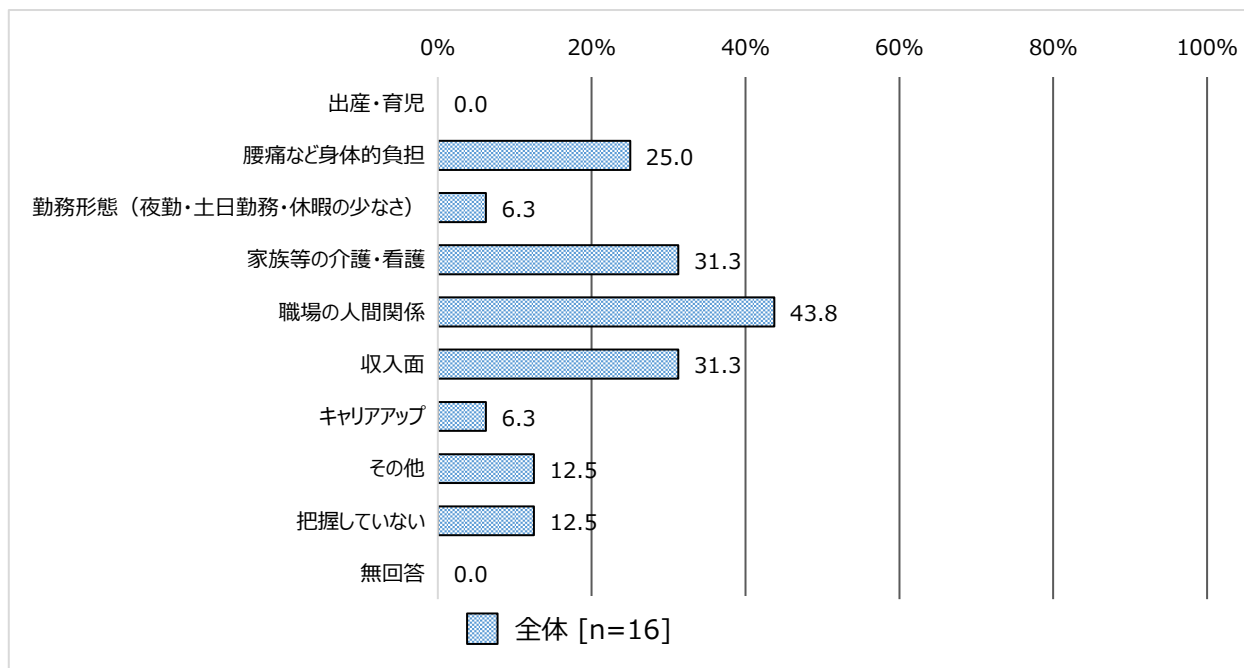
図表 319 人材確保の課題〔複数回答〕



②離職事由

離職事由は、「職場の人間関係」が43.8%と最も高く、次いで「家族等の介護・看護」「収入面」がともに31.3%、「腰痛など身体的負担」が25.0%となっている。

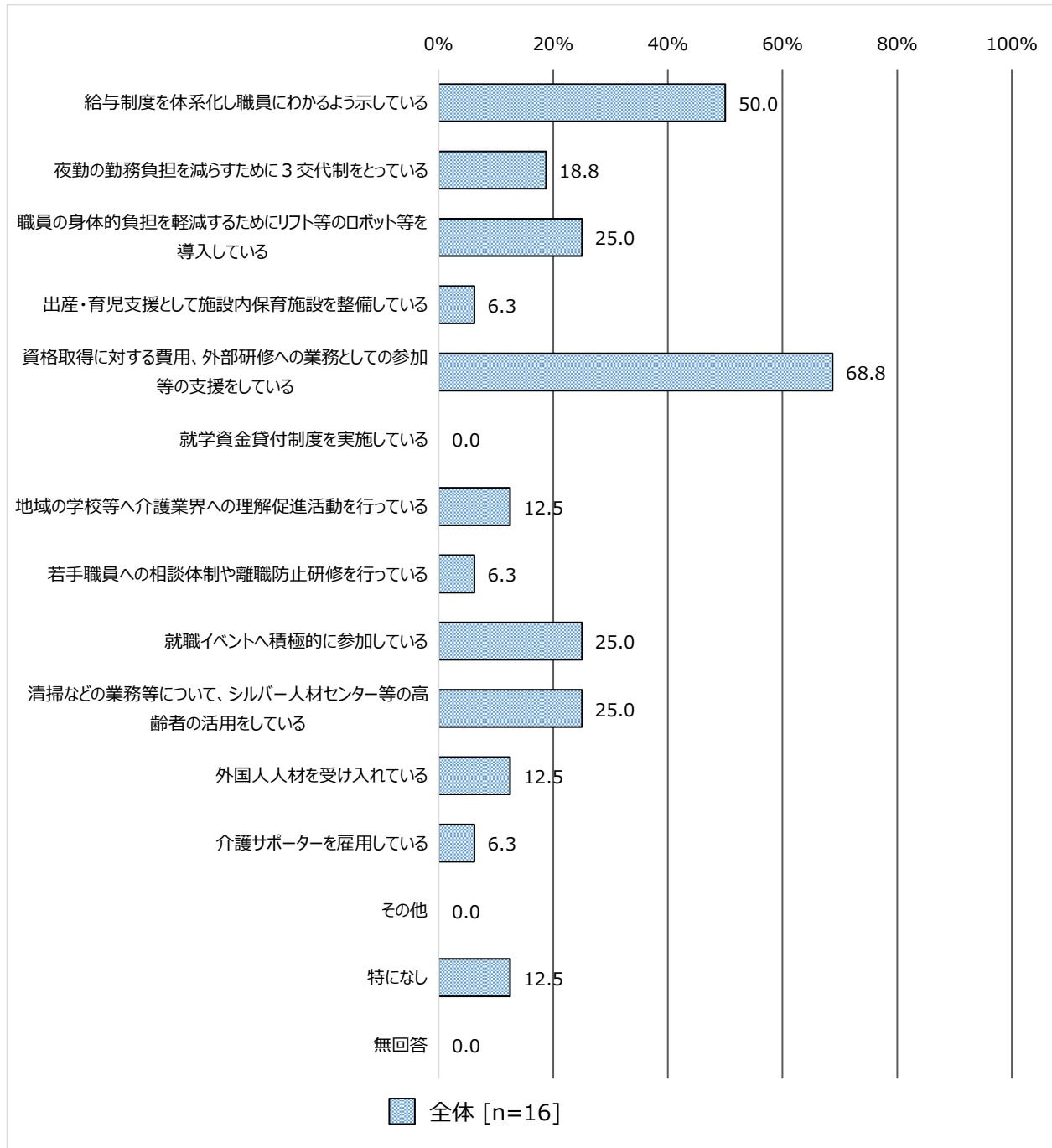
図表 320 離職事由〔複数回答・特に多い要因3つまで〕



③人材確保の取組

人材確保の取組は、「資格取得に対する費用、外部研修への業務としての参加等の支援をしている」が68.8%と最も高く、次いで「給与制度を体系化し職員にわかるよう示している」が50.0%となっている。

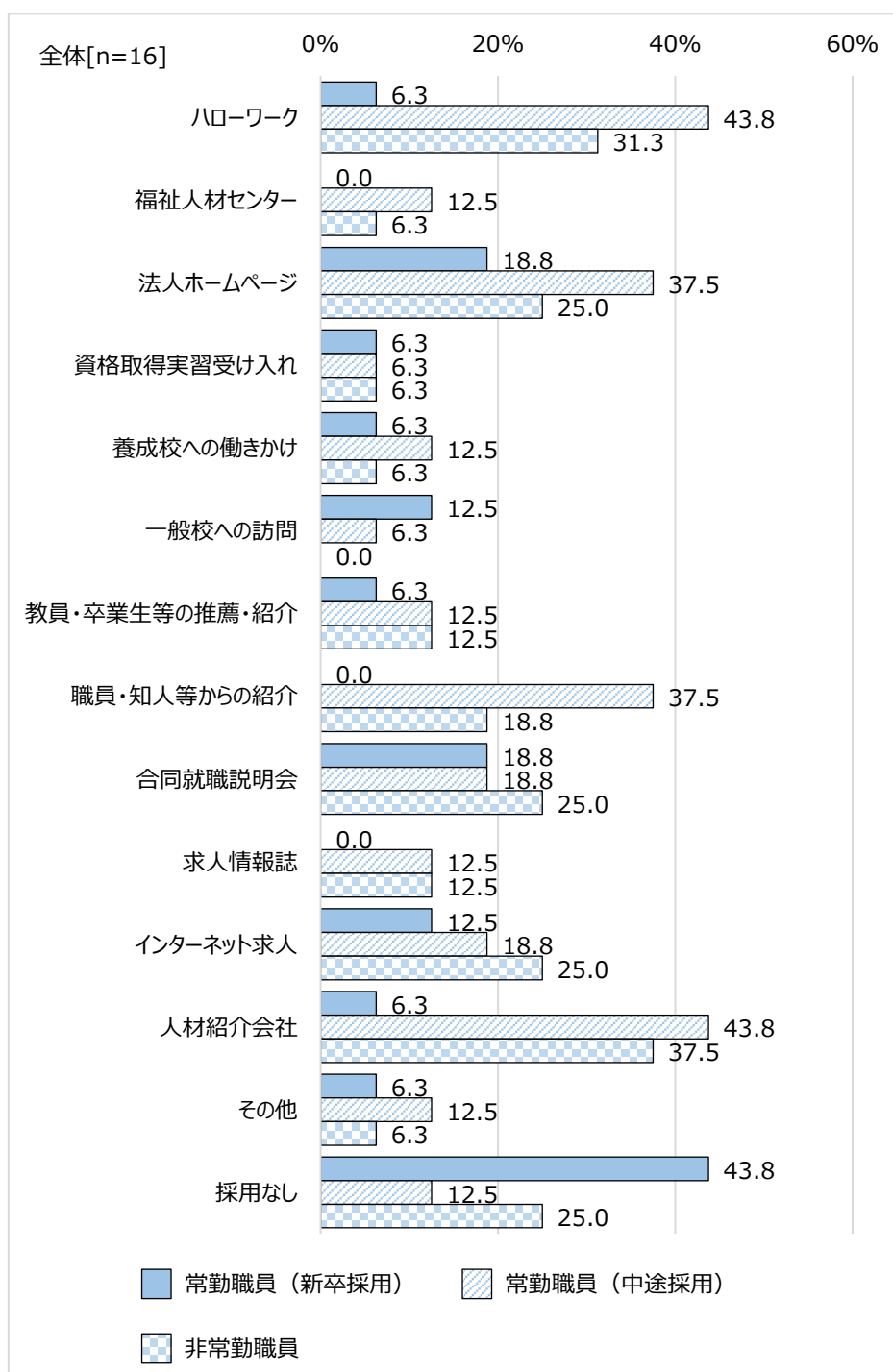
図表 321 人材確保の取組〔複数回答〕



④採用ルート

令和3年度に採用した職員の採用ルートは、「採用なし」以外では、「常勤職員（新卒採用）」では「法人ホームページ」「合同就職説明会」が18.8%と最も高くなっている。「常勤職員（中途採用）」では、「ハローワーク」「人材紹介会社」が43.8%と最も高く、次いで「法人ホームページ」「職員・知人等からの紹介」が37.5%となっている。「非常勤職員」では、「人材紹介会社」が37.5%と最も高く、次いで「ハローワーク」が31.3%となっている。

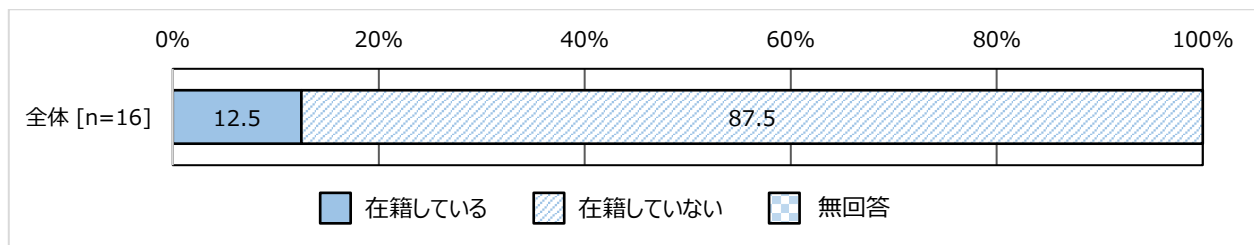
図表 322 採用ルート〔複数回答〕



⑤外国人介護職員の在籍の有無

外国人介護職員の在籍の有無は、「在籍していない」が87.5%、「在籍している」が12.5%となっている。

図表 323 外国人介護職員の在籍の有無



⑥在籍している外国人職員数

外国人職員が在籍していると回答した法人に在留資格ごとの外国人職員数を聞いたところ、「技能実習生」が13人と最も多くなっている。

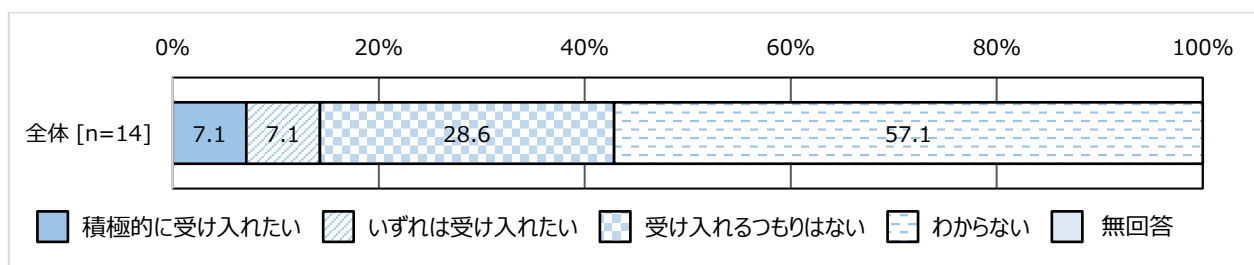
図表 324 在籍している外国人職員数

(n=16)	
	合計(人)
在留資格「介護」	3
EPA 介護職員	5
技能実習生	13
特定技能 1	0
養成校の留学生	0
「資格外活動」(養成校の留学生を除く)	0
合計	21

⑦今後、介護職員として外国人を受け入れる予定があるか

外国人職員が在籍していないと回答した法人に、今後、介護職員として外国人を受け入れる予定があるか聞いたところ、「わからない」が57.1%と最も高く、次いで「受け入れるつもりはない」が28.6%となっている。

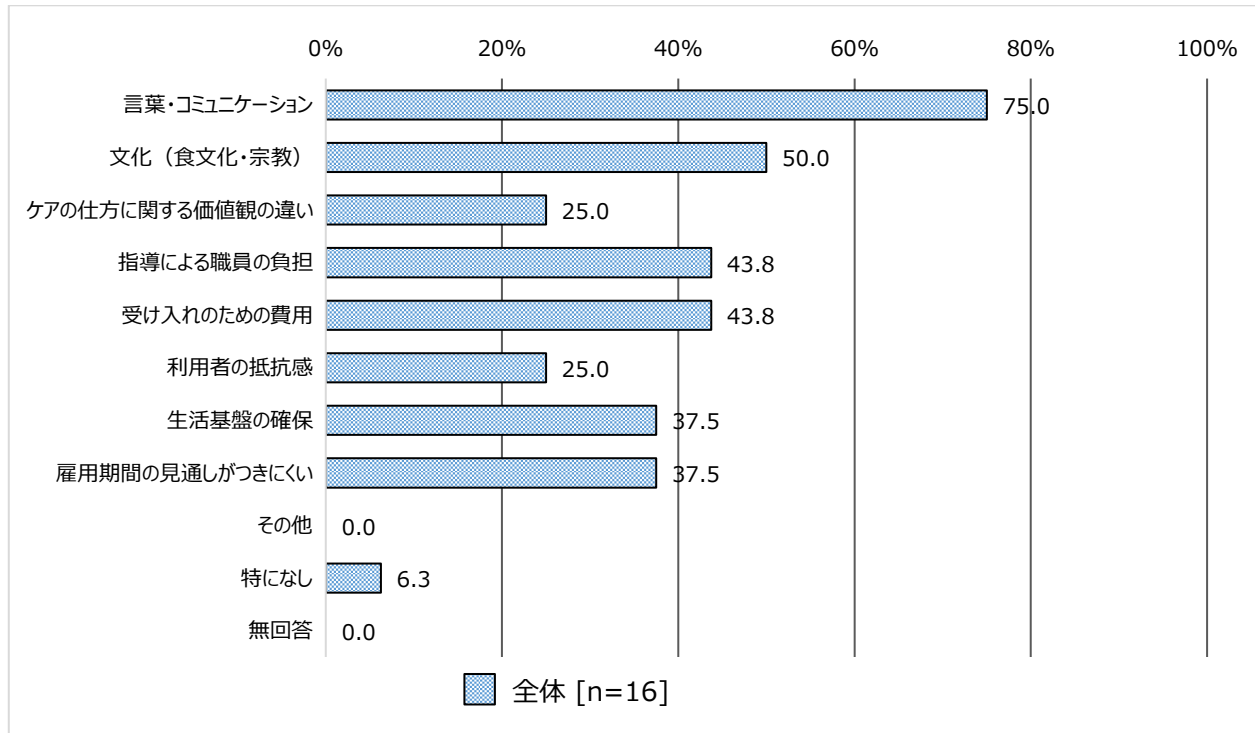
図表 325 今後、介護職員として外国人を受け入れる予定



⑧外国人介護職員を雇用する場合の課題

外国人介護職員を雇用する場合の課題は、「言葉・コミュニケーション」が 75.0%と最も高く、次いで「文化（食文化・宗教）」が 50.0%、「指導による職員の負担」「受け入れのための費用」がともに 43.8%となっている。

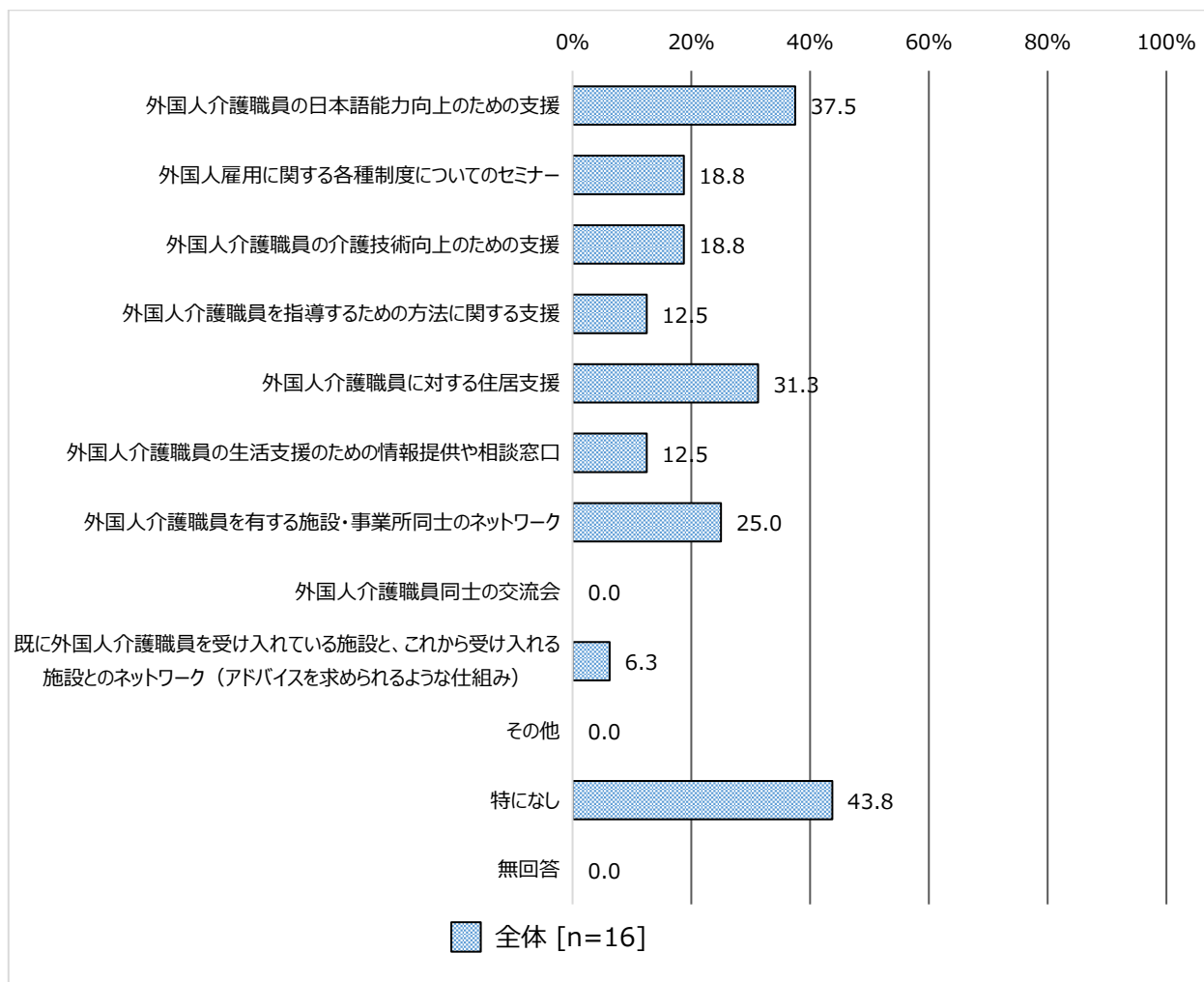
図表 326 外国人介護職員を雇用する場合の課題〔複数回答〕



⑨外国人介護職員の雇用に関して市に希望するもの

外国人介護職員の雇用に関して市に希望するものは、「特になし」が43.8%と最も高く、次いで「外国人介護職員の日本語能力向上のための支援」が37.5%、「外国人介護職員に対する住居支援」が31.3%となっている。

図表 327 外国人介護職員の雇用に関して市に希望するもの〔複数回答・3つまで〕



⑩ICT 機器導入状況

ICT 機器を導入しているサービスごとに、導入している ICT 機器の種類を聞いたところ、全体では「利用者請求（会計等）」が最も多く、「居宅介護支援」や「訪問介護」で導入されている。次いで全体では「介護・業務記録（バイタルチェック等）」が多く、「訪問介護」「居宅介護支援」「訪問看護」「通所介護」「総合事業（通所型サービス）」などで導入されている。

図表 328 ICT 機器導入状況〔複数回答〕

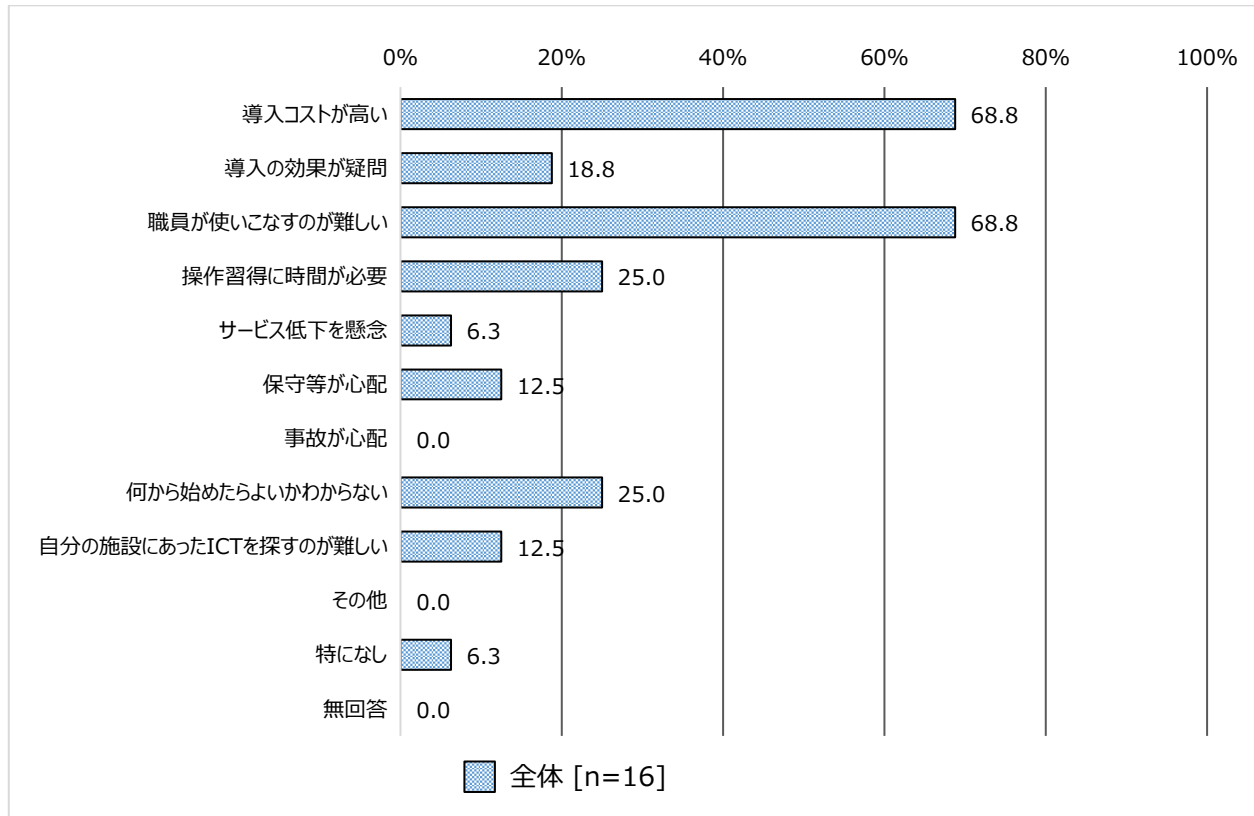
(n=16)

	合計	利用者請求（会計等）	介護・業務記録 （バイタルチェック等）	排泄支援（排泄補助ロボット等）	勤怠管理	見守り（カメラ・センサー等）	移乗介護（パワーアシスト 装着型機器等）	入浴支援 （出入り用リフト等）	移動支援（歩行支援機器等）	その他	無回答
	(件)										
全体	34	20	15	0	11	6	0	2	0	1	5
居宅介護支援	5	4	2	0	1	0	0	0	0	0	-
訪問介護	5	3	3	0	2	0	0	0	0	0	-
訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
訪問看護	2	2	2	0	1	0	0	0	0	0	-
訪問リハビリテーション	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	-
通所介護	3	2	2	0	0	0	0	1	0	0	-
通所リハビリテーション	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	-
居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
短期入所生活介護・療養介護	2	2	1	0	2	2	0	0	0	0	-
特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
福祉用具貸与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
特定福祉用具販売	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-
地域密着型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
認知症対応型通所介護	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-
小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
認知症対応型共同生活介護	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	-
地域密着型介護老人福祉施設	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	-
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
介護老人福祉施設	2	1	1	0	1	2	0	0	0	0	-
介護老人保健施設	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	-
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
総合事業（訪問型サービス）	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	-
総合事業（通所型サービス）	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	-
総合事業（その他サービス）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他介護保険外のサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
高齢者、障害者、児童等に係る総合的福祉サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

⑪ICT 導入に当たっての課題

ICT 導入に当たっての課題は、「導入コストが高い」「職員が使いこなすのが難しい」がともに 68.8%と最も高く、次いで「操作習得に時間が必要」「何から始めたらよいかわからない」がともに 25.0%となっている。

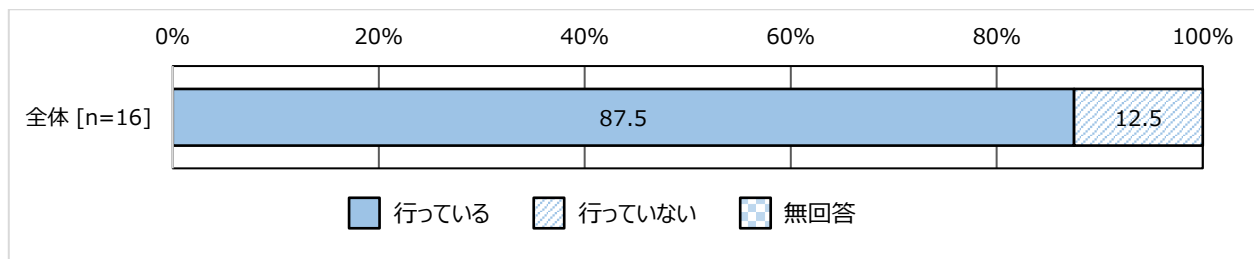
図表 329 ICT 導入に当たっての課題〔複数回答〕



⑫従業員のスキルアップにつながる独自の研修の有無

従業員のスキルアップにつながる独自の研修は、「行っている」が 87.5%、「行っていない」が 12.5%となっている。

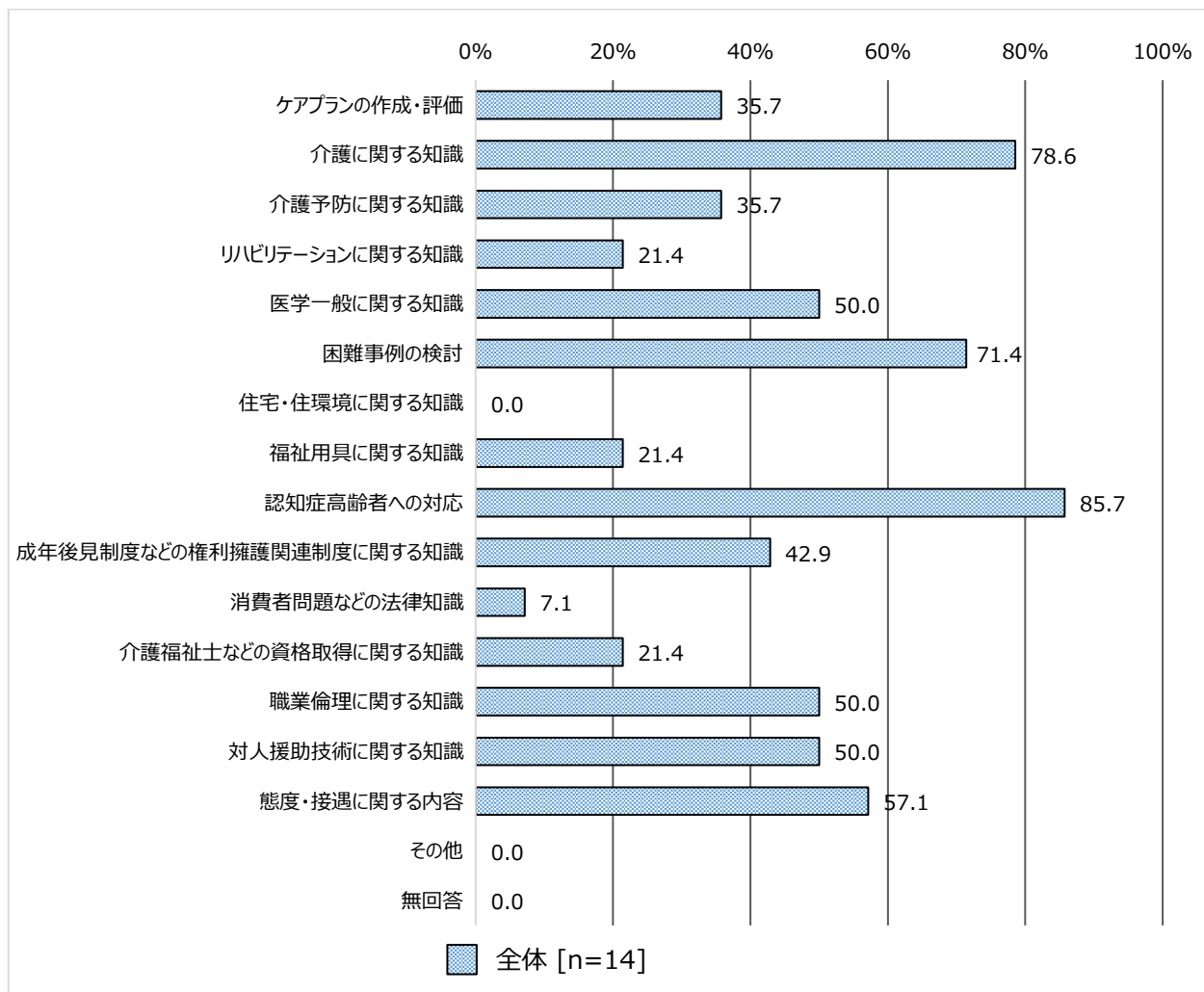
図表 330 従業員のスキルアップにつながる独自の研修の有無



⑬従業員のスキルアップにつながる独自の研修内容

従業員のスキルアップにつながる独自の研修を行っている法人に内容を聞いたところ、「認知症高齢者への対応」が 85.7%と最も高く、次いで「介護に関する知識」が 78.6%、「困難事例の検討」が 71.4%となっている。

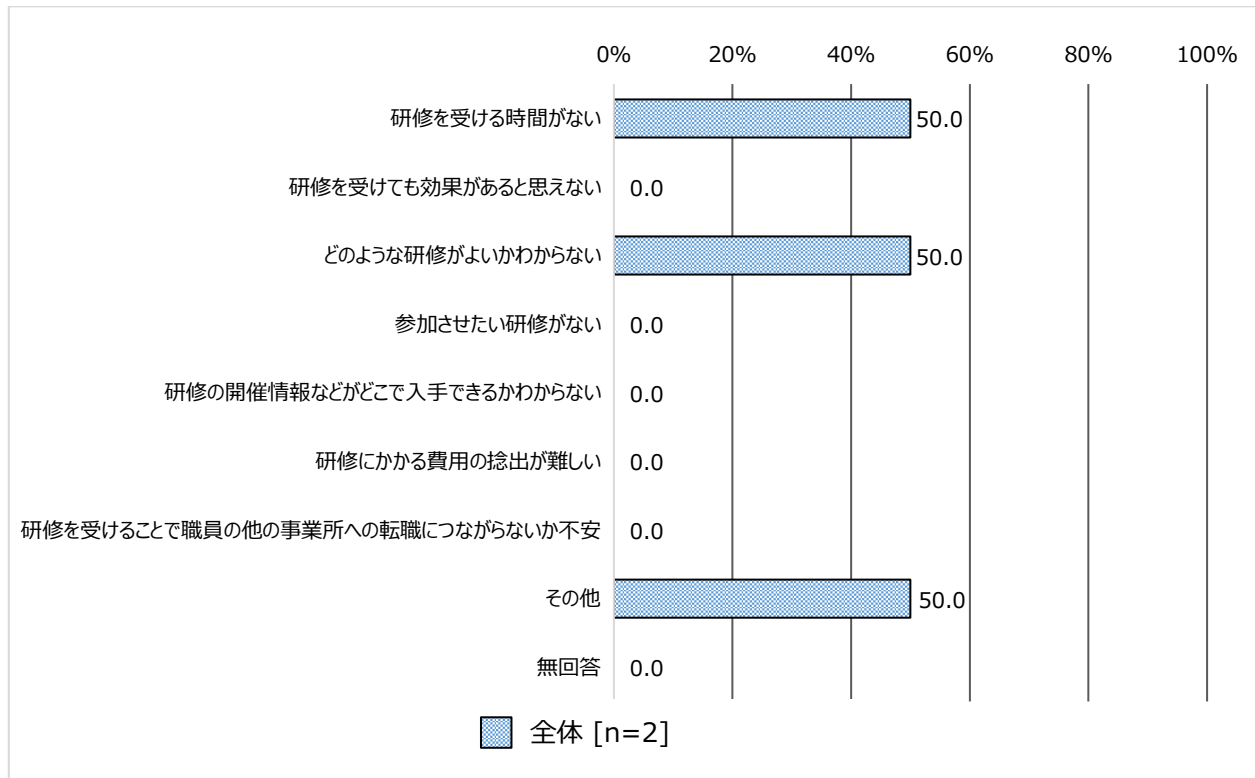
図表 331 従業員のスキルアップにつながる独自の研修内容〔複数回答〕



⑭従業員のスキルアップにつながる独自の研修を行っていない理由

従業員のスキルアップにつながる独自の研修を行っていない法人に理由を聞いたところ、「研修を受ける時間がない」「どのような研修がよいかわからない」がともに 50.0%となっている。その他として「各自が自己研鑽の必要性は認知しており、個人での研修参加は行っている」という回答があった。

図表 332 研修を行っていない理由〔複数回答〕



6 資料（調査票）

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

0001

第9期介護保険事業計画等策定に係る
アンケート調査

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、市政の推進についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
本市におきましては、市民の皆様が住み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。
このアンケート調査は、令和6年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。調査にあたり、八幡市内にお住まいの方の中から無作為に選ばせていただきました。
お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年12月

八幡市長 堀口 文昭

★以下、記入をお願いします。

記入日

令和 年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入

2. ご家族が記入 (あて名のご本人から見た続柄)

3. その他の人()

あなたご自身のことについて

問1 性別をお教えください。(○は1つ)

1. 男性

2. 女性

問2 年齢をお教えください。

満 歳 (令和4年12月1日現在)

問3 要支援認定の状況をお教えください。(○は1つ)

1. 認定を受けていない

2. 要支援1

3. 要支援2

4. その他()

＜ご記入にあたっての注意事項＞

◆ この調査は、できる限りご本人(封筒のあて名の人)がお答えください。ご家族の方などがご本人の立場にたって代わりに回答されたり、一緒に回答していただいてもかまいません。

◆ 記入は黒のボールペンや鉛筆などで、はっきりとお書きください。

◆ 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、「その他」にあてはまる場合は具体的に記入ください。

◆ 回答が終わりましたら、記入もれなどがないか確認していただき、同封の返信用封筒に入れて令和5年1月20日(金)までに郵便ポストに投函してください。

1

2

177

あなたのご家族や生活状況について

問4 家族構成をお教えください。(Oは1つ)

1. 1人暮らし → 問6にお進みください。
2. 夫婦 2人暮らし(配偶者 65歳以上)
3. 夫婦 2人暮らし(配偶者 64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他()

【問4において家族と同居されている方(「2」「5」を選んだ方)におうかがいします。】

問5 家族が家にいない日がどのくらいありますか。(Oは1つ)

1. 日中おむね誰かが家にいる
2. 日中誰も家にいない日が、週に1～2日ある
3. 日中誰も家にいない日が、週に3～4日ある
4. 日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある

※同居する家族が仕事などで不在となり、日中は一人暮らし同然の状況とな
っているかを把握するものです。

【すべての方におうかがいします。】

問6 あなたは、普段の生活でどんなかの介護・介助が必要ですか。(Oは1つ)

1. 介護・介助は必要ない → 問9にお進みください。
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている

(介護認定を受けていない家族などの介護を受けている場合も含む)

【問6において「2」または「3」を選んだ方におうかがいします。問7、問8ともにお答えください。】

問7 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(Oはいくつでも)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
5. 関節の病気(リウマチ等)
6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患(透析)
10. 視覚・聴覚障がい
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他
15. 不明 ()

問8 主にどんな介護、介助を受けていますか。(Oはいくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他()

【すべての方におうかがいします。】

問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(Oは1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(Oは1つ)

1. 持家(一戸建て)
2. 持家(集合住宅)
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 借家
7. その他()

からだを動かすことについて

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問13 15分位続けて歩いていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(Oは1つ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問15 転倒に対する不安は大きいですか。(Oは1つ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問16 週に1回以上は外出していますか。(Oは1つ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(Oは1つ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問18 外出を控えていますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ → 問20にお進みください。

【問18において「1」を選んだ方におうかがいします。】

問19 外出を控えている理由は、次のどれですか。(Oはいくつでも)

1. 病気
2. 障がい(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障がい(聞こえの問題など)
6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. コロナ禍のため
11. その他()

【すべての方におうかがいします。】

問20 外出する際の移動手段はなんですか。(Oはいくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす(カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他()

食べることにについて

問21 身長・体重について、数字を右詰(例: 162)でご記入ください。

身長 cm 体重 kg

問22 半年前に出べて固いものが食べにくくなりましたか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問23 お茶や汁物等でむせることがありますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問24 口の渇きが気になりますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問25 歯磨き(人にやってもら場合も含む)を毎日していますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問26 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(Oは1つ)

(成人の歯の総本数は、髣知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし → 問28にお進みください。
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし → 問28にお進みください。

【問26で「1」または「3」を選んだ方におうかがいします。】

問27 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

【すべての方におうかがいします。】

問28 噛み合わせは良いですか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問29 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問30 どなたかと食事をする機会がありますか。(Oは1つ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

毎日の生活について

問31 物忘れ(物の名前が出てこないこと、置き忘れ等)が多いと感じますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問32 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問33 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問34 自分で食事の用意をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問35 自分で部屋の掃除をしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問36 自分で請求書の支払いをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問37 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(Oは1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問38 年金などの書類(役場などに出す書類)が書けますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問39 新聞を読んでいますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問40 本や雑誌を読んでいますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問41 健康についての記事や番組に関心がありますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問42 友人の家を訪ねていますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問43 家族や友人の相談にのっていますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問44 若い人に自分から話しかけることがありますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問45 趣味はありますか。(Oは1つ)

1. 趣味あり → 具体的に ()
2. 思いつかない

問46 生きがいがありますか。(Oは1つ)

1. 生きがいあり → 具体的に ()
2. 思いつかない

7

問47 スマートフォンを利用していますか。(Oは1つ)

1. 利用している
2. 利用していない、所有していない

【問47の「スマートフォンを利用していますか」で「1」を選んだ方におかかいます。】

問48 スマートフォンはどんな時に利用しますか。(Oは1つでも)

1. 通話(電話としての利用)
2. メールやメッセージアプリの利用
3. ニュースの閲覧
4. 緊急時・災害時などの連絡受信
5. 写真・動画の撮影
6. インターネットでのショッピング
7. SNSの閲覧
8. 健康管理のツール
9. 音楽配信・動画の視聴
10. 飲食や旅行などの予約・チケット購入
11. 福祉サービスや制度などの情報検索
12. そのほか関心事等の検索
13. その他()

地域での活動について

問49 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(Oは1つずつ)

	週 4 回 以 上	週 2 回 以 上	週 1 回	月 1 回 以 上	年 に 数 回	参 加 し て い な い
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑧介護予防のための通いの場 (はつらつ健康教室、今からはじめる新 トレ講座など)	1	2	3	4	5	6

「⑧介護予防のための通いの場(はつらつ健康教室など)」について、

- 1～5のいずれかを選んだ方は、問50へ進んでください
6(参加していない)を選んだ方は、問50は回答せず、問51へ進んでくだ
さい

8

【問49の「8介護予防のための通いの場(はつらつ健康教室など)」で「1」～「5」を選んだ方にお
うかがいます。】

問50 「介護予防のための通いの場」に参加し始めたきっかけは何ですか。(Oはいくつでも)

1. 主治医に勧められた	2. 地域包括支援センターに勧められた
3. 家族に勧められた	4. 友人に誘われた
5. 近所の人の口コミ	6. 知り合いを増やしたかった
7. チラシを見た	8. 場所が家の近くだった
9. 関心のある活動内容だった	10. 送迎があった
11. その他()	

【問49の「8介護予防のための通いの場(はつらつ健康教室など)」で「6. 参加していない」を選
んだ方におうかがいます。】

問51 「介護予防のための通いの場」に参加していない理由は何ですか。(Oはいくつでも)

1. 他の教室等に通っている	2. 体調が悪く、行けない
3. 興味が無い	4. 人間関係の問題
5. 存在を知らなかった	6. きっかけがない
7. 移動手段の確保が難しい	8. 開催日時など都合が合わない
9. 活動内容が難しい	10. 活動内容が簡単すぎる
11. 家の近くに無い	12. 知っている人がいない
13. その他()	

【すべての方におうかがいます。】

問52 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきい
きした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思
いますか。(Oは1つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 断に参加している

問53 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきい
きした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加
してみたいと思いますか。(Oは1つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 断に参加している

問54 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきい
きした地域づくりを進めるとしたら、どのような活動に参加してみたいと思いますか。(Oは
いくつでも)

1. 体操、ストレッチ、ヨガなど	2. ウォーキング、ハイキング
3. 1・2以外のスポーツ	4. 料理
5. 手芸や編み物、作品づくりなど	6. カラオケ
7. 囲碁・将棋	8. 麻雀
9. パソコンやスマホ、ゲーム機を使用した、複数人で行うゲーム	
10. 園芸、家庭菜園	
11. 地域での社会貢献活動・ボランティア活動	
12. その他()	

たすけあいについて

問55 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。(Oはいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問56 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人を教えてください。
(Oはいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問57 あなたが病気で数日間様込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。
(Oはいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問58 反対に、看病や世話をしにあげてくれる人を教えてください。(Oはいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問59 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

(Oはいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー・介護サービス事業所等 | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・市役所 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | () |

問60 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(Oは1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない | |

問61 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても 1 人と数えることとします。(Oは1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 0人(いない) | 2. 1～2人 |
| 3. 3～5人 | 4. 6～9人 |
| 5. 10人以上 | |

問62 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(Oはいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他() | 8. いない |

健康について

問63 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(Oは1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

問64 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、数字に○を1つつけてください)



問65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問66 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問67 お酒は飲みますか。(Oは1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

問68 タバコは吸っていますか。(Oは1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

問69 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(Oはいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症(脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷(転倒・骨折等) | 12. がん(悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症(アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病(肺炎や気管支炎等) |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他() | |

認知症にかかる相談窓口の把握について

問70 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問71 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(Oは1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

今後の介護・高齢者施策などについて

問72 在宅生活を続けるうえで、どのような生活支援があれば利用したい、または今後利用したいと思いますか。(Oはいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出動向(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | |
| 10. その他() | |
| 11. 特になし | |

問73 将来、介護が必要な状態になったとき、介護を受けて暮らすとしたら、どこで暮らしたいですか。(Oは1つ)

1. 在宅(自宅や家族との同居)で暮らしたい
2. できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サ-
- ビスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい
3. 施設や介護サ-
- ビスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい
4. その他(具体的に)
5. わからない

問74 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(Oは1つ)

1. 自宅
2. 病院
3. 施設
4. わからない
5. その他()

問75 AOP(万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うこと)、または人生会議について知っていますか。(Oは1つ)

1. よく知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 知らない
- 問78 にお進みください

【問75で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。】

問76 AOP(万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うこと)、または人生会議の状況についてお聞かせください。(Oはいくつでも)

1. 自分ひとりで考えたことがある
2. かかりつけ医に相談したことがある
3. 家族と話し合ったことがある
4. 考えていない
- 問78 にお進みください

【問76で「1」から「3」を選んだ方におうかがいします。】

問77 どのような内容を考えましたか、または話しましたか。

1. 病状や予後に関すること
2. 希望する医療・ケアに関すること
3. 意思決定ができなくなった場合の対応に関すること
4. その他()

【すべての方におうかがいします。】

問78 あなたは、高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「ほっとあんしんネット(地域包括支援センター)」を利用したことはありますか。(Oは1つ)

1. 利用したことがある・利用している
2. 知っているが、利用したことはない
3. ほっとあんしんネット(地域包括支援センター)を知らない

問79 高齢者への介護保険施設等の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(Oは3つまで)

1. 自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実
2. 介護が必要にならないような予防施策の充実
3. 家族で介護ができるような家族支援策の充実
4. 市民どうしの支え合いができるような支援策の充実
5. 地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実
6. 在宅介護サ-
- ビスの充実
7. 施設介護サ-
- ビスの充実
8. 介護サ-
- ビス以外の日常生活への支援の充実
9. 高齢者の住まいの確保
10. 現状に満足している
11. その他()
12. わからない

問80 その他、高齢者福祉に対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

同封しております返信用封筒に、ご記入いただきましたアンケートを入れて、令和5年1月20日(金)までに、切手を貼らずにそのままポストにご投函ください

(2) 在宅介護実態調査

0001

第9期介護保険事業計画等策定に係るアンケート調査

(在宅介護実態調査)

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、市政の推進についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市におきましては、市民の皆様が住み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。

このアンケート調査は、皆様の日頃の生活状況等をお聞きすることにより、主として「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討し、令和6年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。調査にあたり、在宅で生活をしている要介護・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける(受けた)方の中から無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年12月

八幡市長 堀口 文昭

＜ご記入にあたっての注意事項＞

◆ ご回答にあたっては、あて名のご本人ならびにご家族の状況についてお答えいただきますが、ご家族の方などがご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答していただいても結構です。

◆ 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、「その他」にあてはまる場合は具体的にご記入ください。

◆ 回答が終わりましたら、記入もれなどがなければ確認していただき、同封の返信用封筒に入れて令和5年1月20日(金)までに郵便ポストに投函してください。

あなたご自身のことについて

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいつでも)

1. 調査対象者本人

2. 主な介護者となっている家族・親族 → (あて名のご本人からみられた続柄:)

3. 主な介護者以外の家族・親族 → (あて名のご本人からみられた続柄:)

4. 調査対象者のケアマネジャー

5. その他()

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 単身世帯

2. 夫婦のみ世帯

3. その他()

問3 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(○はいつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中)

2. 心疾患(心臓病)

3. 悪性新生物(がん)

4. 呼吸器疾患

5. 腎疾患(透析)

6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)

7. 膠原病(関節リウマチ含む)

8. 変形性関節疾患

9. 認知症

10. パーキンソン病

11. 難病(パーキンソン病を除く)

12. 糖尿病

13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)

14. その他()

15. なし

16. わからない

問4 ご本人は、現在、訪問診療*を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している

2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

2

184

必要な介護やサービスの利用などについて

問5 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスをj用していますか。

(Oは1つ)

1. 利用している → 問7にお進みください。
2. 利用していない

【問5で「2」を選んだ方におうかがいます。】

問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(Oはいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

【すべての方におうかがいます。】

問7 日中の時間帯において、介護を頼める人(家族、ヘルパーなど)がそばにいないことがどのくらいありますか。(Oは1つ)

1. 日中おむねそばにいる
2. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1~2日ある
3. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3~4日ある
4. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある

問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(Oは1つ)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問9 現在、利用している、「介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(Oはいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他()
11. 利用していない

問10 担当のケアマネジャーをどのように選びましたか。(Oは1つ)

1. 受けた介護サービスを提供している事業所だから
2. 地元(近所)の事業所だから
3. 良い評判を聞いたから
4. 紹介されたから
5. 以前から知っていたから
6. その他()

問11 担当のケアマネジャーに満足していますか。(Oは1つ)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない

問12 担当のケアマネジャーに対して要望はありますか。(Oはいくつでも)

1. ケアプランや介護保険サービスについて、もっとわかりやすく説明してほしい
2. サービス事業所の情報をもっと提供してほしい
3. ケアプランの変更の要望にすぐに対応してほしい
4. 本人や家族の質問や要望をもっと聞いてほしい
5. 相談などをしたい時に、すぐ連絡がとれるようにしてほしい
6. サービスが開始された後、もっと頻繁に訪問や連絡をしてほしい
7. 態度やマナー(時間を守るなど)をもっと良くしてほしい
8. その他()
9. 特にない

問13 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(Oはいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他()
11. 特になし

問14 今後、自宅や、自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために、利用したいサービスはありますか。(Oはいくつでも)

1. 月額料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス
2. 365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス
3. 認知症があっても安心して通えるデイサービス
4. 認知症があっても、できるだけ自立して暮らせるグループホーム
5. 見守りや日常の世話をしてくれる高齢者向けの賃貸マンション
6. 医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など
7. その他()
8. 特になし

問15 あなたの今後について、どのようにお考えですか。(Oは1つ)

1. 今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい
2. できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい
3. 施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい
4. その他()
5. わからない

問16 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(Oは1つ)

1. 自宅
2. 病院
3. 施設
4. わからない
5. その他()

問17 介護保険サービスが充実し、利用量が増えると介護保険料も連動して上がることになります。これを踏まえ、現在納めていただいている介護保険料について、どう思われますか。(Oは1つ)

1. 介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない
2. 介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい
3. わからない
4. その他()

問18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(Oは1つ)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1〜2日ある
4. 週に3〜4日ある
5. ほぼ毎日ある

問18で「12」から「15」を選択された場合は、「主な介護者」の方に次ページ以降の設問へのご回答・ご記入をお願いいたします。ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入なお、「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご記入が難しい場合は、無回答で結構です。

主な介護者の方について《介護者への質問》

問19 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。(Oは1つ)

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者
4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他()

問20 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(Oは1つ)

1. 男性 2. 女性

問21 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(Oは1つ)

1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない

問22 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(Oはいくつでも)

- 〔身体介護〕
1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬 10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ス टीम等)
〔生活援助〕
12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕
15. その他()
16. わからない

問23 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(Oは3つまで)

- 〔身体介護〕
1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬 10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ス टीम等)
〔生活援助〕
12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕
15. その他()
16. 不安に感じていることは、特になし 17. わからない

主な介護者の方の就労について《介護者への質問》

問24 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(Oは1つ)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問24で「1」または「2」を選んだ方におかいます。問25～27をすべてお答えください。】
問25 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか。(Oはいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(生体や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問26 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(Oは3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他()
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問27 主な介護者の方は、今後もしも働きながら介護を続けていけそうですか。(Oは1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

【すべての方におうかがいます。】

問28 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(Oはいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【問28で「1」から「4」を選んだ方におうかがいます。】

問29 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由は何ですか。(Oは1つ)

1. 十分に介護しなかったから
2. 介護するために目が離せなかったから
3. 融通の利く勤務形態ではなかったから
4. 精神的に余裕がなかったから
5. 介護者の健康状態が悪化したから
6. 面立する自信がなかったから
7. 介護するために遠距離を移動しなければならなかったから
8. 介護サービスが十分に受けられなかったから
9. 介護サービスなどの受け方が分からなかったから
10. その他()

【すべての方におうかがいます。】

問30 介護をする上で困っていることはありますか。(Oはいくつでも)

1. 特にない
2. 経済的負担が大きい
3. 精神的負担が大きい
4. 肉体的負担が大きい(睡眠不足・腰痛等を含む)
5. 日中は介護者が不在の時が多い
6. 夜間の介護の負担が大きい
7. 介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる
8. 介護サービスをもっと利用したいが、家族や周囲が反対する
9. 介護サービスをもっと利用したいが、限度額がいっぱいである
10. 介護者の都合等に合わせず柔軟に使える介護サービスがない
11. 介護の方法がわからない
12. 介護のために仕事や家事、育児が思うようにできない
13. 介護のことが気になって、思うように外出できない
14. 介護者のための相談窓口が少ない
15. 介護のストレスから、イライラして本人に当たってしまうことがある
16. その他()

問31 家族等の介護者に対する支援で、あるよいと思うものはありますか。(Oはいくつでも)

1. 介護者同士の交流の場
2. 介護のコツなどが学べる介護教室の開催
3. 介護に関する相談支援の充実
4. 介護に関する情報提供の充実
5. その他()

問32 高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「ほっとあんしんネット(地域包括支援センター)」を利用したことはありますか。(Oは1つ)

1. 利用したことがある・利用している
2. 知っているが、利用したことはない
3. ほっとあんしんネット(地域包括支援センター)を知らない

問33 その他、高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

同封しております返信用封筒に、ご記入いただきましたアンケートを入れて、

令和5年1月20日（金）までに、切手を貼らずにそのままポストにご投函ください

(3) 介護支援専門員調査

第9期八幡市介護保険事業計画策定のための
介護支援専門員へのアンケート

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、市政の推進についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
本市におきましては、市民の皆様が住み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。
このアンケート調査は、令和6年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。調査にあたり、八幡市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の方を対象にお送りさせていただきます。
お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。
令和4年12月

八幡市長 堀口 文昭

<回答方法>

◆ この調査は、事業所等で介護支援専門員業務に従事されているすべての方がお答えください。調査票は貴事業所の介護支援専門員の人数分配布しておりますが、不足がございましたら高齢介護課までお問合せくださいますようお願いいたします。

◆ 回答にあたっては、質問をよくお読みください。設問の中で時点や期間を指定している場合を除き、記入日現在の状況でお答えください。

◆ 令和5年1月20日（金）までにご回答をお願いします。

◆ ①Webまたは②紙の調査票（本紙）でご回答ください。

◆ ①Web 回答の場合
◆ 下記のURLにアクセスいただき、ID、Passをご入力の上、ご回答ください。
URL：
ID：
Pass：
◆ パソコンでの回答を推奨いたしますが、スマホ・タブレット等でも回答いただけます。パソコンでアクセスいただくには、URLを直接ブラウザにご入力いただくか、スマホ等でQRコードを読み取り、URLをパソコンにご送信ください。

◆ Web画面の仕様に、サンプルでお送りしている本調査票と設問の構成等が異なる場合がありますが、画面の指示のとおり、ご回答ください

②紙の調査票（本紙）での回答の場合
◆ 記入は黒のボールペンや鉛筆などで、はっきりとお書きください。

◆ 該当する番号を○で囲み、「その他」にあてはまる場合は具体的に記入してください。

◆ 回答が終わりましたら、記入もれなどがないか確認していただき、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。

問1 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。令和4年11月1日現在でお答えください。(Oは1つ)

1 20歳代

2 30歳代

3 40歳代

4 50歳代

5 60歳代

6 70歳以上

問2 【あなたの令和4年11月1日現在の介護支援専門員業務の従事状況について、お答えください。】
介護支援専門員業務に従事してどれくらいの経験がありますか。前職も含めた合計期間でお答えください。(Oは1つ)

1 6か月未満

2 6か月以上1年未満

3 1年以上3年未満

4 3年以上5年未満

5 5年以上

問3 現在の職場（介護支援専門員業務）の勤務期間をお答えください。(Oは1つ)

1 6か月未満

2 6か月以上1年未満

3 1年以上3年未満

4 3年以上5年未満

5 5年以上

問4 あなたが勤務している居宅介護支援事業所は、介護支援専門員として働いてから何か所目の事業所ですか。
(人事異動等による同一法人内での勤務地の変更を除きます)

()

か所目

問5 【問4で「2か所目」以上と回答した方におかがいします。】
以前、勤務していた居宅介護支援事業所を辞められた主な理由は何ですか。(Oは3つまで)

1 自分の力量について、不安があったから

2 職員同士の関係がうまくいかなかったから

3 賃金が低かったから

4 残業が多かったから

5 兼務業務が忙しく、ケアマネ業務の時間が取れなかったから

6 休日・休暇が取れなかったから

7 職場までの通勤に時間がかかったから

8 その他()

問6 【すべての方におかがいします。】
あなたが勤務している居宅介護支援事業所の介護支援専門員の人数は、何人ですか。

()

人

2

190

問7 あなたは、介護支援専門員以外に保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。

(Oはいくつでも)

1 医師	2 歯科医師
3 薬剤師	4 看護師・准看護師
5 保健師	6 助産師
7 理学療法士	8 作業療法士
9 歯科衛生士	10 栄養士・管理栄養士
11 柔道整復師	12 社会福祉士
13 介護福祉士	14 精神保健福祉士
15 社会福祉士	16 旧ホームヘルパー()級
17 その他()	18 特になし

問8 「16 旧ホームヘルパー()級」にOをされた方は、修了済の研修についてお答えください。(Oはいくつでも)

1 介護職員基礎研修
2 介護職員初任者研修
3 実務者研修

問9 あなたは、主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(Oは1つ)

1 あり →(取得年月日：西暦 年 月 日)
2 なし

問10 あなたが勤務している居宅介護支援事業所の設置主体についてお答えください。

(Oは1つ)

1 社会福祉法人	2 医療法人
3 NPO法人	4 生協・農協
5 営利法人(株式会社等)	6 財団法人・社団法人
7 その他()	

問11 あなたの勤務形態と勤務日数及び時間帯は、次のうちどれですか。(Oは1つ)

※非常勤の場合は週あたりの時間をご記入ください。

1 常勤・専従	2 非常勤・専従 (週 時間)
3 常勤・兼務	4 非常勤・兼務 (週 時間)

問12 あなたが担当している利用者等についてお答えください。

※担当する利用者や件数がない場合は「O」を記入してください。

(1) 担当利用者数(予防含む) ※一時的入院中なども含め、継続的に関わっている利用者数を記入してください。(令和4年11月1日現在)	(うち予防 人)
(2) 居宅サービス計画新規作成件数(旨の届を提出した件数) ※令和4年11月1日～30日の該当件数、介護予防サービス計画を含む。	(うち予防 件)
(3) 居宅サービス計画変更作成件数(目標変更や更新等の件数) ※令和4年11月1日～30日の該当件数、介護予防サービス計画を含む。	(うち予防 件)

問13 あなたが担当している利用者(問12(1)で記入された利用者)の要介護別内訳人数をお答えください。

なお、新規・更新・区分変更の方については「その他」に計上してください。

【利用者の要介護別人数】

令和4年11月1日現在の担当利用者数	要 介 護 別 人 数							
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他
人	人	人	人	人	人	人	人	人
(うち、認知症の方)	人	人	人	人	人	人	人	人

*「要介護別人数」の合計＝令和4年11月1日現在の担当する利用者数

*「うち、認知症の方」については、「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上」の方について記載してください。

問14 現在担当しているケアプラン件数について、どのようにお考えですか。(Oは1つ)

1 多い	2 やや多い
3 ちょうど良い	4 やや少ない
5 少ない	

【問14で1 多い「2 やや多い」と回答された方にお答えください。】

問15 ケアプラン件数が今後どうなると良いと考えていますか。(Oはひとつ)

1 減らしたい	2 現状を維持したい
---------	------------

【すべての方にお答えください。】

問16 担当の件数に適切に対応するために必要なことは何でしょうか。(Oは3つまで)

1 人手を増やす	2 ICTをもっと活用する
3 時間管理の方法を学ぶ	4 経営を学ぶ
5 不明なことを直ぐ相談できる先をもつ	6 他のケアマネと情報共有をする
7 その他()	
8 特になし	

問17 あなたが担当している利用者(問12(1)で記入された利用者)のお住まいについて、住まい別の内訳人数をお答えください。

令和4年11月1日現在の担当利用者数	住 ま い 別 人 数		
	1 利用者の家 (持ち家・賃貸)	2 高齢者向け住宅 (介護付き有料老人ホーム除く)	3 その他(利用者の子ども、親族の家など)
人	人	人	人

*「住まい別人数」の合計＝令和4年11月1日現在の担当する利用者数

問18 あなたが担当している利用者(問12(1)で記入された利用者)にかかる医療的な処置等について、種類をお答えください。

※令和4年11月1日現在の状況でご記入ください。

人数内訳	医療的な処置等にかかる種類(複数回答)
あり (人) 医療的な処置等が必要な実 人数を記載し て下さい。	1 点滴の管理 -----> ()人
	2 中心静脈栄養 -----> ()人
	3 透析 -----> ()人
	4 ストーマ(人工肛門)の処置 -----> ()人
	5 酸素療法 -----> ()人
	6 レスビレーター(人工呼吸器) -----> ()人
	7 気管切開の処置 -----> ()人
	8 喀痰吸引 -----> ()人
	9 疼痛の看護 -----> ()人
	10 経管栄養 -----> ()人
	11 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等) -----> ()人
	12 じょうそうの処置 -----> ()人
	13 インスリン注射 -----> ()人
	14 カテーテル (コドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等) -----> ()人
	15 その他() -----> ()人
なし (人)	

問19 あなたが担当している利用者(問12(1)で記入された利用者)のうち、終末期在宅で迎えることを希望されている方をどれくらい担当していますか。

() 人

問20 令和4年11月1日現在であなたが担当している利用者のケアプランで、八幡市の介護保険外サービス、ボランティアなどのインフォーマルサービスを組み合わせて作成したものはありますか。あればその人数を記入してください。(〇は1つ)

1 ある →()人 ⇒ 問21にお進みください
2 ない ⇒ 問22にお進みください

【問20で「1 ある」と回答された方におうかがいます。】

問21 該当する介護保険外サービス・インフォーマルサービスをお答えください。(〇はいくつでも)

●市の介護保険外サービス	
1 緊急通報システム	2 配食サービス
3 寝具乾燥サービス	4 日常生活用具等の給付・貸与
5 紙おむつ等助成	6 軽度生活援助サービス
7 成年後見制度	8 一般介護予防事業
9 地域包括支援センターで実施されている認知症カフェ	
10 その他の市の介護保険外サービス (具体名称:)	
●民間のサービス	
11 家事代行サービス	12 配食サービス
13 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	14 外出の付添い・話し相手
15 ゴミ出しサービス	
16 介護保険外で高齢者が通ったり宿泊したり出来る施設	
17 認知症カフェ・サロン	18 宅配業者等による見守りサービス
19 体操教室	
20 その他の民間のサービス (具体的に:)	
●その他	
21 近隣・知人	22 地域の役員・民生委員
23 その他(ボランティア等)	

【すべての方におうかがいます。】

問22 事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。
(○はいくつでも)※事業所種別には介護予防サービス事業所を含みます。

1 訪問介護	2 生活援助型訪問介護サービス
3 訪問入浴介護	4 訪問看護
5 訪問リハビリテーション	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 福祉用具貸与
9 短期入所生活介護	10 短期入所療養介護
11 夜間対応型訪問介護	12 認知症対応型通所介護
13 小規模多機能型居宅介護	14 介護老人福祉施設
15 地域密着型介護老人福祉施設	16 介護老人保健施設
17 介護療養型医療施設	18 介護医療院
19 認知症対応型共同生活介護	20 特定施設入居者生活介護
21 地域密着型特定施設入居者生活介護	22 看護小規模多機能型居宅介護
23 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス)	
24 居宅療養管理指導	
25 その他()	
26 特になし	

問23 在宅生活を支えるために、充実が必要と感じる生活支援は何ですか。(○はいくつでも)

1 配食	2 調理
3 掃除・洗濯	4 買い物(宅配は含まない)
5 ゴミ出し	6 外出同行(通院、買い物など)
7 移動サービス(介護・福祉タクシー等)	8 見守り・声かけ
9 サロンなどの定期的な通いの場	
10 その他()	
11 特になし	

問24 サービス事業所に関する情報はどこから得ていますか。(○はいくつでも)

1 サービス事業所のパンフレット等
2 サービス事業所のホームページ
3 介護サービス情報公表システム
4 地域包括支援センター
5 居宅介護支援事業者の情報共有の場
6 介護支援専門員同士の情報交換・口コミ
7 他のサービス事業所の営業活動
8 利用者からの情報や意見・要望
9 その他()
10 特に情報収集をしていない

問25 地域の多職種・他機関との連携について、できていると思われるものはどれですか。
(1)～(7)それぞれ○は1つ)

	できている	おおむね できている	あまり できていない	できて いない
(1) 認知症のある人の支援における、医療機関(医師)との連携	1	2	3	4
(2) 認知症のある人の支援における、介護関係者との連携	1	2	3	4
(3) 認知症疾患医療センターの活用	1	2	3	4
(4) 退院前カンファレンスへの参加	1	2	3	4
(5) 日常の療養支援における、多職種連携に関する情報共有のためのシステムや書式の活用	1	2	3	4
(6) 日常の療養支援における、多職種との「顔の見える連携(日常的に気軽に交流できる関係性の構築)」	1	2	3	4
(7) 担当する死が間近な利用者の治療方針に関する、医師、看護・介護職員等関係者との話し合い	1	2	3	4

問26 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについておうかがいします。(必要性の高いものから3つまで○)

- 1 関係機関のリスト・連絡先等の提供
- 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場
- 3 連携で困ったときに相談できる窓口
- 4 各施設・職種への役割について理解を深める機会
- 5 介護職のための医療知識の習得・向上の機会
- 6 医療側のための介護知識の習得・向上の機会
- 7 情報共有ツール(シート等)の統一
- 8 ICTの活用(SNSなどのタイムリーに情報共有できる媒体の活用)
- 9 在宅医療にかかると負担の軽減(主治医・副主治医の導入など)
- 10 在宅医療にかかると負担の軽減(主治医・副主治医の導入など)
- 11 診療報酬・介護報酬の評価(増額)
- 12 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発
- 13 その他()
- 14 特になし

問27 在宅で医療的な処置を必要とする方の支援を行う上で、困っていることについておうかがいします。(1)～(8)それぞれ○は1つ)

	そう思う	思わない
(1) 医療ニーズの高い患者(吸引や経管栄養など)を担当してくれるかかりつけ医がなかなか見つからない	1	2
(2) 医療ニーズの高い患者(吸引や経管栄養など)に対応可能な訪問看護がなかなか見つからない	1	2
(3) 医師と連絡調整を行う際、多忙で連絡が取れないことが多い	1	2
(4) 医師や看護師の専門的な用語がわかりにくい	1	2
(5) 急な退院などで対応に困ったことがある	1	2
(6) 退院時に患者や家族は病状について、十分な説明を受けていない	1	2
(7) 対応に困った時に相談するところがない	1	2
(8) 在宅医療などの医療に関する勉強会や研修の場が少ない	1	2
(9) その他(自由記載)		

問28 在宅医療を進めていく上で、必要な社会資源についておうかがいします。(1)～(8)それぞれ○は1つ)

	足りている	足りていない	わからない
(1) 医師による訪問診療	1	2	3
(2) 歯科医師による訪問歯科診療	1	2	3
(3) 薬剤師による在宅療養管理指導	1	2	3
(4) 看護師などによる訪問看護	1	2	3
(5) 歯科衛生士による在宅療養管理指導	1	2	3
(6) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関	1	2	3
(7) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護	1	2	3
(8) 管理栄養士・栄養士による在宅療養管理指導	1	2	3
(9) その他(自由記載)			

問29 在宅医療が必要な利用者に対するケアマネジメントをすす中で、自宅での生活を継続するのに苦慮する課題についてお答えください。(1)～(9)それぞれ0は1つ)

	そう思う	思わない
(1) 在宅医療の社会資源が不足	1	2
(2) 介護の社会資源が不足	1	2
(3) 本人の理解・意思決定	1	2
(4) 家族の理解・意思決定	1	2
(5) 家族介護力	1	2
(6) 経済力	1	2
(7) 医療的措置	1	2
(8) 認知・不穏症状	1	2
(9) 家庭環境	1	2
(10) その他 (自由記載)		

問30 サービス担当者会議の開催にあたり、主に困難と感じていることは何ですか。
(主に困難となっていることを3つまで○)

1 自分の日程調整	2 主治医との日程調整
3 サービス事業所との日程調整	4 利用者の出席
5 家族の出席	6 会場の確保
7 資料づくり	8 会議の進め方に不安があること
9 他の施策分野との連携	
10 その他()	
11 特になし	

問31 介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」の考え方を知っていますか。また、意識していますか。(0は1つ)

1 考え方を知らないが、意識している ⇒ 問32にお進みください
2 考え方は知っているが、意識していない ⇒ 問33にお進みください
3 考え方は知らない ⇒ 問33にお進みください

【問31で1 考え方を知らない、意識している」と回答された方にお答えします。】
問32 介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」の考え方に基づいて、実践できていることは何ですか。(1)～(6)それぞれ0は1つ)

	できている	実践が難しい
(1) 利用者本人の意思を尊重する態度で接し、意思を丁寧に確認する	1	2
(2) 利用者本人が慣れた場所や、できる限り安心で居る環境で意思を確認する	1	2
(3) 利用者本人の示した意思が変わることを想定して、適宜時間をおいて確認する	1	2
(4) 利用者本人の能力を最大限活用した上で、本人の意思を、生活に反映させる	1	2
(5) 利用者本人の家族と連携して意思決定支援を行う	1	2
(6) 利用者本人の家族に、意思決定支援に必要な説明や、不安を抱かないための支援を行う	1	2
(7) その他実践できていること (自由記載)		

【すべての方におうかがいます。】

問33 ケアプランを作成するにあたって、課題として考えているのはどのようなことですか。
(主に課題となっていることを5つまで○)

- | |
|---|
| 1 介護保険外サービスや地域の情報が少ないこと |
| 2 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していないこと |
| 3 利用者及び家族との調整が困難なこと |
| 4 サービス事業所を選択するにあたっての情報が足りないこと |
| 5 区分支給限度額が低いこと |
| 6 利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと |
| 7 介護保険サービス・八幡市の高齢者保健福祉サービスの種類が少ないこと |
| 8 支援困難な方へのケアマネジメントの方法がわからないこと |
| 9 利用者及び家族の意見・要望を聞き出す時間が十分にとれないこと |
| 10 同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏りがちになること |
| 11 自分の力量について不安があること |
| 12 ケアマネジャーが少ないため、担当件数が多くなり、処理がすぐにできないこと |
| 13 事業所内のミーティングの時間がとりにくいこと |
| 14 その他() |
| 15 特になし |

問34 あなたは、高齢者自身が描く将来像の実現をめざし、そのために必要なリハビリテーション等の機能強化等をケアプランに位置づける自立支援型のケアマネジメントを実施していますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1 はい ⇒ 問35にお進みください |
| 2 いいえ ⇒ 問36にお進みください |

【問34で「1 はい」と回答された方におうかがいます。】

問35 自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたって困難な点は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1 高齢者自身の自立支援に関する理解不足 |
| 2 自立支援に資するインフォーマルサービスの不足 |
| 3 サービス提供事業所の理解が進まない |
| 4 自身のアセスメント等の技量不足 |
| 5 その他() |
| 6 特になし |

【問34で「2 いいえ」と回答された方におうかがいます。】

問36 自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 高齢者から求められない、高齢者の希望と相容れない |
| 2 自立支援ケアマネジメントが求められている理由がわからない |
| 3 自身のアセスメント等の技量に自信がない |
| 4 その他() |

13

【すべての方におうかがいます。】

問37 あなたが担当している利用者のなかに、様々な理由で支援が困難な方がいますか。
(○は1つ) ※支援困難とは、「問38の選択肢にあるような方」を想定してください

- | |
|---------------------------|
| 1 いる ⇒ ()人 ⇒ 問38にお進みください |
| 2 いない ⇒ 問39にお進みください |

【問37で「1 いる」と回答された方におうかがいます。】

問38 主に、どのようなことで支援が困難となっておりますか。

(主に困難となっていることを3つまで○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 家族の協力が得られないこと(家族間の不仲、理解不足等) |
| 2 利用者の性格によるもの(不満や苦情が多い、介護支援専門員に攻撃的など) |
| 3 経済的理由 |
| 4 利用者がサービスの利用を拒否すること(介護拒否) |
| 5 利用者に認知症による諸症状があること |
| 6 利用者が精神疾患のため不安定なこと |
| 7 利用者に医療的な処置があること |
| 8 家族の介護疲れや疾病や障がいによる介護力不足 |
| 9 利用者及び家族が介護予防的なケアプランを拒否すること |
| 10 その他() |

【すべての方におうかがいます。】

問39 あなたは支援が困難な方についてどのように対応してきましたか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 事業所内の上司や同僚に相談した(している) |
| 2 他の事業所の介護支援専門員に相談した(している) |
| 3 地域包括支援センターに相談した(している) |
| 4 地域包括支援センターに相談した結果、地域ケア会議の開催となった |
| 5 在宅医療・介護連携支援センターに相談した(している) |
| 6 地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センター以外の行政機関(市、県)に相談した(している) |
| 7 誰にも相談せず、自分で対応した(している) |
| 8 その他() |

14

問40 担当する認知症や障がい、高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることはありますか。(特に困難を感じていることを5つまで○)

1 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない	
2 認知症の症状が急変したときの対応	
3 病気をもちの家族への対応	
4 家族等介護者との意見の相違	
5 サービス事業者や後見人利用等の手続き	
6 介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否	
7 医療機関への受診や服薬管理	
8 金銭管理の援助	
9 着替え、整容、歯磨き、爪切りなどの清潔保持	
10 徘徊・暴力・異食など行動障がいに対する対応	
11 幻覚、妄想、うつなど周辺症状への対応	
12 近隣住民からの苦情	
13 その他()	
14 特にない	

【問40で「1」「13」と回答された方におうかがいします。】

問41 問40の課題解決のために、どのような対応をしていますか。(○はいくつでも)

1 主治医からの助言を得る	
2 地域包括支援センターへの相談や地域ケア会議への参加	
3 在宅医療・介護連携支援センターへ相談	
4 認知症初期集中支援チームへ相談	
5 認知症地域支援推進員へ相談	
6 認知症疾患医療センターへ相談	
7 市役所への相談	
8 サービス担当者会議での十分な意見調整	
9 成年後見制度の利用	
10 民生委員や地域組織の役員など近隣へ相談	
11 本人宅に支援ノートを置くなどサービス事業者間での情報共有	
12 障がい者制度関係機関	
13 その他()	
14 特にしない	

15

【すべての方におうかがいします。】

問42 あなたが担当している利用者のなかに、高齢者虐待を受けている、または疑いがあると思われる方がいますか。(○は1つ)

1 いる ⇒ 問43・問44にお進みください
2 いない ⇒ 問46にお進みください

【問42で「1 いる」と回答された方におうかがいします。問43、問44をお答えください。】

問43 高齢者虐待を受けている、または疑いがあると思われる方にどんな対応をしましたか。(○は1つ)

1 職場内で相談して対応した
2 誰にも相談せず、自分で対応した
3 その他()
4 特に何もなかった

問44 高齢者虐待を発見した後、通報義務に基づいて、市役所または地域包括支援センターに相談(通報)しましたか。(○は1つ)

1 はい ⇒ 問46にお進みください
2 いいえ ⇒ 問45にお進みください

【問44で「2 いいえ」と回答された方におうかがいします。】

問45 相談(通報)しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 利用者や家族との関係が悪化することを避けたかった
2 相談(通報)することで契約を解除される可能性があると思った
3 家族の問題なので介入してはいけないと思った
4 家族が頑張って介護を行っているので、家族の思いをくんでまい相談できなかった
5 通報義務があることを知らなかった
6 その他()

【すべての方におうかがいします。】

問46 あなたは、ご自身の仕事に満足を感じていますか。(○は1つ)

1 感じている	2 やや感じている
3 あまり感じていない	4 感じていない

16

問47 自分の介護支援専門員業務のレベルアップのために、今後始めたいと思っている取り組みはありますか。(優先度の高いものから3つまで○)

- 1 自主的な勉強会を行いたい
- 2 居宅介護支援事業者の情報共有の場等に参加したい
- 3 具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい
- 4 法人内の研修に参加したい
- 5 外部研修に参加したい
- 6 参考書等を読んで知識などを増やしたい
- 7 その他()
- 8 特になし

問48 介護支援専門員業務を行ううえで、主な課題として考えているのはどのようなことですか。(主に課題となっていることを5つまで○)

- 1 介護保険サービス、八幡市の介護保険外サービスの種類が少ない
- 2 サービス事業所に関する情報が少ない
- 3 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない
- 4 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない
- 5 多くの問題を抱えている利用者へのケアマネジメントの方法がわからない
- 6 認知症ケアの方法がわからない
- 7 医療機関等、他の施策分野との連携がうまくとれない
- 8 地域包括支援センターとの連携がうまくとれない
- 9 市との連携がうまくとれない
- 10 相談できる人が身近にいない
- 11 同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏る
- 12 記録と書類の量が多く負担となっている
- 13 利用者介護保険制度が十分理解されていない
- 14 介護保険サービスを組み込まないインフオーマルサービス等だけのケアプラン調整が介護報酬で評価されない
- 15 要介護認定結果がでるまでの「暫定ケアプラン」調整について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない
- 16 その他()
- 17 特になし

問49 あなたは地域包括支援センターにどのような役割を主に期待していますか。(必要性の高いものから3つまで○)

- 1 業務全体に対するスーパーバイス
- 2 困難事例に対する助言、支援
- 3 地域ケア会議の開催
- 4 専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供
- 5 介護支援専門員同士のネットワークの構築
- 6 関係機関のネットワークの構築
- 7 その他()
- 8 特になし

問50 地域包括支援センター・市役所と連携するときはどのような場合ですか。(○はいくつでも)

	地域包括支援センター	市役所
1 多くの問題を抱えている利用者への対応	1	1
2 苦情相談の対応	2	2
3 援助や支援が困難なケースの対応(虐待除く)	3	3
4 虐待ケースの対応	4	4
5 判断能力が低下した方の財産管理等の対応	5	5
6 介護保険外サービス制度の対応	6	6
7 特に連携していない	7	7
8 その他()	8	8

問51 地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センター、市役所と連携を図る上で、の課題や問題点等があれば、ご自由にご記入ください。

<地域包括支援センター>

<在宅医療・介護連携支援センター>

<市役所>	
問52 今後、あなたが行政に最も期待する役割は何か。 (最も期待する役割に1つだけO)	1 相談機能の充実 2 研修の充実 3 サービス基盤の充実 4 情報提供の充実 5 その他() 6 特になし
問53 介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。	
ご協力ありがとうございました。	

(4) 介護人材実態調査

第9期八幡市介護保険事業計画策定のための
介護人材実態調査

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、市政の推進についてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
本市におきましては、市民の皆様が住み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。
このアンケート調査は、令和6年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。調査にあたり、八幡市内の介護保険サービス事業所法人運営者様を対象にお送りさせていただきます。
お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年12月

八幡市長 堀口 文昭

<回答方法>

- ◆ 回答にあたっては、質問をよくお読みください。設問内で時点や期間の指定がある場合を除き、記入日現在の状況でお答えください。
- ◆ **令和5年1月20日（金）**までに**ご回答をお願いいたします。**
- ◆ ①Webまたは②ワードファイル（本ファイル）でご回答ください。
- ①Web 回答の場合
 - ◆ メールでお送りしている URL・ID・Pass で回答画面にログインし、ご回答ください。
 - ◆ パソコンでの回答を前提としております。スマホ・タブレット等では画面が正しく表示されません。アクセスいただくには、URL を直接ブラウザにご入力いただくか、スマホ等で QR コードを読み取り、URL をパソコンにご送信ください。
 - ◆ Web 画面の仕様に、サンプルでお送りしている本調査票と設問の構成等が異なる場合がありますが、画面の指示のとおり、ご回答ください
- ②ワードファイル（本ファイル）での回答の場合
 - ◆ 該当する選択肢の横のチェックボックスをクリックして✓を入れ、「その他」にある場合は具体的にご記入ください。回答を選択し直す場合には✕を再度クリックすると空欄に戻ります。
 - ◆ 回答が終わりましたら、記入もれがないかご確認ください。
 - ◆ ファイルに回答を入力・保存後、次頁お問い合わせ先（八幡市 高齢介護課）のアドレスにメールでお送りください。
- ◆ 上記①・②のいずれも回答が難しい場合
 - ◆ 紙の調査票を送付しますので、次頁お問い合わせ先（八幡市 高齢介護課）までご連絡ください。

法人名
回答者役職・氏名
電話番号
FAX 番号
メールアドレス

介護サービス等の提供状況について

問1 現在、貴法人として、八幡市内で提供している介護保険サービス等は何ですか。（介護予防事業を含みます）（複数回答可）

【居宅介護サービス】	
☐ 1. 居宅介護支援	☐ 2. 訪問介護
☐ 3. 訪問入浴介護	☐ 4. 訪問看護
☐ 5. 訪問リハビリテーション	☐ 6. 通所介護
☐ 7. 通所リハビリテーション	☐ 8. 居宅療養管理指導
☐ 9. 短期入所生活介護・療養介護	☐ 10. 特定施設入居者生活介護
☐ 11. 福祉用具貸与	☐ 12. 特定福祉用具販売
☐ 13. 住宅改修	
【地域密着型サービス】	
☐ 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	☐ 15. 地域密着型通所介護
☐ 16. 認知症対応型通所介護	☐ 17. 小規模多機能型居宅介護
☐ 18. 認知症対応型共同生活介護	☐ 19. 地域密着型介護老人福祉施設
☐ 20. 看護小規模多機能型居宅介護	
【施設介護サービス】	
☐ 21. 介護老人福祉施設	☐ 22. 介護老人保健施設
☐ 23. 介護療養型医療施設	☐ 24. 介護医療院
【その他】	
☐ 25. 総合事業（訪問型サービス）	☐ 26. 総合事業（通所型サービス）
☐ 27. 総合事業（その他サービス（ ））	
☐ 28. その他介護保険外のサービス	☐ 29. 高齢者、障害者、児童等に係る総合的福祉サービス

介護人材の雇用について

問2 貴法人の八幡市内の事業所に勤務する職員の方について、令和4年11月1日時点の人数を、職種別でご記入いただき、職種別の内訳に関して、性別、年齢区分別、(貴法人での)経歴年数別、常勤・非常勤の別でご回答下さい。(数値記入)
※「全体」の欄には勤務する職員の実人数を記載し、職種別の内訳の欄には、業務の方は該当する職種それぞれに計上してください。

	計	性別		年齢区分						
		男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
介護職員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
生活相談・支援・指導員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
訪問介護員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
看護職	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
保育士	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
リハビリ職 (PT・OT・ST等)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
栄養士	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
調理員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
サービス提供責任者	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
その他の管理職	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
その他(事務職等)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

	(貴法人での)経歴年数				常勤・非常勤の別	
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	常勤 (兼任)	非常勤 (業務)
全体	人	人	人	人	人	人
介護職員	人	人	人	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人	人	人	人
生活相談・支援・指導員	人	人	人	人	人	人
訪問介護員	人	人	人	人	人	人
看護職	人	人	人	人	人	人
保育士	人	人	人	人	人	人
リハビリ職(PT・OT・ST等)	人	人	人	人	人	人
栄養士	人	人	人	人	人	人
調理員	人	人	人	人	人	人
サービス提供責任者	人	人	人	人	人	人
その他の管理職	人	人	人	人	人	人
その他(事務職等)	人	人	人	人	人	人

問3 貴法人において、各資格保有者の過不足感についておかがいします。各資格保有者に関して、該当するものを選択してください。(それぞれ1つに✓)

	1 大いに 不足	2 不足	3 やや 不足	4 適切	5 過剰	6 分らない :該当なし
①介護福祉士	□	□	□	□	□	□
②介護職員実務者研修修了者 (訪問介護員養成研修1級 基礎研修修了者を含む)	□	□	□	□	□	□
③介護職員初任者研修修了者 (訪問介護員養成研修2級修了者を含む)	□	□	□	□	□	□
④保育士	□	□	□	□	□	□
⑤看護師・准看護師	□	□	□	□	□	□
⑥保健師	□	□	□	□	□	□
⑦PT・OT・ST	□	□	□	□	□	□
⑧医療的ケア(喀痰吸引等)研修修了者	□	□	□	□	□	□
⑨認知症介護実践研修(実践者研修)修了者	□	□	□	□	□	□
⑩介護支援専門員(ケアマネジャー)	□	□	□	□	□	□
⑪社会福祉士	□	□	□	□	□	□
⑫管理栄養士・栄養士	□	□	□	□	□	□
⑬調理師	□	□	□	□	□	□
⑭その他()	□	□	□	□	□	□

【問3①～④のどれかひとつでも、1(大いに不足)・2(不足)・3(やや不足)を選択された法人に
おうかがいします。】

問4 貴法人が現在運営する介護保険サービス等（問1参照）のうち、どのサービスにどのような資格保有者が同名不足しているか（あと何名いれば充足するか）をご記入ください。

(記入例)

【特別養護老人ホームで介護福祉士2名、看護師1名、介護支援専門員(ケアマネジャー)2名、社会福祉士1名不足(いれば充足)していると思う場合】

不足している小 議院議員サード ス等(問1の番 号)	不足している 者(充足す るための 番号)	不足してい る資格保 有者(問3 での番号) 人数	不足してい る資格保 有者(問3 での番号) 人数	不足してい る(充足す るための 人数)
21	①	2人	⑤	1人
	⑩	1人		⑩
				2人

※不足している資格保有者が4職種以上ある介護保険サービスの場合、上記記入例のように複数段を使用してください。

[illegible]

5

【全法人におうかがいします。】

問5 貴法人の八幡市内の事業所における、次の職種別・性別の令和3年度1年間の採用状況に関して、求人数、応募者数、採用人数の年間合計数をご記入ください。（数値記入）

	求人数(実人数)		応募者数(複数応募は 繰裡それぞれに記載)		採用人数(実人数)	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
①介護職員	人	人	人	人	人	人
男性			人	人	人	人
女性			人	人	人	人
②訪問介護員	人	人	人	人	人	人
男性			人	人	人	人
女性			人	人	人	人
③看護職員	人	人	人	人	人	人
男性			人	人	人	人
女性			人	人	人	人
④訪問看護員	人	人	人	人	人	人
男性			人	人	人	人
女性			人	人	人	人
⑤介護支援専門員	人	人	人	人	人	人
男性			人	人	人	人
女性			人	人	人	人
⑥PT・OT・ST	人	人	人	人	人	人
男性			人	人	人	人
女性			人	人	人	人

貴法人の八幡市内の事業所における、次の職種別・性別の令和3年度1年間の離職状況に関して、離職者数、定年・契約満了者数、1年未満離職者数の年間合計数をそれぞれ実人数でご記入ください。(数値記入)

	離職者数		離職者のうち 定年・契約満了者数		離職者のうち 1年未満離職者数	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
①介護職員	人	人	人	人	人	人
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人
②訪問介護員	人	人	人	人	人	人
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人
③看護職員	人	人	人	人	人	人
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人
④訪問看護員	人	人	人	人	人	人
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人
⑤介護支援専門員	人	人	人	人	人	人
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人
⑥PT・OT・ST	人	人	人	人	人	人
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人

6

人材の確保・育成について

問7 貴法人では、人材確保にどのような課題がありますか。(複数回答可)

☐	1. 新技術卒者の確保が難しい
☐	2. 一定の資格を持つ人材の確保が難しい
☐	3. 夜間や朝タなど人材の確保が難しい時間帯がある
☐	4. 転職や退職が多く人材の定着が難しい
☐	5. その他()
☐	6. 特になし

問8 貴法人では、離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。(ノは3つまで)

☐	1. 出産・育児	☐	2. 腰痛など身体的負担
☐	3. 勤務形態(夜勤・土日勤務・休暇の少なさ)	☐	4. 家族等の介護・看護
☐	5. 職場の人間関係	☐	6. 収入面
☐	7. キャリアアップ		
☐	8. その他()		
☐	9. 把握していない		

問9 貴法人では、人材確保にあたりどのような取組を実施していますか。(複数回答可)

☐	1. 給与制度を体系化し職員に分かるよう示している
☐	2. 夜勤の勤務負担を減らすために3交代制をとっている
☐	3. 職員の身体的負担を軽減するためにリフト等のロボット等を導入している
☐	4. 出産・育児支援として施設内保育施設を整備している
☐	5. 資格取得に対する費用、外部研修への業務としての参加等の支援をしている
☐	6. 就学資金貸付制度を実施している
☐	7. 地域の学校等へ介護業界への理解促進活動を行っている
☐	8. 若手職員への相談体制や離職防止研修を行っている
☐	9. 就職イベントへ積極的に参加している
☐	10. 清掃などの業務等について、シルバー人材センター等の高齢者の活用をしている
☐	11. 外国人人材を受け入れている
☐	12. 介護サポーターを雇用している
☐	13. その他()
☐	14. 特になし

問10 貴法人において、令和3年度に採用した職員の採用ルートに該当するものはどれですか。(複数回答可)

	常勤職員 (新卒採用)	常勤職員 (中途採用)	非常勤職員
1. ハローワーク	☐	☐	☐
2. 福祉人材センター	☐	☐	☐
3. 法人ホームページ	☐	☐	☐
4. 資格取得実習受け入れ	☐	☐	☐
5. 養成校への働きかけ	☐	☐	☐
6. 一般校への訪問	☐	☐	☐
7. 教員・卒業生等の推薦・紹介	☐	☐	☐
8. 職員・知人等からの紹介	☐	☐	☐
9. 合同就職説明会	☐	☐	☐
10. 求人情報誌	☐	☐	☐
11. インターネット求人	☐	☐	☐
12. 人材紹介会社	☐	☐	☐
13. その他()	☐	☐	☐
14. 採用なし	☐	☐	☐

問11 現在、貴法人では外国人職員が在籍していますか。(ノは1つ)

☐	1. 在籍している一問12にお進みください
☐	2. 在籍していない一問13にお進みください

【問11で「1. 在籍している」と回答された法人におうかがいします。】

問12 在籍している以下の外国人職員数をそれぞれ記入ください。

在留資格	令和4年11月1日現在の在籍人数
在留資格「介護」	人
EPA介護職員(※1)	人
技能実習生	人
特定技能1	人
養成校の留学生(※2)	人
「資格外活動」(養成校の留学生を除く)	人

(※1)EPA(経済連携協定)に基づく外国・人介護福祉士候補者及び外国人介護福祉士
(※2)在留資格「留学」により日本に在留し、介護福祉士養成校において教育を受ける外国の国籍を有する学生

☐	1. 外国人介護職員の日本語能力向上のための支援
☐	2. 外国人雇用に関する各種制度についてのセミナー
☐	3. 外国人介護職員の介護技術向上のための支援
☐	4. 外国人介護職員を指導するための方法に関する支援
☐	5. 外国人介護職員に対する住居支援
☐	6. 外国人介護職員の生活支援のための情報提供や相談窓口
☐	7. 外国人介護職員を有する施設・事業所同士のネットワーク
☐	8. 外国人介護職員同士の交流会
☐	9. 既に外国人介護職員を受け入れている施設と、これらに受け入れられる施設とのネットワーク(アドバイスを求められるような仕組み)
☐	10. その他()
☐	11. 特になし

※サービスの番号は問1を参照してください。
※枠が足りない場合は追加してください。

問17 ICT機器導入に当たっての課題はありますか。(複数回答可)

☐ 1. 導入コストが高い	☐ 2. 導入の効果に疑問
☐ 3. 職員が使いこなすのが難しい	☐ 4. 操作習得に時間が必要
☐ 5. サービス低下を懸念	☐ 6. 保守等が心配
☐ 7. 事故が心配	☐ 8. 何から始めたらよいか分からない
☐ 9. 自分の施設にあったICT機器を探すのが難しい	
☐ 10. その他()	
☐ 11. 特になし	

問18 貴法人では、従業員のスキルアップにつながる独自の研修を行っていますか。(ノは1つ)

☐ 1. 行っている→問 19にお進みください
☐ 2. 行っていない→問 20にお進みください

【問18で「1. 行っている」と回答された法人におうかがいします。】

問19 研修はどのような内容ですか。(複数回答可)

☐ 1. ケアプランの作成・評価	☐ 2. 介護に関する知識
☐ 3. 介護予防に関する知識	☐ 4. リハビリテーションに関する知識
☐ 5. 医学一般に関する知識	☐ 6. 困難事例の検討
☐ 7. 住宅・住環境に関する知識	☐ 8. 福祉用具に関する知識
☐ 9. 認知症高齢者への対応	☐ 10. 成年後見制度などの権利擁護関連制度に関する知識
☐ 11. 消費者問題などの法律知識	☐ 12. 介護福祉士などの資格取得に関する知識
☐ 13. 職業倫理に関する知識	☐ 14. 対人援助技術に関する知識
☐ 15. 態度・接遇に関する内容	
☐ 16. その他()	

【問18で「2. 行っていない」と回答された法人におうかがいします。】

問20 研修を行っていない理由は何ですか。(複数回答可)

☐ 1. 研修を受ける時間がない	☐ 2. 研修を受けても効果があると思えない
☐ 3. どのような研修がよいかわからない	☐ 4. 参加させたい研修がない
☐ 5. 研修の開催情報などがどこで入手できるかわからない	☐ 6. 研修にかかる費用の捻出が難しい
☐ 7. 研修を受けることで職員の他の事業所への転職につながらないか不安	
☐ 8. その他()	

【すべての法人におうかがいします。】

問21 介護人材に関するご意見や市へのご要望があればご記入ください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。